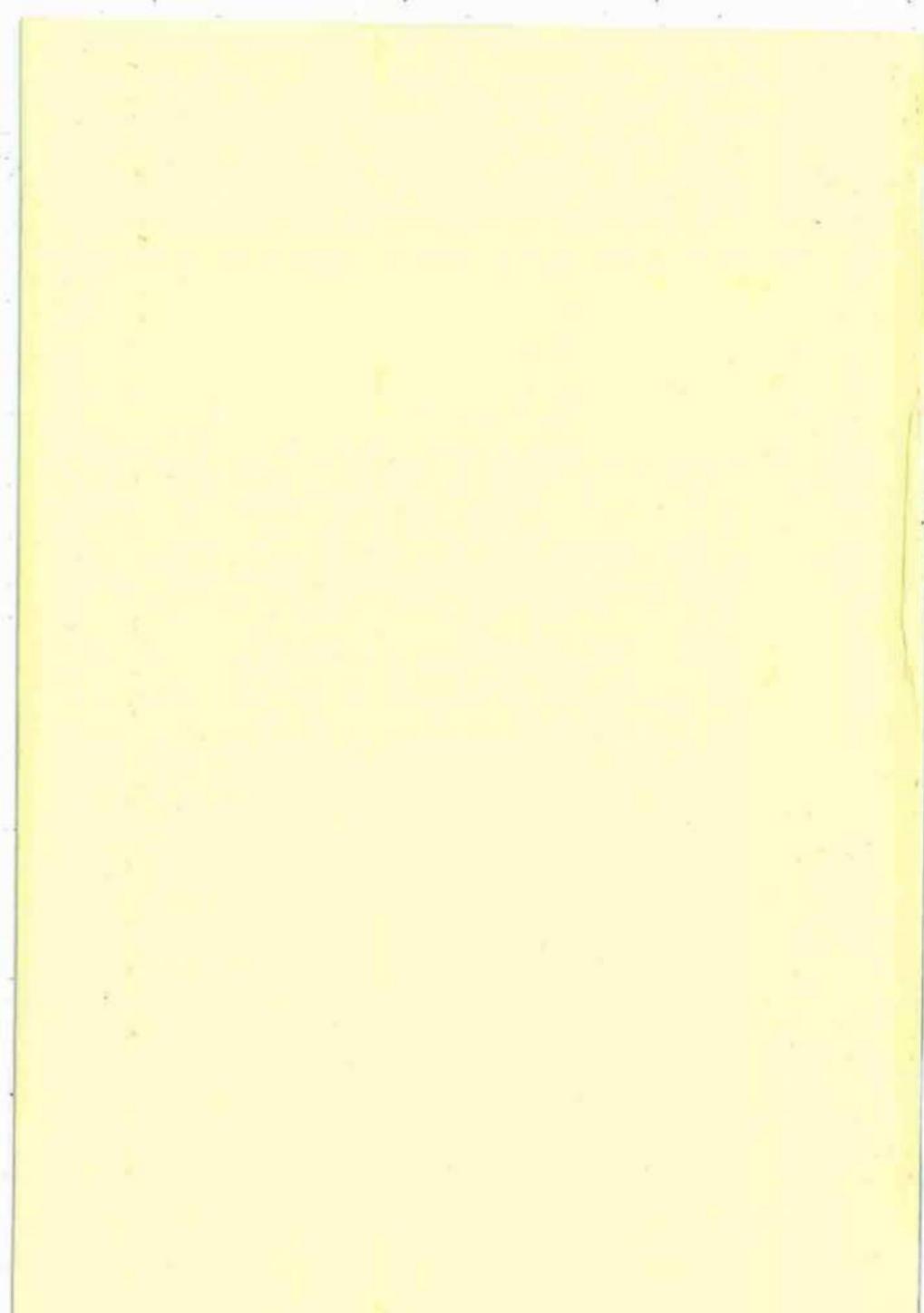


中原遺跡群III・V・VII

1996

前橋市埋蔵文化財発掘調査団



中原遺跡群III・V・VII

1 9 9 6

前橋市埋蔵文化財発掘調査団



1. 赤城山と中原遺跡群



2. 中原遺跡群Ⅲ全景(C 3・4, D 3・4 区)



3. 中原遺跡群Ⅲ全景(B 5, C 4・5, D 5 区)



4. 中原遺跡群V全景(D 2・3・4, E 2・3・4 区)

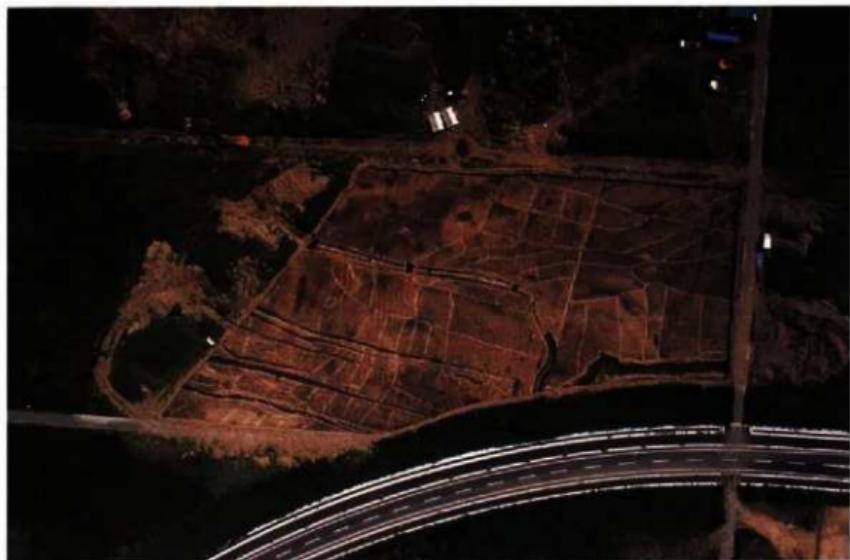


5. 中原遺跡群V全景(E 3・4, F 3・4区)



6. 中原遺跡群V全景(D 6, E 6・7, F 6・7区)

卷首図版4



7. 中原遺跡群VII全景(C 4, D 4・5, E 4・5区)



8. 中原遺跡群出土遺物(古墳～奈良・平安時代)

序

前橋市は北に赤城山、西に榛名山を望む関東平野の北部を市域とした県都であります。北から南に貫流する利根川は、支流の広瀬川・桃木川・龍川などに清流を分流し「水と緑と詩の町」を調し、幕末の横浜開港とともに生糸輸出が盛んになり「糸の町」として養蚕製糸で栄えてきました。今人口28万余を擁し、生涯教育都市を目指し、教育文化・商工業の調和のある「豊かで、すばらしい社会を築く街づくり」を推進しています。

前橋市では福祉、教育、文化、環境等の整備、拡充の施策のひとつとして、前橋工業団地造成組合のもとで工業団地・住宅団地の造成を行なっています。この一環として前橋市上増田町に工業団地造成事業を進めています。中原遺跡群は、それに先立つ埋蔵文化財発掘調査として、前橋市埋蔵文化財発掘調査団が実施することになりました。

中原遺跡群III・V・VII（上増田工業団地造成地）の所在する上増田町は、中心市街地から東南東約8kmの桃木川左岸に位置し、町域の中心部を荒砥川が北から南流する、自然環境の豊かな田園地帯であります。

発掘調査では、工業団地造成地約250,000m²のうち、平成5・6・7年度事業として実施され、古墳時代・奈良・平安時代の住居址と818(弘仁9)年の関東地方を襲った地震被災の泥流埋没水田址・溝址などを広い範囲にわたり検出し、地域の歴史を解明する貴重な資料を得ることができました。

この調査報告書を刊行するにあたり、前橋工業団地造成組合を始め多くの関係機関の方々の御理解と御協力を得たことに対し厚く御礼申し上げます。

平成8年3月25日

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

団長 大谷輝治

例　　言

- 1 本報告書は、前橋工業団地造成組合（管理者 小寺弘之）が造成する上増田工業団地に係る中原遺跡群III・V・VII発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地
群馬県前橋市上増田町955番地外
同 筑井町470番地外
- 3 調査は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団（団長 大谷輝治）指導のもとに、委託者 前橋工業団地造成組合（管理者 小寺弘之）の委託を受け、受託者 スナガ環境測設株式会社（代表取締役 須永眞弘 所在地 前橋市青柳町211-1）が実施した。
- 4 調査担当者 萩野博巳（スナガ環境測設株式会社 調査員）
園部守央（前橋市埋蔵文化財発掘調査団）
- 5 発掘調査期間 中原遺跡群III 平成5年12月1日～平成6年3月15日
同 V 平成6年4月28日～平成7年3月24日
同 VII 平成7年6月9日～平成7年8月22日
整理・報告書作成期間 平成7年8月23日～平成8年3月25日
- 6 調査面積 中原遺跡群III 12,295m², V 41,600m², VII 10,500m²
- 7 出土遺物は前橋市教育委員会で保管する。
- 8 測量・調査計画を須永眞弘、調査・萩野博巳・新保一美、測量・板垣宏・勝田貞幸・佐々木智恵子・角田朱美、安全管理・神津芳夫、作業事務・柴崎信江が担当した。
- 9 本書は、原稿執筆・編集を萩野博巳、校正・須永眞弘・金子正人、測量図書の整理校正トレス・勝田貞幸、遺物の注記・復元・新保一美、遺物実測・計測・佐々木智恵子・岡田あゆ美、内業事務は柴崎信江・須永豊が担当した。

凡　　例

1 遺構名・略称

遺構名と略称は次の通りとした。

土師器住居址 H	溝・水路遺構 W	井 戸 址 I	土 坑 D
柱 穴 P	畦 畦 A	掘立柱遺構 B	

2 遺構・遺物実測図の縮尺は次の通りである。

遺構 1/30, 1/60, 1/100, 1/300, 1/500

遺物 1/1, 1/2, 1/3, 1/5

3 掘入図

国土地理院発行の5万分の1「前橋」、2万5千分の1「大胡」地形図、を使用した。

4 遺跡の位置の基準

基 準 点 国土地理院三角点および水準点を照合済み

A 1 区 A 0 地点 第IX系座標値 $x = 40,200.000m$ $y = -61,500.000m$

水 準 点 BM.C 3 区 78.00m C 5 区 78.00m (中原III)

D 3 区 78.00m E 3・4 区 78.00m F 3・4 区 77.50m

D 6・E 6 区 77.00m (中原V)

D 4 区 77.50m (中原VII) 以上を使用

等 高 線 5 cm

グ リ ッ ド 4 m 間隔

5 土層断面の土色名及び土器類の色調名は「新版標準土色帖」による。

6 土層注記及び本文中には As : 浅間山, Hr : 桧名山の略称を使用。

7 水田面積の算出については、1/100 の平面図をデジタイザ読みによる座標面積計算で算出した。尚、小数点以下第2位まで記載した。

8 スクリーントーン使用は次の通りである。

位置図・遺物実測図(内黒)・標準堆積土層図…細かい斑

9 柱穴以外のPは土器、Sは石を表す。

目 次

序
例言
凡例
目次

I	調査に至る経緯	1
II	遺跡の位置と歴史的環境	1
III	調査の経過	4
1.	調査方針	4
2.	調査経過	4
IV	層 序	6
V	中原遺跡群III	
1.	概要	9
2.	遺構と遺物	9
(1)	住居址	9
(2)	平安時代の水田址	9
①	水田の地形	9
②	水田の区画	10
③	畦畔	10
④	水口、配水	11
⑤	足跡	11
⑥	地震による地割れ	12
(3)	溝・水路	12
(4)	道跡	12
VI	中原遺跡群V	
1.	概要	23
2.	遺構と遺物	23
(1)	住居址	23
(2)	平安時代の水田址	34
①	水田の地形	34
②	畦畔と水田区画	34
③	水口、配水	35

④足跡	36
⑤地割れ・陥没水田	37
(3) 溝・水路	37
(4) 土坑	38
(5) 堀立柱遺構	39
(6) 井戸址	40
(7) 突状遺構	40
(8) 潜池状遺構	41
(9) 中原遺跡群Vの植物珪酸体(プラント・オパール)分析	42
VII 中原遺跡群VII	
1. 概要	101
2. 遺構と遺物	101
(1) 平安時代の水田址	101
①水田の地形	101
②水田の区画	101
③畦畔	101
④水口、配水	102
⑤足跡	102
⑥陥没水田	103
(2) 溝・水路	103
VIII まとめ	112
1. 住居址について	112
2. 水田址について	113

挿 図	頁		
第1図中原遺跡群位置図	第9図3号住居址・4号住居址カマド	64	
第2図中原遺跡群周辺遺跡図	2	第10図4号・5号住居址	65
第3図調査区・グリッド設定図	3	第11図5号住居址・6号住居址カマド	66
第4図発掘調査経過図	5	第12図6号住居址	67
第5図標準堆積土層図	6	第13図7号住・カマド・8号住居址カマド	68
第6図1号住居址・カマド	18	第14図8号・9号住居址	69
第7図古墳時代の遺物	19	第15図9号住居址カマド・10号住居址	70
第8図1号・2号住居址	63	第16図10号住居址・カマド・11号住居址	71

第17図11号住居カマド・12号住居カマド	1・2	72	第30図D 3区W-4・水田・畦畔・水口等	85	
第18図12・13号住居址		73	第31図D 3・4区W-5・畦畔・水口・陥		
第19図13号住居カマド・14号住居址	カマド	74	没水田等	86	
第20図15号住居址	15, 16号住居址カマド	75	第32図D 3・E 3区土坑・掘立柱遺構	87	
第21図16号・17号住居址	17号住居址カマ		第33図E 3・F 3区土坑・掘立柱遺構	89	
F		76	第34図I-1・2・B-4	91	
第22図18号・19号住居址		77	第35図古墳時代の遺物(1)	92	
第23図18号住居址	18・19号住居址カマド	78	第36図古墳時代の遺物(2)	93	
第24図20号・25号住居址	20号住居址カマ		第37図古墳時代の遺物(3)	94	
D		79	第38図古墳時代の遺物(4)	95	
第25図25号住居址カマド	21・23・26号住		第39図奈良・平安の遺物(1)	96	
居址		80	第40図古墳時代(5)、奈良・平安(2)	97	
第26図21・23・26号住	21の1・2、23号カ		第41図古墳時代～近代・その他	98	
マド		81	第42図古墳時代～近世～近代の遺物	108	
第27図22号住居址	26号住居址カマド	82	第43図D・E 4区W-8・畦畔・水口・陥		
第28図22号住居カマド	24号住居址	カマド	83	没水田	109
第29図E 4区W-10～12・水田・畦畔・水			第44図中原遺跡群住居址分布図	111	
口等		84			

付 図

中原遺跡群III全体図

中原遺跡群V全体図 1・2

中原遺跡群VI全体図

写真図版

巻首図版 1～4

中原遺跡群III 1～4

中原遺跡群V 5～26

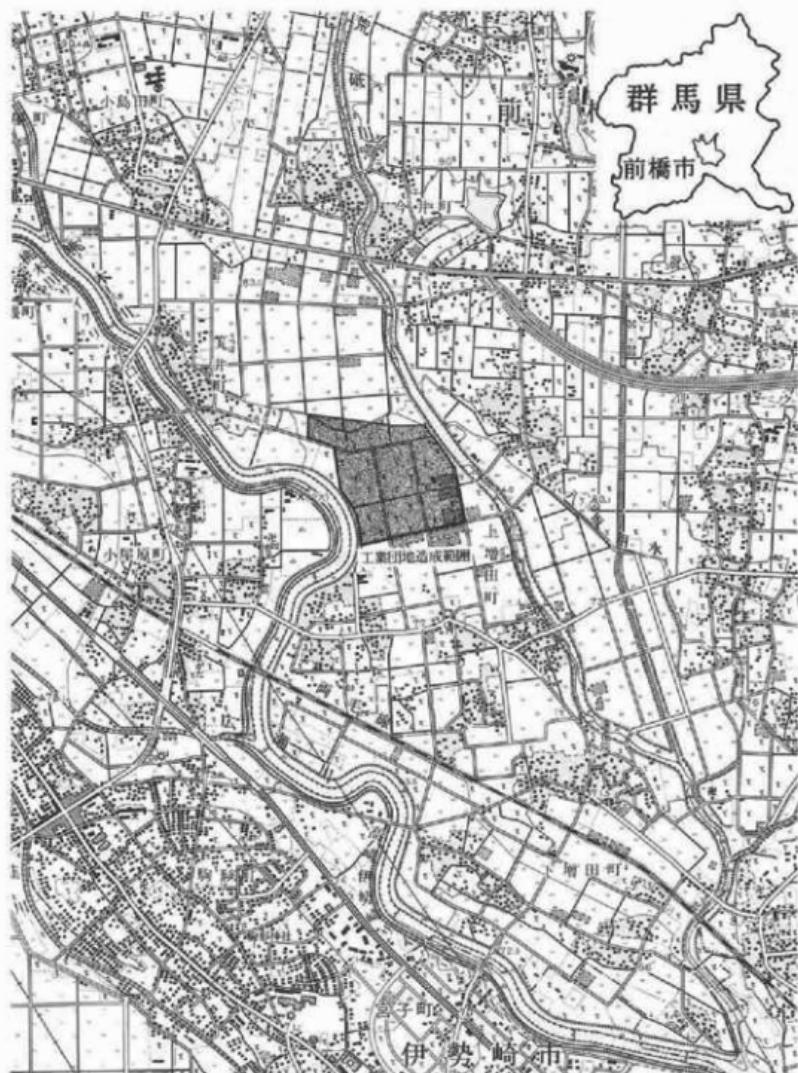
中原遺跡群VI 27～29

表

頁

頁

中原遺跡群III出土遺物観察表(III)	13	溝・水路計測表(III)	13
水田址計測表(III)	14	畦畔断面計測表(III)	16
プラント・オパール分析結果(V)	43	中原遺跡群V出土遺物観察表(V)	44
水田址計測表(V)	48	畦畔断面計測表(V)	53
土坑計測表(V)	58	溝・水路計測表(V)	62
水田址計測表(VII)	104	畦畔断面計測表(VII)	106
溝・水路計測表(VII)	107	中原遺跡群VI出土遺物観察表(VII)	107
住居址編年表	112		



1:25,000

0 500 1000 1500 2000

第1図 中原遺跡群 位置図

I 調査に至る経緯

前橋市の東部田園地帯に上増田工業団地造成事業が実施されることになり、これに先立つ埋蔵文化財発掘調査について、前橋工業団地造成組合と前橋市教育委員会との協議により、埋蔵文化財の包蔵状況を把握するため、平成3年度に造成面積約250,000m²の試掘調査を実施することになり、前橋市埋蔵文化財発掘調査団の指導のもとに、前橋工業団地造成組合の委託を受け、スナガ環境測設株式会社で調査に入った。

試掘調査の期間は、平成3年12月12日から平成4年3月16日まで行なわれ、その結果水田址、住居址等の遺構が確認され、平成4年度から中原遺跡群として実施されることになり、引き続き平成5・6・7年度にわたり調査を実施した。

II 遺跡の位置と歴史的環境

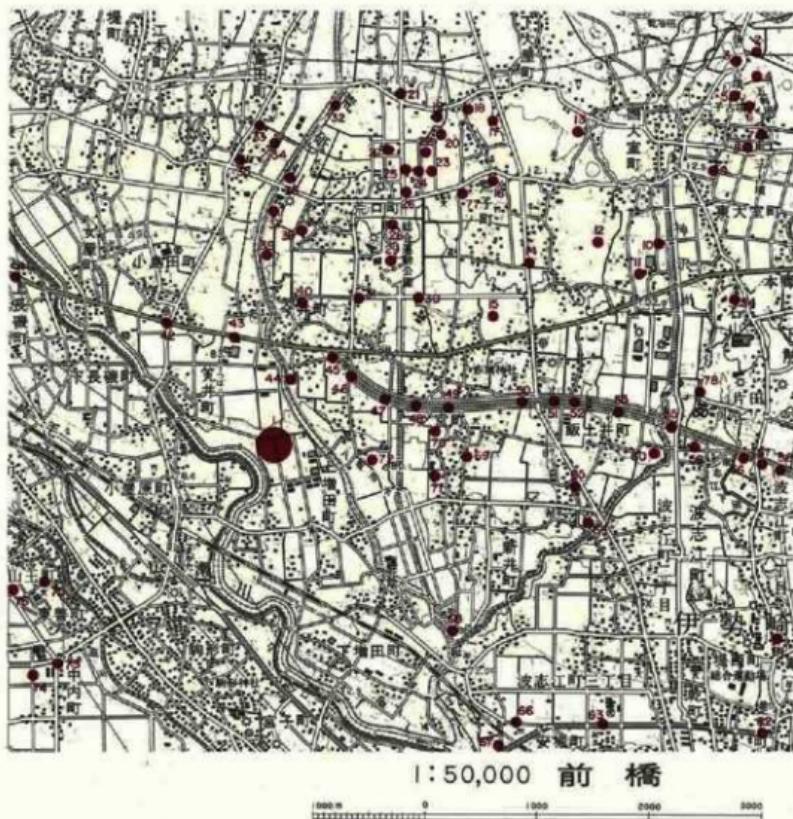
中原遺跡群は、県庁や市役所などの官庁街より国道50号線を東へ8km程の所に位置し、桃木川の左岸にあります。この一帯は、旧利根川の氾濫原堆積物である沖積砂礫を下層に埋める広瀬川低地帯上にある。

遺跡の範囲は、上増田町字中原を中心とし、それに隣接する周辺字地名は、東に字三本松、字田村屋敷、南に字弥火田、字鯉田、西に字天上堀、北に箕井町東南端の字八反田ほかと、今井町の西南端部などから成る上増田工業団地造成地約25ヘクタールである。

造成地の大半を占める上増田町は、町域約192ヘクタールを東西に三つ割にして、東を一級河川荒砥川が南流し、その左岸（東部）は水田地帯、それに連なる赤城火山斜面で火碎岩層の微高地に、農家住宅などと桑園、畑地があり、今井町、二之宮町、下増田町と隣接している。町の西端を南流する一級河川桃木川は上流で利根川から分れ、広瀬川を経て田口町で分流している。

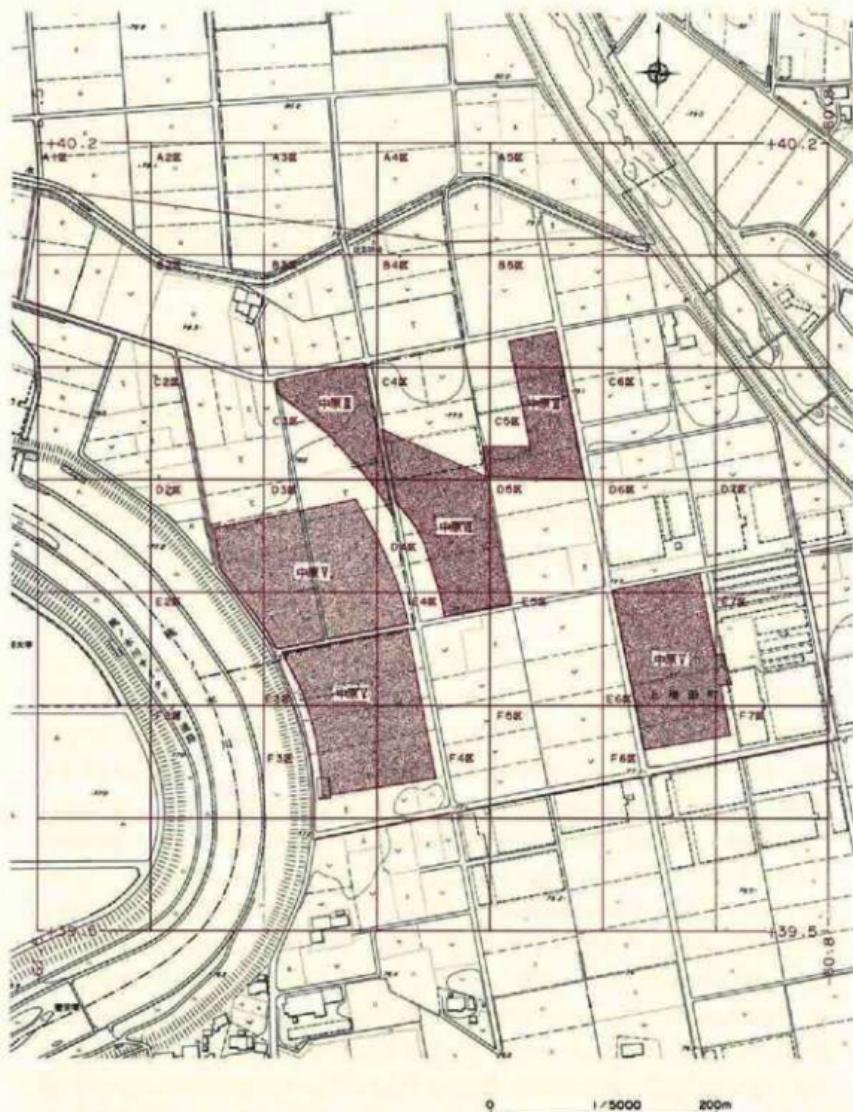
この広瀬川に合流する手前0.3km程の所を、東西に鉄橋で横断するJR両毛線があり、鉄路を0.5km程西進すれば、小屋原町の駒形駅に至る。

本遺跡群の北東に近接する二之宮町には、縄文～弥生～古墳時代住居址の荒砥前原遺跡や弥生中期～古墳～平安期住居址の荒砥島原遺跡がある。また多くの古墳や東道跡の推定地・国史跡の女塚遺構などがあり、11世紀頃の社格制度の呼称の上野国二宮（二宮赤城神社）は、県重文の納曾利面や市重文梵鐘などを今に伝えている。この二之宮町から北東へ3km程に、東・西大室町にまたがる国史跡の前二子・中二子・後二子古墳があり、この時代の高い東国文化の中核の地であったことをうかがい知ることができる。



- 1.中原遺跡群
- 2.下郷引遺跡
- 3.上郷引遺跡
- 4.内堀遺跡群
- 5.後二子古墳
- 6.中二子古墳
- 7.前二子古墳
- 8.荒砥上瀬訪遺跡
- 9.大室小学校庭遺跡
- 10.荒砥東原遺跡
- 11.丸山古墳
- 12.立野古墳
- 13.阿久山古墳
- 14.荒砥荒子遺跡
- 15.荒砥上ノ坊遺跡
- 16.荒砥中屋敷遺跡
- 17.堤東遺跡
- 18.川垂築戸遺跡
- 19.荒子小学校校庭遺跡
- 20.大久保遺跡
- 21.新山遺跡
- 22.中鶴谷遺跡
- 23.須無遺跡
- 24.柳久保水田遺跡
- 25.柳久保遺跡
- 26.下鶴谷遺跡
- 27.瀬訪遺跡
- 28.荒砥大日塚遺跡C
- 29.鶴谷遺跡
- 30.荒砥大日塚遺跡B
- 31.荒砥大日塚遺跡A
- 32.荒砥瀬訪西遺跡
- 33.東原古墳
- 34.東原遺跡
- 35.宮下遺跡
- 36.荒砥宮田遺跡
- 37.荒砥前田遺跡
- 38.荒口前原遺跡
- 39.荒砥北原遺跡
- 40.荒砥北三木堂遺跡
- 41.野中天神遺跡
- 42.瓦井八日市遺跡
- 43.今井白山遺跡
- 44.今井神社古墳
- 45.今井道上・道下遺跡
- 46.二之宮谷地遺跡
- 47.二之宮洗構遺跡
- 48.二之宮千足遺跡
- 49.二之宮宮下西遺跡
- 50.二之宮宮東遺跡
- 51.飯土井上祖遺跡
- 52.飯土井中央遺跡
- 53.飯土井二本松遺跡
- 54.石山遺跡
- 55.波志江今宮遺跡
- 56.波志江天神山遺跡
- 57.波志江六反田遺跡
- 58.波志江中峰岸遺跡
- 59.宮貝戸古墳群
- 60.二之塙古墳群
- 61.台所山古墳
- 62.八幡町遺跡
- 63.中組遺跡
- 64.赤城城址遺跡
- 65.宿畠古墳群
- 66.お富士山古墳
- 67.西太田遺跡
- 68.荒砥前原遺跡
- 69.青柳遺跡
- 70.荒砥天之宮遺跡
- 71.島原遺跡
- 72.宮原遺跡
- 73.前田遺跡
- 74.西三並遺跡
- 75.上關10号墳
- 76.阿弥陀山古墳
- 77.荒砥下押切遺跡
- 78.牛伏遺跡

(注：荒砥大日塚遺跡 A.古墳～奈良・平安集落, B. B.轆石下水田, C. 弥生～古墳・B.轆石下水田)



第3図 調査範囲・グリッド設定図

III 調査の経過

1. 調査方針

平成3年の試掘調査の結果をもとに、平成4年から平成5、6、7年と継続して調査が実施され、広範囲の面積を調査しなければならないため、各年度毎に面積を分け、平成5年度は12,295m²、6年度41,600m²、7年度10,500m²の調査を実施した。尚、遺跡名称は旧地籍の「中原」より小字名を採用し、年度によって中原遺跡群III（平成5年度調査）、V（平成6年度）、VII（平成7年度）に分けて名称を使用した。

調査区の設定は、平成3年度の試掘調査時に設定した公共座標に合わせて調査区を設定し、東西方向に延びる調査区を算用数字で、南北方向に延びる調査区をアルファベットで呼称して100×100mの大グリッドとし、その中を4m毎に小グリッドを設定した。グリッドの呼称は北西杭の名称を使用した。また水準点は、公共水準BMから測設した。

図面作成は、原則として1/10・1/20・1/40・1/100等の縮尺を使用し、作図を行なった。

遺物は、遺構・グリッド単位で層位毎に収納し、重要遺物と判断した遺物は、遺物分布図、遺物台帳に記載をし、付番処理をして収納した。また遺構・遺物等の写真撮影も行ない記録した。

2. 調査経過

中原遺跡群の調査は、平成5年、6年、7年と各年度に分けて本調査を実施した。

平成5年度調査は、中原遺跡群IIIを実施することになり、12月1日より表土掘削に入り、洪水堆積層で埋まった平安時代の水田址や中世～近代までの溝、水路、道跡などを検出し、1面目の調査を終了した。また、2面目の調査は水田面下遺構確認トレンチにより、古墳時代の住居址1軒を検出し、3月15日までに遺構の測量・写真等の記録や遺物の収納などを行ない、終了した。

中原遺跡群Vの調査は、平成6年4月28日より実施した。調査面積が広く、離れている調査区もあり、大きく3区画に分けて行なった。1区画（東西方向の道路を挟んで北側）は、4月から9月にかけて行ない、1面目の調査では、古墳時代の住居址2軒と平安時代の水田址、溝址や中世～近代までの遺構などを検出した。また2面目の調査では、古墳時代の住居址8軒が検出された。2区画（道路南側）は7月より表土掘削に入り、1区画と並行しながら12月まで作業を行ない、平安時代水田址や溝址、中世～近世までの遺構を検出した。3区画（1、2区画より約200m東）は、10月より表土掘削に入り、2区画と並行して3月24日まで行なわれた。1面目の調査で、奈良・平安時代の住居址7軒と水田址、溝址などや中世～近代までの遺構を検出した。また2面目の調査では、1面目で検出した住居址の東側より、奈良・平安時代の住居址9軒を検出した。各区の調査は遺構の測量・写真等の記録や遺物の収納などを行ない終了した。

中原遺跡群VIIは、平成7年6月9日より実施した。始めに調査区の残土の搬出を行ない、表土

の掘削に入り、洪水堆積層で埋まった平安時代の水田址や溝址、中世～近代までの遺構を検出した。また遺構の測量・写真等の記録や遺物の収納などを行ない8月22日に調査を終了した。

第4図 発掘調査経過図

中原遺跡群Ⅲ

Hは平成

年月日 調査区	H5 12月	H6 1月	2月	3月
C3・4、 D3・4区				
B5, C4・5、 D5区				

中原遺跡群V

年月日 調査区	H6 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H7 1月	2月	3月
D2・3・4、 E2・3・4区												
E3・4、 F3・4区												
D6, E6・7、 F6・7区												

中原遺跡群VII

年月日 調査区	H7 6月	7月	8月
C4, D4・5、 E4・5区			



表土掘削
プラン確認



遺構掘り下げ
図面作成等



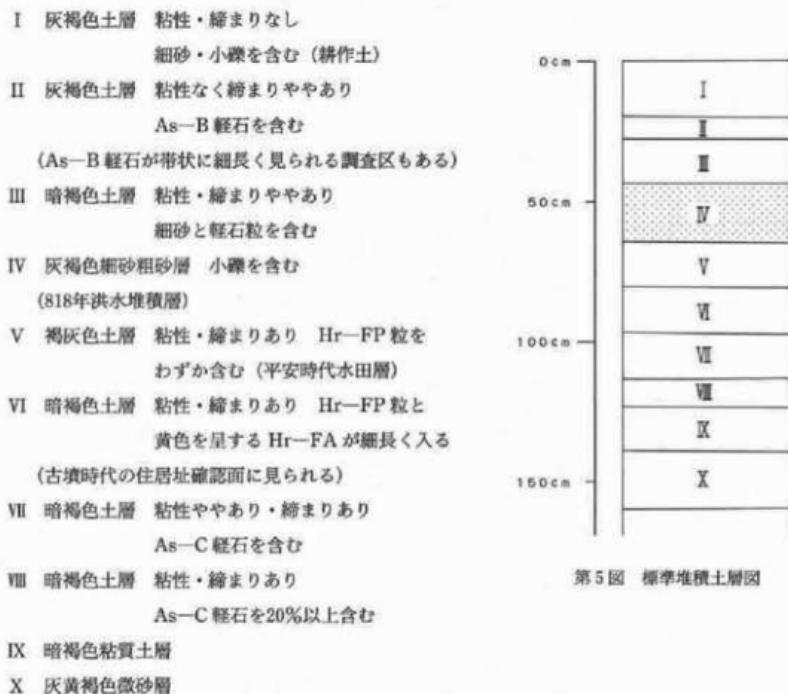
仕上げ
全体写真撮影

IV 層序

中原遺跡群は、赤城山の南麓に広がる扇状地の末端部に位置し、利根川の旧流路で広瀬川低地帯の左岸にあたる後背湿地上に位置する。遺跡群は東側に赤城山より南流する荒砥川、西側には桃木川（旧利根川の流路）がある。古くから、これらの河川によって、生活が営まわれた場所と推定され、様々な自然災害や河川の氾濫、洪水等が繰り返され直接的や間接的に影響を及ぼした地域と思われる。

本遺跡群は、旧流路、小河川、中洲状のあった所に位置すると推定され、堆積土層状況に違いが見られる。各区で見られる堆積土層には、浅間B軽石（1108年降下）、榛名F P（6世紀中葉降下）、榛名F A（6世紀初頭降下）、浅間C軽石（4世紀中葉降下）などの火山噴出物降下堆積物の混入が見られる。また平安時代水田面上を覆った（褐灰色粗砂層 粒を含む）堆積土層は、818（弘仁9）年の地震による洪水堆積層と言われ、河川に挟まれた本遺跡群全体に見られる。

中原遺跡群III・V・VIIで確認した層序については、基本的に下記に示した通りである。



第5図 標準堆積土層図

V 中原遺跡群 III

1. 概要

本年度の発掘調査では、1面目から水田址96面、溝・水路跡4条、遺跡1か所、2面目の調査では、住居址1軒が検出された。水田址は、818(弘仁9)年の地震に起因する洪水堆積層によって覆われた平安時代のものである。また、平成4年度調査の中原遺跡群IIと同一の水田になることが判明した。2面目で検出された住居址は、鬼高式の土器を伴うもので、古墳時代後期にあたると考えられる。

2. 遺構と遺物

(1) 住居址

H-1号住居址(第6図、図版1)

位 置 C5-Y5・6, D5-A5・6グリッド

床面積 16.05m² 主軸方向 N-75°-E

形 状 長辺4.40m、短辺4.06mの隅丸方形を呈する。壁高は平均59cmを測る。

床 面 ほぼ平坦な床で、As-C軽石・炭化物・焼土粒を含む土層を床としている。

カマド 東壁のほぼ中央に位置し、カマド全体に粘土が使用されている。主体部・焚口を住居内に有し、煙道部を壁外に持つ。全長120cm、焚口部幅約26cm、主軸方向N-77°-Eを測る。燃焼部には長さ18cm、幅10cm程の支脚石が残っていた。

柱 穴 3か所確認した。住居の北壁側にP-1、南壁側にP-2・3を確認した。ほぼ円形を呈する。P-1径32cm、深さ33cm、P-2径30cm、深さ29cm、P-3径32cm深さ30cmを測る。

備 考 住居址の全体に炭化材や焼土の分布が見られることから焼失住居の可能性が強い。また黄色砂層で埋まった地割れ跡も検出されている。

遺 物 図示したものは、No.1~7壺・8高杯・9壺・10,11壺・12壺などがある。時期は古墳時代後期と思われる。

(2) 平安時代の水田址

①水田の地形

荒砥川と桃木川に挟まれた広瀬川低地帯と呼ばれている地域にあり、水利等において水田に適した地域である。

水田址は、818(弘仁9)年の赤城山南麓一帯で起こった地震に起因する洪水堆積物で埋まったものである。調査区は中原遺跡群II(平成4年度調査実施)に統くC3・4, D3・4区とB5, C4・5, D5区に位置する水田址である。

C3・4, D3・4区は27号水田の標高78.30mを最高値に、南方向の54号水田の標高77.35m

を最低値に95cmの比高差を測る三角形状の調査区である。B 5, C 4・5, D 5区は調査区の北西隅の55号水田の西側で標高78.35mを最高値に、調査区東側中央付近に位置する80号水田の標高77.55mを最低値に80cmの比高差を測る南北に細長く南側で西方向へ広がる逆L字状を呈する調査区である。全体に東側寄りは水田区画がはっきり残り、西側方向は微高地状に上がる傾向で水田区画は不明瞭である。調査区全体では、北側より南側への勾配となる。

②水田の区画（全体図、図版1～3）

調査区に見られる水田区画は長方形と平行四辺形状のものが大半を占めるが、それ以外に不定形な区画も見られる。区画の大きさに規則性が見られるものは、C 3区内の平行四辺形状の水田やB 5, C 5区内の方形状のものなどがある。また調査区内には、東西・南北方向に伸びている大畦畔の一部があり、その大畦畔を挟んで北側と南側の区画形状に違いが見られる。C 3, D 3・4区は、大畦畔を挟んで北側が半折型に近い形状を呈し、その中は平行四辺形状に区画している。南側も半折型に近い形状だが、区画内は一定の形状を示さない。B 5, C 4・5区は、北側がふぞろいの四角形状区画が多く見られ、南側は細長い四辺形状のものが見られる。全体に大区画畦畔（大畦畔）内は規則性を持たない。

③畦畔（全体図、図版1～3）

調査区内に見られる畦畔は、東西・南北方向に規則的に伸びる区画もあるが、他は曲線のものが多く、走行に違いが見られる。畦畔は水田面と同じ褐灰色粘質土層で作られている。また幅の大小の差により、大畦畔と小畦畔と言うように分かれている。ここで見られる大畦畔は一水田区画を囲むものではなく、条里制水田の区画に当てはまるものと思われる。

検出された大畦畔は東西方向に伸びるものと、南北方向に伸びるものを見出した。C 3区内の大畦畔は前回の調査区（中原遺跡群II）の隣に位置し、走行は前回検出したものと一致する。またC 5区内にも東西方向に伸びる大畦畔を確認した。西側で形状が不明瞭となり、他の小畦畔も形状が不明になる。

確認された大畦畔の規模は、C 3区内の南北畦畔で確認長9.0m、上端幅70～120cm、下端幅40～90cm、水田面との比高差は東側で12～13cm、西側で13～14cmを測る。さらに東西畦畔では確認長50.3m、上端幅35～75cm、下端幅70～130cm、水田面との比高差は南側で13.5～21cm、北側で5.5～12.5cmを測る。またC 5区内の東西畦畔では確認長35m、上端幅45～150cm、下端幅85～170cm、水田面との比高差は南側で3～15.5cm、北側で6～24.5cmの間を測る。全体に断面は、台形状（かまぼこ形）で、幅の広いものは上端幅150cm、下端幅170cm、幅の狭いものでは、上端幅35cm、下端幅70cmを測り、小畦畔と比較すると大畦畔は平均上端幅で31.9cm、下端幅で35.8cm程度幅広くなっている。

また水田の区画割りに見る水田形状は、大畦畔を挟んで様相が異なっていることがわかり、個々

の水田区画には大きさや形状などに規則性は見られない。河川に挟まれた地形から洪水等の自然災害などを受け易い場所と思われ、区画（畦畔）もその都度作り替えた結果と思われる。

④水口、配水（全体図、図版2・3）

区画を区切った畦畔には水口があり、水の取り入れや配水がこの部分によって行なわれてきたことがうかがわれる。水口の位置は、基本的には一区画の水田を囲む東西・南北方向の畦畔に数か所あり、各水田に配水している。各調査区での水口からの配水経路は、C3・4、D3・4区では調査区北側の12号水田（78.22m）から南側の52号水田（77.45m）までの配水経路が見られ、比高差は77cmを測る。また各畦畔に見られる水口の幅も上端幅で16～68cm、下端幅4～34cmの範囲のものが見られる。さらに流水部分には侵食による窪みがあり、とくに大畦畔に作られた水口部分の窪みは他のものより侵食跡がはっきり残っている。また1号から54号水田中、1・9・10・11・13・26・27・28・29・30・51・53号水田では、区画が部分的なため水口は検出されなかった。全体に北から南への勾配を利用した配水となっている。

B5、C4・5、D5区は、55号から92号までの水田が検出された。南北に細長く北西から南東側へやや勾配を持ち、水田を覆った砂礫層の堆積も東側の方が厚く、畦畔・水田面の残りが良い。各水田の配水経路を見ると、北側の57号水田（78.05m）から87号水田（77.65m）までの配水が見られる。比高差は40cmを測り、北側から南東方向へ勾配を持つ。

また水口は、畦畔の交差部付近や中央部に見られる。幅は上端幅で13～53cm、下端幅で6～38cmの範囲のものがある。さらに流水による侵食跡も數か所認められている。

他に検出された55号～92号水田中、55・56・61・63・74・80・81・82・88・89・90・91・92号水田には水口が検出されず、全体での流水経路は不明である。また水田への取水のための溝・水路等は確認されず、一部水田面と畦畔を切っている溝を確認したが水田に伴う溝か不明である。

（水口の流水方向は、全体図に記載し、報告する）

⑤足跡（全体図、図版2・3）

調査区全体に人間の足跡が数多く認められた。その形状は明瞭なものと形状が崩れていて凹凸のみを残すものとがあり、比較的洪水堆積砂礫層が厚く堆積している所は足跡の残りも良い。

C3・4、D3・4区内の4・18・34・39・40・41号水田に見られる足跡は、比較的明瞭に残っている。足跡は水田内を斜め方向に歩行した跡が残っている。

またB5、C4・5、D5区では66号水田に残る足跡は明瞭に残る。歩行は東側畦畔に沿って南北方向に歩行跡が見られる。

さらにC3区内39・40・41号水田にまたがって見られる足跡は、北東から南西方向に歩行が見られ、足跡の大きさは20～23cm、窪みは2～3cm程残る。またC5区の66号水田に見られる足跡は、大きさ22～24cmを測り、窪みも2.5～4cm程残る。

⑥地震による地割れ

地震に伴う現象は、確認トレンチにより検出された古墳時代の住居址床面に見られる黄色砂層が、地割れの亀裂に入り込んで検出されており、地下での液状化現象が発生したことがうかがわれる。また地震の発生時期は、住居址の出土遺物から推定すると、6世紀以後と思われる。

(3) 溝・水路（全体図、図版3・4）

調査区全体に検出した溝・水路跡は4条で、平安時代の水田面や畦畔を掘り込んでいる溝や新しい水路跡などがある。C3区内に検出されたW-1・2は南北方向に作られ、洪水堆積層と畦畔・水田面を掘り込んで、底に歟穴状の流水痕が見られた。遺物はわずか土師器片が検出されている。またC4・5区内で検出された溝はW-3・4と2条あり、W-3は東西方向に作られW-1・2と同じ洪水堆積層や水田面・畦畔を掘り込んでいる溝で、東壁断面にはAs-B軽石層下より掘り込みが見られることや洪水層・水田層までの掘り込みがあることから、水田址より新しい溝と考えられる。さらに近代から現代まで水路として使用されていたW-4を検出した。遺物は、W-3からは検出されず、W-4からは土器片に混じって五輪塔や近代以後の遺物などを検出した。(各調査区の溝・水路等の計測値は、一表に記載し報告する)

(4) 道跡（全体図、図版4）

C5-R8・9～C5-U10・11グリッド内に道跡を検出した。平安時代水田址がとぎれた西側のやや微高地に位置し、圧縮された土層と小礫を含む土層で検出された。長さは約18mまで確認でき、幅は2.6～3.0m程で、高さは断面により約30cm程ある。また付近には近世以後の遺物を含むW-4などもあり、土地改良前まで使用されていた新しいものと思われる。

中原遺跡群III出土遺物観察表

注: 法量は①口徑②底径③洞部最大径④縫合徑⑤横部厚⑥高径長さ⑦縫合厚み⑧穿孔をcmで⑨重量をgで表し、()は推定値を示す。

番号	出土位置	形態(種)	法量	①断面・空洞成形②色調③残存	器形・製作・接法の特徴	
					立ち上がり中央部にふくらみを持つ外縁立ち上がり部構ナダ底面へラ削り内面の外周1/2まで側ナダ底部中央部へラ削き古式土器と思われる硬質土器内外1/4程の黒色鐵灰あり横微环	口縫部やや外反する外縁立ち上がり部構ナダ底面へラ削り内面縫部にかかる横ナダ底面1/2までへラ削き内外1/4程黒色吸泥古式土器に近い硬質土器横微环
1	H-1	环(土器)	⑩12.1⑪11.9⑫5.3	①側面 黑留母 石英 粗石脱 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/8 ④ほぼ完	口縫部やや外反する外縁立ち上がり部構ナダ底面へラ削り内面縫部にかかる横ナダ底面1/2までへラ削き内外1/4程黒色吸泥古式土器に近い硬質土器横微环	立ち上がり中央部にふくらみを持つ外縁立ち上がり部構ナダ底面へラ削り内面の外周1/2まで側ナダ底部中央部へラ削き古式土器と思われる硬質土器内外1/4程の黒色鐵灰あり横微环
2	H-1	环(土器)	⑩12.6⑪11.9⑫5.0	①口 环 黑留母 石英 粗石脱 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/8 ④完好	口縫部やや外反する外縁立ち上がり部構ナダ底面へラ削り内面縫部にかかる横ナダ底面1/2までへラ削き内外1/4程黒色吸泥古式土器に近い硬質土器横微环	立ち上がり中央部にふくらみを持つ外縊立ち上がり部構ナダ底面へラ削り内面の外周1/2まで側ナダ底部中央部へラ削き古式土器と思われる硬質土器横微环
3	H-1	环(土器)	⑩11.8⑪11.6⑫5.2	①側面 黑留母 石英 長石 粗石脱 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/8 ④完好	半球状の丸い身部 赤色彫彩 外縁立ち上がり部構ナダ底面へラ削り内面へラ削削後底面にかかる横ナダ底面へラ削り内面へラ削削	半球状の丸い身部 赤色彫彩 外縁立ち上がり部構ナダ底面へラ削り内面へラ削削後底面にかかる横ナダ底面へラ削り内面へラ削削
4	H-1	环(土器)	⑩12.4⑪11.2⑫4.6	①側面 黑留母 ②良好 ③物2.5YR6/8 ④4/5	縫平な底部 立ち上がり中央部にふくらみを持つせ口縫部を外反 外縁立ち上がり部構ナダ底面へラ削り 内面底面へラ削き底面にかかる横ナダ底面へラ削き 横微环	縫平な底部 立ち上がり中央部にふくらみを持つせ口縫部を外反 外縁立ち上がり部構ナダ底面へラ削り 内面底面へラ削き底面にかかる横ナダ底面へラ削き 横微环
5	H-1	环(土器)	⑩12.8⑪12.2⑫5.1	①側面 黑留母 石英 粗石脱 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/8 ④4/5	口縫部外反 赤色彫彩 外縁立ち上がり部構ナダ底部へラ削り 内面立ち上がり部構ナダ底面へラ削削後同心円状の横ナダを全面に施す 古式土器 横微环	口縫部外反 赤色彫彩 外縁立ち上がり部構ナダ底部へラ削り 内面立ち上がり部構ナダ底面へラ削削後同心円状の横ナダを全面に施す 古式土器 横微环
6	H-1	环(土器)	⑩12.8⑪11.6⑫5.1	①側面 黑留母 石英 ②良好 ③明赤褐2.5YR5/8 ④1/2	立ち上がり部外反 赤色彫彩 外縁立ち上がり部構ナダ底部へラ削り 内面立ち上がり部構ナダ底面へラ削削後底面1/2から立ち上がり部まで横ナダ 古式土器 底面から立ち上がり部まで黒色鐵灰脱あり 横微环	立ち上がり部外反 赤色彫彩 外縁立ち上がり部構ナダ底部へラ削り 内面立ち上がり部構ナダ底面へラ削削後底面1/2から立ち上がり部まで黒色鐵灰脱あり 横微环
7	H-1	环(土器)	⑩16.4⑪16.1⑫6.6	①側面 黑留母 石英 粗石脱 ②良好 ③赤10R5/8 ④1/2	赤色彫彩 外縁立ち上がり部構ナダ底部へラ削り 内面彫削へラ削削 立ち上がりから底面にかけて横ナダ 横微环	赤色彫彩 外縁立ち上がり部構ナダ底部へラ削り 内面彫削へラ削削 立ち上がりから底面にかけて横ナダ 横微环
8	H-1	高环(土器)	⑩9.4 ⑪3.6	①側面 黑留母 石英 粗石脱 ②良好 ③赤10R5/8 ④脚部充形	既く高い接地面を持つ変更した作り 环部に押し込む作り 外縁構ナダ 内縫接ナダ 赤色彫彩 古式土器	既く高い接地面を持つ変更した作り 环部に押し込む作り 外縁構ナダ 内縫接ナダ 赤色彫彩 古式土器
9	H-1	瓶(土器)	⑩28.2⑪8.9⑫31.9	①常 黑留母 粗石 ②良 ③に上 ④17.5YR6/4 ⑤4/5	広口の单孔型 外面口縫部構ナダ 体部単位のヘラ削り 内面へラナダ 体部に赤色吸泥あり	広口の单孔型 外面口縫部構ナダ 体部単位のヘラ削り 内面へラナダ 体部に赤色吸泥あり
10	H-1	甕(土器)	⑩17.6⑪25.1 ⑫19.9⑬33.1	①常 黑留母 粗石 ②良 ③に上 ④17.5YR6/4 ⑤1/3	瓶頂部に最大径を持つ 外面へラ削り 口縫部構ナダ 内面へラナダ 口縫部構ナダ 下半部赤色吸泥 上部から口縫にかけて二次焼成垢を受ける	瓶頂部に最大径を持つ 外面へラ削り 口縫部構ナダ 内面へラナダ 口縫部構ナダ 下半部赤色吸泥 上部から口縫にかけて二次焼成垢を受ける
11	罐トレンチCS-U1 グリット	小型罐(土器)	⑩13.1⑪5.5⑫13.9 ⑬11.5⑭13.0	①側面 黑留母 石英 粗石 長石 ②良好 ③良 ④脚部充形 ⑤ほぼ完形	平底で丸い体部 外面の瘤肌が充る 外面縫部から口縫部構ナダ 体部へラ削り後へラ削削 内面口縫部から脚部構ナダ 体部へラ削り後へラ削削 内面へラ削き 底部から第2節(4.8cm)まで作り直す 2/3以上に二次焼成垢と黒色鐵灰を受ける 古式土器	平底で丸い体部 外面の瘤肌が充る 外面縫部から口縫部構ナダ 体部へラ削り後へラ削削 内面口縫部から脚部構ナダ 体部へラ削り後へラ削削 内面へラ削き 底部から第2節(4.8cm)まで作り直す 2/3以上に二次焼成垢と黒色鐵灰を受ける 古式土器
12	罐トレンチCS-U1 グリット	小型罐(土器)	⑩26.8 ⑪(12.8)	①常 黑留母 石英 粗石 貝附 ②良好 ③に上 ④17.5YR6/4 ⑤2/5	赤色彫彩瓶が残る 外面縫位のヘラ削き 内面へラナダ 古式土器に近い比重	赤色彫彩瓶が残る 外面縫位のヘラ削き 内面へラナダ 古式土器に近い比重

溝・水路計測表

(推定値)

No	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(m)	勾配(%)	幅(cm)	流方向	位置(グリッド)	備考
W-1 (25)	N 6 S 7	N77.89 S77.70	7.60	上50~100 下20~30	N→S	C3-M2021 ↓ D3-A20	畦畔・水田面を削っている	
2 (24.9)	N 8 S 6	N77.83 S77.69	5.62	上60~90 下20~30	N→S	C3-M22 ↓ C3-S21	畦畔・水田面を削っている	
3 32.3	W20 E38	W77.83 E77.52	9.60	上67~84 下30~48	W→E	C5-O・P10 ↓ C5-O19	畦畔・水田面を削っている	
4 (58.1)	N142 S213	N76.65 S75.85	13.77	上300~425 下175~285	N→S	C4-R・S24 ↓ D5-A1011	土地改良前まで使用	

各溝の土層注記

- W-1 1 灰褐色粘質土層 2 灰色細砂粗砂層輕石粒を含む
- W-2 1 灰色粗砂層と絆石と灰褐色粘質土層を含む(穴吹状に底が掘られ、確認時に818年洪水層・水田面・畦畔を切っていた。As-B 瓦石と礫を含んでいる。)
- W-3 1 灰褐色土層粘性・縫まりややあり細砂とFP粒を含む 2 灰褐色土層粘性・縫まりややあり細砂を含む
- W-4 1 灰褐色土層を基本に細砂・小砾を含む砂質土層で埋まっている

水田址計測表

() は推定値・検出面積及び推定形状。N・S・E・W は畦野位置を示す

田間 No	面 積 (m ²)	東 畦 (m)	南 畦 (m)	西 畦 (m)	北 畦 (m)	形 状	水 口 (か所)	備 考
1	(23.86)	(8.6)	—	—	—	不明	—	東が大畦
2	(68.84)	(10.9)	(15.0)	—	—	不明	S=2	—
3	(238.18)	10.5	25.2	(6.2)	(15.0)	(横長方形)	N=1,S=1	西が大畦
4	(110.46)	(9.4)	—	(2.4)	25.2	不明	N=1,E=1	西が大畦
5	(77.98)	(11.4)	(16.5)	—	—	不明	S=1	—
6	(123.75)	6.5	25.2	(1.9)	(16.5)	平行四辺形	N=1,S=1	—
7	206.16	(9.3)	25.7	9.0	25.2	平行四辺形	N=1,S=1,E=1	—
8	229.78	11.1	26.1	11.3	25.7	平行四辺形	N=1,E=1	—
9	(127.72)	(10.4)	—	(9.4)	15.1	不明	—	—
10	(99.44)	7.9	(8.9)	(10.4)	11.0	(台形)	—	南が大畦
11	(14.78)	(5.3)	—	—	7.1	不明	—	北が大畦
12	(12.01)	(4.0)	(6.1)	—	—	不明	E=1	—
13	(48.57)	6.2	(14.2)	—	(6.1)	不明	—	—
14	(65.59)	4.2	(21.7)	—	(14.2)	不明	S=1	—
15	(287.98)	14.9	22.9	—	(21.7)	平行四辺形	N=1,E=1	—
16	222.52	12.1	23.1	11.1	22.9	平行四辺形	S=2	—
17	175.07	3.3	21.2	14.4	23.1	台形	N=2,S=3,W=1	—
18	164.54	7.9	22.9	7.9	21.2	横長方形	N=3,S=3	南が大畦
19	(77.65)	7.6	(8.2)	(5.3)	12.2	不定形	N=1	北が大畦
20	28.51	5.1	6.8	4.0	6.9	横長方形	N=1,S=1	北が大畦小区画
21	(38.13)	(9.2)	—	—	8.2	不明	—	—
22	(91.36)	13.1	(5.6)	(12.6)	6.7	不定形	N=1,S=2	—
23	(15.05)	(5.3)	—	—	(5.6)	不明	N=1	—
24	54.66	19.1	2.8	18.2	3.4	不定形	S=1,E=2,W=1	北が大畦
25	(16.45)	6.4	(1.9)	(5.3)	2.8	(縦長方形)	N=1,E=1,W=1	小区画
26	(1.75)	(1.2)	—	—	(2.3)	不明	—	—
27	(10.89)	—	(1.4)	(3.5)	—	不明	—	—
28	(3.58)	(3.5)	(5.2)	—	—	不明	—	—
29	(40.62)	—	(14.9)	(0.7)	(9.1)	不明	—	—
30	(1.24)	—	—	(3.9)	(1.4)	不明	—	—
31	(54.90)	—	(17.2)	(4.1)	(14.9)	不明	S=1,W=1	—
32	(103.95)	—	(18.9)	7.0	(17.2)	不明	N=1	—
33	(99.86)	—	(21.9)	6.9	(18.9)	不定形	S=1	—
34	98.35	10.6	10.1	11.1	9.2	方形	S=1,E=1	足跡有
35	227.05	19.8	11.9	22.0	10.1	縦長方形	N=1	南が大畦
36	(103.41)	—	(7.4)	15.9	(9.2)	不明	N=1,S=1	—
37	(79.65)	—	(6.7)	11.1	(7.4)	不明	N=1,S=1	南が大畦
38	24.93	(7.1)	—	10.1	(6.9)	三角形	W=1	北が大畦
39	63.16	17.4	—	19.9	6.9	台形	E=1	北が大畦、足跡有
40	123.74	25.9	—	29.8	7.0	不定形	N=1,S=2,W=1	北が大畦
41	207.37	3.1	23.0	15.4	26.1	不定形	N=2S=1E=1W=1	足跡有
42	143.46	5.3	23.3	7.0	23.0	横長方形	N=1,E=1	—
43	(122.43)	8.9	(14.9)	(1.2)	23.3	(横長方形)	N=1,S=1	足跡有
44	(63.55)	5.8	(5.7)	—	(14.9)	不明	N=1,S=1	陥没有
45	(16.98)	(6.1)	—	—	(5.7)	不明	N=1,E=1	陥没有
46	(3.94)	—	(1.5)	(8.5)	—	不明	S=1	—
47	(19.91)	—	(4.2)	7.3	(1.5)	不明	N=1,S=1	—
48	(21.00)	—	(5.9)	4.9	(4.2)	不明	N=1,S=1	—

出面 No	面積 (m ²)	東 眼 (m)	南 眼 (m)	西 眼 (m)	北 眼 (m)	形 状	水 口 (か所)	備 考
49	(29.76)	—	(6.9)	6.1	(5.9)	不明	N=1, E=1	足跡多数
50	(22.35)	—	(8.1)	4.0	(6.9)	不明	E=1	—
51	(126.76)	—	(16.1)	12.3	(8.1)	不明	—	—
52	(47.41)	(6.7)	—	(6.1)	7.9	不明	W=1	—
53	(124.35)	—	(4.9)	(6.7)	(8.2)	不明	—	—
54	(24.53)	—	—	—	(4.9)	不明	—	—
55	—	(8.6)	—	—	—	不明	—	—
56	(31.09)	(9.7)	4.4	(8.6)	—	(縦長方形)	—	—
57	(1.70)	(1.0)	(4.6)	—	—	不明	S=1	—
58	(123.04)	10.2	12.1	(9.7)	(4.6)	(横長方形)	N=1, E=1	—
59	(15.39)	—	(9.0)	(1.0)	—	不明	S=1	—
60	(103.64)	—	(11.0)	10.2	(9.0)	不明	N=1, E=1	—
61	(29.40)	(7.5)	(5.0)	7.2	4.4	(縦長方形)	—	—
62	43.81	3.6	12.9	(4.2)	12.1	横長方形	E=1	—
63	(133.72)	(25.5)	(5.1)	(26.5)	(5.0)	(縦長方形)	—	—
64	191.00	19.1	10.3	(12.5)	12.9	縦長方形	S=1, E=1	—
65	(287.09)	—	(15.3)	21.5	(11.0)	不明	W=2	—
66	115.56	11.0	11.3	11.5	10.3	方形	E=1	足跡有
67	106.83	10.0	10.3	11.0	11.1	方形	N=1, W=1	—
68	(55.31)	—	7.0	10.0	(4.2)	不明	S=1	—
69	—	—	—	(5.1)	—	不明	E=1	—
70	102.12	9.9	(10.9)	(11.0)	11.3	方形	—	—
71	111.32	10.7	11.0	11.3	10.3	方形	S=1, E=1	—
72	(80.55)	—	9.5	10.7	7.0	不明	N=1, S=1, W=1	—
73	—	—	—	—	—	不明	—	—
74	32.03	11.9	3.3	10.7	5.6	不定形	—	—
75	(177.01)	—	16.9	12.5	15.0	不定形	N=2, S=1	—
76	—	(4.1)	—	—	—	不明	E=1	南が大畦
77	—	—	3.1	(4.1)	—	不明	S=1, W=1	南が大畦
78	78.92	20.4	5.5	18.1	—	不定形	S=1, E=1, W=1	南が大畦
79	291.61	(23.9)	11.9	25.4	16.9	不定形	N=1, W=1	南が大畦
80	(50.54)	—	6.2	(23.9)	—	不明	—	南が大畦
81	—	(20.2)	—	—	—	不明	—	北が大畦
82	—	—	—	(20.2)	8.0	不明	—	北が大畦
83	162.25	36.2	9.7	32.2	6.0	不定形	N=1	北が大畦
84	152.46	35.2	5.0	36.2	5.2	縦長方形	N=1, E=1	北が大畦
85	120.54	37.3	5.0	35.2	3.9	不定形	E=2, W=1	北が大畦
86	175.84	(9.4)	—	28.8	(10.8)	不明	W=1	北が大畦
87	(24.33)	—	(2.0)	(17.9)	—	不明	W=1	—
88	(38.96)	(5.4)	(3.8)	8.9	9.2	不定形	—	—
89	23.44	4.0	8.9	—	10.4	不定形	—	—
90	(41.21)	—	—	(5.5)	15.0	不明	—	—
91	(6.24)	—	(5.2)	—	(4.4)	不明	—	—
92	(18.01)	—	(6.1)	4.0	(5.2)	不明	—	—

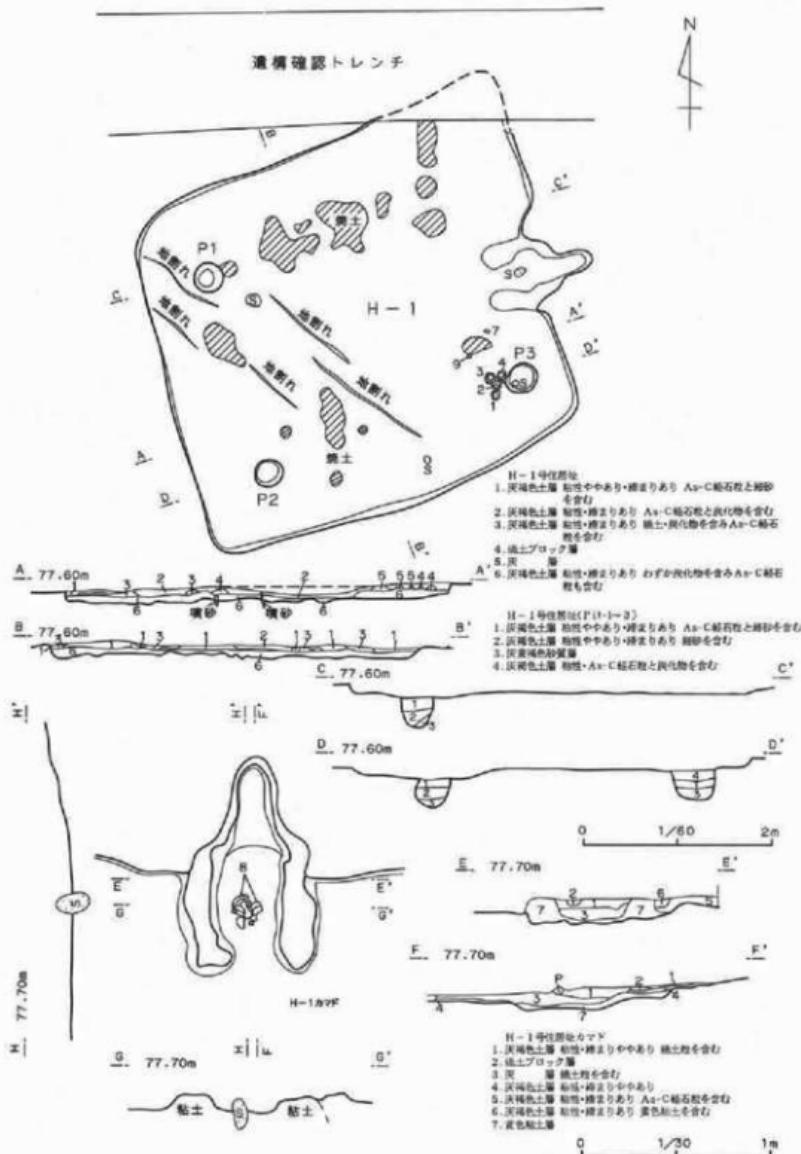
畦畔断面計測表

単位: cm

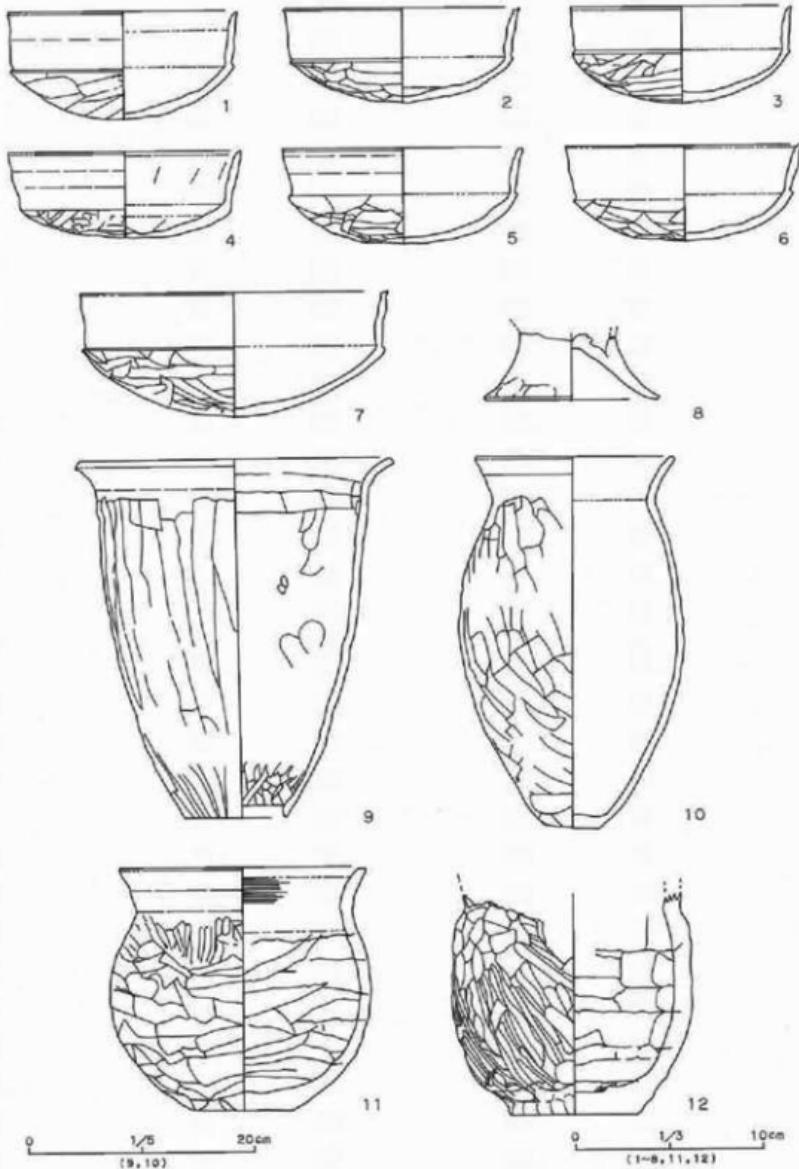
No.	グリッド	上端幅		下端幅		畦の高さ				No.	グリッド	上端幅		下端幅		畦の高さ			
		N	S	E	W	N	S	E	W			N	S	E	W	N	S	E	W
A-1	C3-A・B18	18	35	4	12	—	—	—	—	49	C3-M19	18	36	—	—	8	12	—	—
2	C3-A19	16	31	—	—	7	7	—	—	50	C3-N13	21	50	—	—	10	9	—	—
3	C3-A21①	27	41	8	10	—	—	—	—	51	C3-N15	47	83	11	18	—	—	—	—
4	C3-A21②	16	35	3	4	—	—	—	—	52	C3-N16	18	38	—	—	5	8	—	—
5	C3-A22	19	42	6	5	—	—	—	—	53	C3-N17	45	72	12	18	—	—	—	—
6	C3-B21	15	42	10	15	—	—	—	—	54	C3-N18①	15	32	—	—	13	13	—	—
7	C3-B22	22	33	4	9	—	—	—	—	55	C3-N18②	44	76	8	12	—	—	—	—
8	C3-C8	25	52	—	—	5	6	—	—	56	C3-N19	31	47	—	—	5	9	—	—
9	C3-C17	21	39	5	11	—	—	—	—	57	C3-N20	52	71	8	22	—	—	—	—
10	C3-C18	20	39	5	8	—	—	—	—	58	C3-N21	48	64	8	14	—	—	—	—
11	C3-C19	26	42	—	—	8	8	—	—	59	C3-N23	47	65	10	13	—	—	—	—
12	C3-C21	23	52	6	10	—	—	—	—	60	C3-O-P14	15	42	5	10	—	—	—	—
13	C3-D2	50	68	—	—	7	12	—	—	61	C3-O15	21	64	—	—	10	5	—	—
14	C3-D6	18	32	5	9	—	—	—	—	62	C3-O17	11	36	6	11	—	—	—	—
15	C3-D12	22	48	4	6	—	—	—	—	63	C3-O22	18	35	—	—	11	6	—	—
16	C3-D13・14	20	48	—	—	5	8	—	—	64	C3-O23	19	35	—	—	6	8	—	—
17	C3-D19	33	52	—	—	9	8	—	—	65	C3-O24	34	50	—	—	6	5	—	—
18	C3-E8	24	53	—	—	8	9	—	—	66	C3-P15	24	41	—	—	5	4	—	—
19	C3-E10	18	41	7	10	—	—	—	—	67	C3-P18・19	20	50	—	—	9	9	—	—
20	C3-E13・14	36	56	—	—	2	3	—	—	68	C3-P24	23	53	—	—	4	5	—	—
21	C3-E19	21	30	12	10	—	—	—	—	69	C3-Q18	24	50	—	—	4	6	—	—
22	C3-E21	19	37	7	9	—	—	—	—	70	C3-Q22	27	37	5	10	—	—	—	—
23	C3-F13	13	60	—	—	8	7	—	—	71	C3-Q24	35	54	—	—	8	7	—	—
24	C3-F21	18	33	9	11	—	—	—	—	72	C3-R17	24	47	5	7	—	—	—	—
25	C3-G・H6	20	43	4	7	—	—	—	—	73	C3-R18	30	59	5	10	—	—	—	—
26	C3-G8	18	43	—	—	8	10	—	—	74	C3-R24①	32	48	—	—	6	7	—	—
27	C3-G10	17	42	6	5	—	—	—	—	75	C3-R24②	20	40	—	—	12	8	—	—
28	C3-G13・14	35	56	—	—	5	7	—	—	76	C3-S18①	27	48	—	—	8	6	—	—
29	C3-G16	15	54	4	14	—	—	—	—	77	C3-S18②	17	35	—	—	5	7	—	—
30	C3-G19	28	46	—	—	12	9	—	—	78	C3-S20	16	29	—	—	13	4	—	—
31	C3-G・H22	22	26	8	10	—	—	—	—	79	C3-S24①	22	46	—	—	13	14	—	—
32	C3-H13	32	51	—	—	5	4	—	—	80	C3-S24②	20	44	—	—	7	4	—	—
33	C3-H18・19	25	45	—	—	4	7	—	—	81	C3-T18	22	34	4	9	—	—	—	—
34	C3-H・I20	23	52	6	10	—	—	—	—	82	C3-T24	23	41	11	6	—	—	—	—
35	C3-H21	16	35	—	—	12	12	—	—	83	C3-U21	21	36	4	10	—	—	—	—
36	C3-I8	23	46	—	—	8	7	—	—	84	C3-V・W22	15	34	6	9	—	—	—	—
37	C3-I・J10	13	40	7	12	—	—	—	—	85	C3-V24	18	34	—	—	8	8	—	—
38	C3-J16	16	34	4	9	—	—	—	—	86	C3-X23	23	29	10	11	—	—	—	—
39	C3-J13	19	45	—	—	9	10	—	—	87	C3-X23・24	31	46	—	—	8	5	—	—
40	C3-J19	21	55	—	—	8	11	—	—	88	C3-Y23	23	42	—	—	18	15	—	—
41	C3-J21・22	19	42	—	—	8	8	—	—	89	C4-R0	20	38	8	8	—	—	—	—
42	C3-K19	28	52	—	—	5	6	—	—	90	C4-S・T0	22	44	12	8	—	—	—	—
43	C3-K22	21	36	—	—	9	8	—	—	91	C4-U0	16	35	5	8	—	—	—	—
44	C3-K24	25	47	3	6	—	—	—	—	92	C4-V0	15	41	8	14	—	—	—	—
45	C3-L11	15	34	—	—	3	4	—	—	93	D4-B1	31	47	—	—	5	9	—	—
46	C3-L13・14	23	50	—	—	12	15	—	—	94	D4-F・G3	30	66	5	13	—	—	—	—
47	C3-L15	23	46	8	10	—	—	—	—	95	B5-R12①	29	40	4	8	—	—	—	—
48	C3-M・N12	66	74	10	12	—	—	—	—	96	B5-R12②	26	50	—	—	9	5	—	—

単位: cm

No.	グリッド	上端 標高	下端 標高	畦の高さ				No.	グリッド	上端 標高	下端 標高	畦の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
97	B5-R13	30	46	7	10	—	—	126	C5-J15	16	40	4	8	—	—
98	B5-S8	27	50	—	—	8	7	127	C5-K13・14	23	50	—	—	12	3
99	B5-T12	25	50	—	—	10	4	128	C5-L13	32	45	—	—	8	4
100	B5-U8	22	50	4	5	—	—	129	C5-M15	22	44	—	—	11	6
101	B5-U11	27	51	4	10	—	—	130	C5-N17・18	17	42	—	—	14	6
102	B5-U14	23	32	7	13	—	—	131	C5-O・P11	95	120	7	4	—	—
103	B5-V11	24	45	4	6	—	—	132	C5-O12	35	64	—	—	7	6
104	B5-W8	28	—	—	3	—	—	133	C5-P13	64	99	19	7	—	—
105	B5-X9	29	60	—	—	11	8	134	C5-P15・16	62	102	18	6	—	—
106	B5-X12	30	50	—	—	9	6	135	C5-P18	72	111	29	16	—	—
107	C5-A・B11	20	60	6	4	—	—	136	C5-S15	21	60	—	—	14	7
108	C5-B13	22	48	9	8	—	—	137	C5-S17	27	45	—	—	8	8
109	C5-B15	29	60	5	9	—	—	138	C5-T14	51	68	—	—	8	4
110	C5-C9	48	70	—	—	11	4	139	C5-T17	30	51	—	—	8	9
111	C5-C12	34	40	—	—	8	4	140	C5-U19・20	38	66	—	—	8	9
112	C5-C15	28	21	—	—	14	6	141	C5-V19	32	58	—	—	4	10
113	C5-D9	48	80	4	7	—	—	142	C5-X16	34	69	4	8	—	—
114	C5-D10	35	69	9	7	—	—	143	C5-X17①	28	70	9	9	—	—
115	C5-D13	34	60	7	9	—	—	144	C5-X17②	49	82	—	—	7	10
116	C5-D15	22	50	5	6	—	—	145	C5-X18	46	73	3	7	—	—
117	C5-E9	41	51	—	—	13	4	146	C5-X19①	65	97	6	4	—	—
118	C5-E12	26	52	—	—	11	3	147	C5-X19②	22	47	7	11	—	—
119	C5-F15	23	60	—	—	14	7	148	C5-X20	29	56	12	9	—	—
120	C5-G11	37	—	5	—	—	—	149	C5-Y15	33	60	4	11	—	—
121	C5-G13	33	46	8	7	—	—	150	C5-Y17	32	66	—	—	9	12
122	C5-G14	27	55	8	10	—	—	151	C5-Y18	39	62	4	12	—	—
123	C5-G15	25	60	5	7	—	—	152	C5-Y19	21	61	—	—	8	4
124	C5-I13	18	35	—	—	9	3	153	D5-A20	—	42	6	—	—	—
125	C5-J13	18	50	7	10	—	—								



第6図 1号住居址・カマド実測図



第7図 古墳時代の遺物

VI 中原遺跡群 V

1. 概要

本年度の発掘調査では、1面目から水田址が243面、溝・水路跡24条、礎状遺構、溜池状遺構が各1か所、土坑が363基、掘立柱遺構4か所、井戸址3基、集石1か所を検出した。また1、2面目調査を合わせて住居址26軒が検出されている。

水田址は、818（弘仁9）年の地震に起因する洪水堆積層で覆われて検出されていることから、平成4、5度調査で検出した水田址と同一のものである。その他の遺構は、洪水堆積層や水田層を掘り込んでいることから、中世以降のものと考えられる。さらに2面目から検出した住居址は、検出遺物より古墳時代中期～後期までのもの10軒と奈良・平安時代の住居址16軒である。

2. 遺構と遺物

（1）住居址

H-1号住居址（第8図、図版5）

位 置 E 3 - G 5・6・7, H 5・6・7グリッド

床面積 14.79m² 主軸方向 N-120°-E

形 状 長辺4.24m、短辺3.74mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均12cmを測る。

床 面 ほぼ平坦な床で、軽石粒とHr-FAを含む。住居址中央に床下土坑が検出された。長径2.3m、短径1.7m、深さ16cmを測り、楕円形を呈する。

備 考 遺物の分布範囲を広げて検出した。覆土中に小砾（川石）の混入やHr-FAの堆積も見られた。住居址全体はやや小さい。カマド・柱穴等は検出されなかった。

遺 物 図示したものは、No.1・2坪、3塊、4高环、5～10石製模造品などで、時期は古墳時代後期前半～中葉と思われる。

H-2号住居址（第8図、図版5）

位 置 E 3 - H 8・9グリッド

床面積 11.30m² 主軸方向 N-97°-E

形 状 長辺4.09m、短辺3.21mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均12cmを測る。

床 面 平坦でAs-C軽石を含む土層を床としている。

備 考 遺物分布範囲を広げて検出し、覆土に砾が多く含まれ、Hr-FAの堆積も見られた。住居址全体はやや小さい。カマド・柱穴等は検出されなかった。

遺 物 図示したものは、No.11坪、12・13・14塊などがある。時期は古墳時代中期後半～後期前半と思われる。

H-3号住居址（第9図、図版5）

位 置 D 3-P 4・5, Q 4・5 グリッド

床面積 (21.97)m² 主軸方向 N-44°-E

形 状 長辺5.39m, 短辺4.80mの隅丸方形を呈する。壁高は平均27cmを測る。

床 面 平坦な床で全体に3~4cm程の白色粘土の貼り床が施されている。

柱 穴 住居址の四隅に検出した。P-1は長径27cm、短径26cm、深さ39cmのほぼ円形、P-2長径31cm、短径26cm、深さ33cmのほぼ円形、P-3径20cm、深さ24cmの円形、P-4長径32cm、短径26cm、深さ29cmの楕円形を呈する。

備 考 炭化物の分布範囲を広げて検出した。また床面に炭化物や灰の分布が見られたことから焼失住居の可能性も考えられる。カマドは検出されなかった。

遺 物 図示したものは、Na15蓋、16・17・18塊、19壺、20高坏などがある。時期は古墳時代中期後半~後期前半と思われる。

H-4号住居址 (第9・10図、図版5・6)

位 置 D 3-Q 5・6, R 5・6 グリッド

床面積 (18.96)m² 主軸方向 N-162°-E

形 状 長辺4.88m, 短辺4.55mの隅丸方形を呈する。壁高は平均32.5cmを測る。

床 面 平坦で炭化物とAs-C軽石を含む土層を床としている。

カマド 東壁中央やや南寄りに位置し、全長100cm、全幅74cm、焚口部幅29cm、主軸方向N-79°-Eを測る。全体に黄色粘土が使用され、支脚石の代わりに使用したと思われる逆さに伏せた高坏を検出した。他に甕、壺片なども検出している。

柱 穴 住居址の四隅に検出した。P-1は径30cm、深さ24cmの円形、P-2長径26cm、短径25cm、深さ14cmのほぼ円形、P-3径29cm、短径26cm、深さ19cmのほぼ円形、P-4長径24cm、短径21cm、深さ19cmの楕円形を呈する。

貯藏穴 住居南東隅、カマド右側に陳を掘り込んで作られている。長径84cm、短径50cm、深さ33cmの楕円形を呈する。貯藏穴からは、土師器・壺が検出した。

備 考 Hr-FAの分布範囲より広げ、検出した。壁の残りも良く、全体には焼土・炭化物の分布が見られる。

遺 物 図示したものは、No21・22甕、23壺、24高坏、25石製模造品勾玉などがある。時期は古墳時代中期後半~後期前半と思われる。

H-5住居址 (第10・11図、図版6)

位 置 D 3-T 6・7・8, U 6・7・8, V 6・7・8 グリッド

床面積 35.85m² 主軸方向 N-177°-E

形 状 長辺6.40m、短辺6.23mの隅丸方形を呈する。壁高は平均29.5cmを測る。

床面 小礫を含む平坦な床で、炭化物の混入が見られる。

炉 北壁側中央付近に検出した。長径98cm、短径81cm、深さ3~10cmを測る。焼土・灰に混じって石が1点検出した。

柱穴 住居址の四隅に検出した。P-1は長径51cm、短径44cm、深さ27cmのほぼ円形、P-2長径36cm、短径33cm、深さ26cmのほぼ円形、P-3長径43cm、短径34cm、深さ30cmの梢円形、P-4長径48cm、短径44cm、深さ25cmのほぼ円形を呈する。

備考 大型の住居址で、暗褐色土層や炭化物範囲で検出した。住居址の覆土や床面には、川石の混入や焼土・炭化物の分布が多く見られ、焼失住居の可能性が考えられる。

遺物 図示したものは、No26甕、27甕、28石製模造品劍形などがある。時期は古墳時代中期中葉~中期後半と思われる。

H-5号住居址(第12図、図版6)

位置 D3-U4・5、V3・4・5・6、W4・5・6、X4・5グリッド

床面積 (61.94)m² **主軸方向** N-149°-E

形状 長辺8.20m、短辺7.90mの隅丸方形を呈する。壁高は平均11.2cmを測る。

床面 平坦で全体に焼土・炭化物を含む土層を床としている。

カマド 東壁の中央南寄りに位置し、全長180cm、全幅104cm、焚口部幅28cm、主軸方向N-55°-Eを測る。両袖が住居内に長く作られている。遺物は土師器高环、甕片などが検出した。

柱穴 住居址の四隅とカマド南側に検出した。P-1は長径29cm、短径20cm、深さ25cmの梢円形、P-2長径29cm、短径26cm、深さ40cmのほぼ円形、P-3径28cm、短径25cm、深さ35cmの梢円形、P-4長径27cm、短径23cm、深さ52cmの梢円形、P-5長径39cm、短径32cm、深さ27cmの梢円形を呈する。

備考 大型の住居址で、焼土・炭化物の分布が見られる。

遺物 カマド付近で土師器の環が2枚に重なって検出した。図示したものは、No29・30・33・34甕、31・32环、35甕などがある。時期は古墳時代中期後半~後期前半と思われる。

H-7号住居址(第13図、図版7)

位置 D3-Y5・6、E3-A5・6グリッド

床面積 10.31m² **主軸方向** N-2°-E

形状 長辺3.47m、短辺3.42mの隅丸方形を呈する。壁高は平均13.4cmを測る。

床面 平坦な床で焼土・炭化物の分布が見られ、耕作痕による掘り跡が残る砂質の床である。

カマド 西壁中央付近に位置し、全長115cm、全幅104cm、焚口部幅33cm、主軸方向N-89°-Eを測る。全体が黄色粘土を使用して住居内に作られている。燃焼部は四角形に作られ、煙道部は住居内より作られている。遺物は、土師器甕片などを検出した。

柱穴 住居址の四隅に検出した。P-1は長径24cm、短径22cm、深さ18cmのほぼ円形、P-2長径20cm、短径18cm、深さ22cmのほぼ円形、P-3長径20cm、短径16cm、深さ22cmの梢円形、P-4長径22cm、短径19cm、深さ21cmの梢円形を呈する。

備考 小さい住居址でカマド付近を中心に焼土・炭化物の分布が見られる。土器もカマド付近に多く検出されている。

遺物 図示したものは、No.36壺、37塊、38高壺、39・40甕などがある。時期は古墳時代中期後半～後期前半と思われる。

H-8号住居址（第13・14図、図版7）

位置 D3-X8・9・10, Y8・9・10グリッドF

床面積 (28.34)m² **主軸方向** N-154°-E

形状 長辺6.30m、短辺5.46mの長方形を呈する。壁高は平均35.6cmを測る。

床面 平坦でAs-C軽石を含む土層を床としている。数か所に地震によるとと思われる噴砂跡が見られた。

カマド 東壁の中央やや南側に位置し、トレンチにより煙道部を切られている。全長不明、全幅74cm、焚口部幅29cmを測る。主軸方向N-70°-Eを測る。黄色粘土を使用し、長さ21cm、幅15cmの支脚石や長さ17～22cm、幅13～15cmの左右の袖石などが検出されている。遺物は土師器壺、環片などを検出した。

柱穴 南東隅に検出した。長径37cm、短径36cm、深さ33cmのほぼ円形を呈する。

備考 やや大きい住居址で、確認時Hr-FAの分布や川石などの混入が見られた。また床面には焼土、炭化物の分布も見られた。

遺物 図示したものは、No.41・42壺、43・44塊、45高壺、46石製模造品剣形などがある。時期は古墳時代後期前半～中葉と思われる。

H-9号住居址（第14・15図、図版7・8）

位置 E3-A9, B8・9・10, C9グリッド

床面積 12.60m² **主軸方向** N-37-E

形状 長辺4.70m、短辺3.60mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均35.6cmを測る。

床面 平坦で小礫や細砂・As-C軽石を含む土層を床としている。

カマド 東壁の中央やや南よりに位置し、全長113cm、全幅91cm、焚口部幅27cm、主軸方向N-32°-Eを測る。住居内には黄色粘土を使用した両袖が伸び、燃焼部には長さ27cm、幅8～10cm程の支脚石を検出した。遺物は土師器壺、高壺、甕片を検出した。

柱穴 南東隅に検出した。長径29cm、短径25cm、深さ19cmの梢円形を呈する

貯藏穴 カマドの右側に位置し、ほぼ完形の甕が検出された。長径67cm、短径52cm、深さ36cmの

梢円形を呈す

備考 やや細長く小さい住居址で、覆土に炭化物を含み、床面に川石や小砾の混入が見られた。
遺物 図示したものは、No47环（受身）、48蓋、49塊、50・51甕、52・53甕などがある。時期は古墳時代中期後半～後期前半と思われる。

H-10号住居址（第15・16図、図版8）

位置 D 3-Y 1・2, E 3-A 0・1・2, B 1・2グリッド

床面積 27.58m² **主軸方向** N-48°-E

形状 長辺5.73m、短辺5.44mの隅丸方形を呈する。壁高は平均16.6cmを測る。

床面 ほぼ平坦な床で、小砾が混入している。また焼土・炭化物も床面全体に見られる。

カマド 東壁の中央やや南側に位置し、全長100cm、全幅85cm、焚口部幅23cm、主軸方向N-46°-Eを測る。黄色粘土を使用して作られ、焚口付近に高坏が2個逆さに伏せた状態で検出された。

柱穴 北壁側に2か所と南西隅側に1か所検出した。P-1は長径28cm、短径27cm、深さ28cmのほぼ円形、P-2長径30cm、短径28cm、深さ23cmのほぼ円形、P-3径25cm、短径22cm、深さ23cmの梢円形を呈する。

貯蔵穴 南東隅に検出し疊層まで掘り込んでいる。長径94cm、短径86cm、深さ32cmの梢円形を呈する。

備考 住居址検出時、Hr-FAや川石等の分布が見られ、覆土の中には焼土、炭化物の混入があり、焼失住居の可能性が考えられる。

遺物 図示したものは、No54环（受身）、55环、56・57甕、58・59甕、60・61高坏、62・63石製模造品有孔円板（鏡）、64・65劍形、68・69勾玉、66ビーズ玉、67管玉などや70砥石がある。時期は古墳時代中期後半～後期前半と思われる。

H-11号住居址（第16・17図、図版12）

位置 E 6-Y 8・9, F 6-A 8・9グリッド

床面積 13.85m² **主軸方向** N-150°-E

形状 長辺4.25m、短辺3.63mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均5.3cmを測る。

床面 北側がやや下がり気味でAs-C軽石を含む土層を床としている。

カマド 東壁の南寄りに位置し、全長140cm、全幅118cm、焚口部幅43cm、主軸方向N-66°-Eを測る。黄色粘土を使用し、燃焼部分がほぼ四角形に作られている。遺物は土師器甕片などを検出した。

柱穴 南東隅に検出した。長径40cm、短径39cm、深さ12cmのほぼ円形を呈する。

備考 W-16と重複する。床、壁面が残っていることから、本住居跡が新しいと思われる。

遺物 土器器窓、坏片などを検出したが、図示できる遺物はなかった。

H-12号住居址（第17・18図、図版13）

位置 F 6-B 9・10・11, C 9・10・11グリッド

床面積 (18.38)m² 主軸方向 N-142°-E

形状 長辺4.95m、短辺4.18mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均22.3cmを測る。

床面 ほぼ平坦で、礫石粒を含む土層を床としている。カマド前がW-17によって掘り込まれている。

カマド 東壁の中央①と南寄り②に位置し、2基を有す。カマド①は全長51cm、全幅47cm主軸方向N-80°-Eを測る。カマド②は全長75cm、全幅64cm、主軸方向N-60°-Eを測る。①は焼土・灰の残りが多く、遺物は、土器器窓、坏片などを検出した。②は焼土・灰が①に比べて少ない。全体の残りは②の方が良く、①より新しいと思われる、カマドの作り替えと思われる。遺物は土器器窓片などを検出した。

備考 住居址はカマドを2基有し、作り替えが考えられる。W-17と重複し、住居址の床面が掘り込まれている。さらにW-16も住居址下に続くと思われる。柱穴、貯蔵穴は検出されなかった。

遺物 図示したものは、No71塊、72・73坏、75蓋、74坏などがある。時期は平安時代と思われる。

H-13号住居址（第18・19図、図版13）

標高 76.60~76.73m (平均76.67m)

床面積 7.40m² (調査面積) 主軸方向 N-172°-E

形状 長辺4.74m、短辺不明、形状不明。壁高は平均13.8cmを測る。

床面 ほぼ平坦で、わずか炭化物を含む床で、南側は黄灰色粘土の分布が見られる。W-23と重複している。

カマド 東壁の中央やや南寄りに位置し、全長161cm、全幅135cm、焚口部幅62cm、主軸方向N-84°-Eを測る。燃焼部には、長さ35cm、幅15cm程の支脚石も検出されている。また煙道部より土器器窓（ほぼ完形）や壺片などを検出している。

柱穴 北東・南東隅に検出した。P-1は径19cm、深さ15cmの円形、P-2長径19cm、短径17cm、深さ17cmのほぼ円形を呈する。

備考 一部の床面に粘土が見られ、貼り床と思われる。その下に灰や炭化物を敷いた痕跡が見られ、床がやや窪んでいる。またW-23と重複し住居址の床が残っていることからW-23が古いと思われる。

遺物 図示したものは、No76坏などがある。時期は奈良～平安時代と思われる。

H-14号住居址（第19図、図版13）

位置 F 6-D 10・11, E 10・11グリッド

床面積 10.27m² 主軸方向 N-158°-E

形状 長辺3.82m、短辺3.01mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均11.0cmを測る。

床面 ほぼ平坦で軽石と細砂を含む土層を床としている。西壁側はW-16に切られている。

カマド 東壁の中央やや南寄りに位置し、全幅79cm、全長108cm、焚口部幅32cm、主軸方向N-68°-Eを測る。焚口付近に構築材と思われる長さ18cm、幅7cm程の石を検出している。全体に残存状態が良くない。遺物は环片などを検出した。

柱穴 北東・南東隅に検出した。P-1は長径20cm、短径19cm、深さ12cmのほぼ円形、P-2は長径21cm、短径20cm、深さ11cmのほぼ円形を呈する。

備考 住居址の東側にW-17、西側にW-16・22があり、東側のW-17はカマドの煙道部近くを流れ、西側のW-16・22は住居址西壁を切っている。

遺物 土師器甌、坏、須恵器坏などを検出したが図示できる遺物はなかった。

H-15号住居址（第20図、図版13・14）

位置 F 6-F 9・10, G 9・10グリッド

床面積 10.78m² 主軸方向 N-178°-E

形状 長辺3.89m、短辺3.23mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均18cmを測る。

床面 ほぼ平坦で軽石と微砂を含む土層を床としている。

カマド 東壁の中央やや南寄りに位置し、全長122cm、全幅104cm、焚口部幅34cm、主軸方向N-80°-Eを測る。黄色粘土を使用し、燃焼部分がやや四角形に作られている。また燃焼部には、長さ25cm、幅15cmの支脚石や右袖の構築材と思われる石（長さ26~30cm、幅7~11cm）2個も検出された。また須恵器の蓋（完形）や甌・坏片などを検出している。

柱穴 住居址の四隅に検出した。P-1は長径21cm、短径20cm、深さ23cmのほぼ円形、P-2は長径24cm、深さ21cm円形、P-3は長径22cm、短径17cm、深さ15cmの稍円形、P-4は径20cm、深さ21cmの円形を呈する。

備考 W-23と重複し、本住居址がW-23を切っているので新しい。

遺物 ヘラ書き文字のある坏片などが検出した。図示した遺物はNa77蓋、78坏などがある。時期は平安時代と思われる。

H-16号住居址（第20・21図、図版14）

位置 F 6-B 12・13, C 12・13グリッド

床面積 16.90m² 主軸方向 N-67°-E

形状 長辺4.42m、短辺4.11mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均7.5cmを測る。

床面 ほぼ平坦で、焼土・炭化物・軽石を含む土層を床としている。

カマド 東壁の中央やや南寄りに位置し、全長107cm、全幅61cm、焚口部幅40cm、主軸方向N-65°-Eを測る。カマドの残存状態は良くない。

備考 H-17号住居址と重複し、本住居址がH-17を切っていることから新しい。柱穴・貯蔵穴は検出されなかった。

遺物 土師器壺、坏片などを検出したが図示できる遺物はなかった。

H-17号住居址（第21図、図版14）

位置 F 6-C 12・13, D 12・13グリッド

床面積 (24.23)m² **主軸方向** N-75°-E

形状 長辺5.04m、短辺4.91mの隅丸方形を呈する。壁高は平均8.0cmを測る。

床面 ほぼ平坦で、軽石を含む土層を床としている。

カマド 東壁の中央に位置し、全長69cm、全幅55cm、焚口部幅35cm、主軸方向N-80°-Eを測る。構築材の粘土ブロックは見られるが、焼土・炭化物・灰等はあまり見られない。残存状態は良くない。

備考 H-16号住居址と重複し、H-16に切られていることから本住居址が古い。柱穴・貯蔵穴は検出されなかった。

遺物 土師器壺、坏、須恵器坏片などを検出したが図示できる遺物はなかった。

H-18号住居址（第22・23図、図版14・15）

位置 F 6-A 17・18, B 17・18グリッド

床面積 13.46m² **主軸方向** N-163°-E

形状 長辺4.54m、短辺3.22mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均16.8cmを測る。

床面 やや窪みが見られるが、ほぼ平坦で砂質土層の面を床としている。

カマド 東壁の中央やや南寄りに位置し、全長142cm、全幅56cm、焚口部幅41cm、主軸方向N-72°-Eを測る。黄色粘土を使用し、燃焼部の掘り込みが深く作られている。遺物は土師器壺・坏片などが検出した。

柱穴 北壁側・南西隅に検出した。P-1は長径30cm、短径26cm、深さ24cmの梢円形、P-2長径29cm、短径26cm、深さ26cmの梢円形、P-3長径27cm、短径24cm、深さ21cmの梢円形を呈する。

貯蔵穴 南東隅に検出した。確認面や覆土中に川石が含まれていた。長径93cm、短径87cm、深さ63cmの梢円形を呈する。遺物は土師器壺、須恵器壺片などを検出した。

備考 H-19号住居址と南壁側で重複する。H-19を切っていることから本住居址が新しい。

遺物 図示したものは、貯蔵穴よりNo.79壺、80壺などがある。時期は平安時代と思われる。

H-19号住居址（第22・23図、図版15）

位置 F 6 - B 17・18, C 17・18グリッド

床面積 14.91m² 主軸方向 N-169°-E

形状 長辺4.11m、短辺3.53mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均12.8cmを測る。

床面 ほぼ平坦で砂質土層の面を床としている。

カマド 東壁の中央やや南寄りに位置し、全長164cm、全幅76cm、焚口部幅34cm、主軸方向N-92°-Eを測る。やや住居址東壁に対して全体が南方向に傾いている。黄色粘土を使用し、燃焼部の掘り込みがやや深く作られている。遺物は土師器壺、壺片などを検出した。

柱穴 住居址の四隅に検出した。P-1は径30cm、深さ27cmの円形、P-2長径30cm、短径28cm、深さ20cmの楕円形、P-3長径33cm、短径28cm、深さ23cmの楕円形、P-4長径26cm、短径24cm、深さ22cmのほぼ円形を呈する。

備考 H-18号住居址と北側で重複する。H-18に切られていることから本住居址が古い。

遺物 図示したものは、No.81壺、82甌などがある。時期は奈良～平安時代と思われる。

H-20号住居址（第24図、図版15）

位置 F 6 - A 18・19, B 18・19グリッド

床面積 12.05m² 主軸方向 N-71°-E

形状 長辺3.76m、短辺3.51mの隅丸方形を呈する。壁高は平均7.0cmを測る。

床面 平坦で軽石を含む土層を床としている。

カマド 東壁の中央やや南寄りに位置し、全長123cm、全幅105cm、焚口部幅42cm、主軸方向N-74°-Eを測る。黄色粘土を使用し、燃焼部がほぼ四角形に作られ、掘り込みがやや深い。遺物は土師器壺、甌片などを検出している。

柱穴 住居址の四隅に検出した。P-1は長径27cm、短径26cm、深さ15cmの楕円形、P-2長径25cm、短径22cm、深さ18cmの楕円形、P-3長径26cm、短径24cm、深さ14cmの楕円形、P-4長径22cm、短径20cm、深さ18cmの楕円形を呈する。

備考 H-25号住居址と北側で重複する。H-25を切っていると思われ、本住居址が新しい。

遺物 図示したものは、No.83壺などがある。時期は平安時代と思われる。

H-21号住居址（第25・26図、図版16）

位置 F 6 - C 19・20, D 19・20グリッド

床面積 15.71m² 主軸方向 N-174°-E

形状 長辺4.82m、短辺3.47mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均22.7cmを測る。

床面 ほぼ平坦で、焼土・炭化物を含む土層を床としている。

カマド 東壁中央①と南寄り②に2基が位置する。カマド①は全長153cm、全幅68cm、焚口部幅58

cm、主軸方向N-80°-E、カマド②は全長146cm、全幅86cm、焚口部幅43cm、主軸方向N-90°-Eを測る。黄色粘土を使用し、焼土・灰の残りも①より②の方が多く、②には熱を受けて割れた安山岩質の支脚石も検出された。①よりも②の方が残りが良く、①から②への作り替えと思われる。遺物は①から土師器甕、壺、甕、須恵器蓋片などを検出し、②からは土師器甕、壺片など多く検出した。

柱穴 南東隅に検出した。径26cm、深さ22cmの円形を呈する。

備考 確認面に灰が見られ、その分布範囲を発掘した。カマドは2基検出され、残存状況から作り替えと思われる。また床面全体にも灰・炭化物の分布が見られ、焼失住居の可能性が考えられる。H-23・26号住居址との重複関係は、H-23・26を切っているので本住居址が新しい。

遺物 図示したものは、No84壺、85壺、86蓋などがある。時期は平安時代と思われる。

H-22号住居址（第27・28図、図版16）

位置 F 6-D17・18・19, E17・18・19グリッド

床面積 15.48m² **主軸方向** N-77°-E

形状 長辺4.38m、短辺3.87mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均24.8cmを測る。

床面 ほぼ平坦で軽石を含む土層を床面としている。

カマド 東壁の中央やや南寄りに位置し、全長133cm、全幅79cm、焚口部幅53cm、主軸方向N-83°-Eを測る。黄色粘土を使用して作られ、燃焼部はやや深く掘り込まれている。遺物は土師器甕、壺片など多数検出した。

柱穴 北東・南西隅とカマド前、北西隅の西壁寄りに検出した。P-1長径37cm、短径35cm、深さ31cmの楕円形、P-2長径32cm、短径30cm、深さ32cmの楕円形、P-3長径34cm、短径32cm、深さ26cmの楕円形、P-4長径37cm、短径34cm、深さ22cmを楕円形を呈する。

貯蔵穴 南東隅に検出した。長径110cm、短径72cm、深さ22cmの楕円形を呈する。

備考 住居址全体に焼土・灰等の分布が見られ、とくにカマド付近に多く残っていた。

遺物 図示したものは、No87・88壺、89壺などがある。時期は平安時代と思われる。

H-23号住居址（第25・26図、図版16）

位置 F 6-C19・20, D19・20グリッド

床面積 (14.11)m² **主軸方向** N-83°-E

形状 長辺3.88m、短辺3.54mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均14.0cmを測る。

床面 平坦で軽石を含む土層を床面としている。

カマド 東壁の中央に位置し、全長123cm、全幅80cm、焚口部幅44cm、主軸方向N-81°-Eを測る。遺物は土師器壺片や鐵製品が検出した。

柱穴 北西隅に検出した。長径39cm、短径25cm、深さ21cmの梢円形、遺物は土師器甕片が2点検出されている。

備考 H-21号住居址と南側が半分以上重複する。本住居址が切られていることから古いと思われる。

遺物 図示したものは、No90坏、91鉄錆などがある。時期は奈良～平安時代と思われる。

H-24号住居址（第28図、図版17）

位置 F 6-B19・20, C19・20グリッド

床面積 12.28m² **主軸方向** N-70°-E

形状 長辺4.28m、短辺3.17mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均11.5cmを測る。

床面 平坦で軽石を含む土層を床としている。

カマド 北壁の中央やや南寄りに位置し、全長152cm、全幅66cm、主軸方向N-11°-Wを測る。黄色粘土を使用して北向きに作られている、遺物は土師器甕、坏片などを検出している。

備考 柱穴・貯蔵穴は検出されなかった。

遺物 図示したものは、No92坏などがある。時期は平安時代と思われる。

H-25号住居址（第24・25図、図版17）

位置 E 6-Y18, F 6-A18・19グリッド

床面積 6.35m²（調査面積） **主軸方向** (N-3°-E) 推定

形状 長辺(3.15)m、短辺(2.55)mの隅丸長方形を呈すると思われる。壁高は平均8.3cmを測る。

床面 平坦で砂質土層を床としている。

カマド 東壁に位置し、煙道部分はW-13によって切られている。残存長85cm、全幅97cm、焚口部幅45cm、主軸方向はN-83°-Eを測る。残存状態は燃焼部まで残っている。遺物は土師器甕、坏片などを検出した。

備考 北壁側はW-13と重複し、南壁側でH-20号住居址と重複する。住居址全体の残存状態は良くない。重複関係はW-13とH-20号住居址によって切られていることから、本住居址が一番古いと思われる。また他の住居址に比べ小さい。柱穴・貯蔵穴は検出されなかった。

遺物 土師器甕、甕片などを検出したが図示できる遺物はなかった。

H-26号住居址（第25・26・27図、図版17・18）

位置 F 6-D19・20, E19・20グリッド

床面積 (12.36)m² **主軸方向** N-81°-E

形状 長辺3.90m、短辺3.41mの隅丸長方形を呈する。壁高は平均18.7cmを測る。

- 床面** カマド前に窪みが見られ、西壁方向へ上がっている。軽石を含む土層を床としている。
- カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置し、全長101cm、全幅67cm、焚口部幅42cm、主軸方向N-81°-Eを測る。黄色粘土を使用し、右袖には長さ14cm、幅10cm程の石が検出した。遺物も土師器甕片や須恵器蓋片などを検出した。
- 備考** H-21号住居址と重複する。H-21に切られていることから、本住居址が古いと思われる。柱穴・貯藏穴は検出されなかった。
- 遺物** 図示したものは、No93甕、94甕などがある。時期は平安時代と思われる。

(2) 平安時代の水田址

①水田の地形

本遺跡は、荒砥川と桃木川に挟まれた広瀬川低地帯と呼ばれている地域であり、北側は赤城山の裾野が広がる。調査した水田址は818(弘仁9)年の赤城山南麓一帯で起こった地震に起因する洪水堆積物で埋まった水田址である。調査区は東西方向に伸びる道路を挟んで、北側の調査区D 2・3・4、E 2・3・4区(標高77.95~77.20m)の水田があり、南側にはE 3・4、F 3・4区(標高77.50~76.55m)の水田址がある。さらに180m程東にはD 6、E 6・7、F 6・7区(標高76.80~76.40m)の水田址がある。水田面はD 2区の標高77.95mを最高点としてF 4区の標高76.55mを最低点として140cmの比高差を測ることができる。東側調査区はD 6区の標高76.80mからF 7区の標高76.40mを測り40cmの比高差がある。水田はこの高低差を利用した水田でD 2区よりF 7区に北から南へ約3.4/1000の勾配を利用し各水田への給水、排水を行っていたと思われる。また水田に付随する溝も同方向に水が流れている。

②畦畔と水田区画(全体図2の1・2、第29~31図、図版9・11・12・18・19)

調査区全体に見られる畦畔は、条里制に基づく坪単位を構成する大畦畔とその中を区割りする畦畔とがある。その大畦畔の一部が各調査区に検出され東西、南北方向に直交するかたちで検出されている。また他の調査区の大畦畔とはつながりが見られ、方向や距離もほぼ109mの長さに一致するが、畦畔の幅や大きさは色々あり、規則性は見られない。大畦畔は全体には直線的であるが、個々の畦畔で見るとやや曲線を描く。

各調査区D・2・3・4、E 2・3・4区で見られる畦畔は、東西・南北方向に直交する大畦畔を基幹にしてその中に方向性の違う畦畔が区画をなしている。その中にはさらに狭く仕切られた区画や地形に沿った曲線の畦畔もあり、等高線に沿う方向に作られている。全体に区画は細長く、畦畔の方向性には部分的な統一は見られるが、全体では規則性が見られない。また南北方向の大畦畔は途中から湾曲して北側の大畦畔とずれが生じている。

E 3・4、F 3・4区は、東西方向に貫く大畦畔を境に、北側は南北方向に細長く間隔の狭い畦畔区画が並び、南側は大畦畔と直角方向に長い畦畔が作られている。その中を東西方向の畦畔

で細長い区画に仕切っている。畦畔の方向性にはやや規則性が見られるが、1枚の水田の大きさには規則性がなく、全体では条里水田の半折型区画に類似し、東西方向の畦畔で約12間（約21.8m）の長さに近い区画が見られる。

D 6、E 6・7、F 7 区は、東西・南北方向の大畦畔が部分的に検出され、その大畦畔を挟んで北側の区画は、数本の畦畔が南北方向に細長い区画を作っているのが見られる。南側は曲線の畦畔が不規則な区画を作っている。また大畦畔北側に見られる区画は、半折型区画の東西12間（約21.8m）南北30間（約54.5m）の区画に類似している。さらに大畦畔・小畦畔と呼ばれるように畦畔の形状に差が見られる。全体に畦畔の形状は台形状（かまぼこ形）で、小畦畔の大きさは上端10~60cm、下端28~120cmのものがある。大畦畔は、上端20~100cm、下端46~128cmまでの大きさを測り、小畦畔と比較すると大畦畔は上端幅で10~40cm、下端幅で8~18cm程度幅広くなっている。さらに大畦畔の方向も、東西方向はN-93°-Eで、南北方向ではN-1°-Eを測り、ほぼ東西、南北方向が直交するかたちで規則性が見られる。また小畦畔は大小の区画に合わせた様々な長さで曲線のものが見られ、走行性も東西・南北方向に直交する作りはわずかで、他は地形に合わせた作りの畦畔が多く検出されている。

さらに完全に1区画をなす水田面積を見ると、D 2・3・4、E 2・3・4 区は7.47m²~224.41m²の区画があり、E 3・4、F 3・4 区では56.83m²~517.00m²までの区画がある。また一部に条里制に類似している区画も見られるが、面積も123.68m²~260.22m²と大きさも規則性がない。さらにD 6、E 6・7、F 6・7 区は24.34m²~296.88m²までの水田が見られるが、個々の水田区画には規則性がない。他にD 3 区、E 6 区内に大畦畔に沿って細長い区画が検出されている。東西方向に細長く水路状の形をした区画で、水田に伴う溝に続くものもあり、水利系統の一つと考えられる。

③水口、配水（全体図2の1・2、第29~31図、図版9・11）

全体を洪水堆積物で覆われた水田は、区画や面積などに統一性が見られないが、畦畔には水口があり、水の取り入れや配水がこの部分によって行われていたことがわかる。水口は水田区画内に一定の水をためるために施設で、稲の育成を助けるための流路である。さらに1区画の水深は均一であることが条件で、一般に10cm以上の差がある水田区画の稲は育ちにくいとされており、湛水の深さを平均に保つことがよい水田と言われている。調査区の水田は、ほとんどが微傾斜地にあり、一区画の水深にあまり差が見られない。また水田形状も長方形に近いものや帯状に長いものなど大きさも様々である。

D 2・3・4、E 2・3・4 区は調査区の西寄りに位置し、道路を挟んで北側に広がる水田区画である。水田は1号~112号まで検出され、標高は7号水田の77.95mを最高地として106号水田の77.20mを最低地として比高差を75cm測り、北から南東隅方向へ配水していたと思われる。

検出された水口は、81か所あり比較的比高差の少ない区画が大きい西側よりも、水田が細長く

比高差のある東側区画の方が多い検出されている。水口の幅は上端幅14~65cm、下端幅8~40cm、掘り込みは4~15cmの深さのものが検出されている。またW-6から6・7号水田への給水水口や水田からW-2・5などへの排水水口も検出された。さらに、89号水田から一段低い91号水田へ水を流すための配水経路(W-4)など検出されている。

道路を挟んで南側調査区E 3・4、F 3・4区は113号~193号水田があり、113号水田の標高77.50mを最高地に、193号水田の76.55mを最低地とし、95cmの比高差の水田がある。水口は66か所検出され比較的規則性が見られる西側の水田区画に多く見られ、南北方向にのびる畦畔と左右に別れる東西方向の畦畔交差部分に検出されている。

水口の幅は、上端幅16~74cm、下端幅10~32cm、掘り込みは4~16cmの深さのものが検出されている。また157号水田よりW-11への細長い排水用水口も検出されている。他にW-11からW-12への給水や157号水田からの排水水口も検出されている。

東側の調査区D 6、F 6・7、F 6・7区は194号~243号水田まで検出した。198号水田の標高76.80mを最高地に242号水田の76.40mを最低地として比高差40cmを測る。水口は、22か所検出され、帯状の長四角形や四角形に近い水田区画に多く検出されている。

水口の幅は上端幅15~50cm、下端幅13~33cm、掘り込みは5~15cmの深さのものが検出されている。

また全調査区の水田に伴う溝・水路等は、W-1・2・4・5・6・11・12などが検出されている。水田と水口、溝、水路等の関係は水田を営むためには一体化していかなければならず、中原遺跡群Vの水田址にも上記のような溝・水路等があり、一体化が見られる。

(水口の流水方向は全体図に記載し報告する)

④足跡（全体図2の1・2、第29~31図、図版9・11・18）

調査区全体に洪水堆積砂礫層で埋まった人間の足跡が多数検出された。足跡は形状の明瞭なものと形状が崩れて踏みを残すものとが見られた。水田面を覆った洪水堆積砂礫層が厚く堆積している所は、良好に残っている。D 3区内の12・16・82・91号水田に見られるものは、水田内や溝近くを東西方向や南北方向に歩行した状況がわかる。またE 6区内の201・202号水田内にも足跡群が検出されている。足跡の大きさは、23~24cm前後のものが多く見られ、水田面には踏み跡が3~4cm前後の踏みとなって残っている。耕作痕ははっきりしたものではなく、耕作時に利用した動物の蹄痕もはっきりしたものは検出されなかった。

⑤地割れ・陥没水田（全体図2の1・2、第31図、図版9・18・19）

調査区の水田面を覆った洪水堆積層は、818(弘仁9)年の地震に伴う山崩れに起因して埋まったものである。その地震によると思われる影響が各調査区に見られ、地割れや液状化現象に伴う噴砂状の立ち上がりなどが見られる。その現象はH-8号住居址の床面や土坑No313、W-16、ト

レンチ深掘り断面などに見られる。その内でW-16は溝底や壁面に見られ、溝に深掘りトレンチを入れ、断面観察を行なったところ、明褐色灰色粘質土層から黒褐色土層、As-C軽石を含む灰褐色土層まで見られた。また地割れに伴う土層は黄褐色微砂層や黒褐色土層・明褐色灰色土層を含む細砂粗砂層などが見られる。さらに水田面には陥没した所が數か所に見られ、各水田にまたがって蛇行しながら続いている。確認された水田面は、15・16・17・19・21・22・79号水田にあり、陥没幅は6~8.5m前後で、水田面との陥没差は最大35cm、最小25cmを測る。また水田面を区切る畦畔にも見られ、通常よりも最大30cm、最小16cm陥没している。さらに東側調査区内の238号水田内にも円形状の陥没跡が見られる。他に15・16・17・19・22・79号水田内に見られる陥没跡は、前回調査した中原遺跡群IIの陥没水田址から続く。さらにトレンチにより陥没水田下を調査してみたところレンズ状に砂層の堆積が見られ、古い溝か水路状の窪みがあったところが地震による波状化現象によって陥没したと思われる。

(3) 溝・水路 (全体図2の1・2、第18・29~31図、図版9~12・18・19)

調査区全体に検出した溝・水路は24条あり、平安時代水田面を中心に、前後の土層面で確認され、平安時代水田に伴うものや、近世~現代まで使用されていた水路などを検出した。

北側調査区D2・3・4、E2・3・4区では、水田に伴うW-1・2・4・5・6・7・8などがあり、水田への給水・排水の水路としての役割をしていたと思われ、両端には畦畔を伴い水田と同じ洪水堆積砂礫層で埋まっていた。W-1・2・5・6・7・8は前回調査をした中原遺跡群IIのW-31・32・37・38・39・41と接続する。W-4は水田に囲まれた中に位置し、89号水田の排水水口より流れてきた水を一段低い91号水田に流すための溝と考えられるが、溝に川石や砂の堆積が見られることから、湧水があった溝とも考えられ、さらに水量調節や作業道具などを洗う場所とも推測される。W-9は水田と畦畔を切っている溝で、浅い掘り込みが確認できるが、全体は不明である。W-3は前回調査した中原遺跡群IIのW-42と接続する土地改良前の水路である。

南側調査区E3・4、F3・4区では、北側の調査区より続くW-3・10・11やW-11より分岐しているW-12などが検出されている。その中で水田に伴う溝はW-11・12がある。W-11は両端に畦畔を伴い、南流する。さらにE4-R4グリッド付近でW-12へ分岐し、東側水田へ分水する用途を持った溝と推測される。他にE4-T3グリッド内には、水田からの排水の水口も検出されている。またW-10と数か所が重複している。W-3・10は土地改良前まで使用していた水路で、W-3のE4-P5グリッド付近よりW-10が分岐している。W-10には側面補強に使用したと思われる杭列も検出している。遺物は近世以後のものが検出されている。

東側調査区D6、E6・7、F6・7区では、水田面を掘り込んでいる溝や住居址を切っている溝、住居址に切られている溝など合わせて12条検出されている。W-13・14は水田面や畦畔を切って調査区の北西隅より南東隅へ流れている。W-15はW-13より分岐して、W-17に接続し

て住居址を切っている。遺物は、W-13・15から流れ込みの土器片や近世以後の遺物が検出されている。W-16は住居址より下層に位置し、溝の底面には地震による地割れ跡や断面に見られる黄色砂層など液状化現象も見られた。W-18・19は幅の狭い溝で、重複している。W-20・24は途中で分岐し下流で合流している。またW-24には西側のW-16へ流水した跡も見られ、W-16・18・20・24は、ほぼ同じ時代の溝と思われる。W-19はやや新しく、W-21はW-16に切られていて古い。さらにW-22は平安時代の住居址を壊しており、W-23は住居址によって壊されている。東側調査区では、直接水田に関係する溝・水路は検出されていないが、水田や住居址を切っている溝や住居址によって切られている溝などが検出されている。また土地改良前まで使用されていた水路や、住居址よりも古いと思われる溝などを検出している。遺物も流れ込みの物が多く、とくにW-13は近世以後の遺物が多く検出されている。またW-14・16からは土師器坏や須恵器甕片などの古墳～奈良・平安時代の遺物が検出されている。W-15・17からは、水路の補強材に使用した杭列やW-17より溜池状造構への給水水口などが検出されている。

全体に西側の調査区では、水田への給水・排水のための溝・水路が検出され、東側調査区では古い溝よりも新しい溝・水路が全体を占め、水田に伴わないものが多く検出されている。

(各調査区の溝・水路等の計測値は一表に記載し報告する。)

(4) 土坑 (第32・33図、図版9・11)

調査区のD 3, E 3, F 3区に363基の土坑が検出された。これらは相互に密接するものや広い範囲に位置するものなどがある。掘り込みはAs-B軽石を含む土層から水田面を覆った洪水堆積層、水田層まで見られ、覆土もAs-B軽石や細砂・軽石粒を含む土層で埋まっているものが多く検出されている。時期は、水田層を掘り込んでいたことや覆土にAs-B軽石の混入が見られるため、平安時代以後のものと思われる。また数基の土坑は検出位置がほぼ等間隔のものや左右対称に一列に並ぶものがあり、掘立柱造構を構成する柱穴列と考えられるため、掘立柱造構(B-1~4)として報告する。(土坑の計測値は、一表に記載し報告する)

(5) 掘立柱造構

B-1 (第32図)

E 3-H13-14, I 13-14グリッド内に位置する。6個の柱穴で構成している。形状は長軸25~37cm、短軸は23~31cmで掘り込みは、14~25cmまでの大きさがあり、円形・楕円形を呈する。柱穴は1×2間の大きさで組まれ、柱穴間の長さは1間で250~270cm、2間では170~200cmまでの間隔を測る。覆土は、軽石粒・細砂を含む、粘性・締まりのない灰褐色・褐灰色土層で埋まっている。

B-2 (第33図)

E 3—N10・11, O10・11グリッド内に位置する。5個の柱穴で構成している。形状は、長軸18~40cm、短軸15~19cm、掘り込みは13~16cmまでの大きさがあり、梢円形・不定形を呈する。柱穴は1×2間の大きさで南側は幅広い1間で組まれ、柱穴間の長さは1間180~190cm、南側で330cm、2間では、160cmまでの間隔を測る。覆土は細砂・軽石粒を含む、粘性・締まりのない暗褐色土層で埋まっている。

B-3 (第33図)

F 3—F15・16, G15グリッド内に位置する。6個の柱穴で構成している。形状は、長軸20~29cm、短軸15~22cmで、掘り込みは15~26cmまでの大きさがあり、梢円形・隅丸長方形・不定形などを呈する。柱穴は1×2間の大きさで組まれ、東側と南側は幅広い1間で組まれている。柱穴間の長さは、幅広い1間で320cm、2間では、150~180cmを測り、ほぼ方形となる。覆土は、細砂・軽石粒を含む粘性・締まりのない暗褐色土層で埋まっている。

B-4 (第33・34図、図版12)

F 3—F12, G12・13グリッド内に位置する。8個の柱穴で構成している。形状は長軸19~33cm、短軸18~27cm、掘り込みは21~50cmまでの大きさがあり、梢円形・不定形を呈する。柱穴は2×2間の大きさで組まれ、柱穴間の長さは、1間で140~210cmを測り、東西方向の幅広い2間では400~410cm、南北方向の2間では290~310cmで、ほぼ長方形となる。覆土は細砂・軽石粒を含む、粘性・締まりのない暗褐色土層で埋まっている。

(6) 井戸址

I-1号井戸址 (第34図、図版10)

位 置 E 3—I13グリッド

形 状 開口部径182~195cmのほぼ円形で、底の西コーナーは角状、断面形は逆台形を呈する。

深さは確認面より120~130cm程で砂礫層に達し、底面まで151cmを測る。

備 考 確認面は砂礫層の面に位置し、覆土は暗灰褐色・褐灰色の細砂・小礫を含む土層で埋まっている。壁面には川原石や小礫が数多く見られた。遺物は検出されなかった。時期は水田を覆った砂礫層(818年の洪水堆積層)を掘り込んでいることから水田より新しい時代のものと考えられる。

I-2号井戸址 (第34図、図版11)

位 置 E 3—I13グリッド

形 状 開口部径140~155cmのほぼ円形で、断面形はロート状を呈し、中位から下位にかけて北

壁寄りに掘り込まれている。深さは確認面より150cmを測る。

備考 確認面はI-1と同じく、砂疊層に位置し、覆土は暗灰褐色・褐色・褐色の小疊を含む土層で埋まっており、壁面には疊（川原石）が多く見られた。遺物は土師器片2点が検出した。時期は土層断面よりI-1号井戸とほぼ同時期と考えられる。

I-3号井戸址（図版12）

位置 E 3-X13グリッド

形状 開口部径120~140cm前後の稍円形で、断面形はロート状と思われるが上位から70~80cm程の所より径を狭めながら掘り込まれ、底へ進むにつれて再び径を抜け砂疊層に達する。深さは確認面より145~150cmを測る。

備考 確認面は砂疊層に位置し、覆土は暗褐色・褐色・黄色の砂質層や818年の洪水堆積層を含む土層で埋まっている。底には、10cm以上の川原石が多く見られた。遺物は検出されなかつた。また、1・2号井戸址とは南側に約60m程離れて所在し、造りも簡素である。時期は水田面を掘り込んでいることから水田より新しい時代のものと思われる。

(7) 敝状遺構（全体図2の2、図版19）

E 6, F 6調査区の中央付近とF 6区の東側に位置し、E 6-X14・15, Y14・15, F 6-A14・15, B14~16, C14~16, D14~16, E14~16, F14~16, G15・16, H16グリッド内と東側のF 6-G22, H20~22, I19~21グリッド内に位置する。標高は76.70~76.85mと東側の76.50~76.60m内にある。確認面には、炭化物・遺物片等が多く見られた。敝の窪みは長・短合せて21本確認され、長いもので12.8m、短いもので2.0mを測り、掘り込みは深いもので35cm、浅いもの8cmを測る。敝から敝までの幅は1.4~2.0mを測り、窪み部分は灰色砂質土で埋まっている。また敝や覆土の中にも炭化物や土器片が検出されており、耕作時に含まれたものと思われる。さらに敝状遺構を挟んで東側と西側に奈良・平安時代の住居址が位置し、東側の住居址は、敝状遺構より下層で検出され、西側の住居址は、低い位置にあることから、住居址よりも新しい遺構と思われる。遺物は土師器、須恵器片が検出されている。

(8) 深池状遺構（全体図2の2、図版19）

調査区のE 6-W10, E 6-X10・11, E 6-Y10, 11, F 6-A10・11, F 6-B10・11グリッドに位置する。確認面はW-13・17と同じ面で検出した。形状は長方形を呈し、南北に長く長径13.8~14.7m、短径3.7~4.2m、深さは80~90cmを測り、上面は灰色砂質層、中位以下は、灰色粘質土層（シルト層）が、10~20cmのレンズ状に堆積している。壁面は、褐色・黄褐色粘質土層で硬く締まっている。底は、灰色粘質土層で植物のはん紋（酸化跡）が見られる。また土層断面を見るとレンズ状に堆積し、灰色粘質層や酸化跡が見られることから渴水時と貯水時とが考

えられ、季節によって利用法が異なったと思われる。また貯水容量は平均値から約47.8㎘と思われる。遺物は近世以後の遺物などが検出され、近年まで使用されていたと思われる。

(9) 中原遺跡群Vの植物珪酸体（プラント・オパール）分析

1.はじめに

中原遺跡群Vの発掘調査では、As-Bの下位にある洪堆積物直下から水田遺構が検出された。ここでは同遺構における稻作跡の検証を主目的として分析を行った。

2. 試料

試料は、F4-F10グリッド、F3-P20グリッド、E4-A0グリッド、E3-A0グリッド、E6-A20グリッド、F6-F20グリッドの6地点について、水田遺構の検出層を中心に計10点が採取された。また、F6-D15グリッド付近で検出された畝状遺構では畝上部より灰化物が採取された。

3. 分析法

植物珪酸体の抽出と定量は、プラント・オパール定量分析法（藤原、1976）をもとに、次の手順で行った。

- 1) 試料の乾燥 (105°C・24時間)
- 2) 試料約1gを秤量、ガラスピース添加 (直径約40μm、約0.02g)
※電子分析天秤により1万分の1gの精度で秤量
- 3) 電気炉灰化法による脱有機物処理
- 4) 超音波による分散 (300W・42KHz・10分間)
- 5) 沈底法による微粒子 (20μm以下) 除去、乾燥
- 6) 封入剤（オイキット）中に分散、プレバラート作成
- 7) 検鏡・計数

同定は、イネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体をおもな対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスピース個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレバラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスピース個数に、計数された植物珪酸体とガラスピース個数の比率をかけて、試料1g中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位：10~5g）をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。換算係数は、イネは赤米、キビ族はヒエ、ヨシ属はヨシ、ウシクサ族はススキ、タケ亜科はネザサ節の値を用いた。その値は2.94（種実重は1.03）、8.40、6.31、1.24、0.48である。

4. 分析結果

水田跡の検証が主目的であることから、同定および定量はイネ、キビ族、ヨシ属、ウシクサ族（ススキ属など）、タケ亜科（おもにネザサ節）の主要な5分類群に限定した。これらの分類群について定量を行い、その結果を表1に示した。

5. 考察

1) 稲作跡の検証

水田跡（稻作跡）の検証や探査を行う場合、一般にイネの植物珪酸体が試料1 gあたりおよそ5,000個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稻作が行われていた可能性が高いと判断している。また、その層にイネの密度のピークが認められれば、上層から後代のものが混入した危険性は考えにくくなり、その層で稻作が行われていた可能性はより確実なものとなる。以上の判断基準にもとづいて稻作の可能性について検討を行った。

水田遺構が検出された洪水直下層について分析を行った結果、6試料のすべてからイネが検出された。密度は平均6,500個/gと高い値である。また、同層は直上を洪水層で覆われていることから、上層から後代のものが混入したことは考えにくい。したがって、同層では稻作が行われていた可能性が高いと考えられる。

2) 故状遺構の灰化物について

F 6 区では As-B の下位にある洪水堆積物直下から故状遺構が検出され、その歯上部では炭混りの灰化物が認められた。分析の結果、この灰化物からはウシクサ族（ススキ属など）が約24万個/gと極めて多量に検出された。ウシクサ族にはススキ属やチガヤ属、サトウキビ属などが含まれるが、植物珪酸体の形状からここで検出されたものは、そのほとんどがススキ属に由来するものと考えられる。したがって、この灰化物の給源植物はおもにススキ属と推定される。

6. まとめ

以上のように、水田遺構が検出された洪水直下層からはイネが多量に検出され、同層で稻作が行われていたことが分析的に検証された。また、F 6 区故状遺構跡で検出された灰化物はおもにススキ属に由来するものと推定された。（古環境研究所報告書抜粋）

参考文献

- 杉山真二・松田隆二・藤原宏志（1988）
機動細胞壁の形態によるキビ族植物の同定とその応用—古代農耕追究のための基礎資料として—。考古学と自然科学, 20p.81-92.
- 藤原宏志（1976）
プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)—数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法—。考古学と自然科学, 9p. 15-29.
- 藤原宏志・杉山真二（1984）
プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)—プラント・オパール分析による水田址の探査—。考古学と自然科学, 17:p.73-85.

表1 中原遺跡群Vの植物珪酸体(プラント・オパール)分析結果

※主要な分類群について計数

検出密度(単位: ×100個/g)

分類群 \ 試料	F4-F10グリッド			F3-P20		E4-A0		E3-A0	E6-A20	F6-F20	F6区
	1	2	3	1	2	1	2	1	1	1	根状茎
イネ	31	30	38		89	15	38	55	100	70	10
キビ族(ヒエ属など)	8	8									
ヨシ属	8	8	15		7	22	8	16	14		10
ウシクサ族(ススキ属など)	84	38	23	45		37		8	36	83	2356
タケ科(おもにネザサ属)	46		15	23	22	22	46	23	93	83	48

推定生産量(単位: kg/m²・cm)

イネ	0.90	0.89	1.12		2.60	0.44	1.12	1.61	2.94	2.06	0.29
キビ族(ヒエ属など)	0.64	0.64									
ヨシ属	0.48	0.48	0.96		0.47	1.40	0.48	0.98	0.88		0.63
ウシクサ族(ススキ属など)	1.04	0.47	0.28	0.56		0.46		0.10	0.45	1.03	29.21
タケ科(おもにネザサ属)	0.22		0.07	0.11	0.11	0.11	0.22	0.11	0.45	0.40	0.23

※試料の仮比重を1.0と仮定して算出。

中原遺跡群V出土遺物観察表

注: 法量は(1)口部(2)底径(3)腹長(4)側面深(5)長さ(6)幅(7)厚み(8)穿孔をmmで重量をgで表し、()は推定値を示す。

番号	出土位置	形態(概)	法量	特徴
1	H-1	环(土師)	(1)14.3 (2)4.5 (3)1.0 (4)0.4 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 粗粒石を含む質 ②良好 ③底2.5 Y R6/4 (4)3/4 ④はぼ
2	H-1	环(土師)	(1)14.2 (2)5.4 (3)1.0 (4)0.4 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 真岩を含む質 ②良好 ③底2.5 Y R6/4 (4)3/4 ④はぼ
3	H-1	壺(土師)	(1)12.7 (2)6.4 (3)1.0 (4)0.4 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 裂隙 ②良好 ③底2.5 Y R5/4 (4)3/4 ④はぼ
4	H-1	高环(土師)	(1)15.6 (2)6.0 (3)1.0 (4)0.4 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 裂隙 ②やや良 ③底2.5 Y R5/4 (4)3/4 ④はぼ
5	H-1	石製模造品 (陶)滑石	(1)5.6 (2)1.4 (3)0.3 (4)0.2 (5)0.1 (6)0.1 (7)0.1 (8)0.1	①輪狀10G Y5/1④完形 刃物による粗削状態
6	H-1	石製模造品 (陶)滑石	(1)8.8 (2)2.0 (3)0.6 (4)0.7 (5)0.2 (6)0.7 (7)0.2 (8)0.2	②輪狀7.5 Y R6/1④完形 みがきの初期の段階 その後二次的な削離
7	H-1	石製模造品 (陶)滑石	(1)5.6 (2)1.6 (3)0.3 (4)0.2 (5)0.1 (6)0.1 (7)0.1 (8)0.1	③輪狀7.5 G Y6/1④未完成 面取り直後 末穿孔
8	H-1	石製模造品 (陶)滑石	(1)8.8 (2)2.9 (3)0.6 (4)0.7 (5)0.2 (6)0.7 (7)0.2 (8)0.2	④輪狀7.5 Y G1/5 ④完形 ある程度みがきが進んだ状態
9	H-1	石製模造品 (陶)滑石	(1)3.6 (2)0.6 (3)0.3 (4)0.2 (5)0.1 (6)0.1 (7)0.1 (8)0.1	刃物による粗削りからみがきに入った状態
10	H-1	石製模造品 (陶)滑石	(1)8.8 (2)1.6 (3)0.6 (4)0.7 (5)0.2 (6)0.7 (7)0.2 (8)0.2	①オリーブ状5.5 Y 5/1 ④完形 面取り穿孔直後 外面一部欠損
11	H-2	环(土師)	(1)14.0 (2)5.4 (3)1.0 (4)0.4 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 石英 ②良好 ③底2.5 Y R5/5 ④はぼ
12	H-2	壺(土師)	(1)14.2 (2)4.0 (3)0.5 (4)0.3 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 裂隙 ②底は低い が良好 ③底2.5 Y R6/4 (4)2/3 ④はぼ
13	H-2	壺(土師)	(1)14.0 (2)7.2 (3)0.7 (4)0.5 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母(磁石) 磁石 樹脂 ②裂隙 Y R6/6 (4)2/3 ④はぼ
14	H-2	壺(土師)	(1)9.8 (2)4.9 (3)0.7 (4)0.5 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 樹脂 ②良好 ③明 赤模25 Y R8/8 (4)1/4 ④はぼ
15	H-3	蓋(須恵)	(1)17.2 (2)6.8 (3)1.0 (4)0.4 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 ②良好 ③RN6/6 (4)3/4 ④はぼ
16	H-3	壺(土師)	(1)12.6 (2)6.7 (3)0.7 (4)0.5 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 真岩 裂隙 ②良好 ③底25 Y R6/6 (4)はぼ
17	H-3	壺(土師)	(1)14.0 (2)7.2 (3)0.7 (4)0.5 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 樹脂 ②良好 ③明 赤模25 Y R5/5 (4)1/2 ④はぼ
18	H-3	壺(土師)	(1)10.0 (2)4.0 (3)0.4 (4)0.2 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 裂隙 ②良好 ③赤模 16R 6/6 (4)2/4 ④はぼ
19	H-3	壺(土師)	(1)10.0 (2)4.0 (3)0.4 (4)0.2 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 真岩 裂隙 ②良好 ③明赤模2.5 Y R5/6 (4)3/4 ④はぼ
20	H-3	高环(土師)	(1)20.2 (2)15.1 (3)1.2 (4)0.5 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 真岩 長石 中やや 良 ②良好 ③底2.5 Y R6/8 (4)2/3 ④はぼ
21	H-4	壺(土師)	(1)13.3 (2)7.7 (3)0.3 (4)0.5 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 真岩 ②良好 ③中 に不良質黄鉄10 Y R7/4 (4)はぼ 完形
22	H-4	壺(土師)	(1)15.5 (2)6.0 (3)0.4 (4)0.5 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 真岩 磁石 ②良好 ③底2.5 Y R6/6 (4)口縫 一部欠損
23	H-4	壺(土師)	(1)15.9 (2)6.0 (3)0.5 (4)0.5 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 長石 石英 ②裂隙 度が低い ③底2.5 Y R6/6 (4)はぼ 完形
24	H-4 カマド	高环(土師)	(1)16.8 (2)6.0 (3)0.4 (2)12.0 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 長石 磁石 ②良好 ③明赤模2.5 Y R5/8 (4)腹部一部 欠損
25	H-4	石製模造品 (陶)滑石	(1)2.1 (2)0.7 (3)0.6 (4)0.2 (5)0.1 (6)0.1 (7)0.1 (8)0.1	④明赤模5 Y R7/2 ④完形 硬質真岩 完成品
26	H-5	蓋(土師)	(1)15.4 (2)6.0 (3)0.5 (4)0.5 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 樹脂 ②良好 ③明赤模2.5 Y R5/5 (4)はぼ
27	H-5	壺(土師)	(1)11.0 (2)9.7 (3)0.5 (4)0.5 (5)0.2 (6)11.8 (7)0.7 (8)0.4	①腹母 磁石 樹脂 ②良好 ③明 赤模2.5 Y R5/5 (4)はぼ
28	H-5	石製模造品 (陶)滑石	(1)25.5 (2)0.2 (3)0.4 (4)0.1 (5)0.1 (6)0.1 (7)0.1 (8)0.1	④青銅P B5/1 ④完形 面取り 穿孔直後

注：測量は①C1径の次揮の胸郭最大径の側面部外縫部横径を取る。②長さ×幅×厚さをcmで示す。〔〕は推定値を示す。

番号	出土地點	形態(種)	法 量	(①胸上立胸郭側面横径)×(②長さ)×(③幅)×(④厚さ)	器 形	製 作 技 法	の 特 徴
29	H-6	環(土器)	①15.9②35.6 ③6.6	①骨母 磨石 滑擦 ②良好 ③2.5Y R6/4 ④完形	腰やかに外反する口縫部 腰かな腹面を持つ 外縫口縫部横ナ ダヘラ削り後ひがみ付 内縫口縫部横ナダ 体部ヘラ研磨		
30	H-6	環(土器)	①13.4②55.2 ③6.5	①骨母 磨石 石英 突 ②やや真 直ぐ立ち上がる口縫部 外縫口縫部横ナダ 体部ヘラ削り 後ヘラ研磨	直立立ち上がる口縫部 外縫口縫部横ナダ 体部ヘラ削り		
31	H-6	環(土器)	①12.8②44.8 ③6.5	①骨母 磨石 滑擦 ②良好 ③2.5Y R7/5 ④完形	やや内凹する口縫部 真い身 外縫口縫部横ナダヘラ削り 内縫 口縫部横ナダ 体部ナデつぶし		
32	H-6	環(土器)	①14.7②55.0 ③6.5	①骨母 磨石 滑擦 ②良好 ③明赤陶2.5Y R5/8 ④3/4	平底部の腹面から丸味を持って立ち上がり口縫部に至る 外縫口 縫部横ナダヘラ削り後ヘラ研磨 内縫口縫部横ナダ 体部横 ナダヘラ削りの後内縫口縫部横ナダヘラ研磨		
33	H-6	環(土器)	①13.4②44.0 ③6.5	①石英 磨石 滑擦 ②良好 ③2.5Y R6/8 ④完形	外縫部は腹面に立ち上がるが内縫部はくの字に外反する 外縫 口縫部横ナダ 体部ヘラ削り 内縫口縫部横ナダ 体部横ナ ダヘラ削りの後内縫口縫部横ナダヘラ研磨		
34	H-6	環(土器)	①12.1②66.7 ③6.5	①骨母 磨石 滑擦 ②良好 ③赤褐色10R 6/6 ④完形	口縫部横やかに外反し頂上部に最大幅を持つ 外縫口縫部横 ナダヘラ削り 内縫口縫部横ナダヘラ研磨		
35	H-6	環(土器)	①16.4②57.0 ③6.5	①骨母 磨石 滑擦 ②良好 ③5.5Y R6/6 ④ほぼ完形	中高部は最高に持ち腰やかなくの字の口縫部 外縫口縫部 横ナダ 体部ヘラ削り部分的にヘラみがき 頂部ヘラ調整 内 縫口縫部横ナダヘラによるナデつぶし		
36	H-7	环(乳頭)	①12.9②64.6 ③6.5	①胸窓 ②良好 ③灰N6/4 ④完形	丸底の腹面に水平な後から直線的に立ち上がる口縫部 外縫 口縫部横ナダ 体部左側ロクロ彫形		
37	H-7	環(土器)	①13.9②44.0 ③6.5	①骨母 磨石 突 ②良好 ③2.5Y R6/8 ④完形	浅く内反する口縫部 外縫口縫部横ナダ 体部ヘラ削り 内縫 口縫部横ナダ 体部ナデつぶし		
38	H-7	高环(土器)	①17.0②11.8 ③6.5	①黒骨母 磨石 突 ②良好 ③明赤陶2.5Y R5/6 ④被部5/6 欠損	黒骨母と骨を有し斜く聞く肩部 杆状の脚部及び水間に開く堅 持部を有する 外縫口縫部横ナダヘラ削りヘラ削り 腹部がきまがき 持部ヘラ削りナデつぶし		
39	H-7	環(土器)	①17.7②66.6 ③6.5	①骨母(粗粒) 石英 磨石 密 ②良好 ③2.5Y R6/6 ④ほぼ完形 (一部錆火穴)	斜下部は最大幅 平底の腹面に上面を付けたした 外縫口縫 部横ナダヘラ削り 前部上品斜位の脚部 斜下部削りヘラ削り 後部ヘラ削り 内縫口縫部横ナダ 接合部はヘラ調整 合成部はヘ ラによるナデつぶし		
40	H-7	環(土器)	①19.6②63.3 ③6.5	①骨母 磨石 滑擦 ②良好 ③5.5Y R6/6 ④3/4	くの字に外反する短い口縫部 外縫口縫部横ナダ 附部縫部 横ナダヘラ削り 内縫口縫部横ナダ 剥離ナデつぶし		
41	H-8	環(土器)	①14.2②55.5 ③6.8	①骨母 磨石 突 ②良好 ③明赤 陶2.5Y R5/6 ④ほぼ完形(底部 一部欠)	底部から腰部に亘る直ぐ聞く脚部 外縫口縫部横ナダ 体 部ヘラ削り後ヘラ研磨 腹部ヘラ調整 内縫口縫部横ナダヘ ラ研磨		
42	H-8	环(土器)	①13.2②44.7 ③6.5	①骨母 磨石 滑擦 ②良好 ③明赤陶2.5Y R5/8 ④完形	丸い底部から腰を作らずに立ち上げさせて口縫部を持つ(模 倣式) 外縫口縫部横ナダ ヘラ削り研磨 体部ヘラ削り後狀式のヘラ研磨		
43	H-8	環(土器)	①14.2②60.0 ③6.2	①黒骨母 磨石 石英 磨石 密 ②良好 ③赤10R 5/6 ④ほぼ完形	底部を削り腰やかに内側する口縫部 外縫口縫部横ナダ 剥離ナ ダヘラ削り 内縫口縫部横ナダ ヘラ削り		
44	H-8 カマド	環(土器)	①12.1②77.5 ③6.5	①骨母 磨石 突 ②良好 ③赤10R 5/6 ④2/3	長い舟形を有するほぼ圓形的な胴体部を持つ(腰く開いた口縫 部) 外縫口縫部横ナダ ヘラ削り後ヘラ研磨 内縫口縫部横ナ ダ ヘラ削り		
45	H-8	高环(土器)	①19.2 ②14.0	①骨母 磨石 石英 磨石 密 ②良好 ③5.5Y R6/6 ④3/4	比較大 平底の脚は不規則 突 环の場合は細い 外縫口縫部 横ナダ 体部ヘラ削り後研磨 脚部斜位の研磨 内縫口縫部横 ナダ 既部研磨		
46	H-8	石質器皿 (割石片)	⑦3.3⑧1.5 ⑨1.25⑩3.36	①灰白5Y R8/2	縦に2穴 完成品		
47	H-9	环(直腹) (受身)	①10.8②44.6 ③6.5	①胸窓 ②良好 ③灰白N7/0 ④完形	比較大 幅広の腰から内側する立ち上がりを持つ口縫部 右 側斜ヨコ彫形 外縫部横ナダヘラ削り後胸窓		
48	H-9	蓋(須彌)	①12.6 ②6.5	①胸窓 ②良好 ③灰白N7/0 ④1/2	比較大 回転ヨコ型 内外統成時の自然輪 底部ヘク切り		
49	H-9	環(土器)	①14.4②63.3 ③6.5	①骨母 磨石 百孔 滑擦 ②良好 ③赤10R 5/6 ④完形	扁平な底部の身から付け足すような口縫部 外縫口縫部横ナ ダ 体部ヘラ削り後ヘラ研磨 内縫口縫部横ナダヘラによるナデ つぶし		
50	H-9	環(土器)	①17.4②56.7 ③6.5	①骨母 磨石 石英 突 ②良好 ③5.5Y R6/6 ④完形	丸底 無花実型 制模もつ脚部からくの字に外反する口縫部 外 縫口縫部横ナダ 体部ヘラ削り後ヘラ研磨 内縫口縫部横ナ ダ ヘラ削り		
51	H-9	環(土器)	①18.3②70.0 ③6.5	①骨母 磨石 突 ②良好 ③5.5Y R6/5 ④完形	状状の底部に上面を付け足した型の腰 外縫口縫部横ナダ 体部ヘラ削り部分的にヘラ研磨 腹部は腰原乳 内縫口縫 部横ナダヘラ削りが水平に付着 体部ナデつぶし 部分的に ヘラ研磨		
52	H-9	環(土器)	①20.8 ②10.0 ③23.6	①骨母 磨石 石英 突 ②良好 ③にい赤10Y R6/4 ④ほぼ完形(一部欠)	最大径を制心に丸味を帯びた胴部 広口の口縫部 外縫口 縫部横ナダ 体部ヘラ削り 内縫口縫部横ナダ 脚部ヘラ削 り		
53	H-9	環(土器)	①24.6②28.7 ③27.2	①骨母 磨石 石英 突 ②良好 ③にい赤7.5Y R7/3 ④3/4	内部底面に形成する5角状の突起部あり(スノコ等の受け 口) 且つ底から外縫部横ナダ 体部ヘラ削り後脚部に輪構 成認められ 内縫口縫部横ナダ 体部ヘラ研磨		
54	H-10	环(須彌) (受身)	①9.5②44.4 ③6.4	①胸窓 ②良好 ③灰赤2.5Y R6/1 ④完形	比較大 小振りで確正なつくり 水平な後から内側する立ち 上がりをもつ脚部で一且筋れ腰やかに外反する口縫部 外 縫口縫部横ナダ 体部ヘラ削り後ヘラ研磨 内縫口縫部横 ナダヘラ切り		
55	H-10	环(土器)	①14.0②55.2 ③6.4	①骨母 磨石 突 ②高度が低い 良好 ③明赤陶2.5Y R5/6 ④4/5	肉厚な底部に洗く外反する口縫部 外縫口縫部横ナダ 体部 ヘラ削り 外縫植物タール付着 内縫口縫部横ナダ 身部ヘラ によるナデつぶし		
56	H-10	環(土器)	①10.2②28.6 ③14.5	①骨母 磨石 突 ②良好 ③5.5Y R6/4 ④4/5	平底 球形の体部から広口に口縫部を垂直に作る 表面 彫刻 外縫口縫部横ナダ 体部ヘラ削り後ヘラ研磨 内縫口縫 部横ナダ 体部ヘラのナデつぶし		
57	H-10	環(土器)	①9.6②10.3	①骨母 磨石 突 ②良好 ③にい赤陶10R 6/4 ④3/4	小型 よほ球形の体部から広口に口縫部を垂直に作る 表面 彫刻 外縫口縫部横ナダ 体部ヘラ削り後ヘラ研磨 内縫口縫 部横ナダ 体部ヘラのナデつぶし		

注：注意は「□」で示す。○は「△」で示す。△は「○」で示す。□は「△」で示す。△は「○」で示す。

番号	出土位置	器形(種)	法	量	基			基 形・製作 法 の 特 徴
					①附土	②鉛錆	③色調	
58	H-10	甕(土鍋)	①19.0	626.5	①留母 石灰 鉛石 良好 ②良好 ③に付し 植7.5 Y R7/4 ④△/3	珠形の体部に丸底 口縁部作りだし 外側口縁部横ナデ類 △形脚部内側口縁部横ナデ 体部へ鉛錆付後ハラ調整		
59	H-10	甕(土鍋)	①17.30	24.8	①留母 鉛石 密 ②良好 ③植 5 Y R7/6 ④△/3	珠形な体部に丸底 外側口縁部横ナデ頭～瓶底へラ削り 内側口縁部横ナデ体部へク部後部分的に研削		
60	H-10	高环(土鍋)	①17.5	32.5	①留母 鉛石 密 ②良好 ③植 5 Y R5/6 ④△/3	木手な複合頭と付一體 外側口縁部横ナデ頭～瓶底後へフ研削 直部へ 削り 内側口縁部横ナデ 体部へク部後部分的に研削 (7回へラ 削り) 留母黄ナデ 留合部突起部底へハラ削り調整		
61	H-10	高环(土罐) (焼成)	①15.2	66.4	①留母 石灰 鉛石 制作 ②良好 ③明治5.5 Y R5/6 ④△/3	焼成の体部 は水手な複合頭を持つ 外側口縁部横ナデ 瓶底へラ 削り 調整部位付へハラ削り 調整部位ナデ 内側口縁部横ナデ 体部へ ク部後へハラ削り (7回へラ削り) 留母黄ナデ 留合部突起部底へハラ削り調整		
62	H-10	石製模造品 (焼成)	①2.5	2.5	③植灰7.5 G Y5/1 ④完形	直面り 空孔直後		
63	H-10	石製模造品 (焼成)	①2.5	2.5	③植灰10 G Y6/1 ④完形	植(田代ク)完成品		
64	H-10	石製模造品 (焼成)	①2.5	2.5	③明治5.5 Y R7/1 ④完形	完成品		
65	H-10	石製模造品 (焼成)	①2.5	2.5	③明治5.5 Y R7/2 ④完形	完成品		
66	H-10	ビーズ (玉)	①2.0	49.0	③青灰10 G 6/1 ④完形			
67	H-10	石製模造品 (玉)滑石	①2.0	49.5	③植灰10 G Y5/1 ④完形			
68	H-10	石製模造品 (玉)滑石	①2.0	50.0	③植灰6/1 ④完形	完成品		
69	H-10	石製模造品 勾玉(滑石)	①2.0	100.8	③明治5.5 Y R7/1 ④完形	完成品		
70	H-10	石	①10.5	65.7	③灰白2.5 Y 8/2 ④1/3	四面使用 砂粒		
71	H-12	高台付 (須恵)	⑥(4.7)		①留密 ②良好 ③灰5 Y 5/1 ④△/4	大型の高台「ハ」の字状に外反する 外側ロクロ彫形 自然輪 付て底部 内面ロクロ彫形		
72	H-12	坪(須恵)	①12.6	27.0	①中や粗い ②良好 ③明治5.5 P7/1 ④△/3	内側ロクロ彫形 比重大 外面一面自然輪 轮軸糸切り無調 整		
73	H-12	坪(須恵)	①12.0	27.6	①留密 ②良好 ③明治5.5 P7/1 ④△/3	右側ロクロ彫形 外面底部輪軸糸切り後ヘラ調整		
74	H-12	坪(土鍋)	①12.0	28.0	①留母 鉛石 制作 ②良好 ③植2.5 Y R6/6 ④△/2	安定した底部 体部直線気味に外反し 口縁部粗く内側する 外側体～底部へラ削り 内外側口縁部横ナデ 内面体～底部 ナデ調整		
75	H-12	蓋(須恵)	③3.5		①密 ②良好 ③灰白5 Y R8/1 ④△/2	丸味を持つ天井部 脚貼付 内外面ロクロ彫形		
76	H-13	坪(土鍋)	①12.8	63.4	①留母 鉛石 制作 ②良好 ③に付し 植5.5 Y R6/4 ④△/3	明確な底部を持たず丸味を帯びて身を下さり口縁部を直面に 持つ 外側口縁部横ナデ 身部へラ削り 内外側口縁部横ナデ 底部～ナダ		
77	H-15	蓋(須恵)	①21.7	34.2	①密 ②良好 ③明治5.5 P7/1 ④△/3	右側ロクロ彫形 ポンチ留頭の部分を90度に反した口縁 外側ロクロによるヘラ削り 内面直成時の自然輪		
78	H-15	坪(土鍋)	①21.0	34.0	①留母 鉛石 制作 ②良好 ③植2.5 Y R5/6 ④△/2	「大井」のヘラ書き 外面へラ削り 内面へラナダ		
79	H-18	坪(土鍋)	①12.0	39.5	①留母 鉛石 黒石 密 ②良 ③植2.5 Y R6/6 ④△/2	平底化底部やかに内側しながらロクロ部に至る 内外側口縁部 外側底部脚貼され 体～底部へラ削り 底部～底部ナデ調整		
80	H-18	塗(土鍋)	①13.3	37.4	①留母 鉛石 真紅 密 ②良 ③植2.5 Y R6/6 ④△/2	内底 左側ロクロ彫形 外面底部輪軸糸切り後ヘラ調整		
81	H-19	坪(土鍋)	①14.0	43.2	①留母 鉛石 制作 ②良好 ③植2.5 Y R6/6 ④△/3	丸底 底部より腰やかに内側して口縁部へ内傾する 内外面 口縁部横位のナデ 体～底面削り 内外面ナデ調整		
82	H-19	甕(土鍋)	①12.2	56.6	①留母 鉛石 長石 制作 ②良好 ③植2.5 Y R7/6 ④△/3	腰やかをなし口縁部で外側する 内外側横ナデ 外側底部 へラ削り 内外面口縁部横ナデ 调整		
83	H-20	坪(土鍋)	①12.5	51.1	①留母 鉛石 制作 ②良好 ③に付し 植10 Y R7/2 ④△/2	腰やかで内面腰やかに外反する口縁 外側口縁部横ナデ 体 部へラ削り 内外側口縁部横ナデ 体部へラナダ		
84	H-21	坪(土鍋)	①12.2	59.0	①留母 鉛石 制作 ②良好 ③に付し 植2.5 Y R7/6 ④△/2	平底 体部は内側して立ち上がりロクロ部を抱点で崩く括れる 外側口縁部横ナデ 外側体～底部へラ削り 内面体～底部 ナデ調整		
85	H-21	塗(須恵)	①2.6	26.0	①密 ②良好 ③灰白2 Y 6/1 ④△/3	小振りの塊 内外面ロクロ彫形 外面底部へラ切り直		
86	H-21	蓋(須恵)	①14.6	53.5	①密 ②良好 ③灰白7.5 Y 7/1 ④△/3	天井部形状の揚 平坦 体部は腰やかに段をつけながら外輪 し脚貼付外側口縁部は直立する 内外面ロクロ彫形 内面 一定方向のナデ		
87	H-22	坪(土鍋)	①11.8	29.5	①留母 鉛石 制作 ②良好 ③に付し 植5.5 Y R7/4 ④△/2	平底 内側する口縁 外側口縁部横ナデ 底部へラ削り 内面 口縁部 横ナデ 補足		
88	H-22	坪(土鍋)	①11.8	29.5	①留母 鉛石 制作 ②良好 ③植2.5 Y R6/6 ④△/2	平底 体部は腰やかに内側して口縁部に至る 内外面口縁部 横ナデ 外側体～底部へラ削り 内面体～底部ナデ調整		
89	H-22	高台付塗 (須恵)	①11.8	43.3	①留母 石灰 密 ②良好 ③植10 Y R6/1 ④△/2	断面台形状の高い高台 橋やかに内側する体部 貼付落台 内 外面ロクロ彫形		

注：法量は①口徑②底径③腹部最大径④頸部徑⑤瓶部徑⑥脚部⑦身高⑧瓶身厚さ⑨腹穿孔をcmで記す。⑩は推定値を示す。

番号	出土位置	形態(種)	法量	①胎土②焼成色③焼成		形態・製作法の特徴
				④	⑤	
90	H-23 カマF	环(土師)	①(12.8)③3.4	①青白 瓷石 鋼頭 ②良好 ③焼7.5Y R7.6 ④1/4	丸瓶気味 体係は頸やかに内側し口縁部で外反する 内外面 口縁部横ナデ 外面体へ底部へラ割り 内面体へ底部ナデ調整	
91	H-23 カマF	鉄瓶(鉄製品)	⑦(13.7)⑪1.79	④完形	皮表と鋸を含む鋸造 六のし型 身体部長さ2.1幅1.1厚み0.4 青白地長さ2.9.0幅0.6厚み0.4茎部長さ2.6	
92	H-24	环(底窓)	①(11.6)③3.1	①青白 石英 岩 ②良好 ③焼9.5Y R6.1 ④2/3	側面と鋸を含む鋸造 六のし型 身体部長さ2.1幅1.1厚み0.4 青白地長さ2.9.0幅0.6厚み0.4茎部長さ2.6	
93	H-26	环(底窓)	①(12.0)③3.5	①赤 ②良好 ③焼10Y 5/1 ④1/3	側面から底部へ腰やかに内側し口縁部上半で外傾する 内外 面横ナデ 外面底部へラ割り 内面底部へラ割り後ナデ調整	
94	H-26 カマF	環(土師)	①(20.8) ②(8.0)	①青白 瓷石 長石 鋼頭 ②良好 ③焼5Y R4.6 ④口縁部1/3残	側面から底部へ腰やかに内側し口縁部上半で外傾する 内外 面横ナデ 外面底部へラ割り 内面底部へラ割り後ナデ調整	
95	西トレンジ (E3-B10)	高环(土師)	①(23.6)③13.8 ②(15.1)③1.2	①青白 瓷石 長石 鋼頭 ②良好 ③焼明9.5Y R7.2 ④2/3	大きな杯の3寸 容量を考慮したフロート状の模やかな脚部 捜合端はめ込み 背面口縁部横ナデ後ヘラ研磨 口縁へラ削り後 ヘラ研磨 背部 へラ削り後 ヘラ削り後底部へラ削り 腰部へラ削り 腹部へラ削り	
96	南トレンジ (E3-D9)	小型瓶 (土師)	①(12.2)③18.3	①青白 白岩 瓷石 寒 ②良好 ③にせい黄緑10Y R7.3 ④4/5	整った形 有口縁を既わせる三段の輪郭 腹部中心に最大 外面部横ナデ後底部横ナデ削りし 体部底毛目 腹部丁寧なヘラ調 整 内外面口縁部横ナデ削りナデつよし	
97	東トレンジ (E3-C9)	壺(土師)	①(16.2)③7.3 ②(31.4)	①青白 瓷石 石英 寒 ②良好 ③にせい黄7.5Y R4.4 ④1/2	底部の底部に上部を付け足した様 外面口縁部横ナデ後ヘラ ナデ 小型の壺へラ削り一張ヘラみが 腹部へラ削り 口縁へラ削り 底部へラ削り	
98	西トレンジ (E3-G10)	手捏唇土器 (土師)	①(4.1)③3.1 ②(8.5)	①青白 瓷石 寒 ②良好 ③焼5Y R6.6 ④完形	柱状の身上施し花葉茎型の环部をつける ゴブレット型 外面手捏 唇体へ底部へラ研磨 内外面口縁部横ナデ 体下部へラナデ 腹部窓部 5	
99	西トレンジ 一階	壺(土師)	①(25.7)③17.2 ②(6.7)③11.0	①青白 瓷石 白岩 鋼頭 ②良好 ③焼9.5Y R6.6 ④0口縁部欠損	小径の底を持ち扁平な体部にせまい口縁をもつ 斧算玉形 背面口縁部横ナデ 体部へラ削り後ヘラ研磨 底部へラ研磨 内外面口縁部横ナデ 体部へラ研磨	
100	西トレンジ 一階	壺(土師)	①(6.0)③4.7 ②(5.8)③5.5	①青白 長石 石英 瓷石 寒 ②良好 ③にせい黄10Y R7.7/4 ④完形	ミニアーチア 平底に口部に書き足してある造り 外面口縫 部手捏り後ヘラ削り 腹部へラ削り後ヘラ研磨 腹部へラ削 り 内外面口縫部手捏り後ヘラ研磨 腹部へラナデ	
101	D3-S5 グリッド	耳皿	①(2.4)③2.6 ②(0.5)③0.59.32	③綠青 ④完形	青銅鏡	
102	D3-Q9 グリッド	助顎器 (滑石)	①(34.8)③81.5 ②(1.03)③47.11	③にせい褐7.5Y R6.3 ④完形	刃物による整形	
103	D3-Q4 グリッド	東	①(19.8) ②(19.9)③(19.7)	①青白 瓷石 瓷石 やや微 ②良好 ③焼10K 8/8 ④4/5	下部に最大径を持つ笠冠玉形 外面口縁部横ナデヘラ研 磨 顶部へラ削り後ヘラ研磨大手削離 内外面口縁部横ナデヘラ研 磨 制削へラ研磨	
104	D3-X20 グリッド	环(土師)	①(13.2)③3.5	①青白 瓷石 瓷石 ②良好 ③にせい黄2.5Y R6.4 ④3/4	明確な底部を持たず腰やかに外反する口縫部 外面口縁部横 ナデ 体部へラ削り 内外面口縁部横ナデ 身部へラナデ	
105	E3-Y19 グリッド	有茎罐 (石器)	①(1.85)③1.0 ②(90.4)③0.60	③灰白10Y 1/1 ④完形		
106	E3-Y9 グリッド	壺(土師)	①(11.8)③11.1 ②(5.7)	①青白 白岩 瓷石 鋼頭 ②良好 ③にせい黄5Y 7/6 ④完形	低い身部 口縁部は僅か腰とどめて外反気味に立ち上がる 外外面口縁部横ナデ 体部丁寧なヘラ削り後ヘラナデ 内外面 口縁部横ナデ 傾斜部	
107	E3-Y15 グリッド	助顎器 (滑石)	①(3.9) ②(9.0)③(12.14)	③暗緑灰10G R4/1 ④底部欠損1/2倒	刃物による整形	
108	E3-C15 グリッド	环(土師)	①(13.8) ②(9.4)③(2.3)	①青白 瓷石 寒 ②温度は低いが良好 ③焼5Y R6.6 ④2/5	外外面に「匁」字の墨書き 外面口縁部横ナデ 体部へラ削 り 内外面口縁部横ナデ 底部へラナデ	
109	E3-C15 グリッド	环(土師)	①(12.4)③5.5	①青白 瓷石 鋼頭 ②良好 ③にせい黄5Y R6.4 ④口縁部4/4欠損	明確な底溝を持たず角度を持って背部を作りやや開き気味 の口縁部を持つ 外面口縁部横ナデ 身部へラ削り 内外面口 縁部横ナデ 身部へラナデ	
110	E3-D3 グリッド	环(底窓)	①(13.2)③6.0 ②(3.6)	①粗 ②良好 ③焼10Y 1/1 ④3/4	右側面ロクロ整形 外面底部回転糸切り無調整	
111	E3-T20 グリッド	灯明器 (土師)	①(8.8)③24.2 ②(2.4)	①青白 長石 瓷石 寒 ②良 好 ③焼5Y R6.7 ④口縁部1/4欠損	90度分割3点に灯心による爆付着 外面回転ロクロ整形 底部回転糸切り無調整 異面へラ整形 内面中心部に茶状痕 あり 口縫部底脛	
112	F6-F20 グリッド	环(底窓)	①(14.0)③28.0 ②(4.1)	①粗 ②良好 ③明青5P B7/1 ④2/3	左回転ロクロ整形 外面底部回転糸切り後外周をヘラ調整 糊面「メ」印あり	
113	F7-G1 グリッド	境(底窓)	①(20.0) ②(11.1)③(6.4)④3/4	①密 ②良好 ③赤灰 Hue6/1	広口盤 右回転ロクロ整形 比重大 外面回転糸切り後高台 付 ロクロ調整 頂面底	
114	E3-P14グリッド	瓶(鉄製品)	①(10.5)③1.2 ②0.5 ③(10.21)	細身 小振りな縫		
115	E6-P22グリッド	磨(鉄製品)	②(29.5)③4.3 ④2.9 ⑤(3620)	出出し用盤		
116	E6-F20グリッド	刀子(鉄製品)	②(18.0)③1.4 ④0.6 ⑤(45.39)	灰素地を含む鍛造		
117	E6-A11グリッド	鉄瓶(鉄製品)	⑦(11.2) ⑧(0.9) ⑨(0.6) ⑩(24.36)	灰素地を含む鍛造		
118	E3-II3グリッド	五輪塔	⑦(12.5) ⑧(1.3110)	1039年初鋸 皇室通寶		
119	E6-T10グリッド	古鏡		寛永通寶		
120	E6-V8グリッド	古鏡		寛永通寶		
121	E6-V10グリッド	古鏡		2代銅鏡 明治19年		
122	E6-M7グリッド	古鏡				
123	E6-U10グリッド	五輪塔		香爐の火山ガラス室町時代末期 空黒縫の下部 柄の長35.3 柄の幅7.8		
124	E6-U10グリッド	石臼	⑩(27.0) ⑪(6.9) ⑫(1480)	唐城火山ガラス 1/4残		

水田址計測表

() は推定値・検出面積及び推定形状。N・S・E・Wは畦位置を示す

田面 No.	面積 (m ²)	東 畦 (m)	南 畦 (m)	西 畦 (m)	北 畦 (m)	形 状	水 口 (か所)	備 考
1	(32.82)	(13.4)	—	—	—	不明	—	—
2	(153.68)	(18.1)	(9.9)	(13.4)	—	(縱長方形)	—	南が大畦
3	(554.59)	18.9	28.5	(18.1)	(21.6)	(横長方形)	N = 1	南が大畦
4	(67.53)	(8.1)	(21.6)	(8.1)	—	不明	S = 1	—
5	(220.02)	27.2	9.9	(27.0)	—	(縱長方形)	E = 1	南が大畦
6	(193.13)	30.1	(13.1)	27.2	—	(三角形)	E = 2, W = 1	W-6より取水
7	(383.77)	15.0	(14.1)	(32.0)	(29.9)	不定形	W = 2	W-6より取水
8	(60.86)	(9.1)	(9.8)	—	(4.2)	不明	S = 1	—
9	(101.65)	20.1	4.9	(25.7)	—	不定形	E = 1	—
10	152.27	5.2	(25.6)	(9.1)	21.5	不定形	N = 1, S = 1	—
11	168.08	15.4	18.3	15.0	5.7	三角形	—	南が大畦
12	135.85	17.9	10.1	15.4	5.2	不定形	N = 1, E = 1	足跡有
13	(336.69)	15.0	11.0	25.0	(28.5)	不定形	S = 1, W = 1	—
14	(10.62)	—	(4.9)	(4.5)	—	不明	S = 2	—
15	(190.70)	(17.2)	8.0	14.0	(4.9)	不明	E = 2, W = 2	陥没水田
16	210.69	28.0	1.8	32.9	8.8	不定形	E = 4, W = 2	陥没水田・足跡
17	(249.94)	12.0	11.6	(17.2)	(22.0)	(台形)	S = 2, W = 2, E = 1	—
18	116.67	18.4	2.3	14.0	12.0	不定形	N = 2, S = 2	—
19	224.41	17.8	6.2	19.1	25.6	台形	S = 2, W = 2	陥没水田
20	69.78	16.4	15.0	8.9	—	三角形	N = 1, W = 2	南が大畦
21	156.38	15.1	8.9	10.2	20.1	不定形	N = 2	南が大畦
22	122.64	23.1	14.1	18.5	—	三角形	N = 1, S = 2, E = 1	南が大畦・足跡有
23	(73.81)	—	(1.6)	(39.0)	—	不明	W = 2	—
24	(7.20)	—	—	5.2	(1.6)	不明	—	—
25	(336.14)	23.2	(12.1)	—	(26.1)	不明	E = 1	北が大畦
26	(69.12)	(7.9)	—	—	(12.1)	不明	—	—
27	27.79	2.6	7.9	4.9	12.3	不定形	—	—
28	59.25	10.1	9.7	5.4	9.9	台形	W = 1	—
29	155.48	21.9	9.9	12.9	9.2	台形	—	北が大畦
30	17.73	13.1	2.3	13.1	4.1	不定形	—	北と東が大畦
31	75.00	20.8	3.1	17.9	8.8	台形	—	東が大畦
32	—	17.9	(8.7)	—	12.7	不明	—	—
33	—	14.1	10.9	—	(8.7)	不明	—	—
34	31.19	16.0	(3.8)	14.1	3.1	(縦長方形)	—	小区画・東が大畦
35	(12.67)	(4.0)	4.4	5.3	(3.8)	(台形)	—	小区画・東が大畦
36	42.00	5.3	8.1	4.1	10.9	(台形)	—	小区画
37	39.82	11.3	4.1	12.0	4.4	(縦長方形)	—	小区画・東が大畦
38	113.28	12.0	8.9	13.9	8.1	縦長方形	—	—
39	—	(9.9)	1.0	(10.6)	—	不明	—	—
40	—	(4.0)	(2.0)	—	—	不明	—	—
41	(9.34)	6.3	(1.4)	—	(2.0)	不明	—	—
42	(7.18)	(7.2)	—	—	(2.4)	不明	—	—
43	(91.20)	13.1	(7.0)	(9.1)	13.0	不定形	—	東が大畦
44	(28.93)	(13.9)	—	—	(7.0)	不明	—	東が大畦
45	(419.43)	(36.9)	4.9	41.7	10.2	不定形	—	北が大畦
46	(453.41)	(23.1)	22.0	(25.8)	(13.1)	不定形	E = 1 W = 9に切られ、北が大畦	—
47	(278.52)	12.5	19.4	(16.1)	(22.1)	(横長方形)	S = 1	北が大畦
48	(208.14)	9.3	24.7	(11.1)	22.6	(横長方形)	—	W = 9に切られる

() は推定面積・検出面積及び推定形状、N・S・E・Wは畔位置を示す

田面 No	面積 (m ²)	東 畠 (m)	南 畠 (m)	西 畠 (m)	北 畠 (m)	形 状	水 口 (か所)	備 考
49	(296.39)	(11.5)	26.0	(9.9)	29.6	(横長方形)	—	W-9に切られる
50	(385.77)	26.9	(16.1)	25.6	13.9	(縦長方形)	N=1, S=1, W=1	—
51	95.08	15.1	6.8	14.9	5.5	縦長方形	E=1	—
52	136.51	18.8	7.1	18.9	6.8	縦長方形	S=1	—
53	125.68	18.1	4.0	18.9	7.1	不定形	N=1	—
54	(188.53)	11.8	(20.0)	(10.3)	(16.1)	(横長方形)	N=1, S=1	—
55	(195.80)	(8.1)	43.3	8.1	26.0	(横長方形)	—	W-9に切られる
56	—	14.0	(26.1)	計	(63.3)	不明	N=1	—
57	—	(18.9)	10.9	30.3	—	(縦長方形)	—	—
58	(32.12)	(2.3)	—	(1.5)	10.9	不明	—	—
59	—	(15.1)	—	(21.2)	—	不明	—	—
60	—	(11.1)	—	(15.1)	—	不明	—	—
61	(78.74)	(10.2)	—	(11.1)	(7.2)	不明	—	—
62	(83.24)	(12.3)	—	(10.2)	8.9	不定形	E=1	—
63	—	(0.9)	—	(8.2)	(3.0)	不明	N=1	—
64	—	(9.9)	(3.0)	4.1	14.0	不定形	W=1	—
65	(3.01)	(0.8)	—	(0.9)	(3.3)	不明	—	—
66	—	—	—	0.8	—	不明	—	—
67	117.99	10.9	9.7	14.0	9.1	縦長方形	S=1	—
68	120.19	—	17.8	10.9	17.1	不定形	S=1	—
69	138.32	17.8	7.4	20.0	8.6	縦長方形	—	—
70	29.28	3.7	7.9	4.0	8.2	横長方形	N=1, E=1	小区画
71	56.53	7.1	7.2	9.3	7.9	菱形	S=1	—
72	27.26	14.9	3.7	10.7	3.2	不定形	S=2, W=1	—
73	46.64	12.1	7.2	15.6	2.9	不定形	S=1, E=1, W=2	—
74	20.94	9.8	—	6.4	7.2	三角形	N=1, E=1	小区画
75	46.72	13.9	6.9	4.5	7.2	不定形	N=1, E=1	—
76	122.62	24.9	9.8	9.8	11.1	台形	S=2, W=1	—
77	7.47	4.0	5.1	3.9	—	三角形	—	小区画
78	106.97	14.5	6.1	13.1	6.9	不定形	E=1, W=2	足跡有
79	(121.94)	—	(27.3)	6.1	20.9	不定形	S=1, N=1	足跡有
80	87.46	3.3	17.4	7.3	17.9	不定形	N=1	足跡有
81	112.14	19.9	8.9	5.0	17.4	台形	S=3, W=1	—
82	100.21	9.5	10.4	13.8	8.9	不定形	N=1	足跡方向性有
83	39.01	7.0	3.6	10.2	4.2	不定形	S=2, W=1	—
84	31.50	12.2	—	17.9	6.9	不定形	—	—
85	138.47	24.8	4.5	23.9	7.4	縦長方形	—	—
86	(33.23)	(8.0)	(4.6)	(8.1)	4.5	縦長方形	S=1	—
87	(104.61)	(24.5)	(9.7)	(25.1)	—	(三角形)	—	—
88	(94.29)	24.9	(5.8)	(27.7)	3.6	平行四辺形	E=1	—
89	(171.89)	20.8	(6.0)	24.9	10.9	不定形	N=3, E=1, W=1	—
90	(109.74)	24.0	(5.3)	22.3	1.1	不定形	W=1	—
91	197.55	7.9	22.1	9.9	22.4	不定形	N=2, S=1	足跡方向性有
92	91.73	13.0	7.9	10.3	7.9	横長方形	N=2, E=1	—
93	148.76	9.1	17.9	6.9	29.8	不定形	N=2, S=2, W=2	W-4より給水
94	107.78	6.8	18.9	5.4	17.9	不定形	N=3, S=1	足跡方向性有
95	87.60	12.3	9.1	10.0	6.8	不定形	N=1, S=1	—
96	162.69	5.9	28.2	8.5	28.0	不定形	N=2, W=1	足跡方向性有
97	(63.91)	16.3	—	(18.2)	(5.3)	不定形	E=2	—

() は推定値・検出面積及び推定形状、N・S・E・Wは畦位置を示す

田面 No.	面 積 (m ²)	東 畦 (m)	南 畦 (m)	西 畦 (m)	北 畦 (m)	形 状	水 口 (か所)	備 考
98	(65.65)	(7.9)	(9.0)	(8.0)	(9.4)	(方形)	—	—
99	(63.88)	(8.0)	8.1	(9.0)	(8.0)	(方形)	S = 1	—
100	(59.97)	(11.5)	(6.5)	(13.9)	(3.7)	不定形	—	—
101	—	(13.9)	—	(9.9)	(4.6)	不定形	—	—
102	(2.16)	(0.9)	—	—	(6.5)	不明	—	—
103	(44.64)	(9.9)	(6.0)	2.5	8.1	不定形	N = 1	—
104	(4.67)	—	—	(0.9)	(6.0)	不明	—	—
105	(69.88)	(10.3)	—	(9.9)	(9.0)	不定形	—	—
106	(100.51)	(5.0)	—	(5.1)	19.9	(横長方形)	N = 2	足跡方向性有
107	141.71	13.0	19.9	3.0	25.1	台形	N = 2 S = 2 E = 1 W = 1	#
108	157.54	7.6	25.1	5.2	28.2	台形	S = 2	#
109	(0.81)	—	(1.0)	(4.3)	—	不明	—	—
110	(9.30)	—	(2.1)	(6.2)	(1.0)	不明	—	—
111	(6.99)	—	(2.7)	(3.3)	(2.1)	不明	—	—
112	(10.44)	—	—	(7.7)	(2.7)	不明	—	—
113	(45.06)	(12.0)	—	—	—	不明	—	—
114	(142.80)	(17.9)	—	(12.0)	—	(縦長方形)	—	南が大畦と思われる
115	(166.50)	(20.1)	11.0	(17.9)	—	(台形)	—	南が大畦
116	(104.97)	(22.0)	3.8	(20.1)	—	(縦長方形)	—	南が大畦
117	(108.83)	(21.9)	4.9	(22.0)	—	(縦長方形)	—	南が大畦
118	(101.20)	(23.9)	4.9	(21.9)	—	(縦長方形)	—	南が大畦
119	(75.53)	(23.3)	4.1	(23.9)	—	不定形	—	南が大畦
120	(34.41)	(17.2)	—	(15.0)	—	不明	—	—
121	(104.23)	(27.5)	4.1	(25.5)	—	平行四辺形	S = 1, E = 1	南が大畦
122	(100.70)	(28.1)	4.5	(27.5)	—	平行四辺形	E = 1, W = 1	南が大畦
123	(214.12)	(30.1)	7.2	(28.1)	—	平行四辺形	S = 1, W = 1	南が大畦
124	(161.02)	(32.1)	7.1	(30.1)	—	不定形	—	南が大畦
125	(3.73)	—	(6.0)	—	—	不明	—	—
126	(308.24)	(33.8)	11.2	(32.1)	(6.0)	不定形	E = 1	南が大畦
127	(4.24)	—	(9.0)	—	—	不明	—	—
128	(162.30)	(11.8)	13.8	(13.9)	(9.0)	不定形	S = 2	—
129	259.97	24.0	11.0	22.8	13.8	不定形	N = 2, W = 1	南が大畦
130	(177.14)	(11.2)	(11.9)	—	(12.9)	不定形	—	—
131	(98.60)	9.8	(9.1)	—	(11.9)	不明	—	—
132	(93.32)	18.0	(1.9)	—	(9.1)	不明	S = 1	—
133	(7.01)	(9.0)	—	—	(1.9)	不明	N = 1	—
134	123.68	5.4	22.0	(7.1)	21.9	横長方形	S = 1, E = 1	—
135	144.16	5.1	23.2	9.0	22.0	不定形	N = 1, S = 1	—
136	109.59	4.9	23.3	4.9	23.2	平行四辺形	N = 1, S = 2	—
137	224.80	10.0	24.3	10.9	23.3	不定形	N = 2, S = 2	—
138	122.52	6.9	24.0	4.9	24.3	台形	N = 2, S = 2	—
139	105.97	3.9	24.1	5.7	24.0	不定形	N = 2, S = 2	—
140	(155.41)	7.1	(23.1)	(5.1)	24.1	平行四辺形	N = 2, S = 1	—
141	(101.93)	4.2	(21.4)	—	(23.1)	不明	N = 1, S = 1	—
142	(182.60)	10.1	(19.8)	—	(21.4)	不明	N = 1, S = 1	足跡多数
143	(180.91)	12.6	(18.5)	—	(19.8)	不明	N = 1, S = 1, E = 1	足跡多数
144	(169.67)	10.0	(17.0)	—	(18.5)	不明	N = 1, S = 1, E =	足跡多数
145	(221.49)	14.3	(17.2)	—	(17.0)	不明	N = 1, E = 1,	足跡多数
146	(137.39)	(6.9)	—	—	(17.2)	不明	—	足跡多数

() は推定値・検出面積及び推定形状。N・S・E・Wは畔位置を示す

田面 No	面 積 (m ²)	東 畠 (m)	南 畠 (m)	西 畠 (m)	北 畠 (m)	形 状	水 口 (か所)	備 考
147	246.19	13.0	22.0	10.9	24.1	台形	N = 2, E = 1, W = 1	北が大畦
148	142.37	6.7	19.9	7.9	22.0	不定形	S = 1	—
149	96.20	7.0	19.9	4.0	19.9	不定形	N = 1, S = 1	—
150	118.98	4.9	20.0	8.0	19.9	台形	N = 1, S = 1	—
151	143.47	6.1	20.0	7.9	20.0	横長方形	N = 1, S = 1	—
152	250.37	12.1	(20.9)	14.5	20.0	不定形	N = 1, S = 2	—
153	134.84	7.8	20.0	6.4	(20.9)	台形	N = 2, S = 1	足跡有
154	201.24	9.8	(19.9)	11.1	20.0	不定形	N = 1, S = 1, E = 1, W = 1	足跡有
155	260.22	14.3	18.9	13.6	(19.9)	不定形	N = 1, S = 1, W = 1	足跡有
156	(330.02)	(17.3)	—	(17.6)	18.9	不明	N = 1, W = 1	足跡有
157	141.37	18.9	—	26.0	(11.8)	三角形	E = 1	足跡方向性有
158	189.91	27.4	10.2	(39.0)	7.3	不定形	S = 1, W = 1	北が大畦
159	(32.20)	(15.9)	2.3	(11.0)	—	不定形	—	—
160	(60.59)	(11.0)	7.4	10.7	5.7	不定形	—	—
161	182.94	22.9	8.5	23.7	7.4	縱長方形	—	—
162	68.19	22.5	3.4	22.9	4.0	縱長方形	N = 1	—
163	201.64	26.1	9.0	22.5	8.5	不定形	—	足跡多數
164	56.83	(4.9)	(12.0)	6.1	11.9	横長方形	—	足跡多數
165	(257.19)	(14.5)	(21.1)	10.3	(24.4)	不定形	S = 1, W = 1	足跡多數
166	(103.46)	(6.9)	15.2	8.5	(17.1)	不定形	N = 1, S = 2	足跡多數
167	(31.14)	(7.6)	(6.9)	6.1	—	不定形	—	—
168	(116.15)	(26.0)	—	(26.7)	2.3	不明	N = 1	足跡多數
169	(250.07)	(28.1)	—	(26.0)	11.0	不明	N = 1, E = 1	足跡多數
170	(189.40)	(27.0)	—	(28.1)	7.9	不定形	W = 1	足跡多數
171	(42.90)	—	(11.9)	(9.1)	—	不明	—	W - 3 に切られる
172	(59.10)	—	(13.9)	(9.9)	(11.9)	不明	—	W - 3 に切られる
173	(26.90)	—	—	—	(13.9)	不明	—	W - 3 に切られる
174	6.13	(4.1)	(3.1)	6.0	—	不定形	N = 1	W - 10 に切られる
175	9.35	—	(5.0)	3.0	(3.1)	不定形	S = 1	W - 10 に切られる
176	(111.12)	(16.0)	(7.9)	(18.5)	(5.0)	不定形	N = 1, S = 1	W - 10 に切られる
177	(33.62)	(3.0)	9.0	(4.9)	—	不明	S = 1	—
178	(7.98)	—	(2.2)	(4.9)	—	不明	—	—
179	88.65	11.8	8.1	11.1	9.0	不定形	N = 1, S = 1	—
180	(83.38)	—	—	9.9	(2.2)	不明	W = 1	—
181	(53.94)	18.8	(3.9)	18.8	(3.0)	不明	N = 1, S = 1	W - 10 に切られる
182	(52.71)	14.2	(4.8)	(14.5)	(3.9)	不明	N = 1, S = 1, E = 1	W - 10 に切られる
183	517.00	34.1	19.0	30.0	14.5	不定形	N = 2, S = 1	W - 10 に切られる
184	(130.03)	(21.5)	2.5	34.1	1.5	不定形	S = 1	—
185	(5.85)	—	(1.0)	(10.1)	—	不明	S = 1	—
186	(8.20)	31.9	—	—	(4.8)	不明	N = 1, S = 1, E = 1	W - 10 に切られる
187	776.10	42.7	24.1	31.9	12.9	不定形	N = 1, S = 3, E = 2, W = 2	W - 10 に切られる
188	150.96	19.5	7.2	24.9	8.6	不定形	N = 1, S = 1, W = 2	—
189	(47.65)	—	(3.0)	21.5	(1.0)	不明	N = 1, S = 1	—
190	(25.73)	—	—	(20.8)	(3.0)	不明	N = 1	—
191	(160.86)	(20.2)	(5.9)	26.3	2.6	不定形	N = 1, W = 1	—
192	(10.62)	(5.9)	—	(1.6)	(2.7)	不明	—	—
193	(37.00)	(1.6)	—	(5.1)	24.1	不明	N = 3, W = 1	—
194	(88.46)	(20.2)	—	—	—	不定形	—	W - 14 に切られる
195	(116.21)	(22.0)	—	(20.2)	—	(縱長方形)	—	W - 14 に切られる

() は推定値・検出面積及び推定形状、N・S・E・Wは畔野位置を示す

田面 No.	面 積 (m ²)	東 唯 (m)	南 唯 (m)	西 唯 (m)	北 唯 (m)	形 状	水 口 (か所)	備 考
196	(166.63)	(24.0)	8.9	(22.0)	—	(縦長方形)	—	東が大畦
197	(53.52)	(39.3)	—	—	8.9	(縦長方形)	—	W-14に切られる
198	(58.80)	(10.4)	(14.0)	—	—	不明	—	—
199	(538.04)	(23.8)	36.1	(3.1)	(14.0)	不定形	E = 1	—
200	(549.90)	(22.3)	—	(32.0)	36.1	平行四辺形	—	W-14に切られる
201	(318.45)	(12.5)	(41.0)	(9.0)	—	不定形	E = 1	W-14に切られる
202	(132.03)	12.9	(13.0)	18.3	(39.3)	不明	—	—
203	—	—	—	(4.0)	(13.0)	不明	—	—
204	29.72	12.9	2.9	12.9	2.7	縦長方形	—	—
205	—	—	—	—	—	不明	—	—
206	(153.80)	(18.0)	9.8	(16.3)	—	(縦長方形)	S = 1, E = 1	—
207	120.82	13.9	8.8	13.9	9.8	縦長方形	N = 1, S = 1	—
208	(348.41)	(31.9)	11.8	(33.5)	—	(縦長方形)	W = 1	—
209	(36.72)	—	(5.0)	(9.2)	—	不明	S = 1	—
210	(86.90)	—	(7.7)	15.0	(5.0)	不明	N = 1	—
211	(47.56)	—	(9.2)	5.3	(7.7)	不明	S = 1	—
212	24.34	7.2	3.5	(7.2)	3.1	不定形	N = 1	小区画
213	35.05	8.0	4.0	7.2	5.7	台形	—	小区画
214	54.31	5.9	10.9	4.8	11.8	横長方形	S = 1	小区画
215	27.80	2.8	11.9	3.2	10.9	横長方形	N = 1	小区画
216	(94.32)	—	11.5	9.9	(9.2)	不明	N = 1, S = 1	—
217	(164.01)	(52.3)	3.5	(51.9)	3.5	縦長方形	W = 1	南が大畦
218	(176.93)	(56.5)	3.3	(52.3)	4.0	縦長方形	—	南が大畦
219	190.32	16.1	12.0	16.2	11.9	縦長方形	—	—
220	(436.83)	(35.2)	(13.9)	(34.3)	12.0	縦長方形	—	W-14に切られる
221	68.42	(22.5)	3.5	18.9	3.7	縦長方形	N = 1	—
222	37.35	12.2	3.2	12.4	3.5	縦長方形	S = 2	—
223	(51.00)	(13.2)	—	(18.8)	3.2	(縦長方形)	N = 2	W-14に切られる
224	(8.65)	—	(8.9)	—	(9.0)	不定形	—	W-14に切られる
225	(118.57)	—	(9.9)	12.9	7.8	不明	W = 1, S = 1	—
226	(180.60)	(11.9)	17.9	9.6	(9.9)	不定形	N = 1, S = 1, E = 1	—
227	(30.58)	—	(5.0)	(8.2)	—	不明	S = 1	—
228	296.88	17.5	16.9	18.1	17.9	台形	N = 1	—
229	(37.95)	—	(6.0)	6.9	(5.0)	不明	N = 1, S = 1, W = 1	—
230	(55.35)	—	(8.1)	8.0	(6.0)	不明	N = 1, S = 1	—
231	(42.08)	—	(4.9)	6.3	(8.1)	不明	N = 1, S = 1	—
232	(198.71)	10.8	(18.9)	(13.2)	16.9	不定形	E = 1	—
233	(18.56)	—	(3.5)	10.8	4.9	不明	N = 1, W = 1	—
234	(33.17)	1.4	(15.9)	—	(18.9)	不定形	—	W-14に切られる
235	(2.86)	—	(4.0)	1.4	(3.5)	不明	—	南が大畦
236	(127.08)	8.1	(10.7)	(14.0)	14.8	不定形	E = 1	北が大畦
237	(154.21)	(27.0)	(6.8)	(35.1)	(11.7)	不定形	W = 1	北が大畦
238	(399.40)	(37.2)	—	(25.0)	(10.7)	不定形	—	W-13に切られる
239	(100.34)	(15.8)	7.2	(10.2)	(11.0)	不定形	E = 1	W-13に切られる
240	(390.88)	(21.0)	(13.2)	(27.0)	(15.9)	不定形	E = 1	W-14に切られる
241	(93.80)	—	—	(21.0)	(4.0)	不明	W = 1	W-14に切られる
242	(184.64)	(18.8)	(16.1)	(15.8)	(9.0)	台形	W = 1	W-13に切られる
243	(70.51)	—	(3.2)	(18.8)	—	不明	—	W-14に切られる

畔断面計測表

単位: cm

No.	グリッド	上端 幅	下端 幅	畔の高さ				No.	グリッド	上端 幅	下端 幅	畔の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
A-1	D2-J23	23	38	6	9	—	—	49	D3-O1	35	72	6	8	—	—
2	D2-K17-18	26	47	—	—	8	6	50	D3-O3	50	80	8	8	—	—
3	D2-O19	75	92	15	13	—	—	51	D3-O17	18	36	—	—	6	12
4	D2-O22	82	99	9	15	—	—	52	D3-O19	28	50	—	—	11	3
5	D2-O24	40	85	11	11	—	—	53	D3-O23	17	40	—	—	12	11
6	D2-P20-21	22	42	—	—	9	7	54	D3-O24	42	60	—	—	6	2
7	D2-Q23	28	42	—	—	4	11	55	D3-P9	60	96	9	2	—	—
8	D2-R22	28	46	3	5	—	—	56	D3-P11	80	106	6	4	—	—
9	D2-S-T16	28	65	4	7	—	—	57	D3-P13	43	64	2	7	—	—
10	D2-S18	29	40	—	—	4	7	58	D3-P14	20	60	10	8	—	—
11	D2-S20	32	54	—	—	7	4	59	D3-P15	38	60	6	7	—	—
12	D2-S22	30	55	—	—	9	13	60	D3-P17	62	90	9	7	—	—
13	D2-T20	30	60	5	5	—	—	61	D3-P-Q18	60	86	13	2	—	—
14	D2-U18	30	70	—	—	5	6	62	D3-P-Q21	50	78	8	8	—	—
15	D2-U22	22	53	—	—	7	7	63	D3-Q14-15	27	50	—	—	15	8
16	D2-U24	103	127	—	—	6	13	64	D3-Q19	45	115	15	12	—	—
17	D2-W24	50	65	8	6	—	—	65	D3-Q20	25	60	8	13	—	—
18	D2-X23	60	35	3	5	—	—	66	D3-R7	22	30	—	—	5	5
19	D3-F12	53	70	3	3	—	—	67	D3-R12	18	(60)	—	—	9	2
20	D3-F13	23	47	—	—	5	9	68	D3-R18	28	53	7	10	—	—
21	D3-G14	15	29	9	6	—	—	69	D3-R18+19	24	60	8	10	—	—
22	D3-H8①	38	43	2	5	—	—	70	D3-R20	28	50	12	17	—	—
23	D3-H8②	29	35	—	—	11	6	71	D3-R22	29	60	—	—	7	5
24	D3-H10	25	35	15	7	—	—	72	D3-S10	39	56	3	9	—	—
25	D3-H17	20	46	—	—	12	7	73	D3-S12	26	54	4	9	—	—
26	D3-H21	31	70	—	—	16	16	74	D3-S13	50	80	5	5	—	—
27	D3-I17	24	60	6	21	—	—	75	D3-S16	22	60	6	7	—	—
28	D3-J2	62	81	—	—	18	16	76	D3-S17	18	50	—	—	8	8
29	D3-J10	35	51	9	4	—	—	77	D3-S-T18	19	40	8	7	—	—
30	D3-J18	34	52	—	—	9	6	78	D3-S19	25	60	11	9	—	—
31	D3-J20	7	32	10	10	—	—	79	D3-S20	16	60	—	—	12	8
32	D3-J21	29	72	—	—	14	10	80	D3-S22	34	60	4	9	—	—
33	D3-K9	29	34	—	—	12	15	81	D3-T7	35	58	—	—	5	4
34	D3-K12①	20	42	13	2	—	—	82	D3-T15	(20)	(45)	—	—	12	—
35	D3-K12②	31	46	—	—	12	8	83	D3-T16	10	32	9	10	—	—
36	D3-K15	20	34	—	—	8	6	84	D3-T17	20	44	—	—	3	4
37	D3-L11	30	60	7	3	—	—	85	D3-T18	23	38	4	7	—	—
38	D3-L12	30	60	—	—	13	5	86	D3-T20	26	45	6	7	—	—
39	D3-L14	18	40	12	9	—	—	87	D3-T21①	21	43	6	6	—	—
40	D3-L17	18	32	—	—	8	9	88	D3-T21②	20	62	7	10	—	—
41	D3-L21	25	40	—	—	7	7	89	D3-T24	23	40	3	6	—	—
42	D3-M0	25	60	—	—	8	16	90	D3-U-V5	40	74	2	3	—	—
43	D3-M15	23	45	—	—	10	6	91	D3-U11	17	50	—	—	10	8
44	D3-N10	40	60	—	—	5	2	92	D3-U13	30	55	—	—	5	2
45	D3-N13	43	72	12	2	—	—	93	D3-U15	26	62	—	—	20	5
46	D3-N17	44	58	—	—	6	6	94	D3-U21	15	50	—	—	12	8
47	D3-N21	25	42	9	11	—	—	95	D3-U-V24	20	50	5	12	—	—
48	D3-N23	21	42	—	—	12	13	96	D3-V16	20	40	8	10	—	—

単位:cm

No	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ				No	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
97	D3-V17	34	46	—	—	4	7	146	E3-D11	15	36	4	6	—	—
98	D3-V19	25	60	10	9	—	—	147	E3-D13	30	60	—	—	6	3
99	D3-V22	15	33	9	9	—	—	148	E3-D17	20	50	—	—	4	4
100	D3-W8	26	43	—	—	9	6	149	E3-D19	10	50	—	—	14	6
101	D3-W12	5	46	5	11	—	—	150	E3-D23	—	—	—	—	9	—
102	D3-W13	20	55	—	—	3	4	151	E3-E2	31	53	3	13	—	—
103	D3-W15	15	58	—	—	18	8	152	E3-E16	30	60	3	2	—	—
104	D3-W17	30	43	6	6	—	—	153	E3-F1	36	55	—	—	8	2
105	D3-W18	29	51	—	—	8	5	154	E3-F2+3	87	107	—	—	4	12
106	D3-W20+X21	13	70	7	18	—	—	155	E3-F14	27	50	—	—	6	4
107	D3-X4	20	46	3	11	—	—	156	E3-F22	24	43	—	—	16	8
108	D3-X14	20	40	8	10	—	—	157	E3-F23	30	55	—	—	10	5
109	D3-X16	12	53	16	5	—	—	158	E3-G+H14	47	73	2	8	—	—
110	D3-X17	30	50	—	—	5	8	159	E3-G15	17	62	2	5	—	—
111	D3-Y0	35	55	—	—	9	6	160	E3-G20	12	50	—	—	13	7
112	D3-Y1①	123	134	—	—	3	11	161	E3-G24	14	70	—	—	15	12
113	D3-Y1②	37	55	2	3	—	—	162	E3-H11	30	80	9	12	—	—
114	D3-Y8	26	50	—	—	2	2	163	E3-H16	20	54	—	—	11	3
115	D3-Y12	34	60	—	—	3	11	164	E3-H18	27	47	—	—	18	8
116	D3-Y14	25	59	—	—	6	3	165	E3-H19	30	70	7	5	—	—
117	D3-Y17	20	33	4	2	—	—	166	E3-H+I21	20	70	—	—	2	11
118	D3-Y18	26	60	5	6	—	—	167	E3-H24	18	34	—	—	9	3
119	D3-Y24	10	45	8	6	—	—	168	E3-I1	36	49	4	4	—	—
120	D4-O1	18	58	3	4	—	—	169	E3-I12	28	60	—	—	7	9
121	D4-R0	22	45	7	8	—	—	170	E3-I17	21	70	—	—	4	4
122	D4-T-U0	14	40	9	11	—	—	171	E3-I19	18	60	7	11	—	—
123	D4-T2	20	38	9	8	—	—	172	E3-J1+2	85	110	—	—	8	9
124	D4-V0	21	42	—	—	5	9	173	E3-J10	22	37	—	—	10	7
125	D4-V2	14	40	9	10	—	—	174	E3-J12	18	47	—	—	11	10
126	D4-W0	11	40	7	8	—	—	175	E3-K6	31	50	—	—	9	4
127	D4-X2	16	60	10	13	—	—	176	E3-K8	26	41	—	—	9	8
128	D6-X20	30	46	—	—	10	7	177	E3-K24	25	43	7	6	—	—
129	D6-Y14	20	36	—	—	4	6	178	E3-L2	38	70	4	4	—	—
130	D6-Y15	21	48	—	—	10	11	179	E3-L4①	23	44	—	—	4	6
131	D6-Y17	13	28	—	—	13	7	180	E3-L4②	33	50	—	—	2	2
132	D6-Y21	20	46	9	10	—	—	181	E3-L18	30	55	—	—	8	11
133	E3-A12	20	43	5	11	—	—	182	E3-L22	25	60	—	—	10	7
134	E3-A16	20	44	—	—	7	4	183	E3-M14+15	16	50	—	—	8	12
135	E3-A22	41	70	8	7	—	—	184	E3-O7	20	42	—	—	4	5
136	E3-B12	15	40	—	—	12	9	185	E3-O9	22	42	—	—	10	9
137	E3-B-C14	10	45	6	10	—	—	186	E3-O11+12	26	50	—	—	10	5
138	E3-B17	20	50	—	—	8	5	187	E3-O13	26	47	—	—	5	4
139	E3-B22+23	—	—	—	—	8	—	188	E3-O16	23	52	—	—	10	6
140	E3-C15	20	70	—	—	3	4	189	E3-O16+17	50	63	—	—	6	2
141	E3-C17+18	16	40	—	—	7	5	190	E3-O19	20	35	—	—	9	10
142	E3-C21	40	120	—	—	14	5	191	E3-Q23	22	35	—	—	9	8
143	E3-C23	20	60	7	7	—	—	192	E3-P18	22	39	—	—	12	8
144	E3-D1	17	60	—	—	4	6	193	E3-Q14	12	28	—	—	5	6
145	E3-D4	43	70	3	6	—	—	194	E3-Q16+17	30	80	—	—	6	6

単位: cm

No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ				No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
195	E3-R9	62	100	14	14	—	—	244	E4-W5	26	60	—	—	13	8
196	E3-R12	44	80	8	18	—	—	245	E4-W7	26	70	—	—	10	7
197	E3-R13	66	90	8	13	—	—	246	E4-X7	20	36	8	16	—	—
198	E3-R・S16	40	54	11	10	—	—	247	E4-X8①	—	—	—	—	8	—
199	E3-R17	25	55	—	—	11	8	248	E4-X8②	28	45	—	—	9	13
200	E3-R18・19	15	60	—	—	13	11	249	E4-Y2	15	50	3	10	—	—
201	E3-R22・23	20	63	—	—	11	9	250	E4-Y5	32	70	8	18	—	—
202	E3-S12	40	80	—	—	4	4	251	E6-B15	20	46	—	—	6	6
203	E3-S17	32	80	15	9	—	—	252	E6-B16	10	37	8	8	—	—
204	E3-S18	37	71	16	10	—	—	253	E6-B20	25	42	—	—	7	8
205	E3-S20	42	70	13	12	—	—	254	E6-C6	39	59	—	—	7	13
206	E3-S21	31	70	16	16	—	—	255	E6-C7	20	57	—	—	15	13
207	E3-S23	59	90	22	12	—	—	256	E6-C9	100	128	—	—	14	10
208	E3-S24	70	100	7	11	—	—	257	E6-C11	17	42	—	—	17	16
209	E3-T15	30	48	5	7	—	—	258	E6-C21	16	37	6	7	—	—
210	E3-T17	27	50	—	—	13	4	259	E6-D15	27	55	—	—	14	9
211	E3-T23	23	50	—	—	15	8	260	E6-D17	20	47	—	—	13	10
212	E3-U17・18	37	60	—	—	6	4	261	E6-D21	11	42	—	—	17	12
213	E3-V15	28	50	5	7	—	—	262	E6-E8・9	20	50	6	5	—	—
214	E3-V17・18	47	64	—	—	8	5	263	E6-E20	15	44	—	—	13	6
215	E3-V20	40	48	—	—	4	3	264	E6-E21	16	42	7	7	—	—
216	E3-W16	23	40	5	9	—	—	265	E6-F15①	20	48	10	8	—	—
217	E3-W17・18	30	70	—	—	5	4	266	E6-F15②	20	43	—	—	7	5
218	E3-W19	38	50	2	3	—	—	267	E6-F16	13	40	6	12	—	—
219	E3-X18	28	40	—	—	6	7	268	E6-F18	22	53	7	10	—	—
220	E3-X23①	26	60	—	—	11	8	269	E6-F20	20	38	—	—	16	9
221	E3-X23②	22	64	—	—	6	6	270	E6-G9	48	78	—	—	18	7
222	E3-Y12	22	37	—	—	5	3	271	E6-G15	10	57	—	—	15	5
223	E3-Y18	54	65	—	—	4	2	272	E6-G16	17	33	—	—	10	6
224	E3-Y20	30	60	8	4	—	—	273	E6-G17	18	47	—	—	8	8
225	E4-A0	16	40	—	—	4	2	274	E6-G18	16	38	4	10	—	—
226	E4-A2	16	29	6	9	—	—	275	E6-G20	8	41	—	—	12	10
227	E4-C2	15	38	9	9	—	—	276	E6-G22	20	47	10	13	—	—
228	E4-E1	17	42	5	12	—	—	277	E6-H15	10	50	4	7	—	—
229	E4-G2	15	70	12	18	—	—	278	E6-H16	16	40	3	5	—	—
230	E4-K0	17	42	9	12	—	—	279	E6-H17	23	40	—	—	12	7
231	E4-M0	20	50	—	—	14	7	280	E6-H18	16	38	8	11	—	—
232	E4-M7	30	80	8	9	—	—	281	E6-H20	10	38	—	—	12	7
233	E4-N2	18	40	5	9	—	—	282	E6-H21	14	36	—	—	12	10
234	E4-P0	20	60	—	—	17	7	283	E6-I20	14	39	—	—	13	8
235	E4-P7	30	62	8	9	—	—	284	E6-J12	23	44	—	—	9	10
236	E4-S1	82	110	22	12	—	—	285	E6-J15	35	44	—	—	9	8
237	E4-U0	18	51	—	—	16	8	286	E6-J17	20	42	—	—	13	6
238	E4-U5	21	50	—	—	12	10	287	E6-J・K22	17	50	9	12	—	—
239	E4-U6	21	60	8	13	—	—	288	E6-K16	30	52	—	—	12	6
240	E4-U7	21	37	—	—	7	7	289	E6-L10	20	59	—	—	9	7
241	E4-U8	22	60	—	—	3	11	290	E6-L20	22	36	—	—	12	9
242	E4-V8	30	60	3	11	—	—	291	E6-L21	18	35	—	—	11	10
243	E4-W0	35	60	—	—	6	3	292	E6-M17	21	41	—	—	12	9

単位:cm

No	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ				No	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
293	E6-M23	11	32	12	16	—	—	342	F3-C12	20	50	—	—	4	4
294	E6-N21	20	47	—	—	12	16	343	F3-C15	30	40	5	7	—	—
295	E6-O20	10	44	—	—	12	9	344	F3-C17①	37	56	—	—	5	5
296	E6-P10	38	75	—	—	8	9	345	F3-C17②	20	40	—	—	2	4
297	E6-P14	30	60	—	—	13	6	346	F3-C18	30	49	2	5	—	—
298	E6-P20	21	36	4	7	—	—	347	F3-C23	30	60	—	—	3	2
299	E6-Q15	29	59	—	—	10	8	348	F3-D12	30	55	—	—	7	2
300	E6-Q16	28	54	—	—	14	8	349	F3-D17+18	20	60	—	—	10	6
301	E6-Q20+21	20	40	—	—	19	9	350	F3-D20	15	40	2	10	—	—
302	E6-R20	20	44	—	—	5	4	351	F3-E12	25	60	—	—	7	5
303	E6-R23	20	47	10	13	—	—	352	F3-E15	16	30	7	6	—	—
304	E6-S14	10	40	—	—	13	6	353	F3-E17	28	40	—	—	9	6
305	E6-S20	24	49	—	—	10	9	354	F3-E23	39	50	—	—	5	5
306	E6-T14	20	39	—	—	6	4	355	F3-F15	15	42	9	11	—	—
307	E6-T22	27	47	7	8	—	—	356	F3-F23	40	61	—	—	4	4
308	E6-U15	48	96	13	13	—	—	357	F3-G17	30	50	—	—	3	4
309	E6-U16	32	75	8	10	—	—	358	F3-G21	34	53	8	10	—	—
310	E6-U17	62	89	16	14	—	—	359	F3-G22+23	47	70	—	—	5	6
311	E6-U18①	26	46	4	2	—	—	360	F3-G+H23	30	70	5	4	—	—
312	E6-U18②	21	50	4	8	—	—	361	F3-H17	40	60	—	—	7	6
313	E6-U19①	11	40	5	4	—	—	362	F3-H22+23	30	60	—	—	6	4
314	E6-U19②	24	44	5	10	—	—	363	F3-I15	20	38	9	5	—	—
315	E6-U22	20	46	6	6	—	—	364	F3-I20	30	50	—	—	5	6
316	E6-V18	18	46	—	—	11	8	365	F3-I22+23	30	60	—	—	5	4
317	E6-W18	20	46	5	3	—	—	366	F3-K16	20	60	5	7	—	—
318	E6-X15	—	—	—	—	8	—	367	F3-K17+18	29	39	—	—	6	4
319	E6-X16	—	—	—	8	—	—	368	F3-K22	34	62	3	6	—	—
320	E6-X19	29	63	—	—	11	5	369	F3-L22+23	30	70	—	—	5	4
321	E6-Y21	22	41	—	—	11	6	370	F3-L24	22	61	3	7	—	—
322	E7-L0	13	42	—	—	14	12	371	F3-M17	22	40	—	—	9	6
323	E7-M1	20	50	9	18	—	—	372	F3-N16	28	60	7	9	—	—
324	E7-N0①	20	47	—	—	15	6	373	F3-N17	30	51	—	—	5	6
325	E7-N0②	17	37	—	—	10	8	374	F3-N22	30	52	—	—	7	3
326	E7-O1	16	45	10	9	—	—	375	F3-O20	20	50	3	6	—	—
327	E7-P0	10	34	—	—	11	7	376	F3-P17	20	60	—	—	7	2
328	E7-Q0	16	38	—	—	13	8	377	F3-P23	40	70	—	—	4	2
329	E7-Q1	26	45	5	9	—	—	378	F3-Q15	42	60	4	5	—	—
330	E7-R0①	20	47	8	6	—	—	379	F3-R17	20	60	—	—	8	3
331	E7-R0②	19	33	—	—	10	8	380	F4-B8	21	37	—	—	12	8
332	E7-T0	22	55	—	—	16	9	381	F4-C0	25	55	—	—	4	2
333	E7-U0	40	56	5	3	—	—	382	F4-C1	18	50	—	—	3	4
334	E7-V0	40	73	6	6	—	—	383	F4-D4	10	50	—	—	11	10
335	E7-W0	27	49	—	—	11	7	384	F4-E4	24	60	10	13	—	—
336	F3-A15	28	50	2	4	—	—	385	F4-F0①	40	58	1	3	—	—
337	F3-A18	40	48	—	—	3	3	386	F4-F0②	20	50	4	2	—	—
338	F3-B12	30	55	—	—	4	4	387	F4-F2	14	33	3	10	—	—
339	F3-B15	42	50	2	3	—	—	388	F4-F5	22	45	—	—	11	8
340	F3-B21	20	50	6	4	—	—	389	F4-F9	22	46	—	—	9	11
341	F3-B23	10	40	—	—	7	2	390	F4-F10	25	50	—	—	7	4

単位:cm

No	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ				No	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
391	F4-G1	26	50	—	—	6	1	409	F4-P12	20	40	—	—	6	7
392	F4-G・H7	28	47	3	10	—	—	410	F4-Q3	33	52	—	—	5	14
393	F4-H4	20	55	2	10	—	—	411	F4-R5	23	60	8	9	—	—
394	F4-H5	20	40	—	—	13	6	412	F4-R7	20	50	6	6	—	—
395	F4-H8	24	50	6	12	—	—	413	F4-R9+10①	25	50	—	—	15	8
396	F4-H10	20	42	—	—	4	11	414	F4-R9+10②	43	78	—	—	13	10
397	F4-I5	19	30	—	—	8	7	415	F4-R10+11	15	40	—	—	9	8
398	F4-I10	20	40	—	—	8	10	416	F4-A16	15	39	—	—	5	6
399	F4-J6	28	47	3	9	—	—	417	F6-B+C20	36	69	—	—	17	7
400	F4-J8	25	42	—	—	5	8	418	F6-B+C22	18	63	13	11	—	—
401	F4-K2	10	50	3	2	—	—	419	F6-B24	26	41	8	11	—	—
402	F4-L1	28	56	2	10	—	—	420	F6-C+D21	16	30	8	11	—	—
403	F4-L2	30	49	3	10	—	—	421	F6-C23	20	40	—	—	11	14
404	F4-L11	20	40	6	8	—	—	422	F6-E20+21	44	67	—	—	15	5
405	F4-M9+10	24	41	—	—	8	9	423	F6-F21	35	78	14	6	—	—
406	F4-N1	32	45	—	—	5	5	424	F7-D0+1	27	50	—	—	20	9
407	F4-O9+10	13	40	—	—	10	10	425	F7-F+G0	70	186	13	8	—	—
408	F4-P4	20	40	—	—	6	6	426	F7-F1	110	206	16	13	—	—

土坑計測表

() は推定値単位: m 形状: ①円形 ②梢円形 ③楕丸方形 ④楕丸長方形 ⑤不定形

No	所在グリッド	長径	短径	深さ	形状
D-1	E3-E4	0.35	0.34	0.18	①
2	E3-E5	0.29	0.27	0.17	①
3	E3-G3	0.40	0.37	0.40	①
4	E3-G4	0.43	0.41	0.24	①
5	E3-G3	0.29	0.27	0.18	②
6	E3-G4	0.25	0.22	0.13	②
7	E3-G4	0.28	0.26	0.17	①
8	E3-G4	0.19	0.17	0.14	②
9	欠番	—	—	—	—
10	E3-H3	0.25	0.20	0.17	②
11	E3-G+H3	0.37	0.34	0.21	⑤
12	E3-H3	0.23	0.22	0.12	①
13	E3-G4	0.27	0.26	0.19	①
14	E3-H4	0.39	0.30	0.29	②
15	E3-H2	0.27	0.24	0.35	②
16	E3-H3	0.26	0.20	0.14	①
17	E3-H3	0.23	0.20	0.08	②
18	E3-H3	0.27	0.27	0.08	①
19	E3-H3	0.33	0.30	0.26	②
20	E3-H3	0.35	0.31	0.20	②
21	E3-I2	0.33	0.27	0.13	②
22	E3-H3	0.25	0.20	0.20	②
23	E3-H4	0.24	0.22	0.13	①
24	E3-I3	0.28	0.27	0.20	①
25	E3-I3	0.65	0.56	0.26	②
26	E3-I3	0.28	0.22	0.22	②
27	E3-H+I3	0.33	0.29	0.12	②
28	E3-I3-4	0.32	0.29	0.23	②
29	E3-I4	0.25	0.24	0.11	①
30	E3-G+H4	0.33	0.27	0.23	②
31	E3-G+H4+5	0.35	0.28	0.36	②
32	E3-H4	0.23	0.21	0.11	②
33	E3-H4+5	0.34	0.32	0.13	②
34	E3-H4	0.34	0.28	0.23	②
35	E3-H5	0.32	0.29	0.16	②
36	E3-H5	0.27	0.22	0.25	②
37	E3-H5	0.28	0.23	0.36	②
38	E3-H+I4	0.30	0.25	0.12	②
39	E3-I4	0.27	0.25	0.22	②
40	E3-I4	0.23	0.21	0.20	②
41	E3-I4	0.27	0.23	0.21	②
42	E3-I4	0.38	0.33	0.41	②
43	E3-I4	0.38	0.29	0.40	②
44	E3-I4+5	0.30	0.27	0.14	②
45	E3-I5	0.34	0.30	0.23	②
46	E3-J3-4	0.25	0.24	0.10	①
47	E3-K4	0.39	0.32	0.07	②
48	E3-K3-4	0.27	0.24	0.30	②
49	E3-J2	0.22	0.18	0.12	②

No	所在グリッド	長径	短径	深さ	形状
50	E3-I10	0.27	0.25	0.32	②
51	E3-I11	0.41	0.28	0.21	②
52	E3-I11	0.33	0.25	0.16	②
53	E3-I11	0.26	0.23	0.15	②
54	E3-H+I11+12	0.31	0.27	0.16	②
55	E3-I12	0.25	0.25	0.08	①
56	E3-I12	0.32	0.23	0.23	②
57	E3-I10	0.29	0.22	0.15	②
58	E3-I11	0.44	0.38	0.05	②
59	E3-I12	0.35	0.30	0.30	②
60	E3-J11	0.36	0.29	0.28	②
61	E3-J11	0.26	0.23	0.16	②
62	E3-J11	0.43	0.35	0.22	②
63	E3-J11	0.21	0.17	0.21	②
64	E3-J11	0.24	0.19	0.17	②
65	E3-J11	0.24	0.22	0.16	②
66	E3-J12	0.26	0.23	0.16	②
67	E3-K11	0.25	0.20	0.17	②
68	E3-K11	0.28	0.21	0.15	②
69	E3-K11	0.28	0.26	0.22	②
70	E3-K11	0.23	0.18	0.14	②
71	E3-K12	0.39	0.25	0.16	②
72	E3-J12	0.21	0.21	0.13	①
73	E3-J12	0.35	0.32	0.17	②
74	E3-J12	0.25	0.23	0.22	②
75	E3-K12	0.31	0.26	0.31	②
76	E3-K12	0.39	0.34	0.08	②
77	E3-K12	0.36	0.24	0.11	②
78	E3-H13	0.32	0.27	0.20	②
79	E3-H13	0.25	0.23	0.14	②
80	E3-H14	0.28	0.28	0.16	①
81	E3-H14	0.35	0.29	0.15	②
82	E3-I13	0.33	0.31	0.25	②
83	E3-I13	0.32	0.22	0.15	②
84	E3-H14	0.37	0.25	0.23	②
85	E3-H14	0.22	0.18	0.17	②
86	E3-I14	0.27	0.26	0.19	②
87	E3-I14	0.31	0.28	0.20	②
88	E3-H13	0.30	0.27	0.18	②
89	E3-G11	0.37	0.30	0.22	②
90	E3-G11	0.23	0.23	0.17	①
91	E3-G11	0.38	0.26	0.23	②
92	E3-G12	0.33	0.27	0.20	②
93	E3-H11	0.35	0.33	0.21	②
94	E3-I10	0.46	0.45	0.12	①
95	E3-H12	0.31	0.25	0.19	②
96	E3-H11	0.28	0.27	0.14	②
97	E3-G4	0.27	0.26	0.23	①
98	E3-N10	0.19	0.17	0.07	②

() は推定値単位:m 形状:①円形②橢円形③楕丸方形④楕丸長方形⑤不定形

No.	所在グリッド	長 度	短 度	深 さ	形 状
99	E3-N10	0.18	0.15	0.04	②
100	E3-N10	0.20	0.19	0.14	②
101	E3-N11	0.33	0.18	0.06	②
102	E3-N10	0.16	0.14	0.06	②
103	E3-O10	0.32	0.17	0.03	②
104	E3-O10	0.22	0.21	0.08	①
105	E3-N・O11	0.40	0.17	0.05	⑤
106	E3-O・P7	0.29	0.23	0.08	②
107	E3-P6	0.25	0.19	0.12	②
108	E3-Q9	0.45	0.32	0.09	⑤
109	E3-Q9	0.25	0.23	0.07	①
110	E3-R10・11	0.25	0.22	0.05	②
111	E3-S9	0.23	0.20	0.15	②
112	E3-S10	0.22	0.20	0.22	③
113	E3-S11	0.28	0.22	0.33	②
114	E3-S11	0.20	0.21	0.15	②
115	E3-S11	0.23	0.23	0.08	①
116	E3-S10	0.33	0.27	0.10	②
117	E3-U10・11	0.35	0.22	0.06	②
118	E3-U11	0.29	0.24	0.18	①
119	E3-U11	0.34	0.33	0.07	①
120	E3-U11	0.29	0.25	0.15	②
121	E3-U11	0.35	0.29	0.34	②
122	E3-U11	0.35	0.30	0.17	②
123	E3-U・V9・10	0.85	0.59	0.12	⑤
124	E3-U・V10	0.28	0.24	0.13	②
125	E3-V10	0.19	0.19	0.14	①
126	E3-V10	0.23	0.19	0.06	②
127	E3-V10・11	0.45	0.35	0.12	②
128	E3-V9・10	0.35	0.32	0.21	②
129	E3-V10	0.25	0.24	0.11	②
130	E3-V10	0.28	0.23	0.07	②
131	E3-V10	0.35	0.30	0.19	②
132	E3-V11	0.23	0.19	0.15	②
133	E3-V11	0.21	0.14	0.09	④
134	E3-V11	0.30	0.28	0.08	②
135	E3-V11	0.19	0.19	0.13	①
136	E3-V11	0.35	0.35	0.22	①
137	E3-V11	0.35	0.29	0.16	②
138	E3-V11	0.23	0.22	0.15	②
139	E3-V11	0.18	0.17	0.06	①
140	E3-V10	0.20	0.18	0.10	⑤
141	E3-V10	0.25	0.19	0.04	②
142	E3-V11	0.32	0.30	0.12	②
143	E3-V11	0.28	0.26	0.13	②
144	E3-V11	0.23	0.23	0.15	①
145	E3-V11	0.18	0.18	0.08	①
146	E3-V11	0.33	0.24	0.12	⑤
147	E3-V11	0.22	0.18	0.09	⑤
148	E3-V11	0.26	0.24	0.06	②

No.	所在グリッド	長 度	短 度	深 さ	形 状
149	E3-V11	0.38	0.22	0.11	②
150	E3-V11	0.29	0.24	0.13	②
151	E3-V11	0.25	0.22	0.11	②
152	E3-V11	0.36	0.33	0.16	②
153	E3-V11	0.34	0.29	0.14	②
154	E3-V11	0.37	0.34	0.13	②
155	E3-V11	0.24	0.20	0.12	②
156	E3-W9・10	0.24	0.23	0.04	②
157	E3-W10	0.35	0.31	0.14	②
158	E3-W10	0.25	0.24	0.09	②
159	E3-V10	0.30	0.27	0.31	②
160	E3-W10	0.22	0.22	0.12	①
161	E3-W10	0.31	0.24	0.02	②
162	E3-W10	0.22	0.14	0.07	②
163	E3-V10	0.28	0.25	0.14	②
164	E3-V10	0.30	0.28	0.19	①
165	E3-V・W11	0.31	0.27	0.24	②
166	E3-V・W11	0.40	0.38	0.25	②
167	E3-W11	0.41	0.40	0.15	①
168	E3-V12	0.41	0.38	0.16	②
169	E3-V11	0.31	0.26	0.09	②
170	E3-V・W11・12	0.41	0.35	0.11	②
171	E3-W10	0.27	0.25	0.18	②
172	E3-W10・11	0.33	0.25	0.06	②
173	E3-V・W10	0.50	0.42	0.10	②
174	E3-W11	0.20	0.19	0.20	①
175	E3-W11	0.25	0.23	0.08	②
176	E3-W11	0.21	0.19	0.13	②
177	E3-W11	0.25	0.24	0.09	②
178	E3-W11	0.21	0.19	0.04	③
179	E3-W11	0.37	0.24	0.06	②
180	E3-W12	0.40	0.34	0.03	②
181	E3-W11	0.20	0.20	0.07	①
182	E3-W11	0.19	0.18	0.14	①
183	E3-W11	0.35	0.30	0.14	②
184	E3-W12	0.23	0.15	0.06	⑤
185	E3-T12	0.32	0.25	0.09	②
186	E3-T12	0.27	0.26	0.06	②
187	E3-T12	0.25	0.23	0.12	⑤
188	E3-T13	(0.58)	0.44	0.11	②
189	E3-T13	0.37	0.20	0.23	⑤
190	E3-T13	0.27	0.26	0.30	②
191	E3-T13	0.30	0.26	0.30	②
192	E3-T13	0.29	0.27	0.06	②
193	E3-S14	0.34	0.32	0.19	②
194	E3-T14	(0.31)	0.29	0.27	②
195	E3-T14	(0.40)	0.20	0.10	⑤
196	E3-T14	0.31	0.21	0.12	②
197	E3-T14	0.29	0.26	0.12	②
198	E3-T14	0.64	0.44	0.21	②

() は推定値単位:m 形状:①円形②橢円形③楕丸方形④楕丸長方形⑤不定形

No	所在グリッド	長径	短径	深さ	形状
199a	E3-T15	0.34	0.28	0.06	⑤
199b	E3-T15	(0.35)	0.20	0.19	②
200	E3-U13	0.28	0.26	0.14	②
201	E3-U13	0.23	0.22	0.09	①
202	E3-U13	0.30	0.26	0.24	②
203	E3-U13	0.23	0.18	0.19	②
204	E3-U13	0.26	0.23	0.12	②
205	E3-U13	0.29	0.23	0.10	②
206	E3-U13	0.20	0.18	0.07	②
207	E3-U13	0.28	0.24	0.16	②
208	E3-U13	0.32	0.25	0.24	②
209	E3-U14	0.29	0.27	0.27	②
210	E3-U14	0.28	0.22	0.13	②
211	E3-U12	0.29	0.26	0.09	②
212	E3-U12	0.23	0.20	0.13	②
213	E3-U12	0.23	0.20	0.14	②
214	E3-U12	0.26	(0.25)	0.15	②
215	E3-U12	0.22	(0.18)	0.14	②
216	E3-U12	0.23	0.20	0.09	②
217	E3-U12	0.26	0.22	0.10	②
218	E3-U12	0.24	0.21	0.14	②
219	E3-U12	0.30	0.24	0.06	②
220	E3-U12	0.21	0.20	0.08	①
221	E3-U12	0.22	0.20	0.13	②
222	E3-U12	0.21	0.18	0.08	②
223	E3-U12	0.34	0.31	0.12	②
224	E3-U12	0.25	0.24	0.14	①
225	E3-U12	0.28	0.23	0.05	②
226	E3-U12	0.18	0.15	0.04	②
227	E3-U12	0.22	0.21	0.10	①
228	E3-U12	0.28	0.27	0.10	②
229	E3-U-V12	0.40	0.39	0.10	①
230	E3-V12	0.25	0.21	0.12	②
231	E3-V12	0.27	0.26	0.09	②
232	E3-V12	0.23	0.22	0.12	②
233	E3-V12	0.20	0.19	0.10	②
234	E3-V12	0.23	0.21	0.07	②
235	E3-V12	0.24	0.22	0.08	②
236	E3-V12	0.20	0.20	0.08	①
237	E3-V12	0.15	0.15	0.10	①
238	E3-V12	0.26	0.22	0.14	②
239	E3-V13	0.37	0.25	0.32	⑤
240	E3-U-V13	0.30	0.28	0.19	②
241	E3-V13	0.31	0.26	0.23	②
242	E3-U-V14	0.24	0.22	0.11	②
243	E3-V14	0.26	0.23	0.14	②
244	E3-V14	0.49	0.49	0.04	①
245	E3-T15	0.40	0.32	0.40	②
246	E3-T15	0.45	0.27	0.19	⑥
247	E3-U15	0.60	0.57	0.09	②

No	所在グリッド	長径	短径	深さ	形状
248	E3-S13	0.25	0.21	0.13	②
249	E3-S14	0.28	0.25	0.06	②
250	E3-S14	0.34	0.28	0.34	②
251	E3-S14	0.33	0.29	0.09	②
252	E3-S14	0.30	0.27	0.07	②
253	E3-S14+15	0.48	0.35	0.18	②
254	E3-S15	0.32	0.26	0.17	②
255	E3-S15	0.48	0.30	0.16	②
256	E3-T14	0.29	0.27	0.15	②
257	E3-T15	0.28	0.27	0.13	①
258	E3-T15	0.32	0.30	0.29	②
259	E3-T15	0.33	0.30	0.13	②
260	E3-S15	0.26	0.24	0.20	②
261	E3-T15	0.22	0.21	0.10	①
262	E3-T15	0.27	0.25	0.21	②
263	E3-S-T15	0.25	0.24	0.18	①
264	E3-T16	0.29	0.27	0.14	②
265	E3-S15	0.23	0.21	0.11	②
266	E3-T14	0.30	0.24	0.11	②
267	E3-T14+15	0.26	0.22	0.10	②
268	E3-T15	0.24	0.21	0.11	②
269	E3-T15	0.32	0.30	0.12	②
270	E3-F-G12	0.30	0.25	0.21	②
271	F3-G12	0.19	0.18	0.22	②
272	F3-G13	0.33	0.26	0.25	⑤
273	F3-G13	0.23	0.22	0.30	②
274	F3-G13	0.30	0.23	0.24	②
275	F3-F15	0.27	0.15	0.26	⑤
276	F3-F15	0.29	0.22	0.15	⑤
277	F3-F15	0.29	0.26	0.15	⑤
278	F3-F15+16	0.24	0.21	0.23	②
279	F3-G13	0.28	0.27	0.25	②
280	F3-G13	0.27	0.25	0.24	②
281	E3-T15	0.40	0.25	0.09	②
282	E3-T13	0.25	0.23	0.36	②
283	E3-T14	0.27	0.22	0.11	②
284	E3-T14	0.25	0.24	0.10	②
285	E3-U15	0.35	0.32	0.14	②
286	E3-U12	0.30	0.27	0.16	⑤
287	E3-T13	0.40	0.26	0.11	②
288	E3-T-U13	0.18	(0.18)	0.07	⑤
289	E3-T-U13	0.26	(0.20)	0.07	⑤
290	E3-U12+13	0.24	0.23	0.16	②
291	E3-U12	0.46	0.21	0.13	⑤
292	E3-U12	0.30	0.28	0.05	②
293	E3-U12+13	0.34	0.30	0.08	②
294	E3-V14	0.28	0.24	0.09	②
295	E3-T14	0.41	0.27	0.34	⑤
296	E3-T14	0.19	0.17	0.11	②
297	E3-T14	0.29	0.28	0.31	①

() は推定値単位:m 形状: ①円形 ②梢円形 ③楕丸方形 ④楕丸長方形 ⑤不定形

No.	所在グリッド	長径	短径	深さ	形状	No.	所在グリッド	長径	短径	深さ	形状
298	E3-U14	0.33	0.29	0.05	②	331	E3-W13	1.07	1.01	0.30	②
299	E3-T14	0.25	0.21	0.08	②	332	E3-W13	0.65	0.64	0.35	①
300	E3-U14	0.25	0.24	0.15	①	333	E3-X13	0.97	0.95	0.15	②
301	E3-U12	0.20	0.20	0.06	①	334	E3-W-X14+15	1.02	0.95	0.31	②
302	E3-U12	0.36	0.34	0.10	⑤	335	E3-X14	0.94	0.88	0.10	②
303	E3-U13	0.39	0.37	0.16	②	336	E3-W14	0.45	0.42	0.27	②
304	F3-G12	0.30	0.22	0.50	⑥	337	E3-W14	0.82	0.79	0.15	①
305	F3-F15	0.20	0.15	0.25	④	338	E3-X12	0.93	0.89	0.30	②
306	F3-G15	0.21	0.17	0.19	②	339	E3-X12+13	1.18	1.13	0.30	②
307	D3-X-Y4	0.97	0.90	0.07	②	340	E3-W11+12	1.10	1.07	0.11	③
308	D3-X-Y5	1.06	0.97	0.09	②	341	E3-X11	1.10	1.07	0.36	②
309	D3-Y6	1.06	1.00	0.16	②	342	E3-X11	1.03	0.99	0.28	②
310	D3-B5	1.05	1.02	0.10	②	343	E3-Y10+11	1.09	1.00	0.31	②
311	D3-B6	0.77	0.76	0.15	③	344	E3-Y11	1.01	(0.94)	0.30	②
312	E3-K+L9	1.07	1.07	0.22	①	345	E3-Y10+11	1.05	1.00	0.37	②
313	E3-I15	0.97	0.92	0.26	①	346	F3-B11	1.11	1.06	0.17	②
314	E3-G12	0.95	0.78	0.07	②	347	F3-C11	1.09	1.03	0.20	②
315	E3-O9+10	0.92	0.90	0.11	②	348	F3-A14	0.93	0.87	0.16	②
316	E3-M12	0.65	0.52	0.04	②	349	F3-B14	0.99	0.89	0.20	②
317	E3-T13	0.92	0.84	0.10	②	350	F3-C12	(0.87)	0.80	0.07	②
318	E3-U12+13	1.13	1.09	0.15	②	351	F3-D12	1.00	0.96	0.12	②
319	E3-U13	0.70	0.68	0.07	②	352	F3-E13	1.11	1.07	0.08	②
320	E3-V13	0.83	0.83	0.05	①	353	F3-E13+14	(0.82)	(0.80)	0.16	②
321	E3-V12+13	1.24	1.10	0.15	③	354	F3-E+F13	0.96	0.94	0.15	②
322	E3-V+W12	1.06	0.98	0.38	②	355	F3-D14	0.74	0.69	0.04	②
323	E3-V13	1.09	1.08	0.60	②	356	F3-D15	0.86	0.71	0.07	②
324	E3-V13	0.93	0.87	0.33	②	357	E3-Y16	0.73	0.69	0.36	②
325	E3-V14	1.02	0.92	0.09	③	358	F3-E15	0.89	0.89	0.08	①
326	E3-V14	0.86	0.80	0.60	②	359	F3-G16	0.99	0.91	0.64	②
327	E3-W13	1.08	0.93	0.45	③	360	F3-G17	1.21	1.18	0.21	②
328	E3-V-W12+13	1.04	(0.92)	0.31	③	361	F3-J17	1.10	0.99	0.10	②
329	E3-V-W12+13	0.92	0.86	0.24	③	362	E3-S12	1.55	1.22	0.65	③
330	E3-V-W12+13	1.12	(0.97)	0.47	②	363	E3-U-V14	0.90	0.88	0.13	①

注:D-79・80・82・84・86・88・99・100・101・103・105・270・271・272・273・274・275・276・277・278・
279・280・304・305・306は、掘立柱構造(B-1~4)を構成する柱穴列となる。

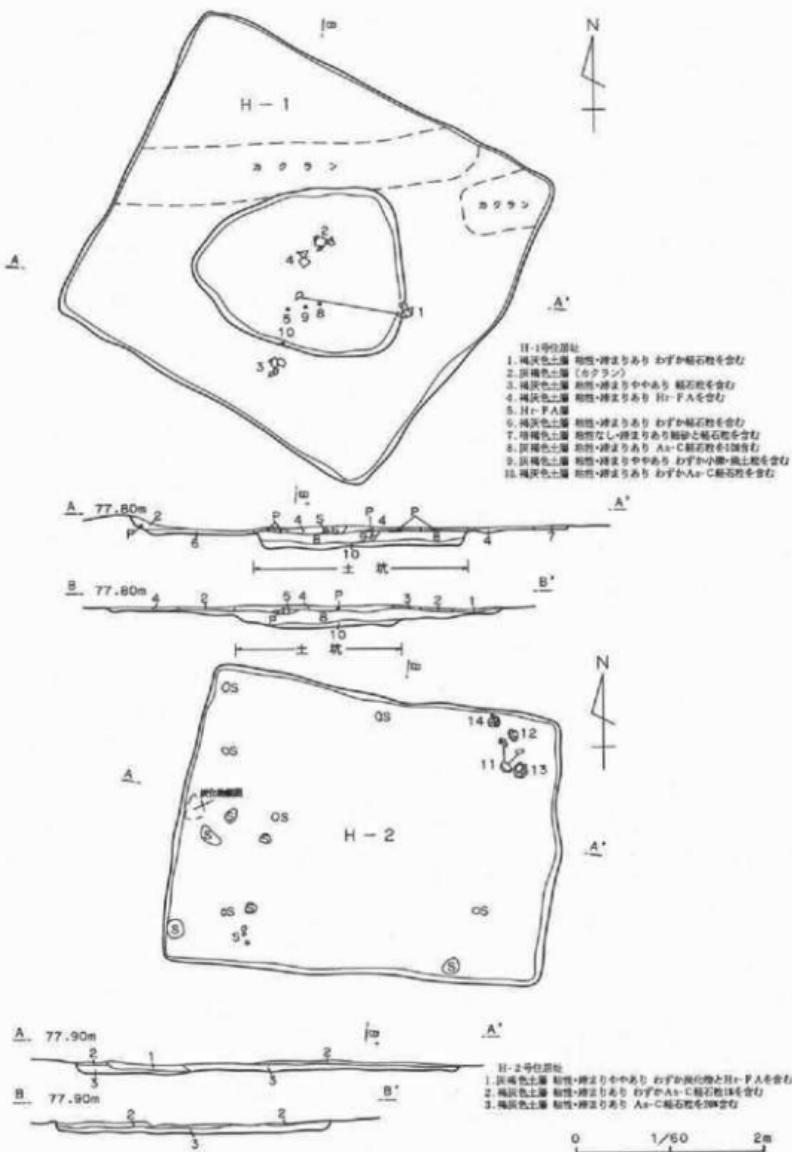
溝・水路計測表

注: () は推定値、N, S, W, Eは方向を示す

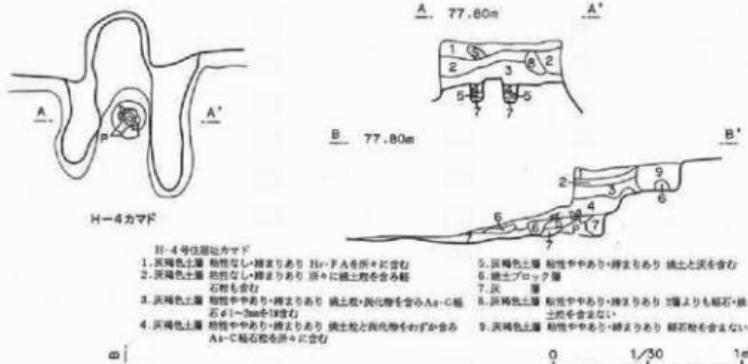
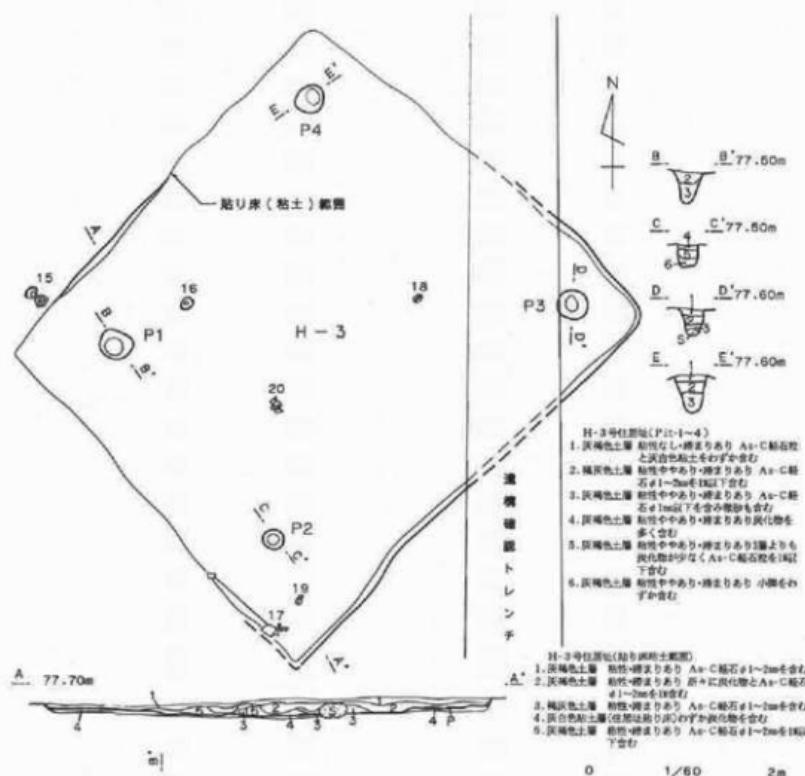
No	長さ (m)	幅さ (cm)	底のレベル (m)	調査配 (%)	溝幅 (cm)	溝幅 (cm)	水向 西	水向 東	溝の位置 (グリッド)	堆積土層 (注記%)	備 考
W-1 (40.0)	W 94 E 196	W76.42 E76.39	(9.25)	上329~543 下224~310	N-S	D3-D-E18 ~D4-M24	(3)①		中層IIのW-31と同じ溝水田に伴う		
2 46.0	W 42 E 38	W76.89 E77.00	3.26	上150~235 下54~74	N-S	D4-U3 ~E4-H4	(3)①		水田に伴う溝水田と同時期に使用されていたと思われる		
3 61.9	W125 E124	W75.99 E75.86	2.91	上432~729 下182~484	N-S	D4-B5 ~E4-S8	(3)①		近世の遺物を検出した(1区と2区にまたがる)		
4 7.3	N 33 S 31	N77.29 S77.27	-	上 86~106 下 50~55	W-E	D3-X18 ~20	(3)②		水口から水を取り入れ一時的に水をためて水量を調節する施設か水路の勾配は東から西へ6.38である		
5 17.2	N 9 S 7	N77.29 S77.22	10.20	上120~174 下94~162	W-E	D3-Q23 ~D4-Q2	(3)②		W-2へと合流する排水路と思われる		
6 36.9	W 22 E 23	W77.78 E77.78	3.23	上105~142 下43~70	N-S	D3-H13 ~D3-O5-6	(3)②		中層IIのW-32と同じ溝水田に伴う		
7 (12.9)	N 25 S 23	N77.37 S77.37	(5.43)	上 50~130 下 22~75	W-E	D2-U16 ~D2-V19	(3)②		中層IIのW-37と同じ溝北側不明		
8 (28.8)	W 22 E 21	W77.40 E77.43	(5.00)	上 59~106 下 40~77	N-S	E2-C23 ~E3-H0	(3)②		中層IIのW-38と同じ溝北側不明		
9 (51.1)	W 6 E 5	W77.92 E77.90	(3.13)	上 56~76 下 51~72	N-S	D3-Q4 ~E3-D7	(3)②		46+48+49+55号水田と畦畔を切っている		
10 112.7	W 50 E 43	W76.32 E76.28	1.49	上138~277 下48~92	N-S	E4-P4 ~5-F4-R3	(3)③④		W-3-Nは同時期に使用されていたと思われるW-3より既に切られているE4-Y3-4グリッド付近より北側に4.87%下がっている		
11 121.7	W 44 E 37	W76.53 E76.62	2.22	上 70~163 下 20~90	N-S	E4-J4-F4 ~X03	(3)②		W-2と同じ溝で水田に伴うもの		
12 6.8	W 14 E 11	W76.74 E76.84	33.63	上 64~102 下 38~66	N-S	E4-R-S4	(3)②		W-11と同時期に使用されてW-11より分流され東側の水田に水を供給していたものと思われる		
13 153.2	W 72 E 73	W76.06 E76.06	2.68	上295~319 下80~150	N-S	E6-F-G4 ~F7-H8	(3)③⑥		W-15を切っている近世の溝と思われる水田・畦畔を切っている		
14 149.4	W 16 E 14	W76.60 E76.65	3.21	上173~288 下46~112	N-S	E6-A-H4 ~F7-B-C1-2	(3)③⑥		水田・畦畔を切っている東側で二段に分かれる		
15 28.8	W 40 E 26	W76.23 E76.21	7.82	上118~184 下18~59	N-S	E 6-N 7 8-E 6-U8	(3)②		水田・畦畔を切っているW-18を切っている		
16 64.0	W 48 E 44	W76.11 E76.12	4.46	上105~264 下30~77	N-S	E6-P5 ~F6-F11	(3)③⑦		南側でW-22に切られ不明H-11-12-14号住居址を切っている		
17 57.4	W 32 E 32	W76.27 E76.29	1.25	上83~143 下43~100	N-S	E6-W9 ~F6-J13	(3)③⑧		H-12号住居址を切っている		
18 20.8	W 8 E 9	W76.70 E76.71	2.40	上 44~84 下 14~36	N-S	E6-M5~E 6-R7	(3)③⑨		水田面を掘り込んでいるW-19に切られている		
19 9.2	N 9 S 9	N76.62 S76.63	4.89	上 43~75 下 24~37	W-E	E6-N5~E 6-O-P7-8	(3)⑨		W-18を切りW-15に切られている		
20 22.9	W 11 E 12	W76.64 E76.64	2.18	上 59~130 下 24~92	N-S	E6-NS~E 6-T8	(3)③⑩		W-24と重複し一旦分流し再度重複している		
21 2.8	N 30 S 29	N76.39 S76.39	7.14	上 63~84 下 31~34	N-S	E6-U6~E 6-T-U7	(3)③⑩		大部分が測定外W-16に切られている		
22 45.6	W 22 E 22	W76.35 E76.34	3.07	上 54~75 下 26~50	N-S	F 6-A 7 ~F6-J13	(3)③⑩		W-16を切り最南でW-17と重複している		
23 (15.7)	W 17 E 16	W76.48 E76.48	(15.70)	上 43~80 下 26~42	N-S	F6-B8~F 6-F9	(3)⑩		H-15号住居址に切られている		
24 19.1	W 15 E 10	W76.63 E76.70	3.14	上 72~114 下 42~66	N-S	E6-O5~E 6-S8	(3)③⑩		W-30と重複しているW-16へと注ぐ		

(溝・水路計測表 堆積土層ナンバー)

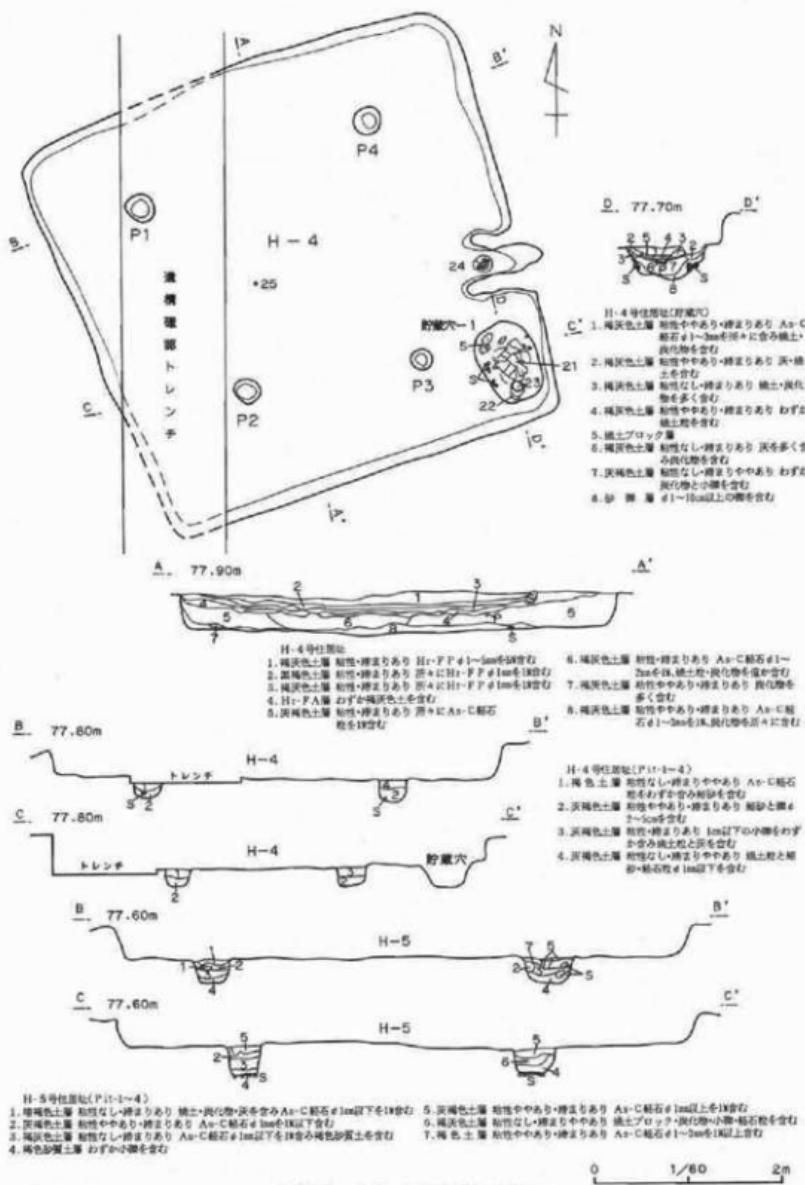
- | | | |
|-----------|-------------|--------------|
| ① 灰色細砂層 | ⑪ 灰褐色砂疊層 | Hr-FP を含む |
| ② 灰色細砂粗砂層 | ⑫ 灰灰色土層 | Hr-FP を含む |
| ③ 灰色細砂粗砂層 | ⑬ 灰灰色細砂粗砂層 | 小砾を含む(洪水堆積層) |
| ④ 棕色土層 | ⑭ 灰灰色砂疊層 | (洪水堆積層) |
| ⑤ 灰褐色土層 | ⑮ 暗褐色土層 | 輕石粒を含む |
| ⑥ 灰褐色土層 | ⑯ 暗褐色砂質層 | Hr-FP を含む |
| ⑦ 灰褐色土層 | ⑰ 灰褐色砂層 | Hr-FP を含む |
| ⑧ 灰褐色微砂層 | ⑱ 輕石粒を含む | |
| ⑨ 灰褐色細砂層 | ⑲ Hr-FP を含む | |



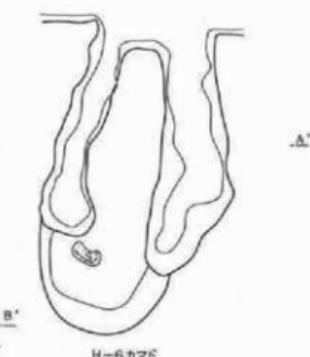
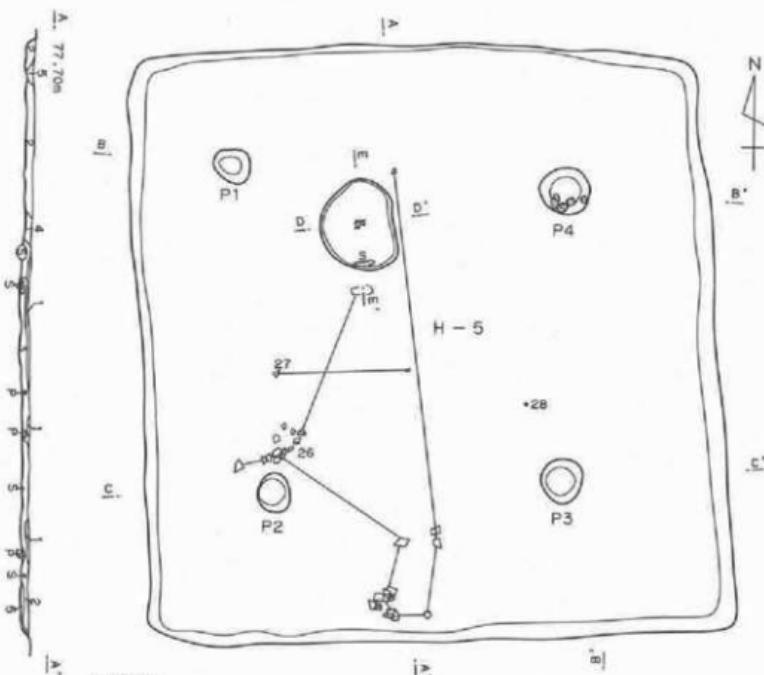
第8図 1号・2号住居址実測図



第9図 3号住居址・4号住居址カマド実測図



第10図 4号・5号住居址実測図

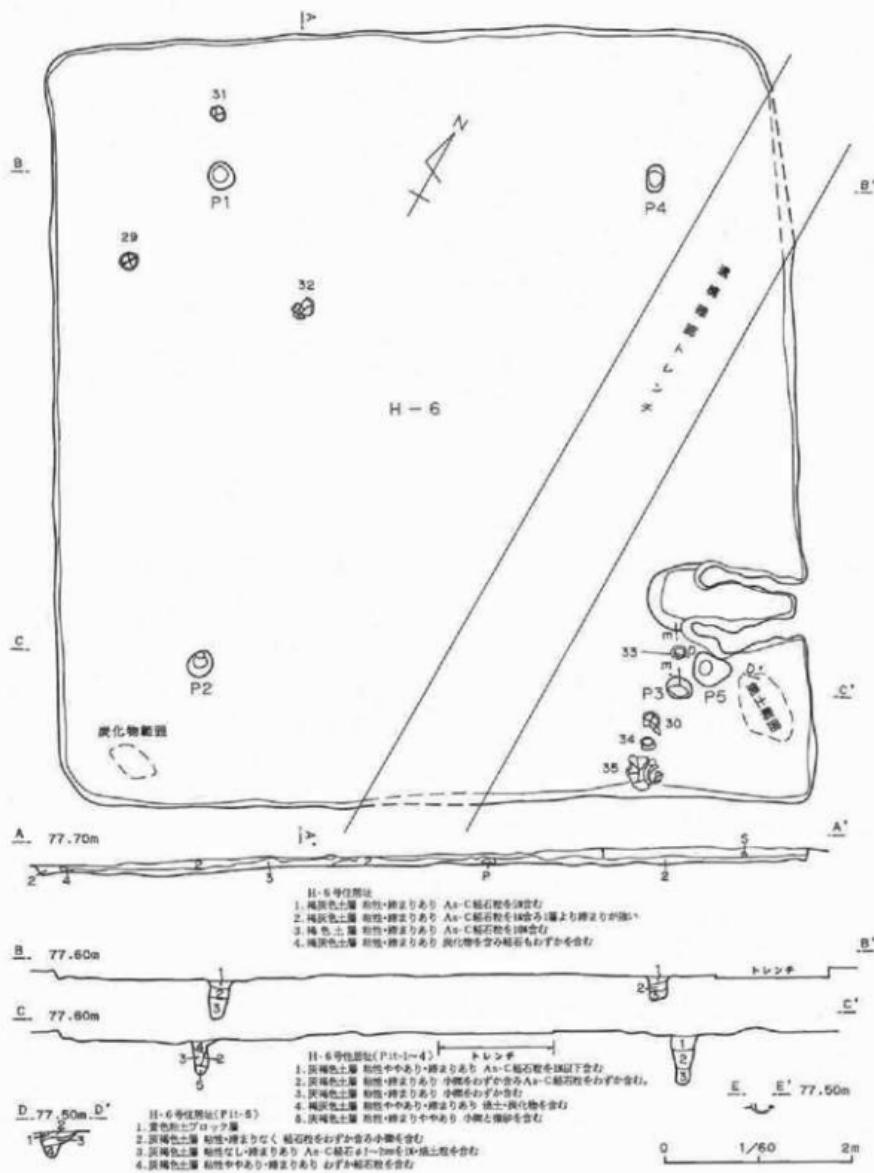


H-6号住居址カマド

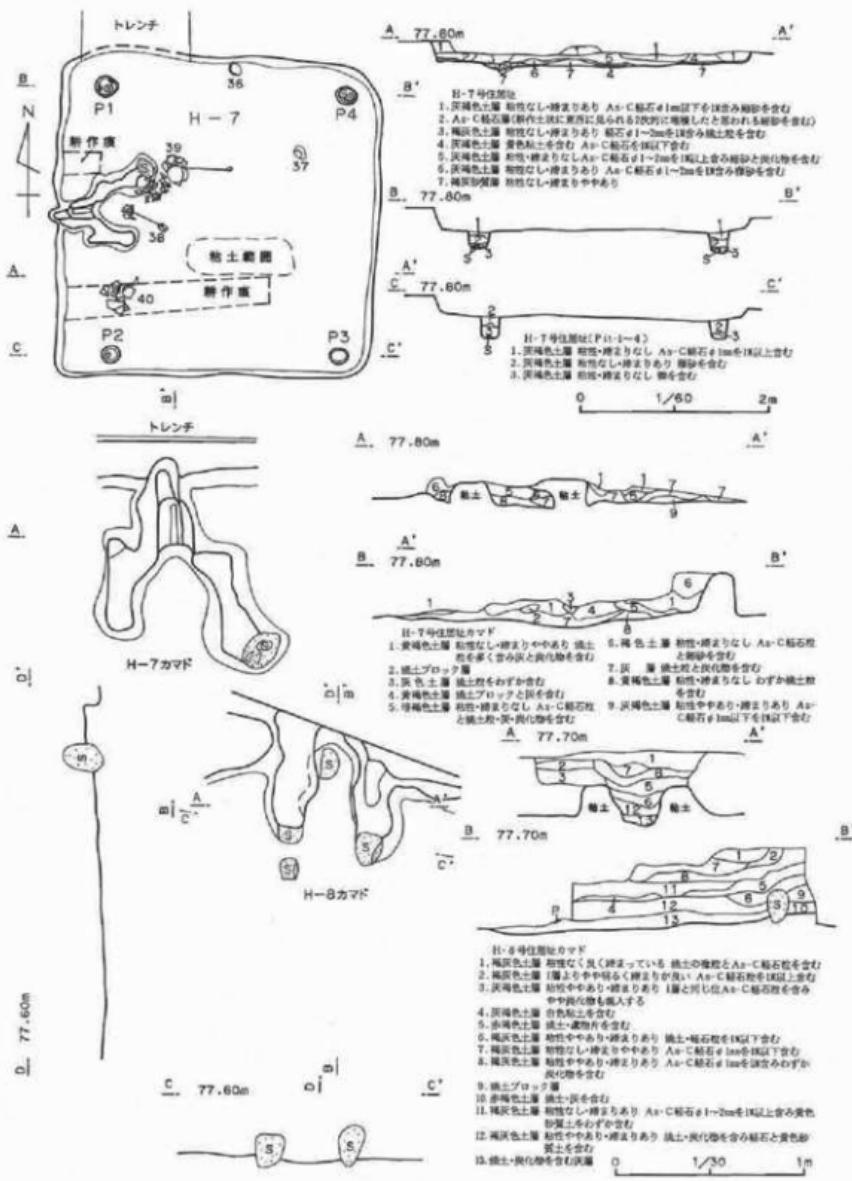
- 黄褐色土層 粒性・礫まりあり A-C粘石#1~2mを含む
- 黄色粘土層 A-C粘石#1m以下を含み壁面より鉄化物が強い
- 褐色土層 粒性・礫まりややあり A-C粘石を含む
- 褐色土層 粒性・礫まりあり鉄化物を含み粘石もわずか含む
- 粘土層を含む炭灰

0 1/30 1m

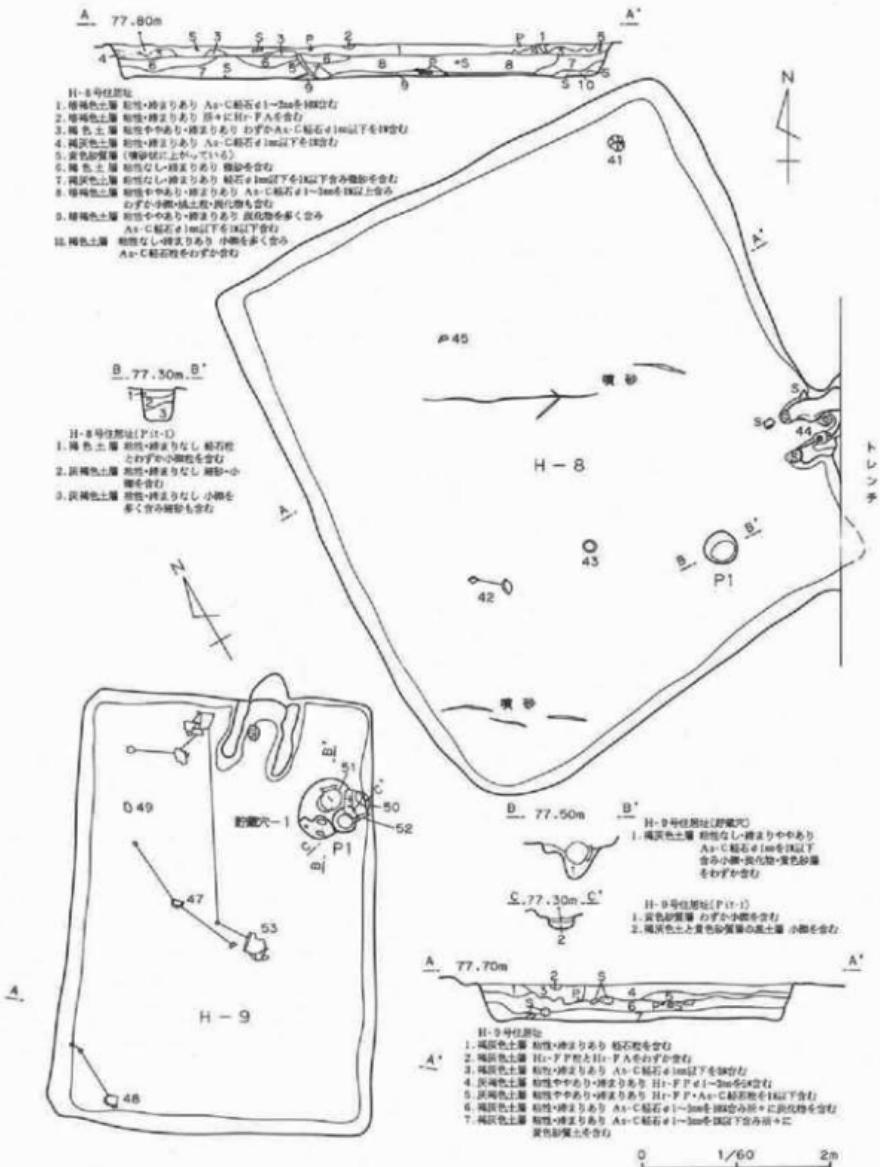
第11図 5号住居址・6号住居址カマド実測図



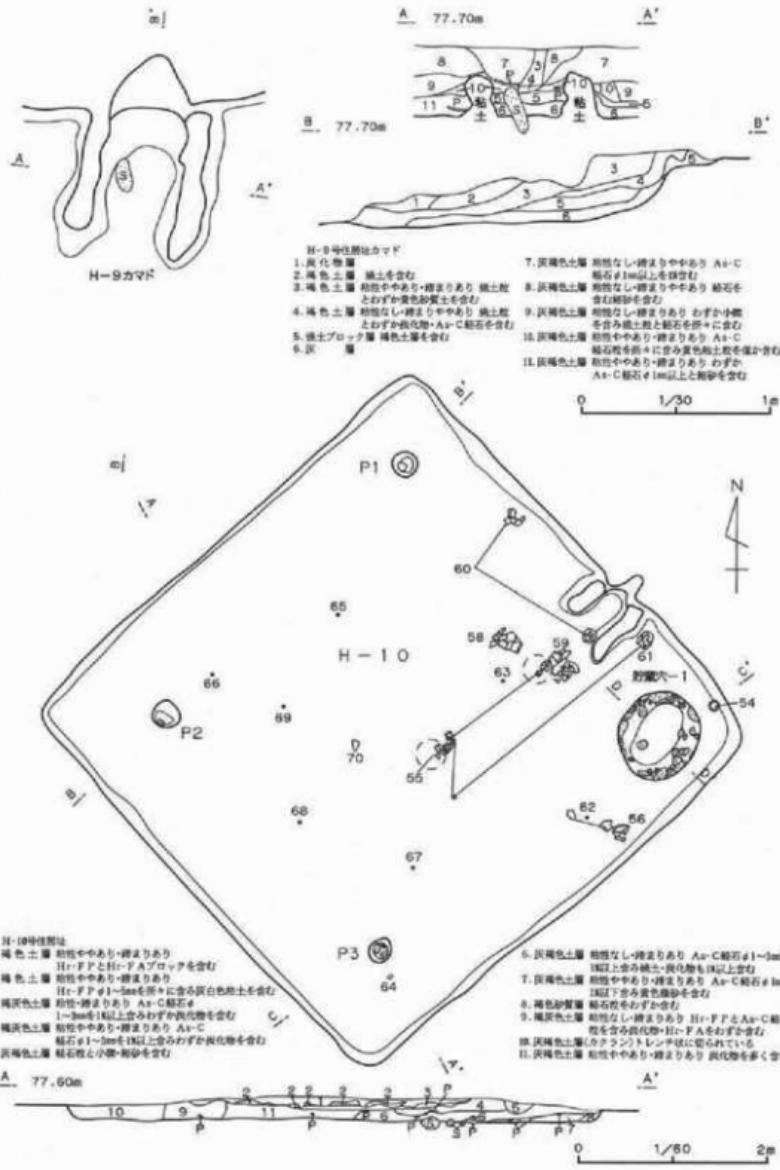
第12図 6号住居址実測図



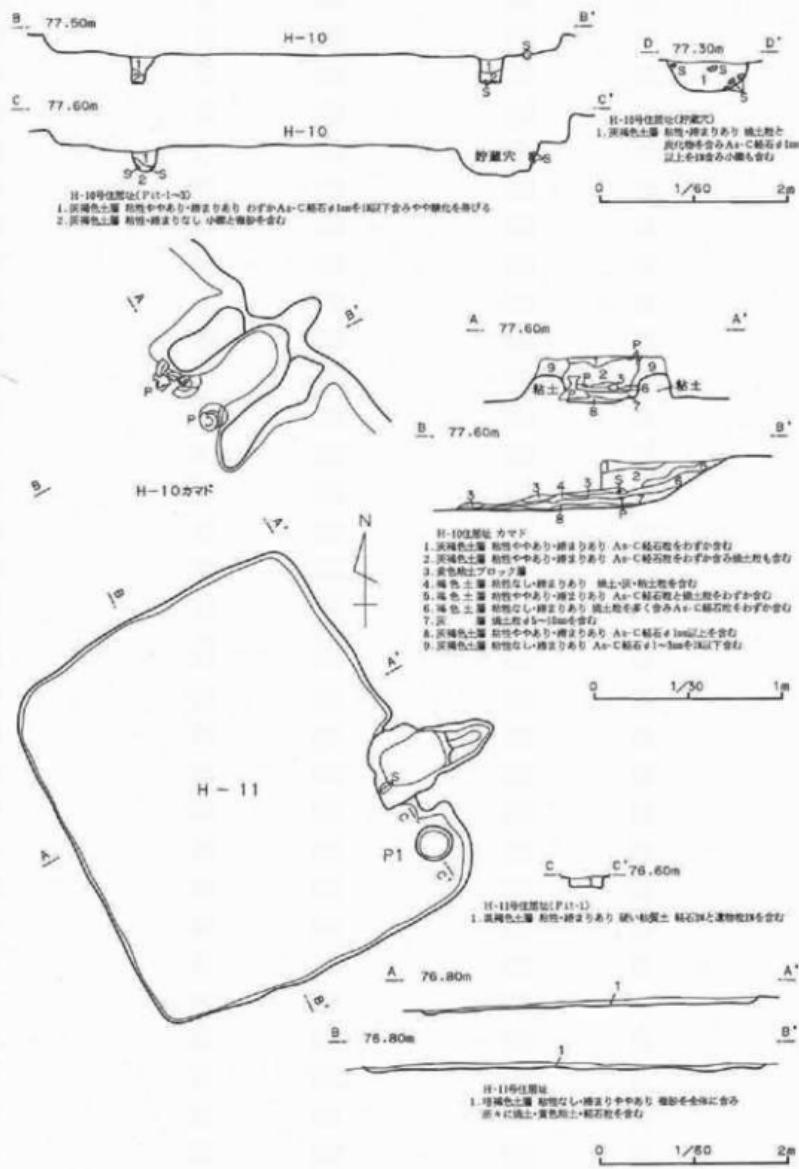
第13図 7号住居址・カマド・8号住居址カマド実測図



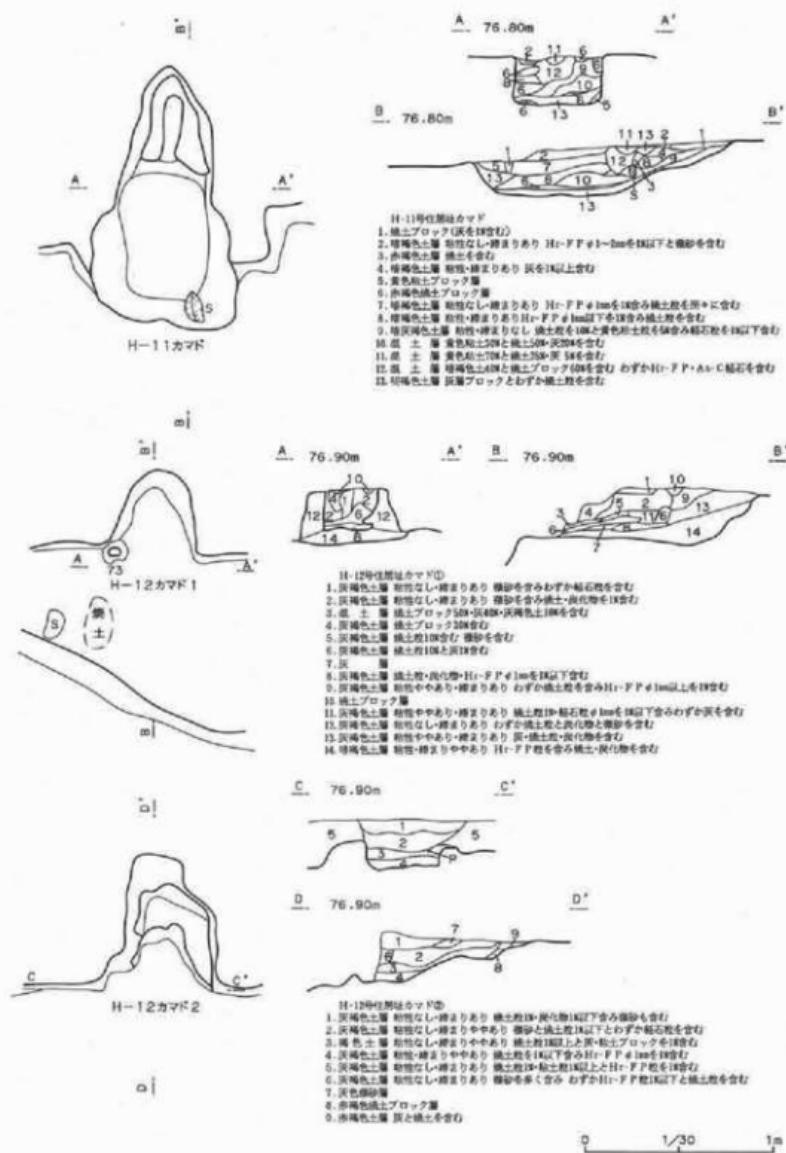
第14図 8号・9号住居址実測図



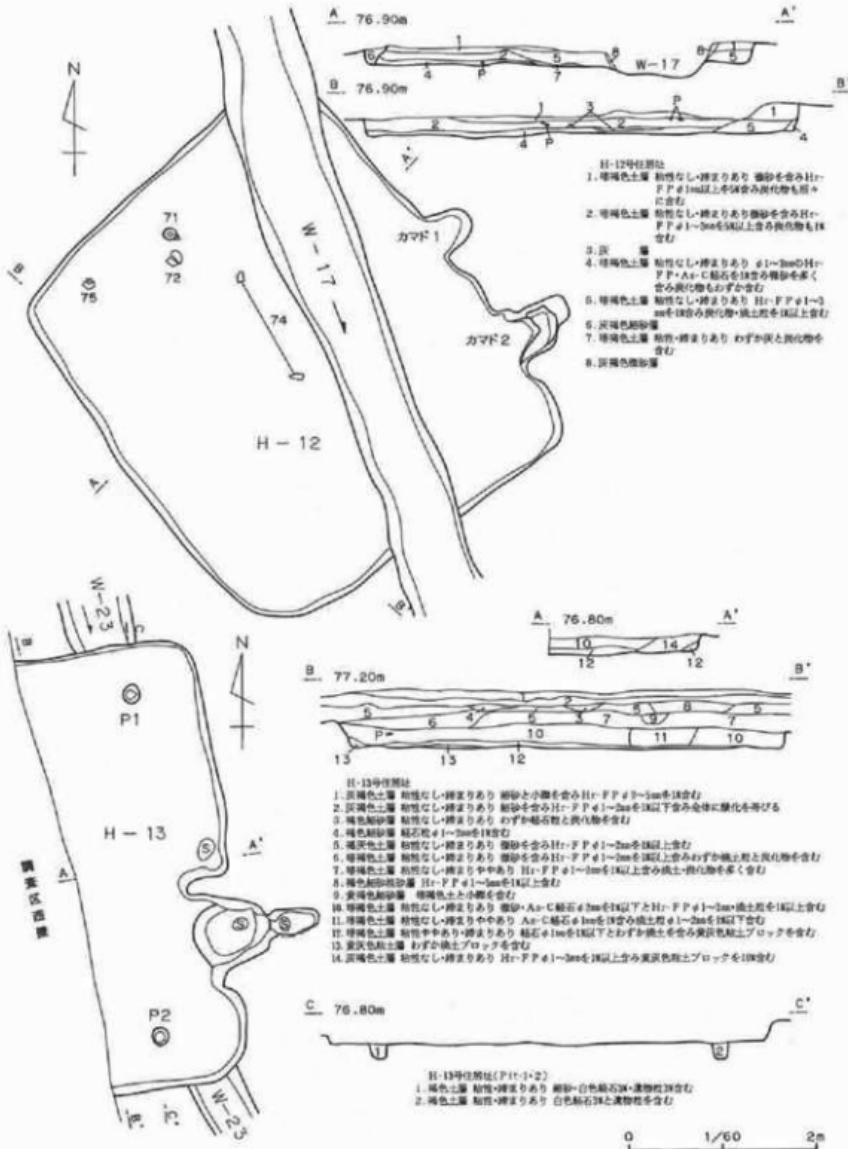
第15図 9号住居址カマド・10号住居址実測図



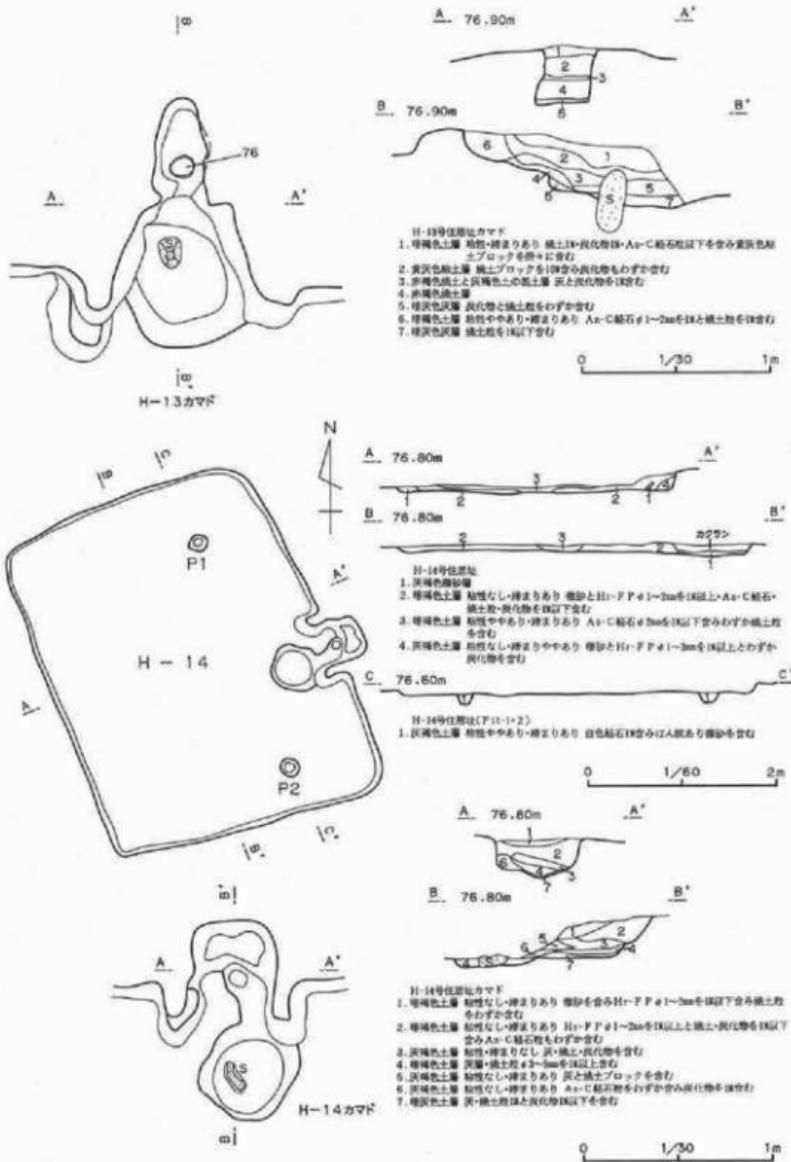
第16図 10号住居址・カマド・11号住居址実測図



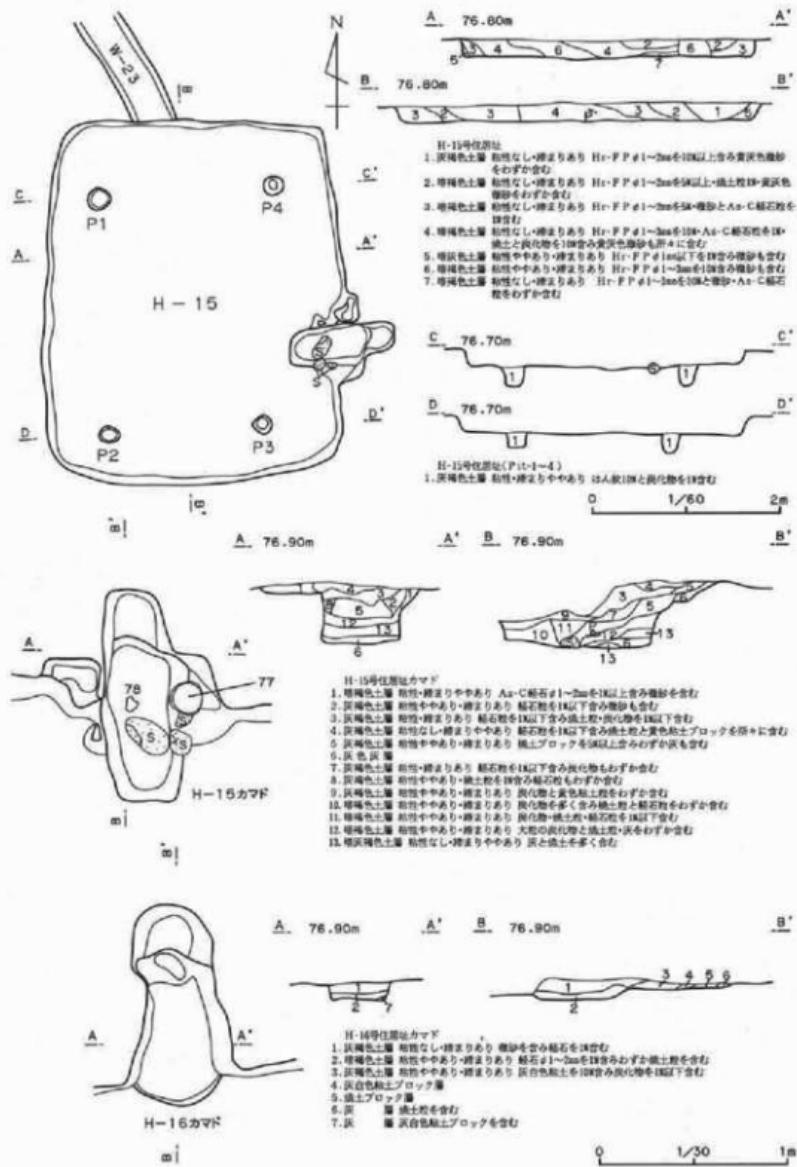
第17図 11号住居址カマド・12号住居址カマド1・2実測図



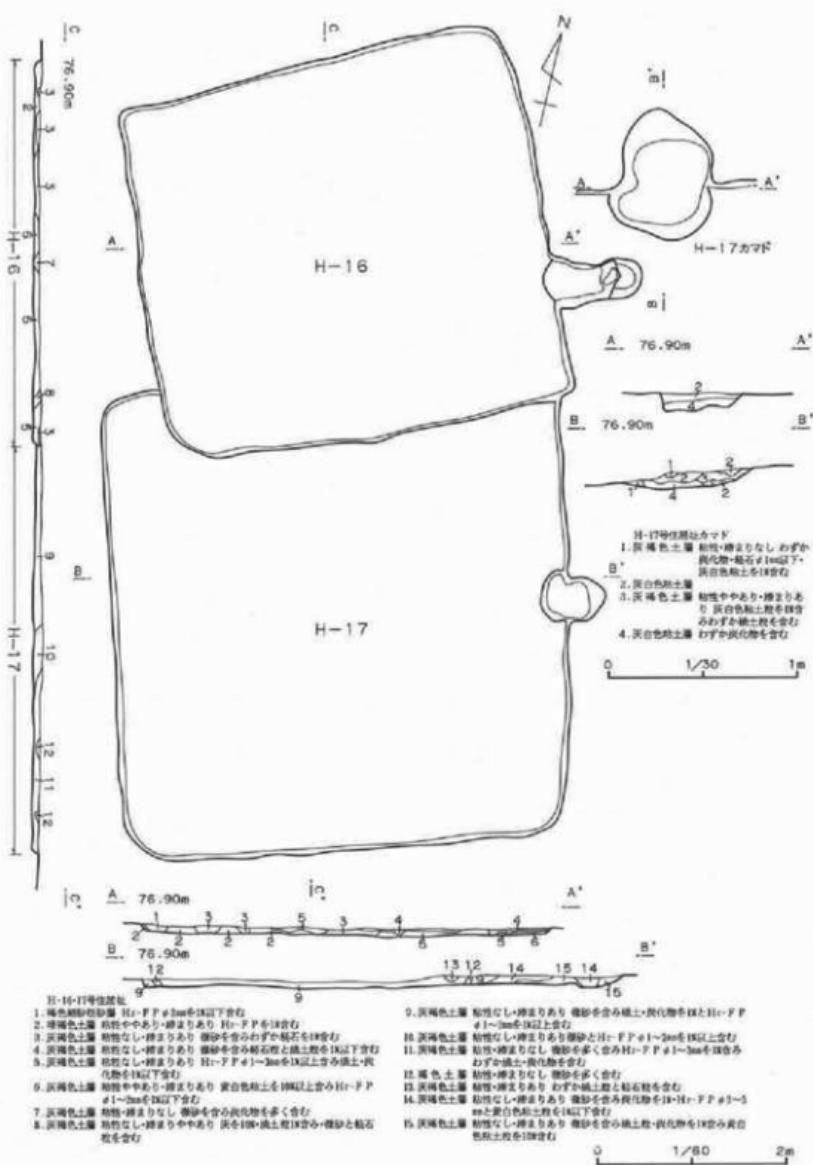
第18図 12号・13号住居址実測図



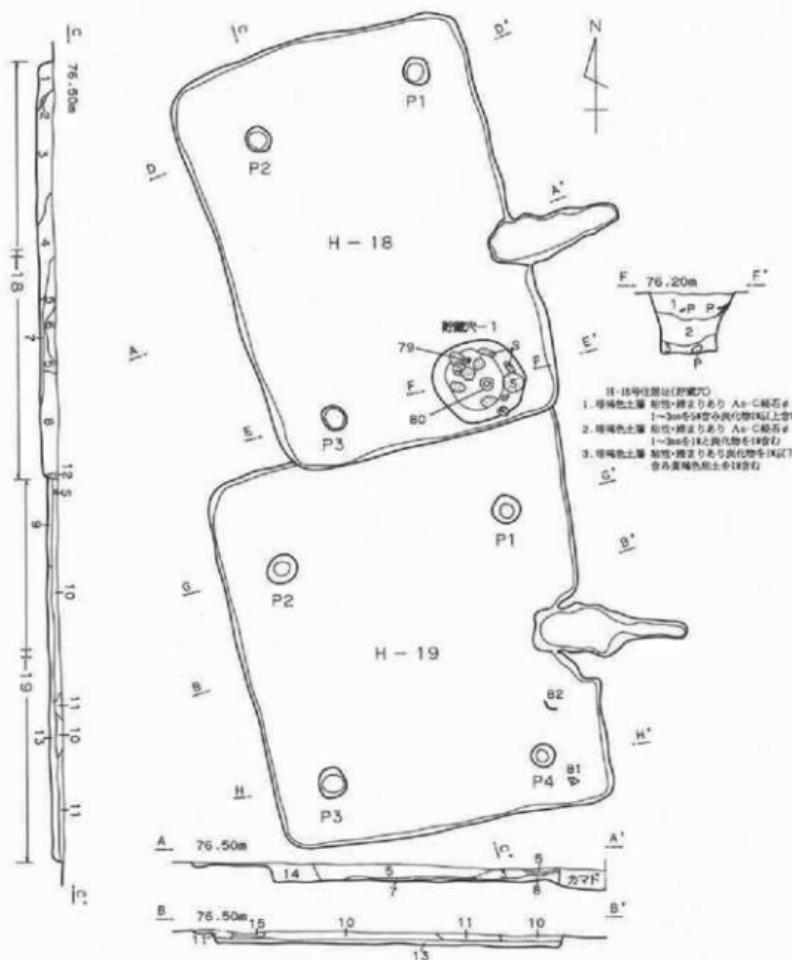
第19図 13号住居址カマド・14号住居址・カマド実測図



第20図 15号住居址・15・16号住居址カマド実測図



第21図 16号・17号住居址・17号住居址カマド実測図

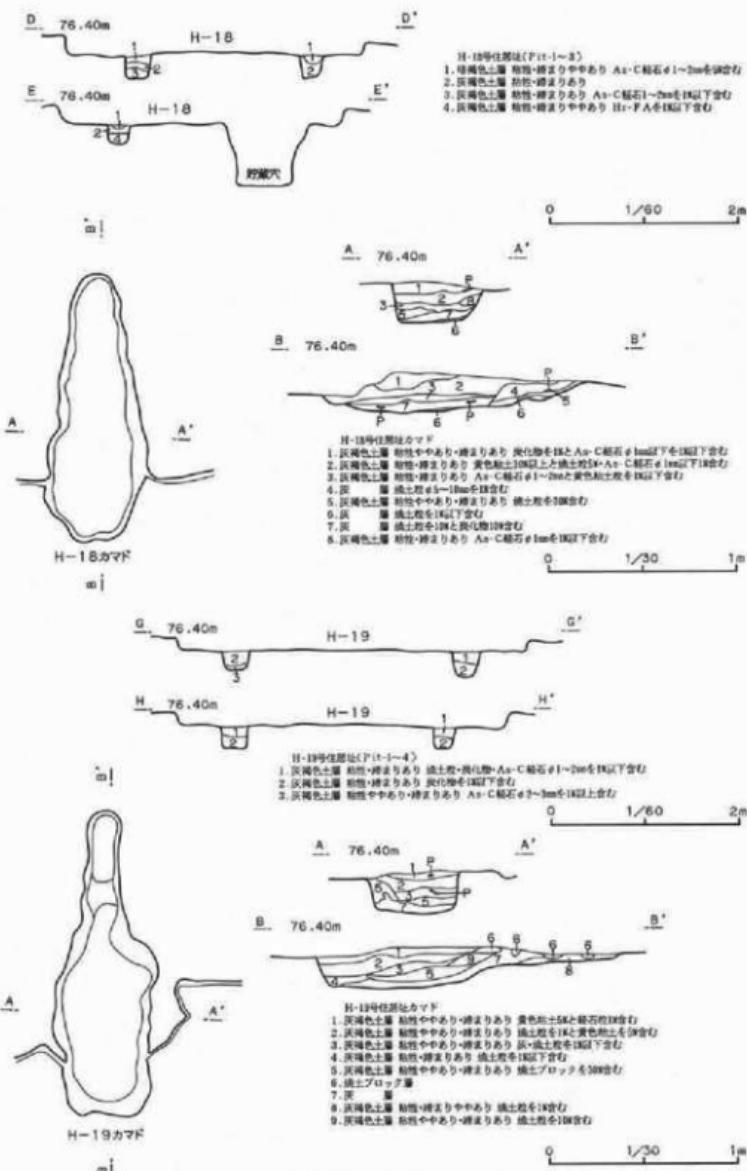


H-18・19号住居址

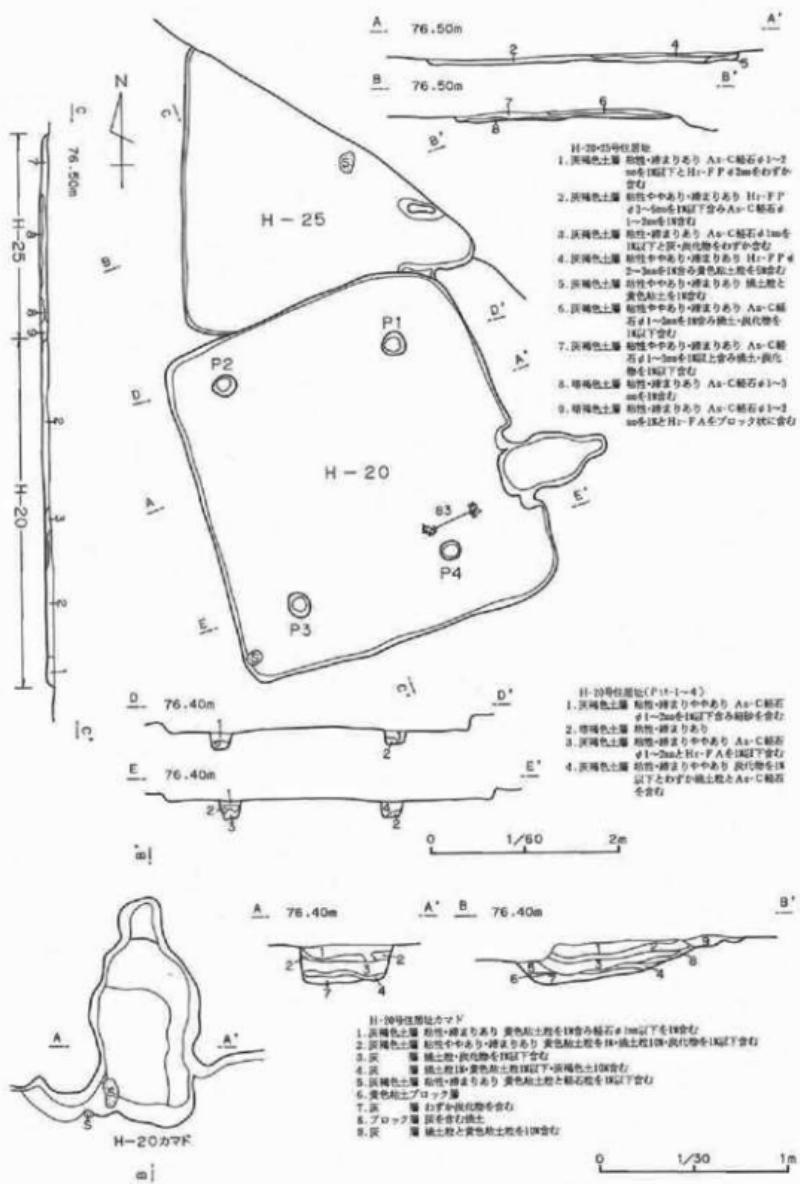
1. 黄褐色土層 粘性ややあり、液まりあり H-1-FP+1~2mを1層以上と想定し含む
2. 黑褐色土層
3. 黄褐色土層 粘性、液性あり H-1-FP+1~10mを複数の液化層・液池を1層行
4. 黄褐色土層 粘性、液性あり H-1-FP+1~10mを複数の液化層を1層行
5. 黄褐色土層 粘性、液性あり H-1-FP+1mを1層 H-1-FA1段以下をブロック状に含む
6. 黄褐色土層 粘性ややあり、液まりあり H-1-FP+1mを1層 H-1-FA1段以下をブロック状に含む
7. 黄褐色土層 粘性、液性あり 硬岩層を1層以下含む
8. 黄褐色土層 粘性、液性あり H-1-FP+1~7mを複数の液化層と共に H-1-FP+1~2mを1層 H-1-FA1段以下を含む
9. 黄褐色土層 粘性ややあり H-1-FP+1~2mを複数の液化層と共に H-1-FP+1~2mを1層 H-1-FA1段以下を含む
10. 黄褐色土層 粘性ややあり、液性あり H-1-FP+1~2mを複数の液化層と共に H-1-FP+1~2mを1層 H-1-FA1段以下を含む
11. 黄褐色土層 粘性ややあり、液性あり H-1-FP+1~2mを複数の液化層と共に H-1-FP+1~2mを1層 H-1-FA1段以下を含む
12. 黄褐色土層
13. 黄褐色土層 粘性ややあり、液性あり H-1-FP+1~2mを1層 H-1-FA1段以下を含む
14. 黄褐色土層 粘性、液性あり As-C粘石+1mを1層 H-1-FA1段以下を含む
15. 粉砂層

1/60 2m

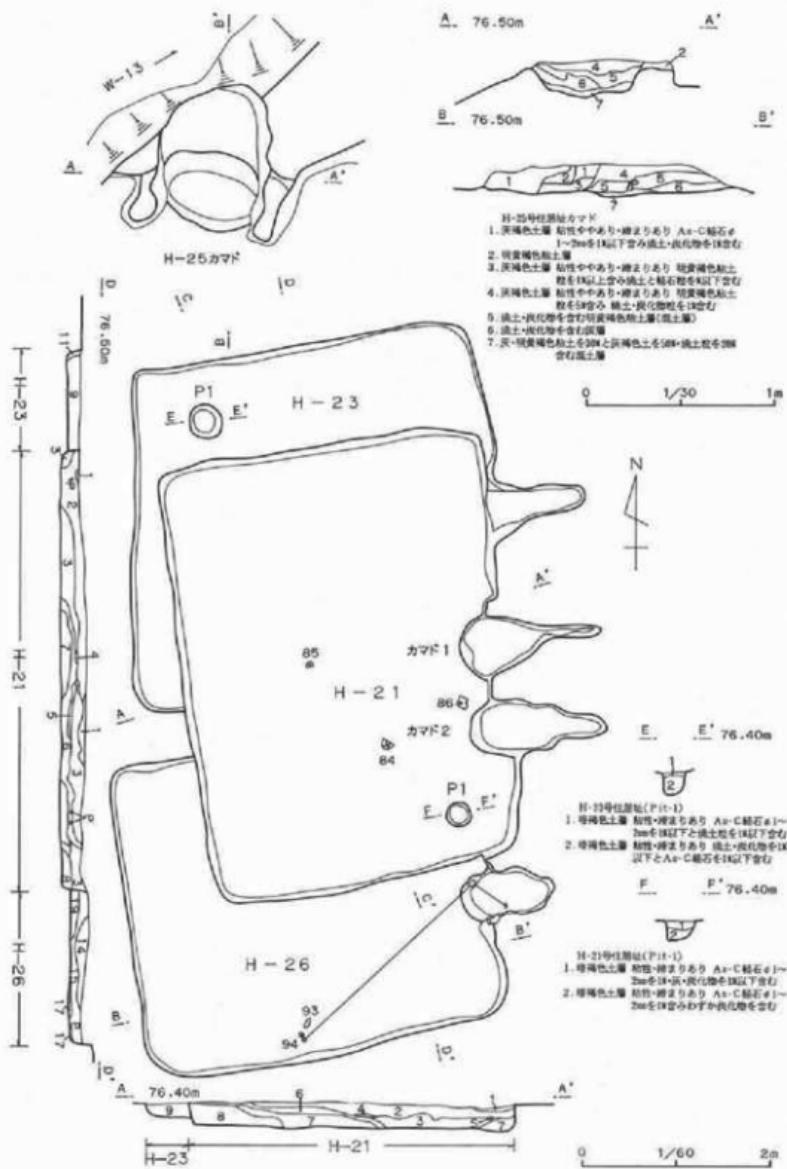
第22図 18号・19号住居址実測図



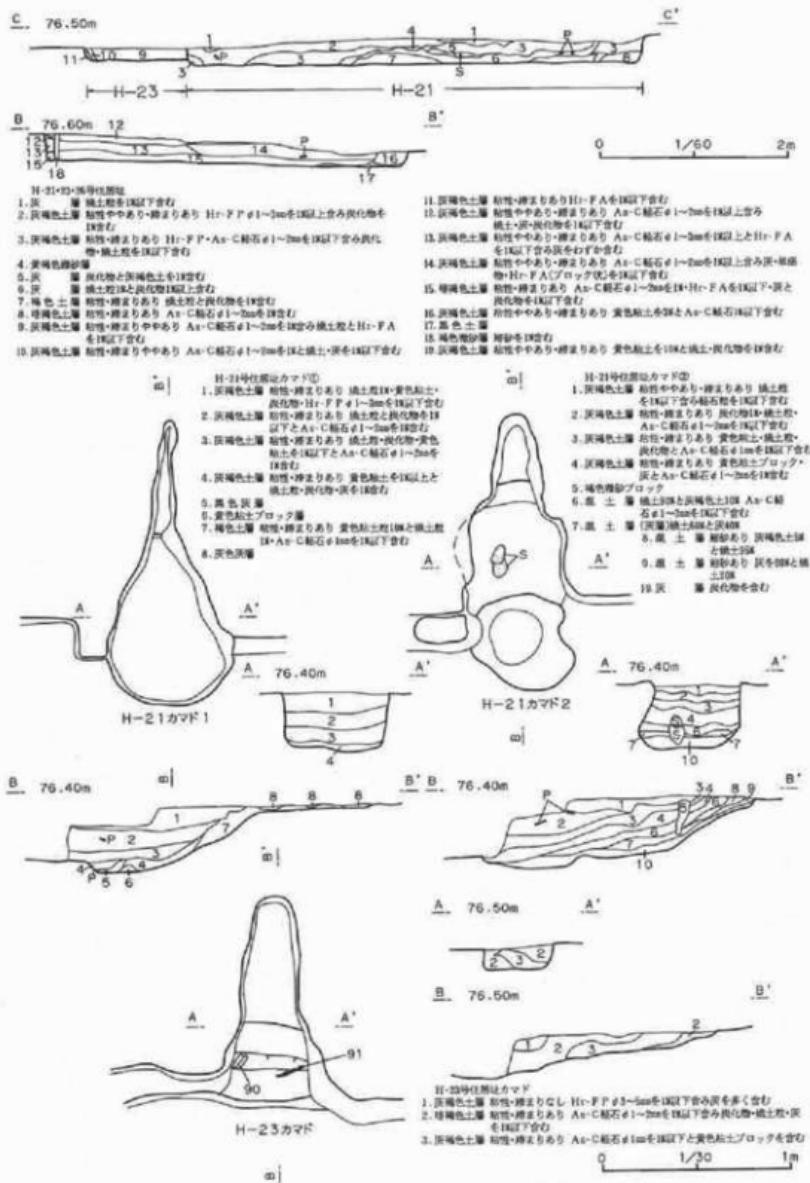
第23図 18号住居址・19号住居址カマド実測図



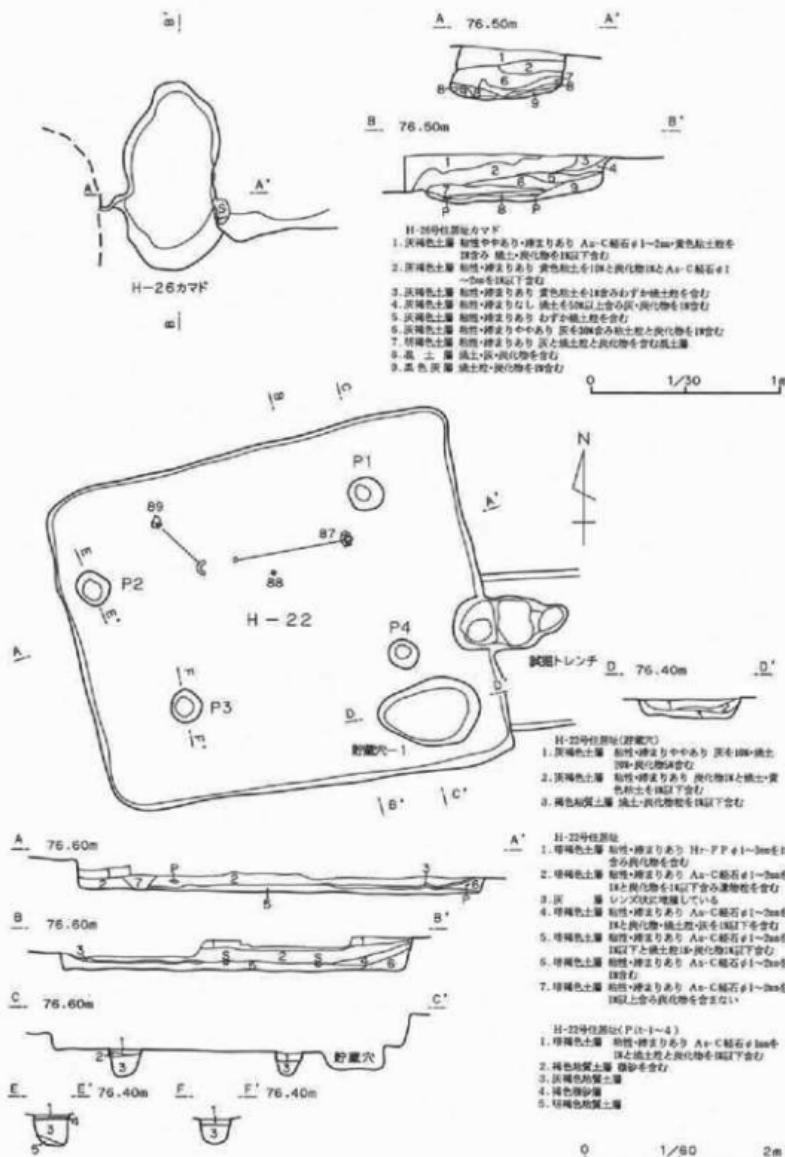
第24図 20号・25号住居層・20号住居層カマド実測図



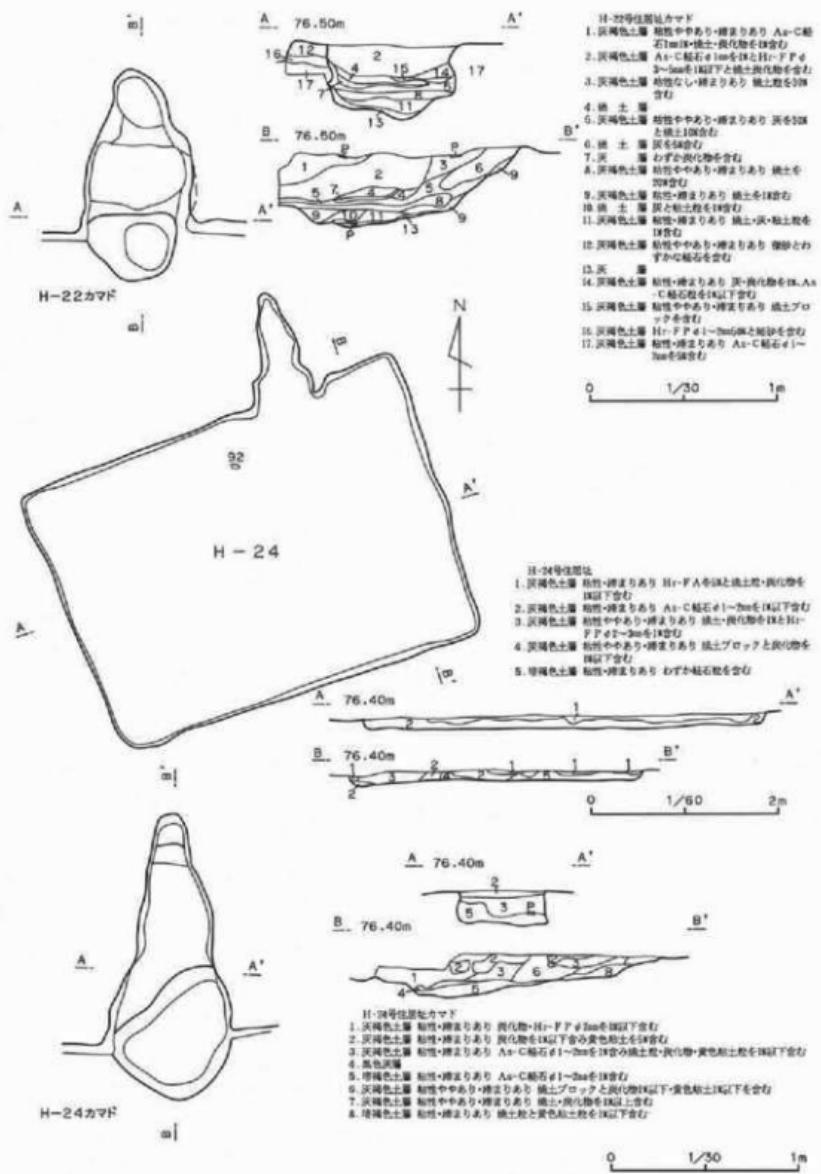
第25図 25号住居址カマド・21・23・26号住居址実測図



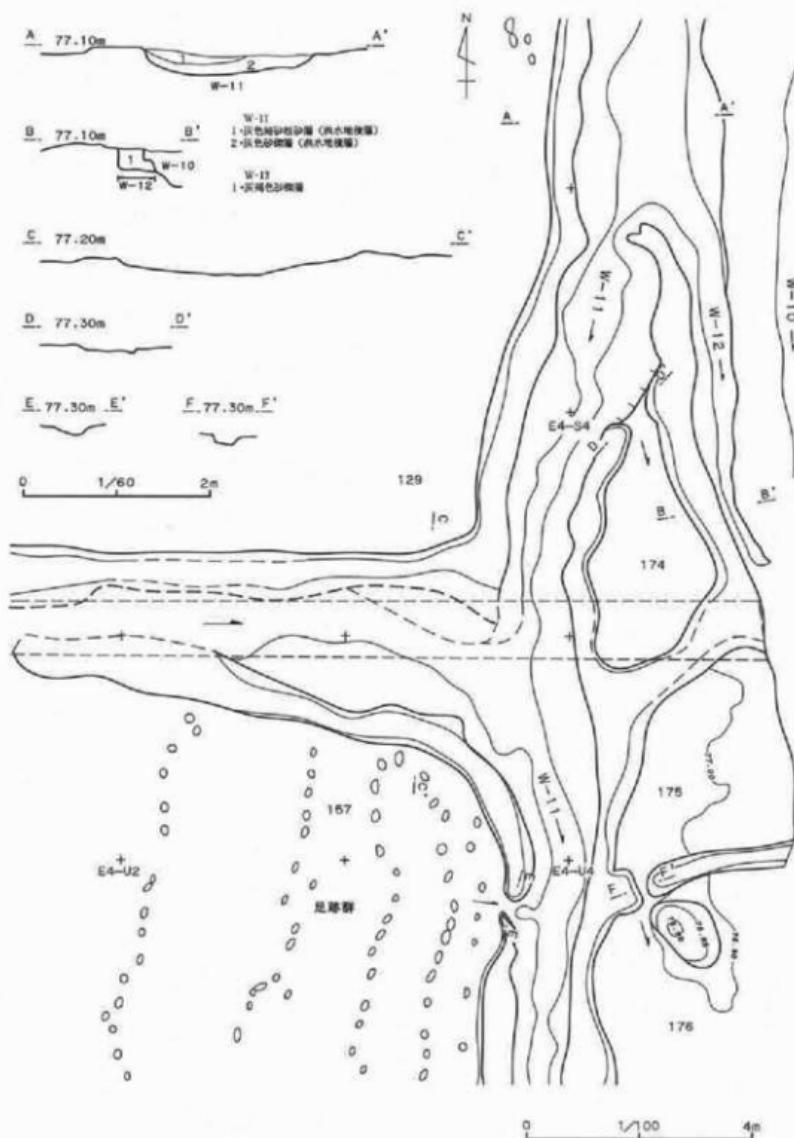
第26図 21・23・26号住居址・21号カマド1・2・23号カマド実測図



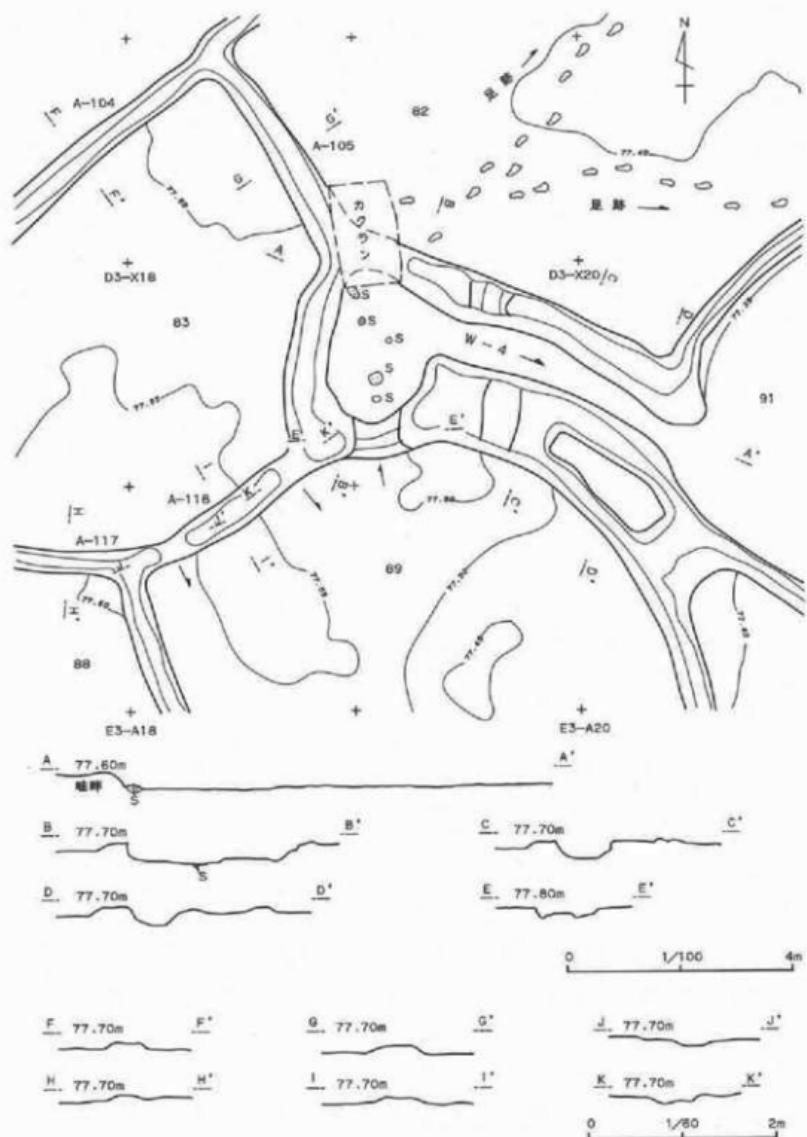
第27図 22号住居址・26号住居址カマド実測図



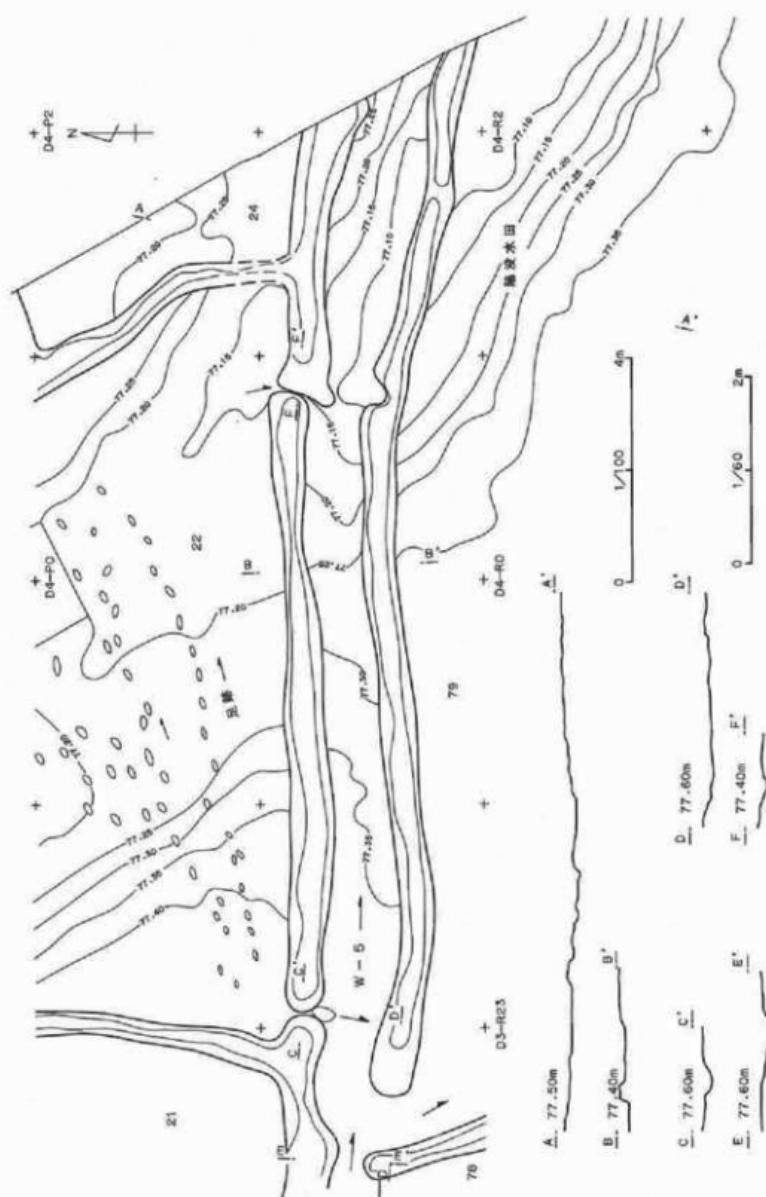
第28図 22号住居址カマド・24号住居址・カマド実測図



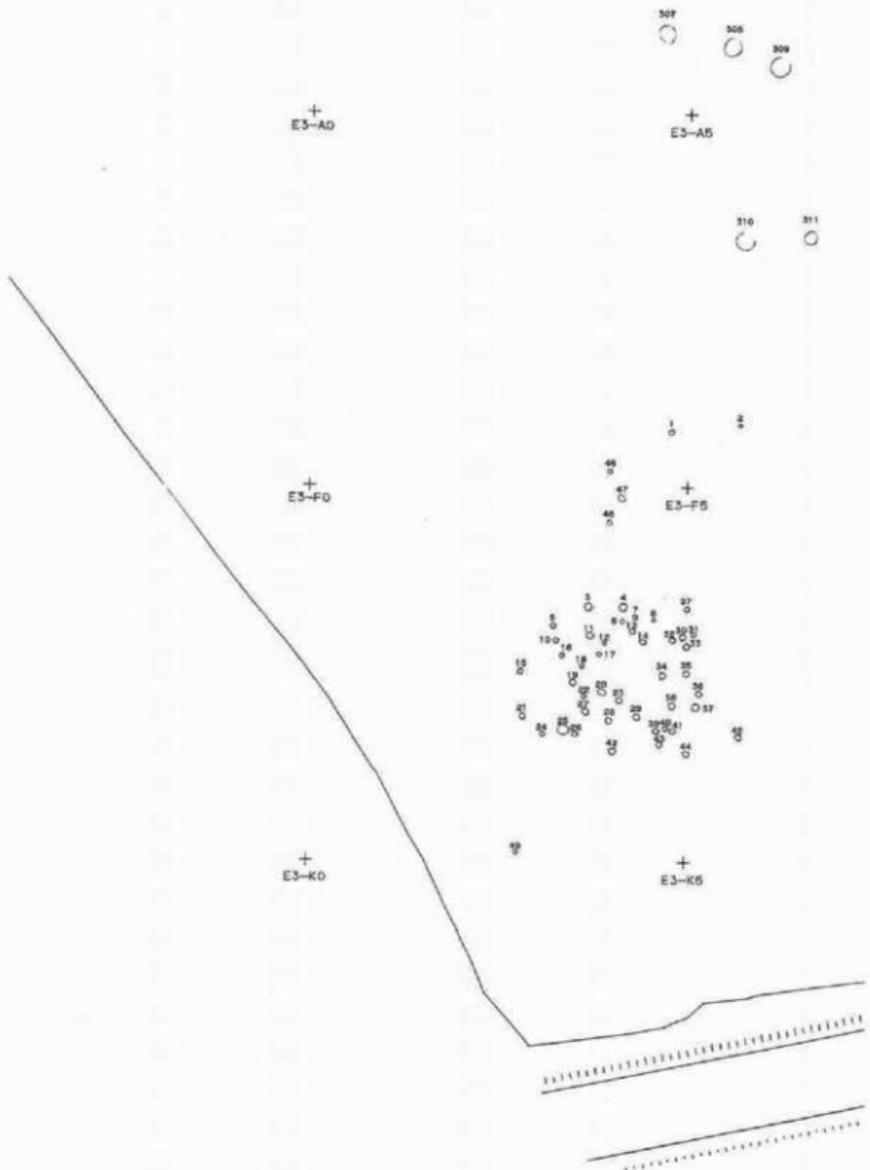
第29図 E 4区W-10, 11, 12・129, 157, 174～176号水田・排水口・畦畔・水口・足跡実測図



第30図 D3区W-4・82, 83, 88, 89, 91号水田・畦畔・水口・足跡実測図



第31図 D 3・4区 W-5・21, 22, 24, 78, 79号水田・畦畔・水口・陷没水田・足跡実測図



第32図 D 3・E

+
E3-A10

+
E3-A15

N
+
—

+
E3-F10

+
E3-F15

99 90
91 0
88 0
85 0
82 0
81 0
80 0
79 0
78 0
77 0
76 0
75 0
74 0
73 0
72 0
71 0
70 0
69 0
68 0
67 0
66 0
65 0
64 0
63 0
62 0
61 0
60 0
59 0
58 0
57 0
56 0
55 0
54 0
53 0
52 0
51 0
50 0
49 0
48 0
47 0
46 0
45 0
44 0
43 0
42 0
41 0
40 0
39 0
38 0
37 0
36 0
35 0
34 0
33 0
32 0
31 0
30 0
29 0
28 0
27 0
26 0
25 0
24 0
23 0
22 0
21 0
20 0
19 0
18 0
17 0
16 0
15 0
14 0
13 0
12 0
11 0
10 0
9 0
8 0
7 0
6 0
5 0
4 0
3 0
2 0
1 0
0 0
314

B-1
88 0
87 0
86 0
85 0
84 0
83 0
82 0
81 0
80 0
79 0
78 0
77 0
76 0
75 0
74 0
73 0
72 0
71 0
70 0
69 0
68 0
67 0
66 0
65 0
64 0
63 0
62 0
61 0
60 0
59 0
58 0
57 0
56 0
55 0
54 0
53 0
52 0
51 0
50 0
49 0
48 0
47 0
46 0
45 0
44 0
43 0
42 0
41 0
40 0
39 0
38 0
37 0
36 0
35 0
34 0
33 0
32 0
31 0
30 0
29 0
28 0
27 0
26 0
25 0
24 0
23 0
22 0
21 0
20 0
19 0
18 0
17 0
16 0
15 0
14 0
13 0
12 0
11 0
10 0
9 0
8 0
7 0
6 0
5 0
4 0
3 0
2 0
1 0
0 0
313

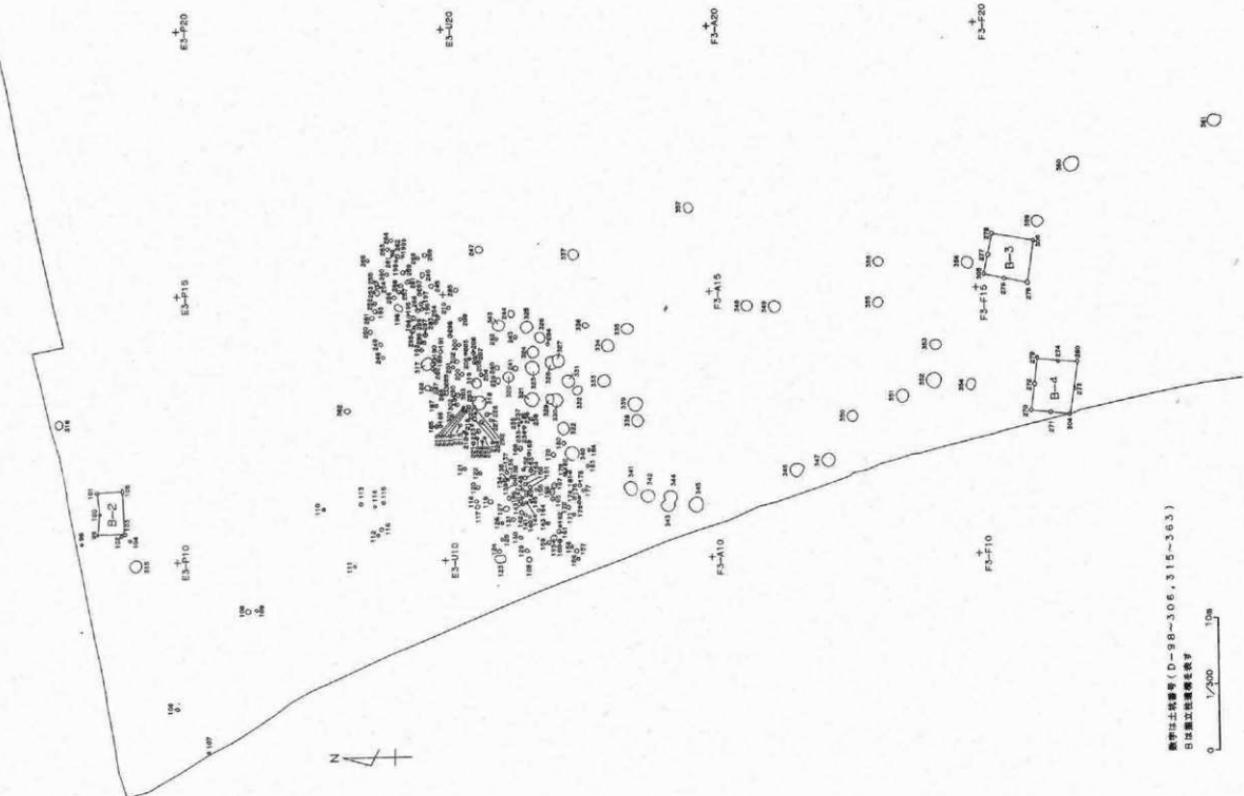
+
E3-K10

+
E3-K15

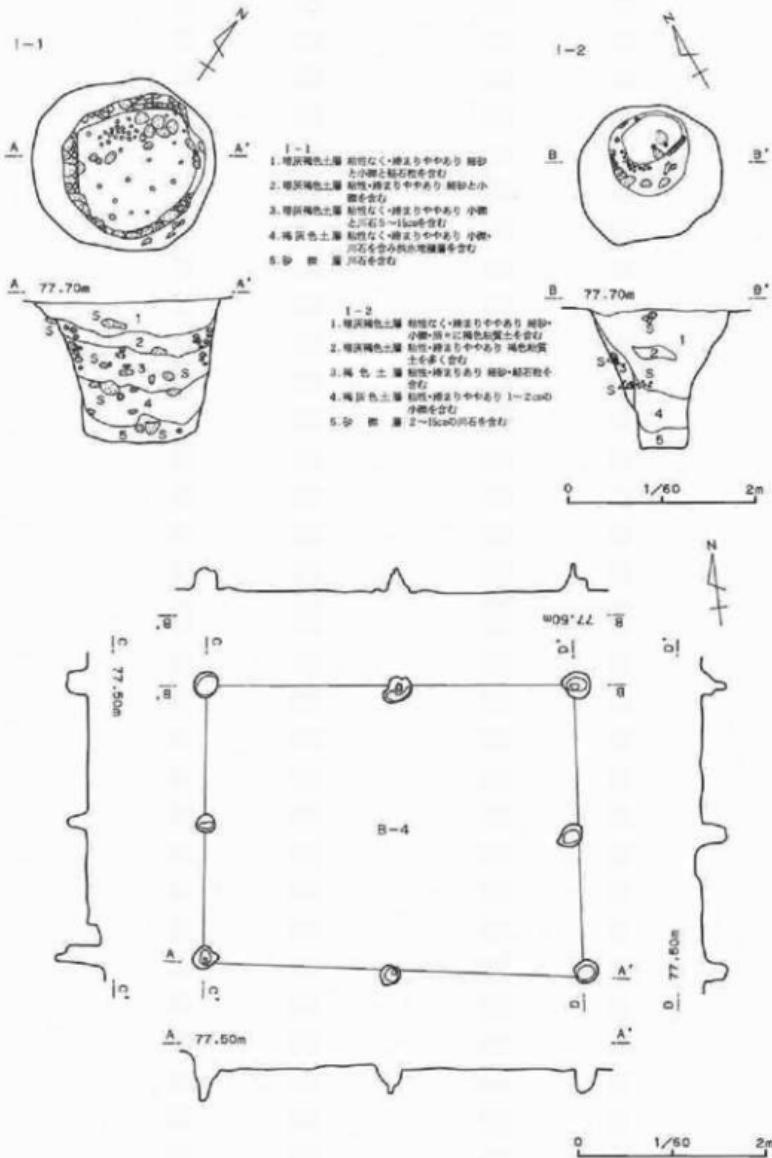
道 路

数字は土坑番号 (D-1~97, 307~314)
Bは直立柱構築を表す

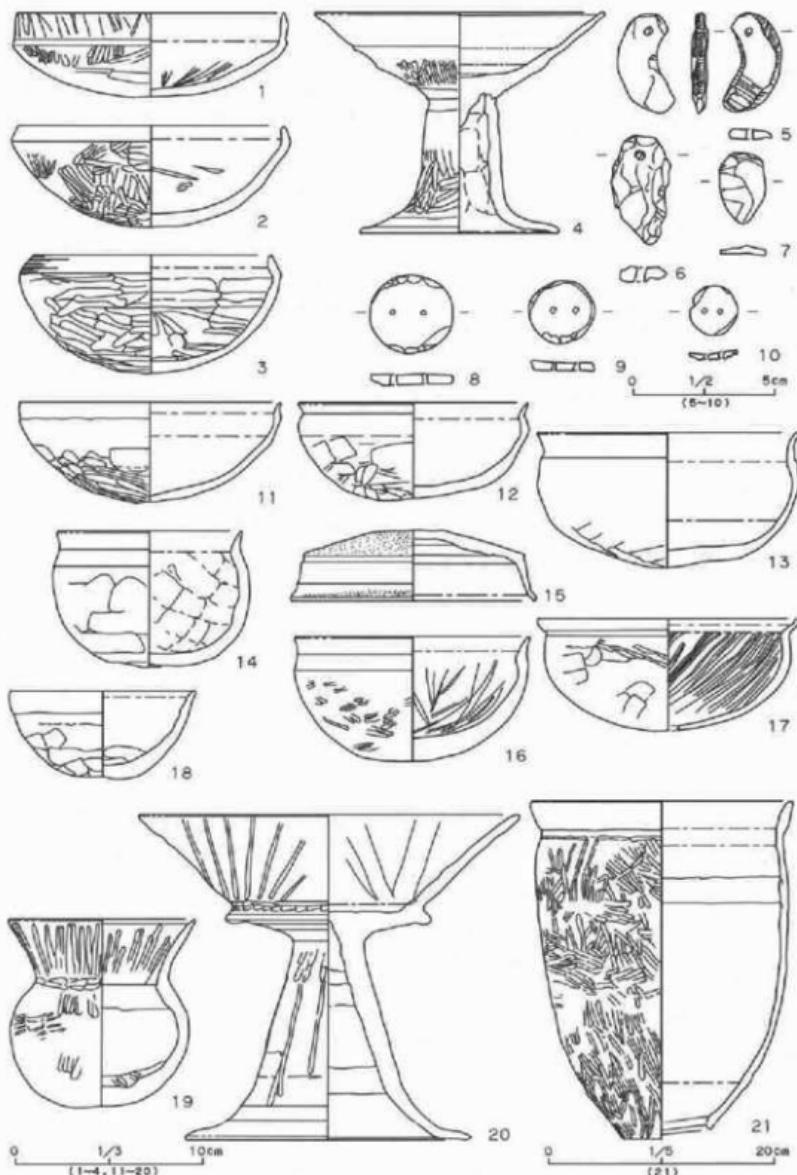
0 1/300 10m



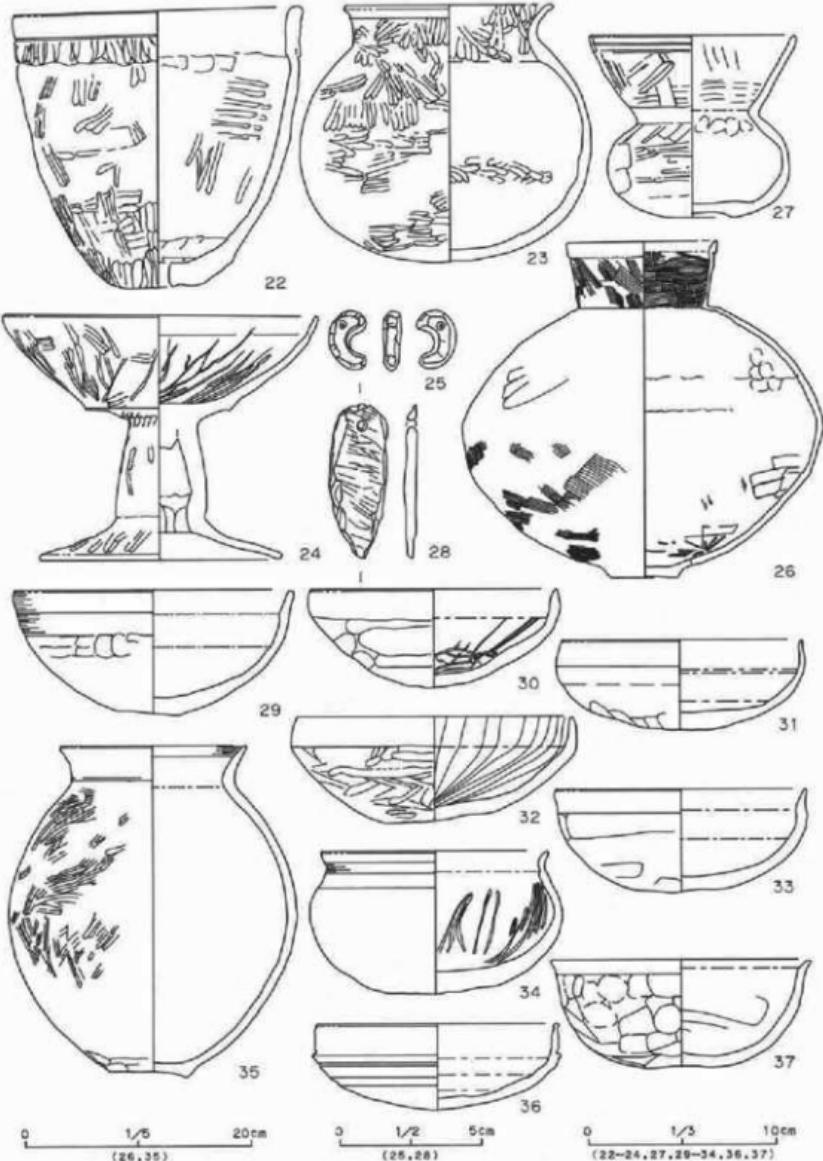
第33図 E 3・F 3区土坑・掘立柱遺構実測図



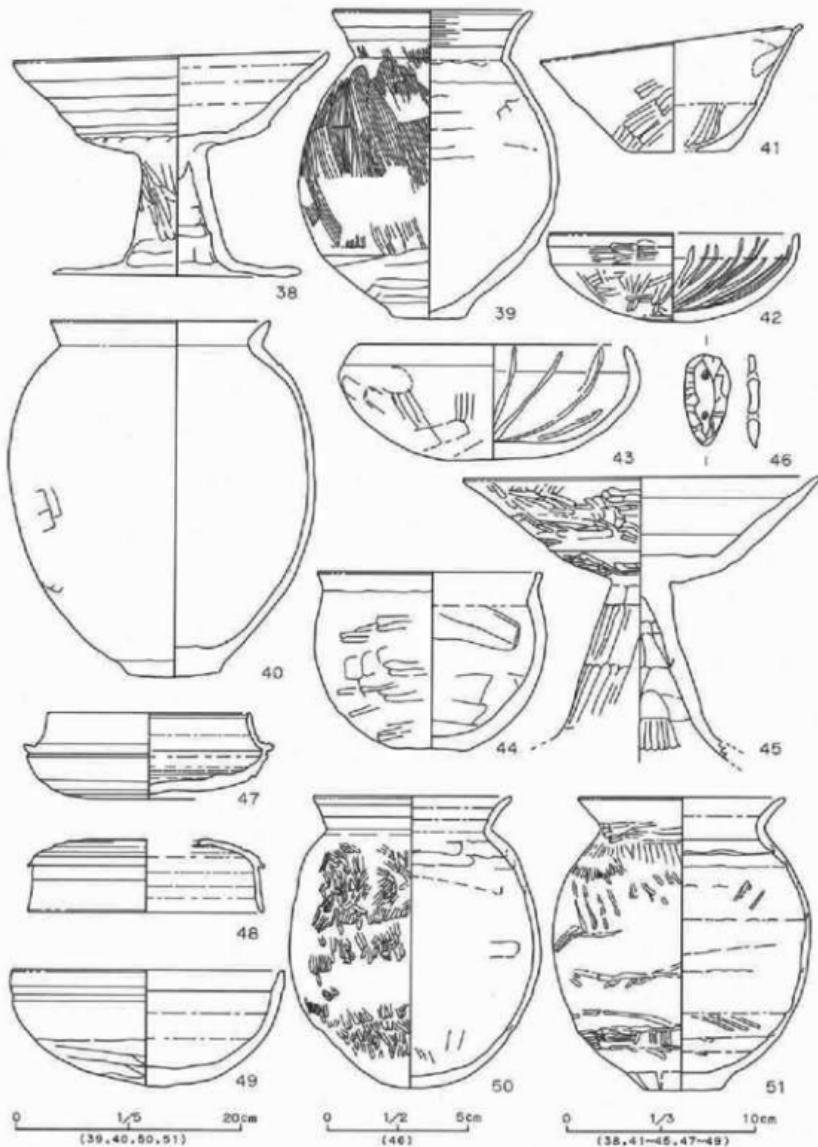
第34図 I-1・2・B-4 実測図



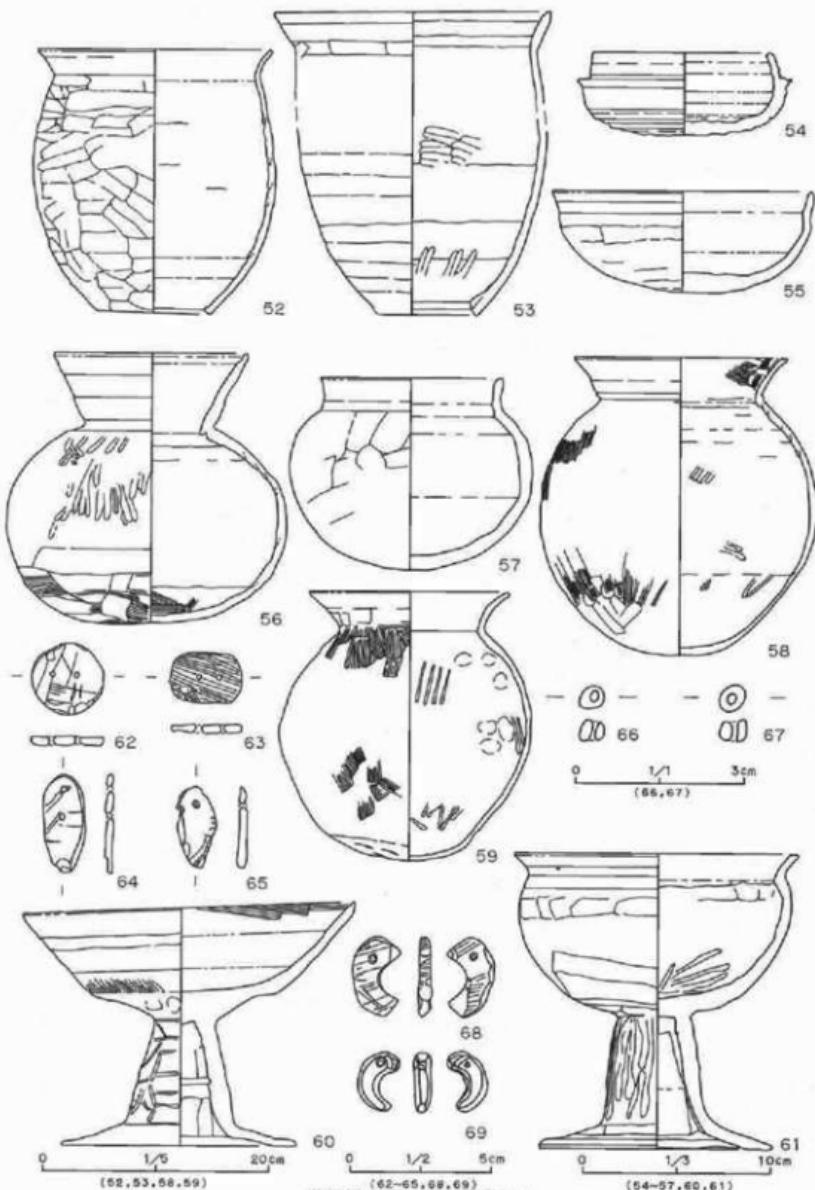
第35図 古墳時代の遺物(1)



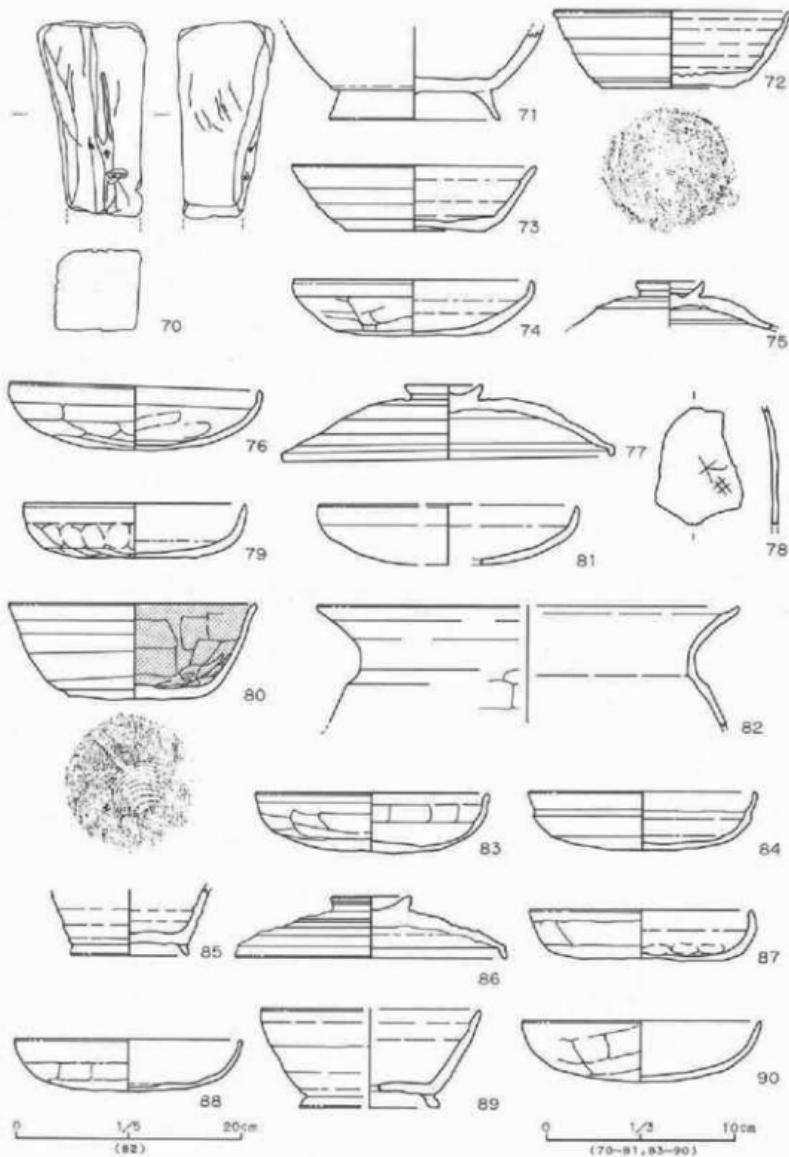
第36図 古墳時代の遺物(2)



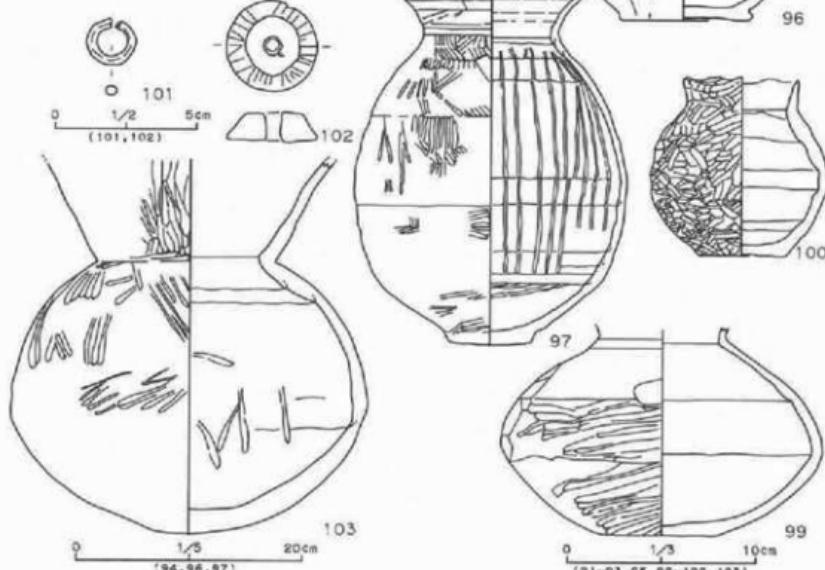
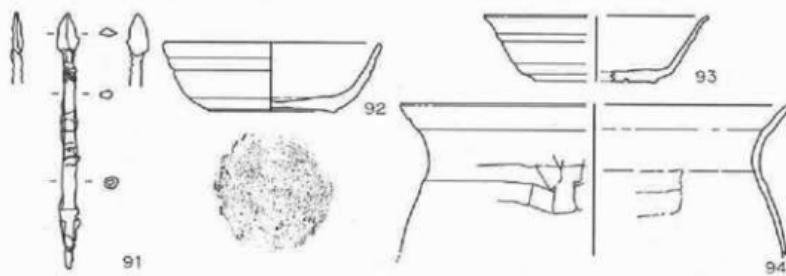
第37図 古墳時代の遺物(3)



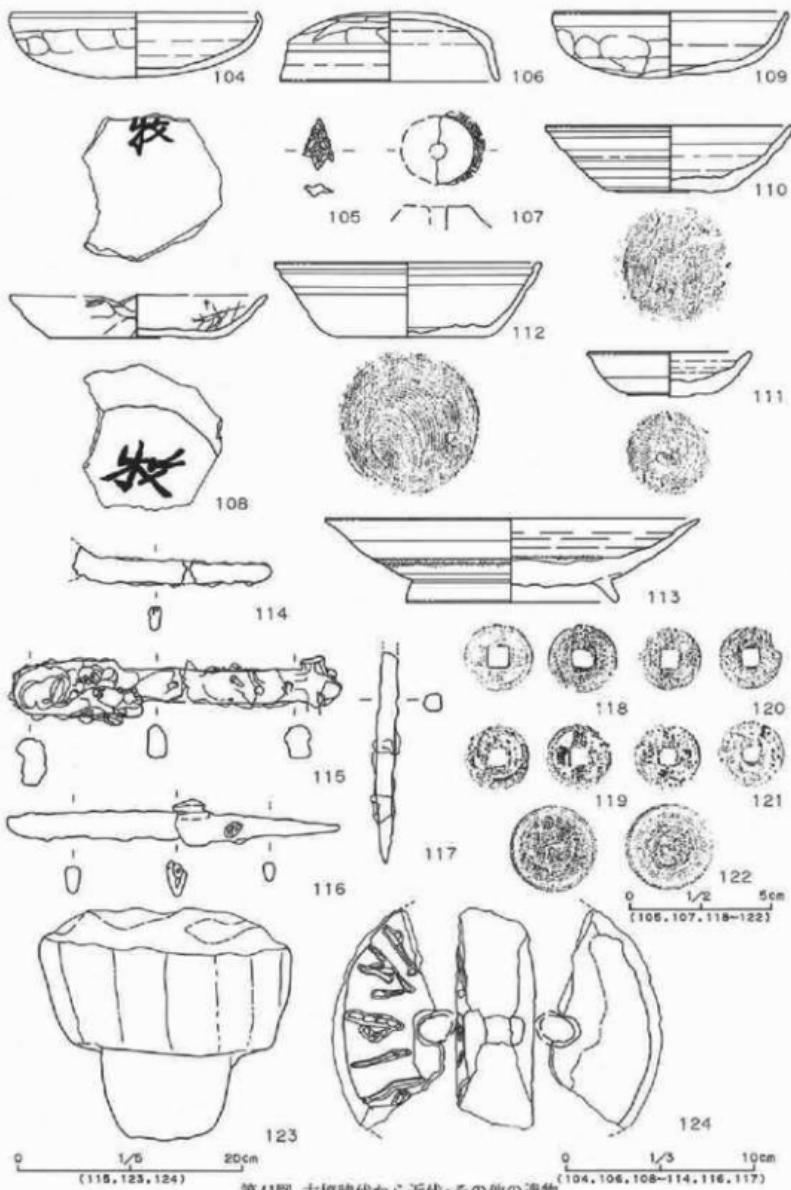
第38図 古墳時代の遺物(4)



第39図 奈良・平安時代の遺物(1)



第40図 古墳時代(5)～奈良・平安時代(2)の遺物



第41図 古墳時代から近代・その他の遺物

VII 中原遺跡群 VII

1. 概要

本年度の発掘調査では、水田址83面、溝・水路跡8条が検出されている。

水田址は、818(弘仁9)年の地震に起因する洪水堆積層で覆われて検出されていることから平成4、5、6年度調査で検出した水田址と同一のものである。また溝1条も水田址に伴うものがあり、水田址からの排水水口も検出されている。他は中世以降のものと思われる。

2. 遺構と遺物

(1) 平安時代の水田址

①水田の地形

現水田が広がる調査区は、赤城山南麓の末端に位置し、桃木川と荒砥川に挟まれた所に位置する。旧利根川の氾濫原といわれる広瀬川低地帯にあり、標高は約78.20m、基盤には疊層や砂層・シルト層などが堆積しており、旧利根川の氾濫堆積作用により形成された所と推定される。

本調査区の水田はC4、D4・5、E4・5区内に1号～83号水田まで検出され、C4区内の標高77.90mを最高地にE4区内の標高77.05mを最低地とする水田が検出されている。比高差は85cm程あり、北側の水田から南側の水田までは、直線距離で約175mを測り、北から南方向へ約4.85/1000の勾配を測る。また1区画に見る勾配も水口と同じく、北から南方向への勾配を利用している。

②水田の区画（全体図、図版27・28）

調査区の水田は、東西・南北方向に検出された大畦畔を挟んで検出されている。大半は残りのよい畦畔で区画され、方形状の区画はわずかで、変則的なものが多く、緩やかな勾配を利用し等高線に沿って作られたと推測される。また方形状の区画は平坦な所に直線的な畦畔によって区画されている。さらに自然地形を利用して水田を構築した所と微高地状の所を造成して作ったと推定される区画が全体の区画割によって読み取れる。

また、検出された東西・南北方向の大畦畔（大区画）は条里地割の坪境にほぼあてはまるが、坪の中は条里地割に言う半折型や長地型とは様相が異なり、区画がくずれていることがわかる。これは自然の地形をそのまま使用しているためか、災害などにより区画を作り替えたことによるものか不明である。他の調査区では部分的に半折型区画に類似するものもある。

③畦畔（全体図・第43図、図版27～29）

調査区内の畦畔は、緩やかな勾配を整地し作られ、走行は平坦な所では東西・南北方向に規則性を持って見られるが、ほとんどが地形に沿った曲線のものが多く、区画を跨む畦畔の走行性に違いが見られる。形状は台形状（かまぼこ形）を呈し、褐灰色粘質土層で作られている。

畦畔には大小2種類あり、幅の広い畦畔は条里水田の坪区画を形成する東西・南北方向にあてはまり、前回の調査区で検出した大畦畔からほぼ109mの間隔にあてはまる。また、幅の狭い畦畔は1区画の水田を区割りするもので、走行に統一性が見られない。C4、D4・5区内に検出された大畦畔の規模は、東西方向で確認長約53m、南北方向で推定長を含む長さ約64mを測る。

幅は、上端幅30~58cm、下端幅44~90cmまでのものが検出された。さらに水田面と大畦畔との比較差も東西方向のものでは南側12~28cm、北側5~25cmを測り、南北方向のものでは東側8~17.5cm、西側6~14cmの比較差を測る。また、小区画の畦畔は上端幅8~46cm、下端幅21~70cmを測り、水田面と畦畔の比較差は東側4~14cm、西側4~14cm、南側4~15cm、北側4~11cmまでの比較差を測る。畦畔は田に一定の水深で水を溜める為の囲いで、地形や高低差に合わせた水準面ごとの畦畔が必要とされ、平均化された範囲を囲むために、ある程度の幅や高さが必要とされる。ここで見られる畦畔も地形に沿った平均的水準面を囲むための畦畔作りがなされたと思われ、そのために大区画畦畔以外の畦畔は、等高線に沿った曲線のものが占める割合が多く見られる。

④水口、配水（全体図・第43図、図版27・28）

全体を砂礫層に覆われた水田は、1区画の面積や形状にあまり統一性が見られないが、区画を仕切った畦畔の要所要所には水口があり、この部分によって配水が行われている。水口は基本的に1区画の水田に水を取り入れる水口と下位水田への配水の水口とがあり、順次下位水田へ溜水しながら流している。調査区では水口が58か所検出された。水田の標高は1号水田の標高77.90mを最高地にE4区の70号水田の標高77.05mを最低地に85cmの比高差を測り、各水田へは勾配を利用し溜水させながら水を流している水管管理の方法が見られる。各畦畔に見られる水口幅は、上端幅20~70cm、下端幅8~30cm幅のものがある。また畦畔の掘り込みは、3~17cm程の深さまである。さらに大畦畔に作られている水口は上端幅30~100cm、下端幅10~60cm、掘り込みは5~19cmまでの深さのものが検出されており、水口部分には流水による侵食の窪みがあり、流水していたことがわかる。

⑤足跡（全体図、図版28）

調査区内の水田面に人間の足跡が多数検出された。足跡の明瞭なものはD4・5、E4・5区内に多く見られ、1区画の水田面全体に検出された足跡もある。また、はっきりと連続して続く足跡や陥没した水田面にも検出されている。明瞭に残る足跡の大きさは、20~25cm程の大きさまであり、深さは2.5~6cmまでの窪みが検出されている。

歩行状況も水田面を東西・南北方向や反対方向など様々な歩行が見られる。このように足跡の残りが明瞭に検出されたのは、水田面全体を洪水砂礫層が厚く堆積していたためで、足跡の検出も洪水堆積物を精査した状態で形状だけが残り、さらに足跡内に残る砂層を取り除くと形がはっ

きり検出された。比較的見つけ易く、残りもよく歩行状況まで明瞭である。他の動物の足跡や植株痕など形状がはっきりわかるものは検出されなかった。

⑥陥没水田（全体図・第43図、図版27）

調査区のD4、E4区にかけて陥没水田が帶状に検出された。陥没水田は37・44・63・65・66・67・69号水田面に見られ、幅は2.5~6m程まであり、通常の水田に比べ20~40cm程陥没している。さらに畦畔も同じく陥没前と比べると、18~20cm程陥没していた。また陥没水田面にトレンチを入れ断面を調査したところ、基盤には砂層、砾層、粘質土層などが帶状に弧を描いて陥没していた。全体の土層も水田面下より褐色土層や灰褐色粘質土、黒色粘質土などがラミナ状に堆積し下層には粘質土層と細砂層など見られた。中間層には小礫を含む土層が見られ食物等の酸化跡も見られた。陥没水田は水田耕作を行う前は小河川か窪み状の地形が存在したと考えられ、その後の堆積物で徐々に埋まり、地震による液状化現象により、弱い地層の所が陥没したと考えられる。

（2）溝・水路（全体図・第43図、図版28・29）

調査区全体で検出された溝、水路等は8条検出された。W-1~6は現耕作土層下より平安時代の水田面・畦畔を掘り込んで検出されている。いずれの溝も北から南方向に作られている。覆土は灰褐色土層とHr-FP・細砂を含む土層や洪水堆積砂砾層などを含む土層で埋まっている。またAs-B軽石層を掘り込んでいる溝やAs-B軽石を含む溝など見られ、土層から中世以後に作られたものと思われる。遺物は土師器・須恵器片等が検出されている。なかでも土師器片が多く、古墳時代～平安時代の遺物と思われ、摩耗状況から流れ込みと推定される。

W-7は調査区中央付近を南下して途中で西側に湾曲する。覆土は灰褐色砂質土層で軽石や小礫を含む土層で埋まっている。遺物は土師器片に混ざって古銭、砥石、茶碗片、ガラス片などの新しい遺物が多く検出されていることから、近年（土地改良）まで水路として使用されていたと思われる。W-8は水田と同じく、818年の地震に伴う洪水堆積砂砾層で覆われて検出された。溝の両端には水田との境を区切る畦畔が伴い、水田からの排水に使用したと思われる水口も検出されている。遺物はわずかに土師器片が検出されている。また前回の調査区（中原遺跡群II）で検出された溝と同じ溝で、水田に伴い接続する。

（検出された溝、水路等の計測値は一表に記載し報告する）

水田址計測表

() は推定値・検出面積及び推定形状、N・S・E・Wは畦畔位置を示す

田面 No	面積 (m ²)	東 畦 (m)	南 畦 (m)	西 畦 (m)	北 畦 (m)	形 状	水 口 (か所)	備 考
1	(216.78)	(21.0)	—	(12.7)	—	—	—	東が大畦
2	39.69	4.3	—	(7.7)	(11.2)	(横長方形)	S = 1	
3	15.23	2.7	—	(5.4)	(7.7)	—	N = 1, S = 1	
4	20.43	6.1	—	(4.3)	(5.4)	—	N = 1, S = 1	
5	15.48	14.7	(15.6)	(3.7)	(1.5)	不定形	—	
6	23.78	—	—	(2.0)	(6.8)	—	N = 1	
7	20.70	(6.2)	—	(4.9)	(8.0)	—	E = 1	
8	21.50	9.7	—	(0.9)	(4.9)	—	E = 1	
9	0.37	(2.7)	—	—	(0.9)	—	—	
10	53.56	—	(10.2)	(12.7)	—	—	S = 1	
11	(67.57)	—	(1.5)	(19.8)	(12.7)	—	N = 1	
12	(95.90)	(24.2)	(24.5)	(5.2)	—	不定形	—	
13	(143.69)	(11.2)	(12.5)	(24.2)	(13.5)	不定形	—	
14	(62.31)	(11.5)	9.0	(9.6)	(8.8)	(長方形)	—	
15	20.59	(5.6)	6.9	3.8	(5.2)	台形	—	小区画
16	(145.25)	(7.2)	5.6	(24.3)	(23.2)	横長方形	S = 1	
17	8.61	(6.9)	4.3	—	3.8	おおぎ形	S = 1	小区画
18	(102.64)	(3.3)	8.5	(25.8)	(23.7)	横長方形	N = 1	
19	(4.35)	(7.0)	(6.0)	(3.2)	(3.7)	—	N = 1	小区画
20	(113.81)	(2.8)	(5.4)	(26.7)	(25.8)	横長方形	S = 1	
21	(102.52)	(3.6)	6.2	(25.3)	(23.9)	(横長方形)	N = 1, S = 1, W = 1	
22	(171.11)	(7.2)	5.1	(26.0)	(25.3)	(横長方形)	N = 1, S = 2, W = 1	
23	104.50	(18.5)	(7.8)	—	15.7	—	N = 2	西が大畦
24	(303.36)	(40.9)	(18.5)	—	(9.5)	—	—	
25	(136.09)	8.2	(11.8)	(11.2)	(16.4)	不定形	N = 1, S = 1	
26	18.14	4.5	—	7.4	9.4	三角形	S = 1	
27	(48.20)	6.6	—	11.5	12.1	—	—	
28	54.69	(7.6)	8.2	11.0	(15.7)	不定形	S = 1, W = 1	
29	(56.80)	5.6	(7.0)	(10.8)	(11.2)	(横長方形)	N = 1, S = 1	
30	(55.31)	6.0	(6.0)	(11.1)	(10.8)	(横長方形)	N = 1, S = 1, E = 1	
31	(36.50)	3.4	(3.8)	(11.1)	(11.1)	(横長方形)	N = 1, S = 1	
32	(150.13)	(14.2)	15.0	(10.9)	7.6	縱長方形	N = 1, W = 1	
33	(52.65)	4.8	(5.5)	(11.7)	(11.1)	横長方形	N = 1, S = 1	
34	68.41	5.2	(6.8)	(12.1)	(11.7)	横長方形	N = 1, S = 2, E = 1	
35	111.69	9.7	10.0	11.6	10.9	方形	S = 2	
36	(349.93)	(33.4)	24.8	(9.0)	(12.1)	(横長方形)	N = 2	
37	(407.69)	(27.9)	(33.4)	(12.4)	(11.6)	縱長方形	N = 3	南が大畦
38	(77.93)	3.7	(10.8)	(18.8)	(23.0)	(横長方形)	—	
39	(80.30)	3.7	5.3	(19.5)	(25.3)	(横長方形)	—	
40	55.92	17.5	17.2	—	7.2	不定形	—	
41	(149.78)	4.5	8.6	(26.3)	34.0	不定形	—	
42	56.16	20.2	19.7	—	3.7	不定形	S = 1	
43	(110.26)	4.2	13.6	15.6	26.3	不定形	S = 1	
44	(179.43)	—	(21.0)	14.0	(26.2)	三角形	—	南が大畦
45	48.94	(10.2)	(10.6)	5	4.2	縱長方形	N = 1, S = 1, E = 1	南が大畦
46	56.90	(13.1)	(10.2)	4.1	4.5	不定形	N = 1, S = 1, E = 1, W = 1	南が大畦
47	—	(4.4)	(16.2)	15.5	—	—	—	
48	—	—	(4.4)	(5.5)	—	—	—	

() は推定値・横出面積及び推定形状、N・S・E・Wは畦畔位置を示す

田面 No.	面積 (m ²)	東 畦 (m)	南 畦 (m)	西 畦 (m)	北 畦 (m)	形 状	水 口 (か所)	備 考
49	83.11	9.6	5.5	10.8	12.0	台形	—	
50	70.06	—	10.3	(8.8)	(5.5)	—	—	
51	106.74	11.2	12.0	9.3	10.8	縱長方形	—	
52	84.77	(5.6)	10.5	8.5	(8.8)	(方形)	E = 1	
53	89.31	10.0	10.2	8.7	9.3	方形		
54	71.15	8.9	10.0	8.8	8.5	方形		
55	80.81	—	(24.3)	—	—	W = 1, S = 1	南が大畦	
56	67.11	(7.8)	(7.2)	7.8	8.7	縱長方形	W = 1	南が大畦
57	78.59	8.8	(7.8)	8.6	8.8	方形	S = 1	南が大畦
58	5.37	—	—	(7.5)	—	—	—	
59	7.78	(22.1)	—	—	—	—	—	
60	2.87	(4.7)	—	(1.3)	—	—	—	
61	5.92	8.5	—	(0.7)	—	—	—	
62	0.69	(1.8)	(0.7)	—	—	—	—	
63	(175.76)	6.1	(11.8)	22.1	(28.1)	(横長方形)	N = 1, S = 1	陥没、北が大畦
64	186.09	9.0	17.0	18.5	22.1	不定形	N = 1, S = 1,	陥没水田
65	188.92	15.7	23.4	7.1	11.5	不定形	N = 1 S = 1 E = 1 W = 2	北が大畦
66	156.78	8.3	8.1	—	18.5	横長方形	N = 1, S = 1, E = 1	陥没水田
67	53.88	4.3	4.5	12.7	13.4	横長方形	N = 1, S = 1, E = 1	陥没水田
68	56.69	7.1	4.3	10.0	10.5	不定形	N = 1, S = 1, W = 1	
69	233.08	(11.1)	(12.2)	16.1	22.7	台形	N = 2, S = 1	陥没水田
70	14.41	(8.4)	(9.4)	—	1.2	—	N = 1	
71	145.41	(19.0)	(8.4)	—	15.1	—	N = 2	
72	263.81	—	(39.2)	—	7.1	不定形	N = 1	足跡
73	83.45	16.6	18.6	—	8.1	不定形	N = 1, S = 1, W = 1	北が大畦
74	180.35	20.7	33.6	10.6	7.8	不定形	W = 1, E = 2	北が大畦
75	177.98	33.6	26.3	—	4.1	不定形	N = 1 S = 2 E = 1 W = 1	北が大畦
76	117.48	—	(27.5)	—	(29.8)	—	N = 2, S = 1	
77	11.14	10.8	—	—	(5.6)	—	N = 1	
78	25.56	—	(14.5)	—	(5.9)	—		北が大畦
79	174.70	—	32.2	(2.9)	(14.5)	—	N = 1, S = 1	足跡
80	97.42	—	9.0	—	(21.4)	—	N = 1	
81	9.04	—	(7.9)	—	(2.9)	—	—	
82	84.44	—	(8.2)	10.3	(20.4)	—	S = 1	
83	32.27	—	(12.7)	—	10.3	—	N = 1	

畦畔断面計測表

単位: cm

No	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ				No	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
A-1	C4-Q4・5	31	52	—	—	10	8	49	D4-G・H8	18	31	—	—	5	6
2	C4-Q6	13	46	—	—	2	8	50	D4-G14・15	19	32	—	—	8	7
3	C4-R・S6	28	50	2	2	—	—	51	D4-G16	29	46	—	—	8	3
4	C4-R8	20	50	3	6	—	—	52	D4-G18	31	51	9	3	—	—
5	C4-S・T3	25	70	2	6	—	—	53	D4-G・H23	32	47	4	7	—	—
6	C4-S8	26	45	3	5	—	—	54	D4-G24	36	50	—	—	2	4
7	C4-S10	20	50	3	11	—	—	55	D4-H1011①	17	41	—	—	7	7
8	C4-U3	14	28	4	8	—	—	56	D4-H1011②	29	43	—	—	4	6
9	C4-U6	15	50	—	—	5	7	57	D4-H12	18	30	11	14	—	—
10	C4-U9	15	40	—	—	7	8	58	D4-H14・15	31	48	—	—	5	5
11	C4-V3	20	36	8	14	—	—	59	D4-H・J20	20	52	4	9	—	—
12	C4-V5	45	70	2	2	—	—	60	D4-H21	24	68	4	2	—	—
13	C4-V10	37	57	11	4	—	—	61	D4-J12	20	40	6	10	—	—
14	C4-W3	16	50	8	14	—	—	62	D4-J15	18	38	8	13	—	—
15	C4-W3・4	30	60	—	—	8	2	63	D4-J18・19	18	39	11	4	—	—
16	C4-W5	20	71	2	6	—	—	64	D4-I・J20	24	46	—	—	8	7
17	C4-X5	34	56	—	—	3	2	65	D4-I21	34	50	4	3	—	—
18	C4-X12	25	44	2	13	—	—	66	D4-I24	35	54	—	—	3	9
19	C4-X・Y13	20	45	2	2	—	—	67	D4-J・K20	32	42	2	5	—	—
20	C4-X・Y14	30	55	1	9	—	—	68	D4-J23	34	62	3	5	—	—
21	C4-X16	20	60	9	3	—	—	69	D4-K16	26	44	—	—	13	2
22	C4-Y3	40	58	7	9	—	—	70	D4-K20・21	22	42	—	—	8	4
23	C4-Y5	20	52	—	—	8	10	71	D4-K21	31	49	—	—	3	4
24	C4-Y8	8	21	6	10	—	—	72	D4-K24	40	55	—	—	4	2
25	D4-A・B15	46	55	3	8	—	—	73	D4-M13	28	44	—	—	9	11
26	D4-A16・17	16	45	—	—	6	4	74	D4-M・N19	24	47	—	—	15	5
27	D4-B・C4	18	44	10	11	—	—	75	D4-M20	24	48	—	—	6	4
28	D4-B4・5	23	37	—	—	6	13	76	D4-M22・23	32	47	2	6	—	—
29	D4-B9	16	33	4	7	—	—	77	D4-N18	34	47	—	—	3	3
30	D4-B14	25	43	—	—	6	5	78	D4-N20	29	44	4	11	—	—
31	D4-C9	18	35	6	10	—	—	79	D4-N21・22	27	50	—	—	4	4
32	D4-C4・5	30	45	—	—	7	9	80	D4-N24	37	45	—	—	6	3
33	D4-C12	20	38	—	—	6	5	81	D4-O19	22	34	2	10	—	—
34	D4-C13・14	23	50	—	—	8	16	82	D4-O21	28	45	—	—	9	4
35	D4-C15	28	48	5	9	—	—	83	D4-O23	42	72	2	4	—	—
36	D4-C16・17	23	40	—	—	9	8	84	D4-P19	19	33	—	—	7	9
37	D4-D9	24	39	7	11	—	—	85	D4-P20	34	42	—	—	8	4
38	D4-D12	21	32	5	10	—	—	86	D4-P22	25	50	—	—	6	4
39	D4-E4	40	70	—	—	6	14	87	D4-P24	40	65	—	—	8	6
40	D4-E6	21	36	6	9	—	—	88	D4-Q17	58	90	14	18	—	—
41	D4-E・F12	25	46	4	8	—	—	89	D4-Q・R19	46	84	25	28	—	—
42	D4-E13・14	20	38	—	—	10	4	90	D4-Q・R20	50	84	16	18	—	—
43	D4-F9	21	34	6	12	—	—	91	D4-Q・R21	55	85	9	21	—	—
44	D4-F・G13	23	41	7	12	—	—	92	D4-Q・R23	30	44	5	12	—	—
45	D4-F14・15	20	31	—	—	14	7	93	D4-R18	20	41	—	—	10	14
46	D4-F15	24	40	3	11	—	—	94	D4-S16	15	48	7	10	—	—
47	D4-F16	25	36	—	—	3	4	95	D4-S21	30	46	—	—	6	6
48	D4-F18	34	47	—	—	3	3	96	D4-T19	23	43	—	—	8	9

単位: cm

No.	グリッド	上端幅	畦の高さ				No.	グリッド	上端幅	下端幅	畦の高さ			
			N	S	E	W					N	S	E	W
97	D4-T24	25	40	—	—	6	3	116	D5-Q・R0	50	70	12	19	—
98	D4-U19・20	19	48	—	—	10	10	117	D5-Q・R2	70	85	7	15	—
99	D4-V17	22	58	8	8	—	—	118	D5-S1	27	41	—	8	6
100	D4-V21	40	55	—	—	3	5	119	D5-S2	25	35	—	5	4
101	D4-W19	21	40	5	6	—	—	120	D5-W1	40	51	—	5	5
102	D4-W23	30	47	—	—	6	6	121	D5-W2	10	30	—	5	4
103	D4-W24	25	40	—	—	5	3	122	D5-X・Y3	24	40	3	5	—
104	D4-X16	19	40	9	11	—	—	123	D5-Y2	25	43	—	10	3
105	D4-X18	25	46	—	—	8	4	124	D5-Y3	40	47	—	7	2
106	D4-X21	40	61	—	—	5	8	125	E4-A20・21	35	45	10	5	—
107	D4-Y16	17	38	9	15	—	—	126	E4-C14	20	40	5	9	—
108	D4-Y20	19	39	8	8	—	—	127	E4-C18	30	46	7	4	—
109	D4-Y23	20	40	—	—	3	7	128	E4-C21	25	42	—	6	5
110	D4-Y24	27	50	—	—	7	8	129	E4-C24①	30	46	—	5	6
111	D5-G・H0	42	53	4	5	—	—	130	E4-C24②	25	44	—	7	6
112	D5-J0	27	53	4	5	—	—	131	E4-D16・17	22	40	—	11	9
113	D5-M0	30	48	6	6	—	—	132	E4-E15	20	60	2	12	—
114	D5-O0	25	50	5	9	—	—	133	E5-A1	35	50	—	6	5
115	D5-P1	30	40	—	—	5	2	134	E5-C1	30	42	—	8	5

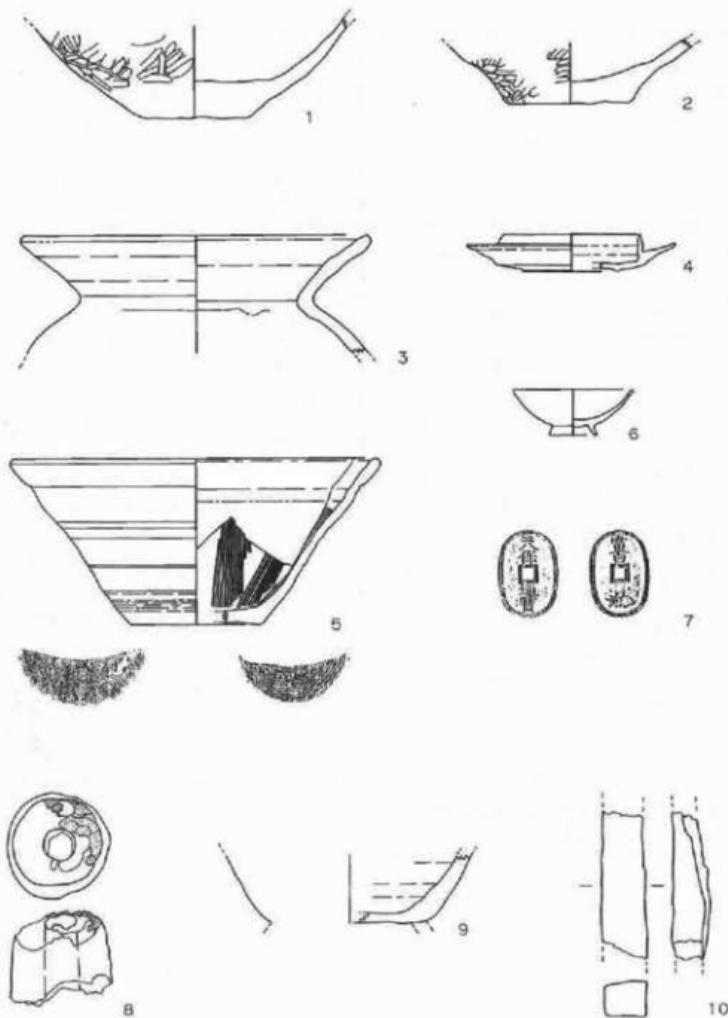
溝・水路計測表

No.	長さ (m)	深さ (cm)	底のレベル (m)	勾配 (%)	幅 (cm)	流 方 向	水 位 (グリッド)
W1	58.0	N76S60	N77.40S77.32	1.38	上100-220下30-140	N→S	C4-O4~D4-E4
2	73.2	N65S45	N77.35S77.15	2.73	上110-240下25-100	N→S	C4-P6~D4-J7
3	54.9	N34S30	N77.65S77.45	3.64	上20-120下20-60	N→S	C4-Q8~D4-F7
4	51.7	N42S25	N77.52S77.45	1.35	上50-120下20-60	N→S	C4-R10~D4-F9
5	83.8	N20S38	W77.50E77.24	3.10	上40-170下20-50	N→S	C4-S11~D4-O10
6	90.0	N64S45	N77.40S77.10	3.33	上70-220下20-80	N→S	C4-S11~D4-Q11
7	103.0	N115S120	N76.50S76.20	5.59	上280-440下140-260	N→S	C4-V17~D-Q10
8	53.7	N110S100	N76.20S76.14	1.12	上280-430下140-260	N→S	D4-S11~E4-F16

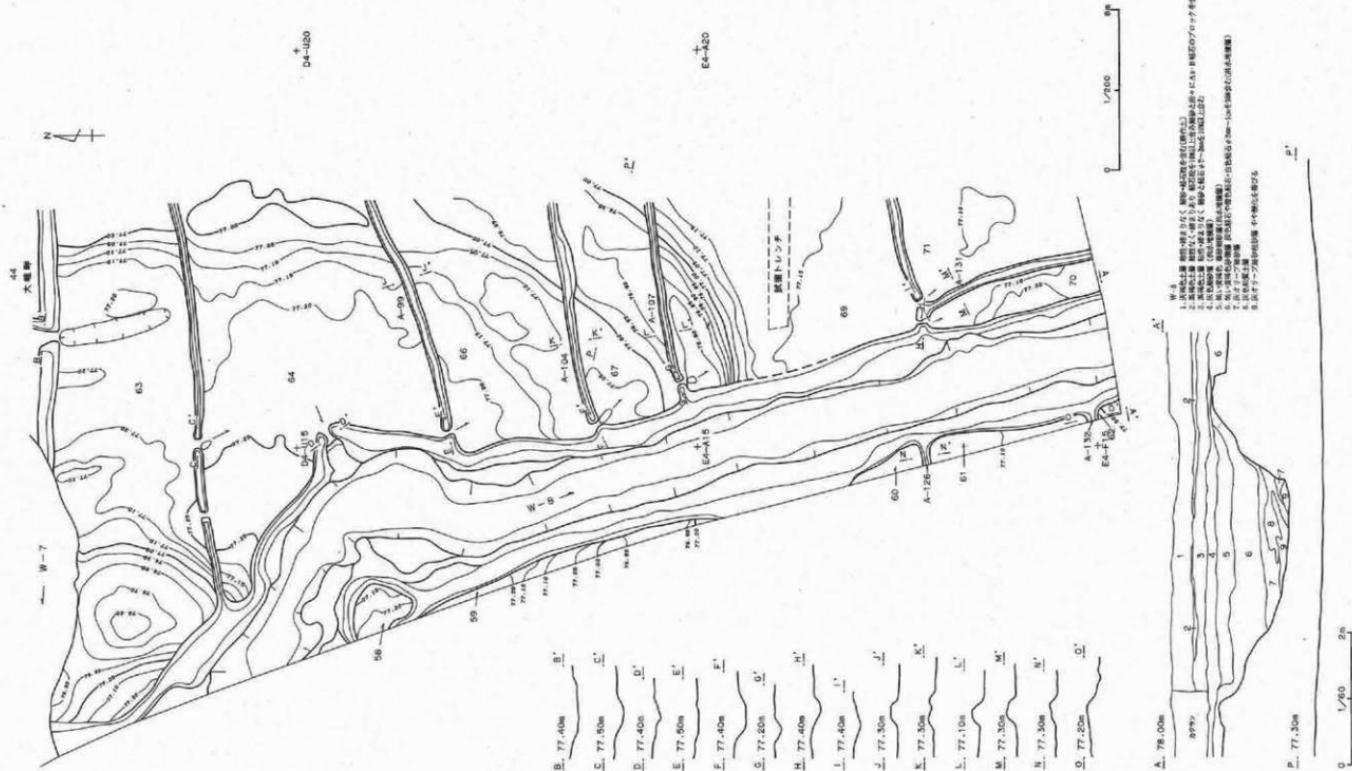
中原遺跡群VII出土遺物観察表

注: 法(縦)横(横)③削部最大径④削部柱径⑤削部柱厚⑥縦長さ⑦横幅⑧厚み⑨穿孔をcmで重量をgで表し、()は推定値を示す。

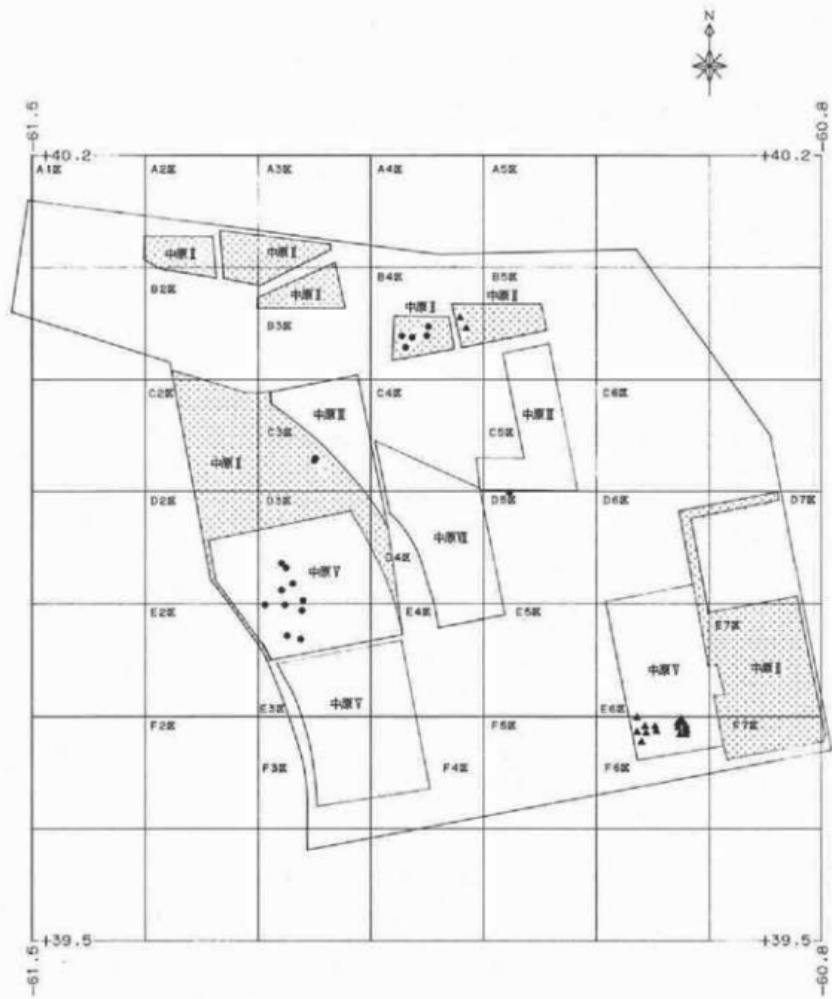
番号	出土位置	器形(種)	法	量	①剥離②焼成③色調④残存	器形・製作技術の特徴
1	W-1 (C4-R4)	壺(土壺)	②5.4④(4.9)	①表面 粗石 石片 ②剥離 ③良好 ④褐色 ⑤にい ⑥S45R27.5S45R22/2	四角形の平底で内厚な底部 外面削部へラフ削り後研磨 底部ナメ調整 内面削部へラフ削り 脊部へラフ調整	
2	W-6 (C4-T18)	壺(土壺)	②6.8④(5.1)	①表面 石灰 細石 小石 ②底厚 が低い ③褐色 ④S45R6/6S45R6	平底 外面削部削り後研磨 底部削部へラフ削り後周縁部 へラフ調整 内面底部へラフ調整	
3	W-6 (C4-U10)	壺(土壺)	①(18.8)⑥(6.3)	①表面 烧石 剥離 ②良好 ③オリーブ 色 ④S45Y3/16⑤底部1/3	「く」の字口縁、外面口縁部横ナギ 底部ナメ 内面口縁部 横ナギ 刮部ナメ	
4	W-7 (D4-Q13)	灯明具 油受皿	①(7.2)②0.2 ③油受皿	①剥離 ②良好 ③にい ④褐色 ⑤S45R6/6S45R6	内面全体・外面部一部に鉛釉	
5	W-7 (D4-D13)	壺	①(37.0)②14.9	①剥離 ②良好 ③赤褐 ④R4/4⑤1/4 ⑥S45R6/6S45R6	上: 斧形底の底部から「ハ」の字状に開く 外面3.0cm頃の 口縁部が廻り内側に軽い棱を設けてる 棱目1単位13条	
6	W-7 (D4-Q15)	小壺(油壺)	①(6.3)②2.5	①剥離陶土 ②良好 ③乳白 ④宛形	小さな壺。記念の蓋	
7	W-7 (D4-Q14)	古瓶				天保通寶乳化 4年(1847)
8	D4-F16 (グリッド)	羽口		①表面 粗石 剥離 ②良好 ③にい ④S45R7/5S45R6底部欠損	円錐形を呈す 先端部外径4.7 内穿孔径1.6 尖部外径5. 4 内穿孔径1.9	
9	D4-B24 (地盤)	高台付塊 (地盤)	②(8.2)③(3.7)	①やや青い ②良好 ③灰 N7/6④1/4	高台貼付底 ロクロ整形	
10	D4-E4 一柄	壺石	⑦(7.5)⑧2.2 ⑨ ⑩ 13			長方形で使用面スロープ状沙岩



第42図 古墳時代～近世～近代の遺物



第43図 D・E 4区W-8・44.58~64.65.67.69~71号水田・畦畔・水口・陥没水田実測図



凡　例



平成4年度調査(中原遺跡群Ⅱ)

古墳時代



奈良・平安時代



0 1/5000 200m

第44図 中原遺跡群 住居跡分布図

VIII まとめ

1. 住居址について

中原遺跡群III・V・VIIの調査によって検出した住居址は、中原遺跡群III（以下IIIと呼称する）の2面目調査で古墳時代の住居址1軒が、また中原遺跡群V（以下Vと呼称する）の1・2面目調査では、古墳時代の住居址10軒と奈良・平安時代の住居址16軒が検出されている。IIIから検出された住居址は、東壁にカマドを持ち、床面には炭化物や焼土の分布が見られる焼失の可能性が考えられる住居址で、古墳時代後期にあたる遺物を伴う。またVからは、古墳時代の中期中葉～後期前半までの遺物を伴う住居址が10軒検出され、時期的な差が少ないと思われる。さらに住居址はカマドを伴うものがほとんどだが、H-1・2はカマドがなく、H-5は炉址が検出されている。またH-1・2は全体が小さい住居址で、石製模造品などの遺物が検出されている。他にH-3は白色粘土で貼り床が施してある。形状は大小のものがあり、焼土・炭化物の分布が見られるものが多く検出されている。また奈良・平安時代の住居址は、重複やカマドの作り替えなどが見られ、北向きのカマド1軒を除き、他は東向きのものが検出されている。さらに出土遺物にみる時期も前回調査の中原遺跡群II（平成4年度調査 以下IIと呼称する）と近く、平安時代の水田址とも関わりを持つと思われる。

III・Vの出土遺物により時期区分をすると、以下に当てはまる。

時期区分	住居址編年表（住居址ナンバー）	
	中原遺跡群III	中原遺跡群V
5C中葉～5C末		5
6C前半	1	2・3・4・6・7・9・10
6C中葉		1・8
8C前半～8C末		13・19・23
9C前半～9C中葉		20・26
9C後半～10C前半		12・15・18・21・22・24
時期不明		11・14・16・17・25

また検出位置を遺跡別でみると、IIで検出した住居址（B4区）とIIIで検出した古墳時代の住居址1軒は、共に平安時代水田址の検出されていない位置で、やや微高地状のところにある。さらにII（C3区）で検出した古墳時代の住居址2軒と、V（D3, E3区）で検出した住居址10軒とは2軒を除き、ともに2面目調査で検出され、位置も近く150m程の間に点在している。またV（F6区）で検出された奈良・平安時代の住居址16軒と中原遺跡群IV（平成6年度調査、市調査団直営）の検出した古墳時代の住居址とは、60m程の間に隣接している。

さらに時代別でみると、古墳時代では東西・南北に300~350m程の間に広く点在し、奈良・平安時代では、北側と南東側に別れ、約400mの間にあり、平安時代の水田址と比べてやや微高地にある。このことから中原遺跡群で検出した住居址は、時代が移り変わっても、ほぼ同じ範囲で集落が形成されていたことがわかる。

2. 水田址について

中原遺跡群は、桃木川と荒砥川に挟まれた細長く広がる水田地帯で、河川の影響を受け易く、上流から急な流れが弱まるところでもあり、河川の氾濫や耕作土等の移動が見られる肥沃な土砂の堆積する地形と思われる。また調査区全体では、地震に起因する洪水堆積層が10cmから最高47cmまでの厚さで堆積し、水田を覆っていた。その下の耕作土は、保水性に富む褐灰色土層で水田に適している。

水田には、東西・南北方向の大畦畔が検出され、角度も東西方向でN-92°-E前後で、南北方向ではほぼN-0°-Eを示し、東西・南北方向にほぼ直交する。またIIで検出した大畦畔とつながりを持ち、約109mの間隔にあてはまり、坪境をなすが、小畦畔は規則性が見られず、地形に沿った変則区画（曲線や斜め）が多く見られる。さらに条里制区割りにみる長地型や半折型にあてめてみると、部分的に半折型に類似するところもあるが、ほとんど区割りが崩れ、水田面積も統一性がなく、大小様々な区画をなしていた。これは地形的に災害が多く発生したことにより、水田も影響を受けて、土砂の排除や復田が行なわれたためと考えられる。一方災害の影響が少なかつたところは、半折型に類似する区割りが残ったと思われる。

また配水をみると、水田に伴う溝址が各調査区にあり、この溝から各水田に設けられた水口を通して配水が行なわれていたと思われる。そのために水を溜める湛水の深さを平均に保つ作業がなされていたと思われ、労働力も多く必要だったと思われる。こうしたことにより灌漑面積も次第に広範囲となっていましたと考えられる。

さらに水田址全体の勾配をみると、B 5 区の78.10mを最高値に、F 6 区の76.40mを最低値で170cmの比高差を測り、B 5 区からF 6 区の間が約400mであることから4.25/1000となり、この傾斜を利用して配水していたことがわかる。また、溝も水田と同じく北から南への流水である。

埋没時期は、『頬聚国史』によると818年に上野国を含む関東近県に地震があり、河川の決壊等による水害が発生したことが記されており、水田を覆った洪水堆積層がそのことを物語っている。さらに土層断面をからも、1108(天仁元)年のAs-B軽石が水田面より上層にあり、水田面下より古墳時代の住居址が検出していることから、6世紀から平安時代後期までの間であることがわかる。

参考文献

- ・柳久保遺跡群 I 1985 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
 - ・芳賀田地遺跡群 第1巻 芳賀東部辻地遺跡I古墳時代編その1 1984 前橋市教育委員会
 - ・芳賀田地遺跡群 第2巻 芳賀東部辻地遺跡II古墳時代編その2 1988 前橋市教育委員会
 - ・元寇社明神遺跡IX 1991 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
 - ・前畠田遺跡 1982 前橋市教育委員会
 - ・中原遺跡群 I 1993 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
 - ・中原遺跡群IV 1995 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
 - ・資料集 赤城山麓の歴史地図 1991 新里村教育委員会
 - ・大八木水田遺跡 1979 高崎市教育委員会
 - ・芦田貝丘遺跡II 1980 高崎市教育委員会
 - ・昭和町I遺跡 1992 高崎市教育委員会
 - ・荒砥北部遺跡群発掘調査概要 1988 荒砥北部遺跡群調査会 群馬県教育委員会
 - ・日高遺跡 1982 報告書 第5集 群馬県教育委員会(財)群馬県埋蔵文化財発掘調査事業団
 - ・同道遺跡 1983 財団法人群馬県埋蔵文化財発掘調査事業団
 - ・上越新幹線開通埋蔵文化財発掘調査報告書第7集 別I・II・III道跡 平安時代須恵器生産工人集落と中・近世集落の調査 1986 群馬県教育委員会(財)群馬県埋蔵文化財発掘調査事業団・富士見遺跡群 田中田遺跡 筑谷戸遺跡 眼鏡遺跡 1986 富士見村教育委員会
 - ・up 考古学遺書 [12] 水田の考古学 工業普通 東京大学出版会 1981年10月14日初版
 - ・寒川旭著 地質考古学 道路が語る地質の歴史 中公新書
 - ・考古学ライブリー45 出土銅鏡 ～中世～
 - 坂詰秀一編 ニューサイエンス社 1986 初版発行
 - ・烟作文化の誕生 煙文農耕へのアプローチ
- 1988 佐々木謙明 松山利夫 日本放送出版協会

作業に参加した方々（順不同）

石川サワ子	内山恵美子	山崎勘治	三俣光江	中野鶴市	三川昭市
小沼あき	登坂正	内田重二郎	内田喜久栄	内田三郎	新保松乃
飯島いし	井野大造	小瀬丑子	宮前実	新保勝太郎	佐野勝次郎
山田茂雄	主代仲治	岡田晋富	川島勝治	伏島克太	内藤孝
角田正次郎	江口よしの	佐鳥直子	摩庭幸江	石井春江	萩原和子
富岡和子	堀越豊	野口たかね	斎藤まさ子	神沢方子	関トシ子
木村とよ	横山佳子	野口栄一	伊藤澄	堀越うめ子	井田見一郎
井田年代	丸山好雄	丸山民江	金田友子	丸山金平	中沢弘
桝沢よし子	高坂亭太郎	関喜美江	原島さえ	関根時太	都丸保男
大沢光子	三俣清	青木もとよ	鹿沼ヨシ子	福田義徳	木村勇藏
木村省二	宮下貴冠	福田幸恵	石間加寿子	漸下ゆき子	吉沢貴子
藤野弘子	小保方豊五郎	八木原きぬ子	高坂やすの		

写 真 図 版

中原遺跡群 III 1~4

〃 V 5~26

〃 VII 27~29



C·D 3, B, C 5 区調査前現況



1号住居址



1号住居址遺物出土状況



1号住居址遺物出土状況



1号住居址カマド



C 3 区調査区全景(北西より)



C 3 区調査区全景(南より)



C 8 区調査区全景(南より)



C 3 区調査区全景(東より)



C 3 区調査区全景(東より)



C 3 区陥没水田全景



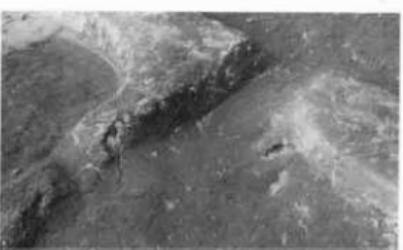
C 3 区水田面全景(北より)



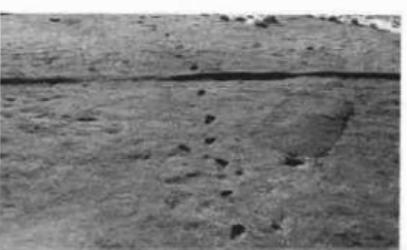
C 3 区大畦畔(西より)



C 3 区大畦畔(東より)



C 3 区 N 1 9 グリッド内水口



C 3 区 Q 2 2 グリッド内足跡



C 3区 W-1・2



B 5区調査区全景(南より)



C 5区調査区全景(北より)



B 5区 V1 2グリッド内水口



C 5区大畠畔(西より)



C 5区 D1 2グリッド内水口(大畠畔)



C 5区 A1 2グリッド内足跡



C 5区 W-3

圖版 4



C 5 区 W - 4



C 5 区 道跡全景



1



2



3



4



5



6



7



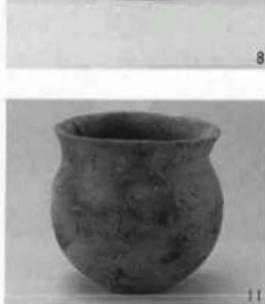
8



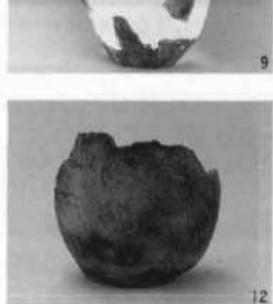
9



10



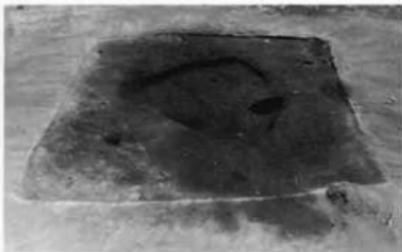
11



12



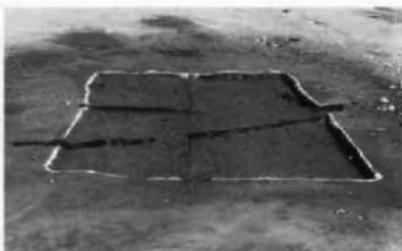
D 3·4 区调查前现况



1号住居址



1号住居址遗物出土状况



2号住居址



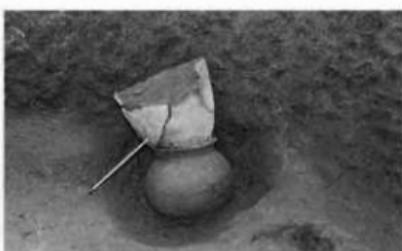
2号住居址遗物出土状况



3号住居址



4号住居址



4号住居址遗物出土状况



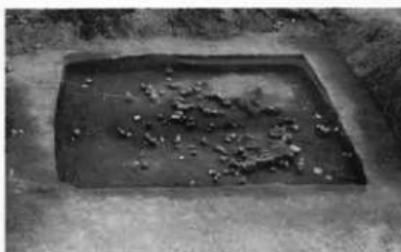
4号住居址カマド



4号住居址カマド遺物出土状況



5号住居址



5号住居址遺物出土状況



5号住居址炉窯掘



6号住居址



6号住居址遺物出土状況



6号住居址カマド



7号住居址



7号住居址遗物出土状况



7号住居址カマド



8号住居址



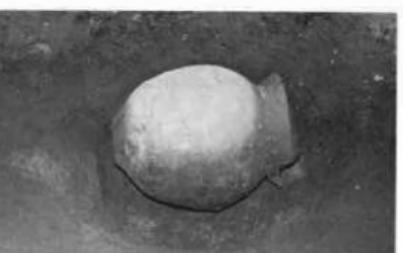
8号住居址遗物出土状况



8号住居址カマド



9号住居址



9号住居址贮藏穴遗物出土状况



9号住居址カマド



10号住居址



10号住居址遺物出土状況



10号住居址カマド



10号住居址カマド遺物出土状況



D・E - 2・3・4 区水田址全景(北より)



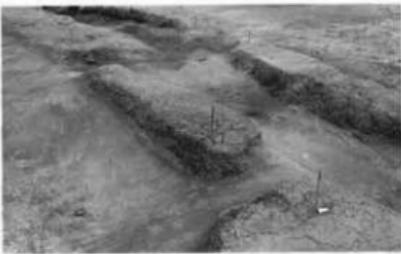
D・E - 2・3・4 区水田址全景(南より)



D・E - 2・3・4 区水田址全景(南より)



D-E-2-3-4区水田址全景(南より)



D 3 区 K-L 4 グリッド内水口



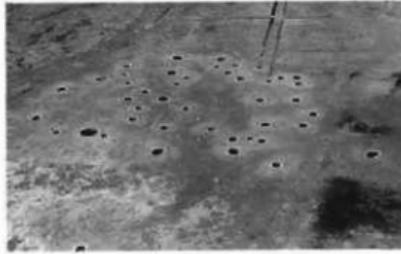
D 3 区 S-T 17 グリッド内水口



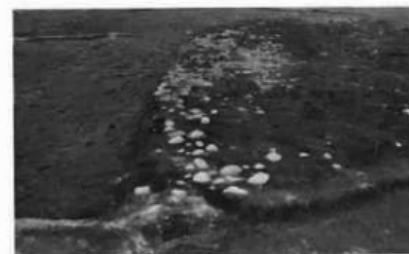
D 3 区 陥没水田址(15, 16号水田)



D 3 区 N 16 グリッド内足跡(12, 16号水田)



E 3 区 土坑群



E 3 区 H 20~23 グリッド内集石(東より)



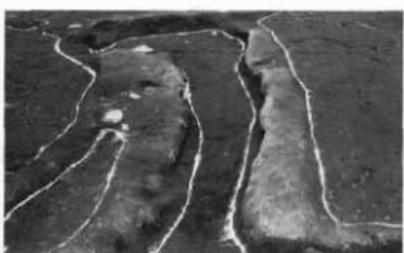
B 3 区 W-1(東より)



E 4区 W-2(北より)



E 3区 W-3(北より)



D 3区 W-4(東より)



D 3・4区 W-5(西より)



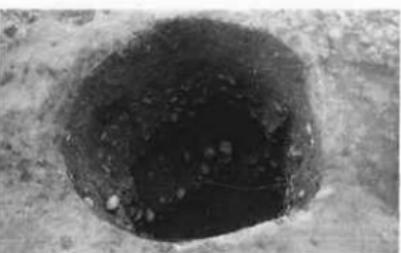
D 3区 W-6(南より)



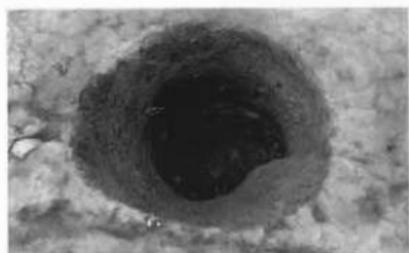
D 2区 W-7(東より)



E 2・3区 W-8(北より)



E 3区 H13グリッド内 1号井戸址



E 3 区 I 13グリッド内 2号井戸址



E・F - 3・4 区調査前現況



E 3 区水田址(北より)



E・F - 3・4 区水田址全景(南より)



E・F - 3・4 区水田址全景(南より)



E 4 区157号水田址からW-11への水口



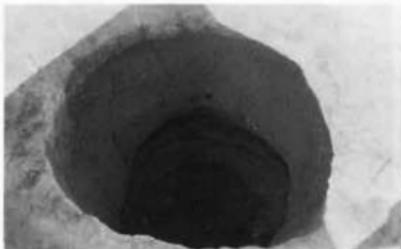
E 4 区 B 3グリッド内足跡(163号水田)



E・F - 3 区 土坑群



F 3 区 G13グリッド内掘立B-4



E 3 区 X13グリッド内 3号井戸



E・F - 3・4区 W-3・10・11・12(北より)



E・F - 3・4区 W-10・11(南より)



D 6・E・F - 6・7区調査前現況



11号住居址



11号住居址遺物出土状況



11号住居址カマド



12号住居址



12号住居址遺物出土状況



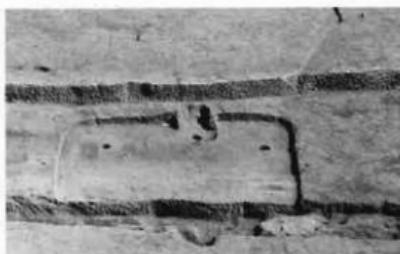
12号住居址カマド1・2



13号住居址



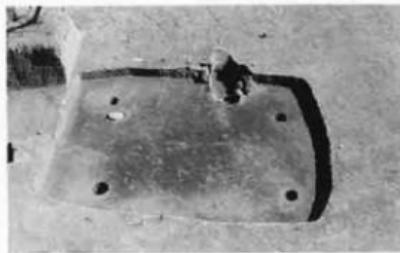
13号住居址カマド



14号住居址



14号住居址カマド



15号住居址



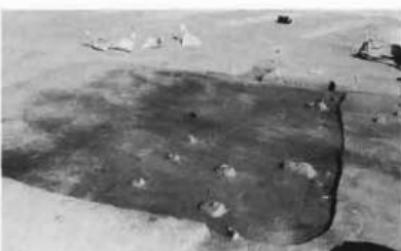
15号住居址遺物出土状況



15号住居址カマド



16・17号住居址



16号住居址遺物出土状況



16号住居址カマド



17号住居址



17号住居址カマド



18号住居址



18号住居址遺物出土状況



18号住居址カマド



19号住居址



19号住居址遺物出土状況



19号住居址カマド



20号住居址



20号住居址遺物出土状況



20号住居址カマド



21+23号住居址



21号住居址出土状况



21号住居址カマド1・2



22号住居址



22号住居址出土状况



22号住居址カマド



23号住居址出土状况



23号住居址カマド



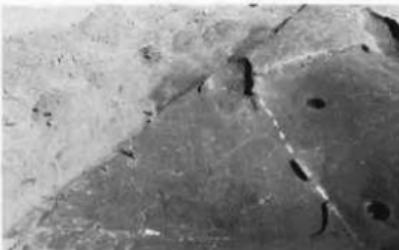
24号住居址



24号住居址遺物出土状況



24号住居址カマド



25号住居址



25号住居址遺物出土状況



25号住居址カマド



21•23•26号住居址



26号住居址遺物出土状況



26号住居址カマド



D・E・F - 6・7区水田址全景(南より)



D・E・F - 6・7区水田址全景(南より)



D・E・F - 6・7区水田址全景(北より)



E 6区大畦畔全景(南より)



E 6区大畦畔全景(西より)



E 6区Y19グリッド内陷没水田(237号水田)



E 6区M10グリッド内足跡(201・202号水田)



地割れ跡(W-16内)



E・F 6区溜池状遺構



E・F 6区畝状遺構



D・E・F 6区 W-14(西より)



D 6区 W-13・15・16・18・19・20・24(西より)



D 6区 W-21(東より)



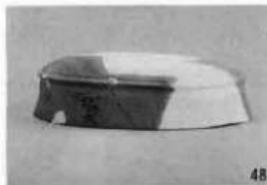
F 6区 W-17・22(南より)

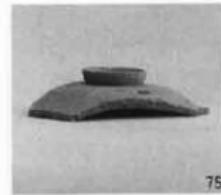
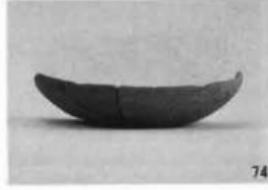
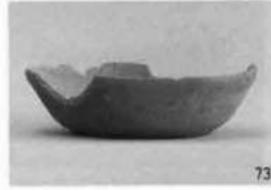
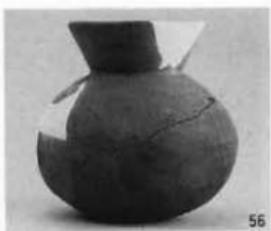


F 6区 W-22・23(北より)











78



79



80



81



82



83



84



85



86



87



88



89



90



92



93



94



95



96



97



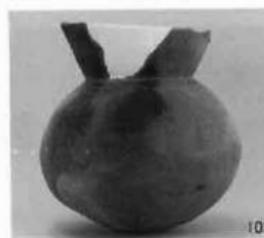
98



99



100



103



104



106



108



109



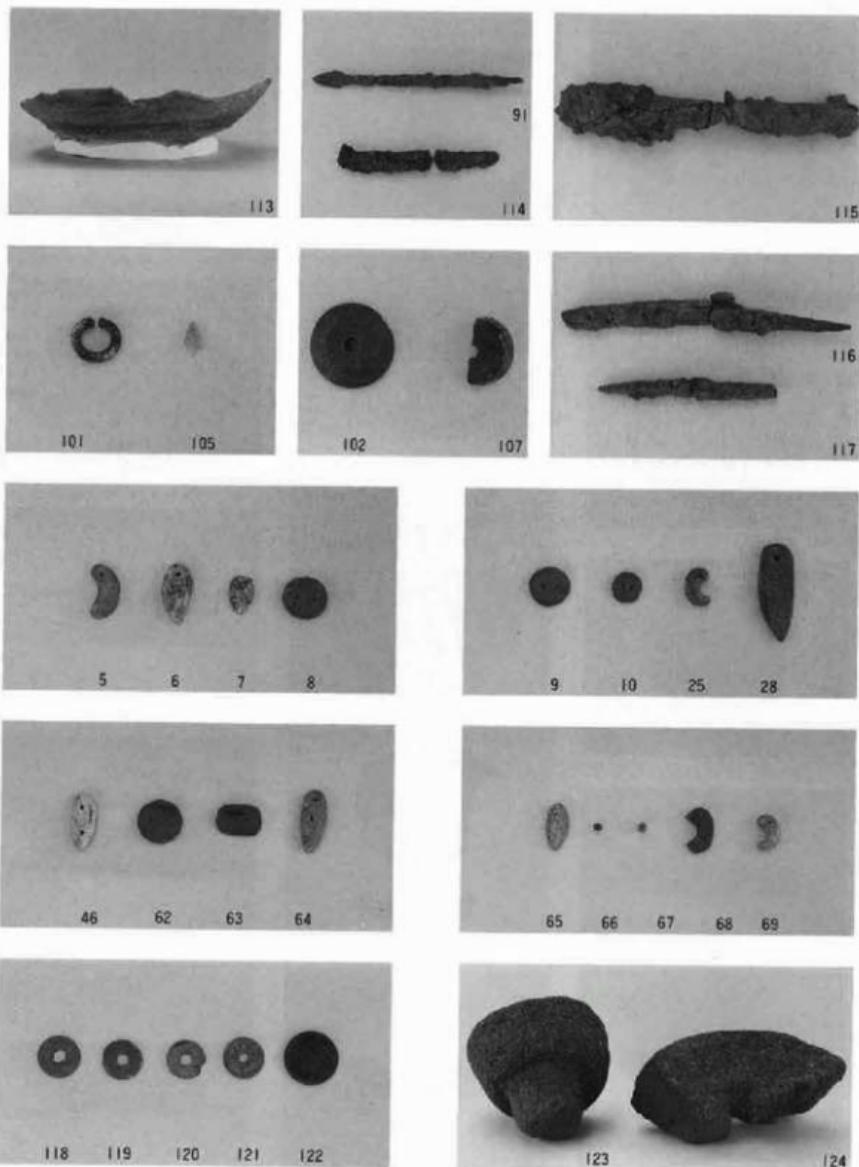
110



111



112





C4・D4 調査前現況



C・D4・D5・E4・5区調査区全景(南より)



C4・D4 調査区全景(南より)



D4区U11グリッド付近陥没水田



D4区A0グリッド内大畦畔



D4区B14～I13グリッド内大畦畔



D4区P15・20グリッド内大畦畔



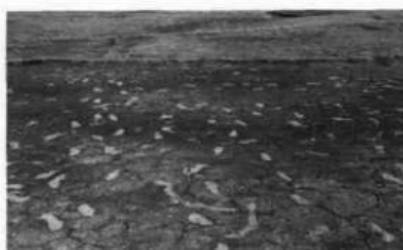
D4区C4・5グリッド内水口



D 4 区Q 21・22グリッド内水口



D 4 区U 15グリッド内W-8への排水口



E 4 区A 20グリッド内足跡群



D 4 区V 21・22～E 4 区D 21～23グリッド内足跡群



D 4 区X 22グリッド内足跡群



D 4 区V 21・22グリッド内足跡計測



C 4・D 4 区W-1



C 4・D 4 区W-2・3



C 4 • D 4 区 W - 4 • 5 • 6



C 4 • D 4 区 W - 7



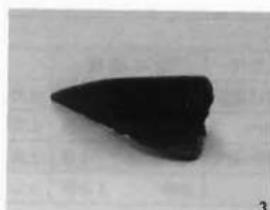
C 4 • D 4 区 W - 8



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10

抄 錄

フリガナ	ナカハライセキグンサン・ゴ・ナナ						
書名	中原遺跡群III・V・VII						
副書名	上増田工業団地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書						
巻次							
シリーズ							
編著者名	スナガ環境測設株式会社 萩野博巳						
編集機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団						
編集機関所在地	〒371 群馬県前橋市上泉町664番地の4						
発行年月日	西暦1996年3月25日						

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
中原遺跡群III	前橋市上増田町, 箕井町,今井町	10201	5 F 3	36°21'28"	139°11'02"	19931201 19940315	12,295m ²	工業団地造成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中原遺跡群III	集落跡	古墳時代後期	竪穴住居址 1軒	土師器甕、高坏、瓶、环	
〃	水田址	平安時代	水田址 95面	土師器、須恵器	条里制水田
〃	溝・水路跡	平安時代～近代	溝・水路 4条	土師器、木杭、五輪塔、近世の遺物	
〃	道路跡	近代	道路 1か所	なし	

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
中原遺跡群V	前橋市上増田町, 箕井町,今井町	10201	6 F 3	36°21'28"	139°11'02"	19940428 19950324	41,600m ²	工業団地造成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中原遺跡群V	集落跡	古墳時代中期～後期	竪穴住居址 10軒	土師器甕、高坏、壠、坏、壇、須恵器、坏、蓋、石製模造品	
〃	集落跡	奈良・平安時代	竪穴住居址 16軒	土師器甕、壠、坏、須恵器高台付壠、蓋	
〃	水田址	平安時代	水田址 243面	土師器	条里制水田
〃	溝・水路跡	平安時代～近代	溝・水路跡 24条	土師器坏、須恵器甕、古錢、石臼、五輪塔	
〃	井戸址	中世～	井戸址 3か所	土師器	
〃	畝状跡	中世～	畝状跡 1か所	土師器	
〃	集石跡	中世～	集石跡 1か所		
〃	溜池状遺構	近代	溜池跡 1か所	近代の遺物	
〃	土坑	中世～	土坑 363基	(うち掘立柱遺構を構成するものを含む)	
〃	掘立柱遺構	中世～	掘立柱遺構 4か所		

フリガナ 所取遺跡名	フリガナ 所在 地	コ ー フ		位 置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北 輵	東 經			
中原遺跡群VII	前橋市上増田町、 今井町、今井町	16201	7 F 3	36°21'28"	139°11'02"	19950609 19950822	10,500m ²	工業用地造成

所取遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主 な 遺 物	特記事項
中原遺跡群VII	水 田 址	平安時代	水田址 83面	土師器、須恵器	条里制水田
	溝・水路跡	平安時代～近世～近代	溝・水路跡 8条	土師器・須恵器等、近世の遺物（古鏡、磁器の破片他）	

中原遺跡群III・V・VII

1996年3月18日印刷

1996年3月25日発行

発 行 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
前橋市上泉町664番地の4

編 集 スナガ環境測設株式会社
前橋市青柳町221番地の1

印 刷 朝日印刷工業株式会社

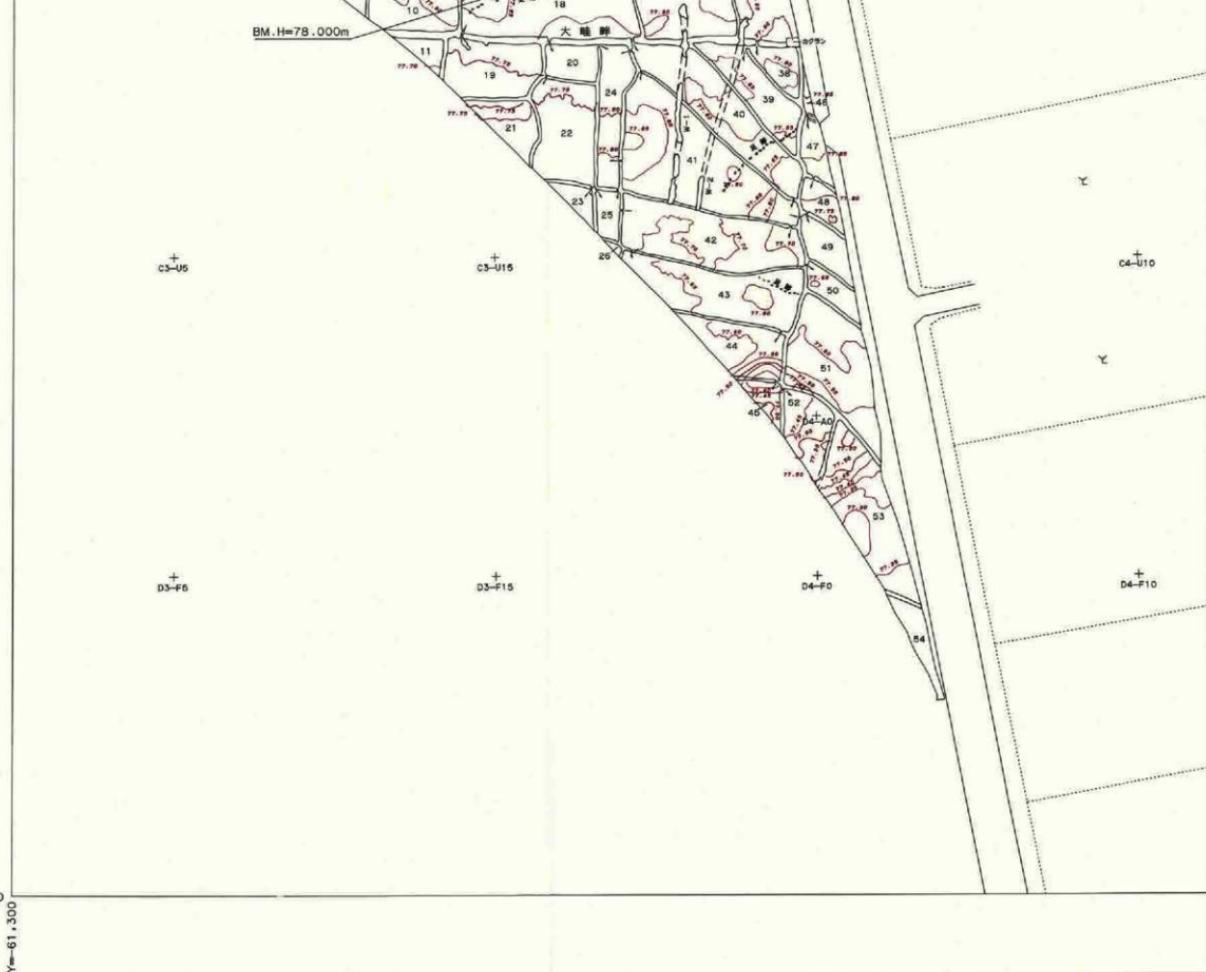
中原遺跡群Ⅲ



平面図

S = 1 : 500

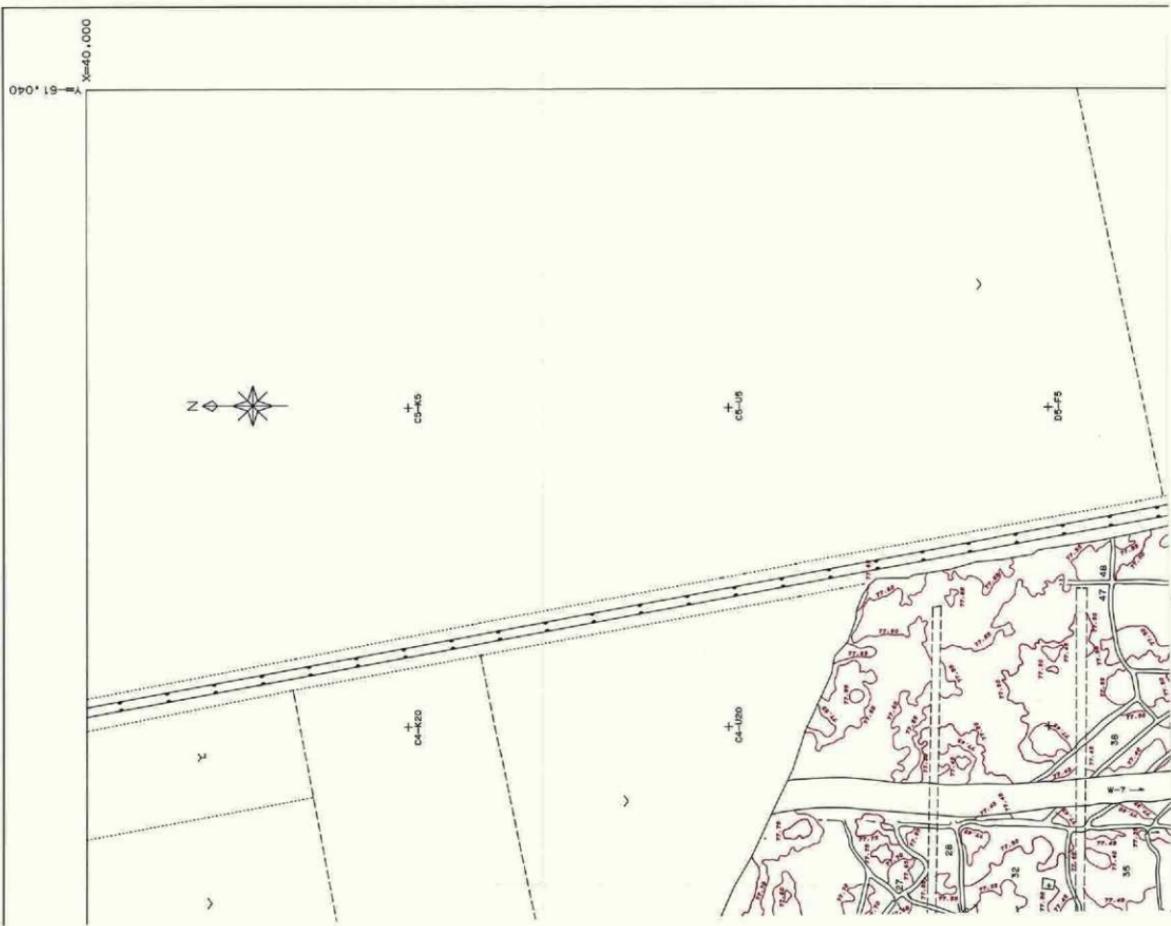




中原遺跡群 VII

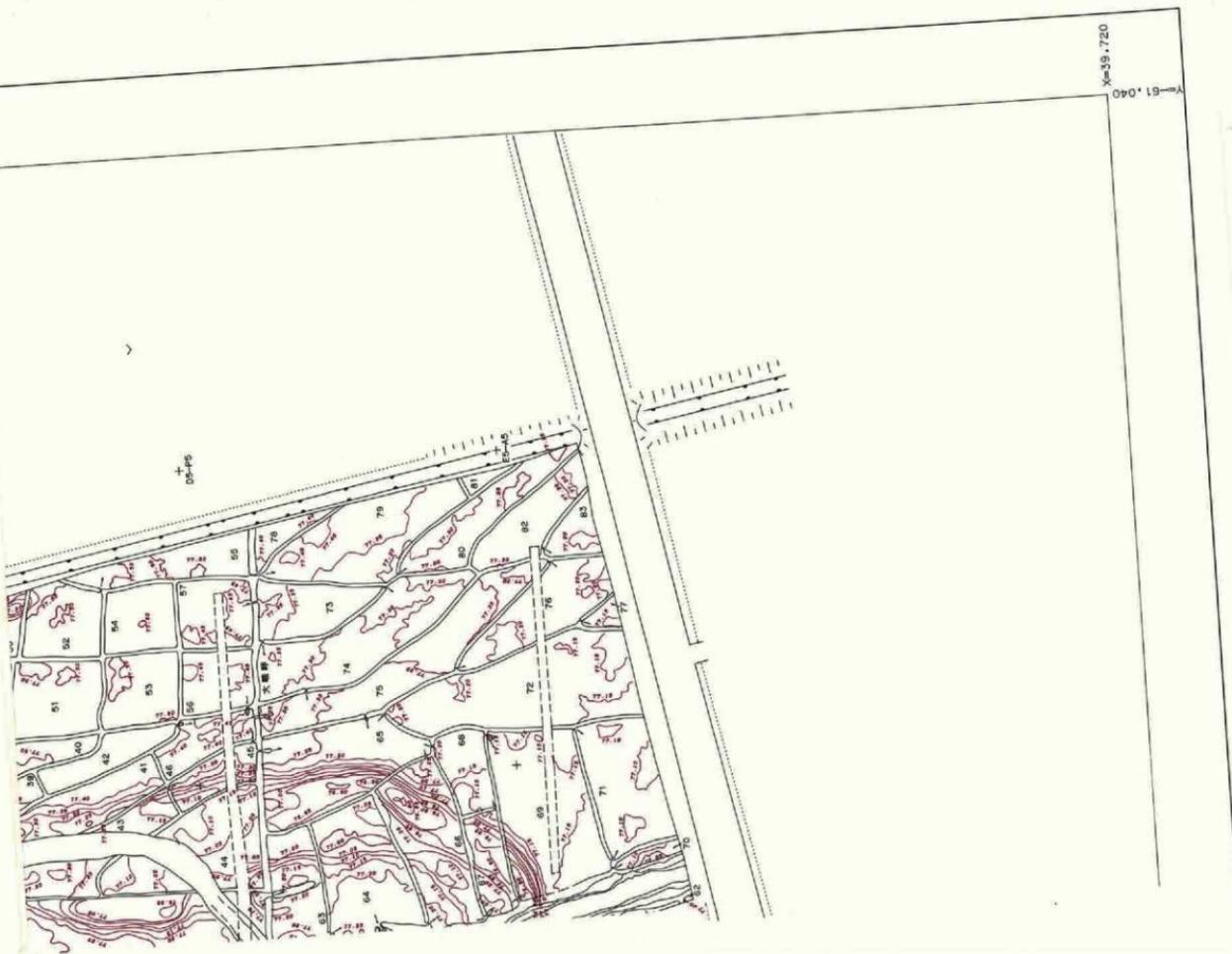


平面図 s=1 : 500





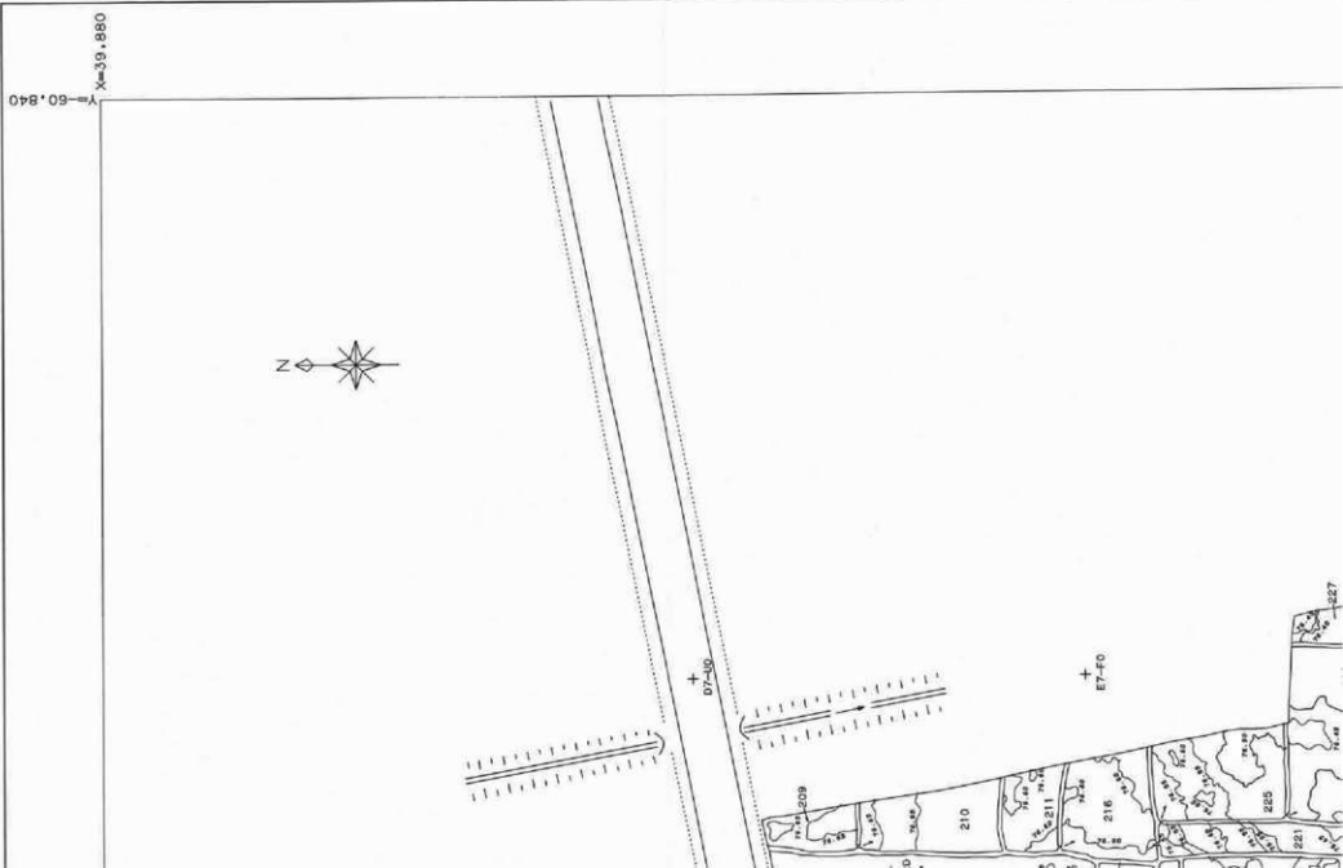
成川村川北11十五日午後十一時半頃測量事務所

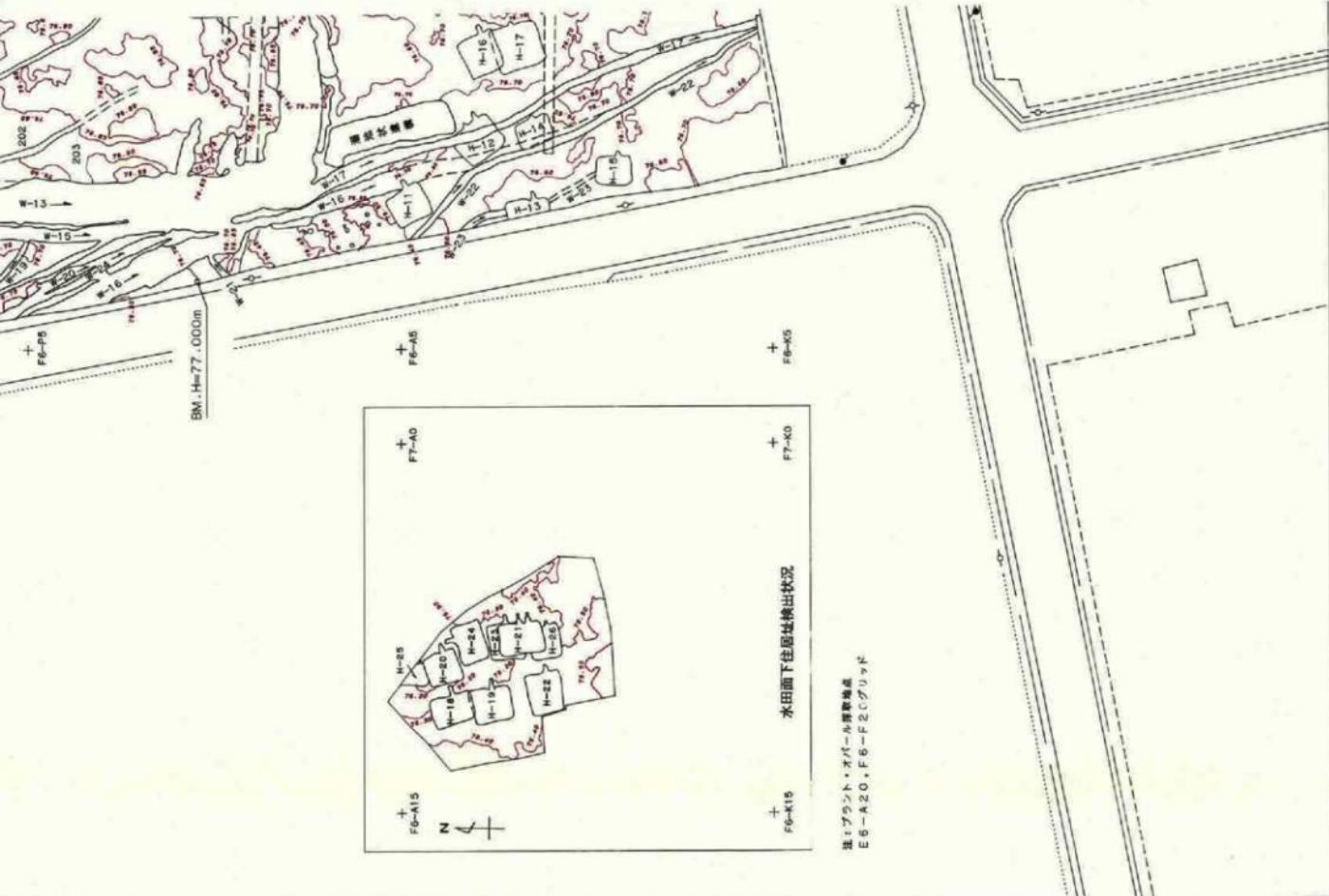


中原遺跡群V平面図



500 202







中原遺跡群 V 平面図

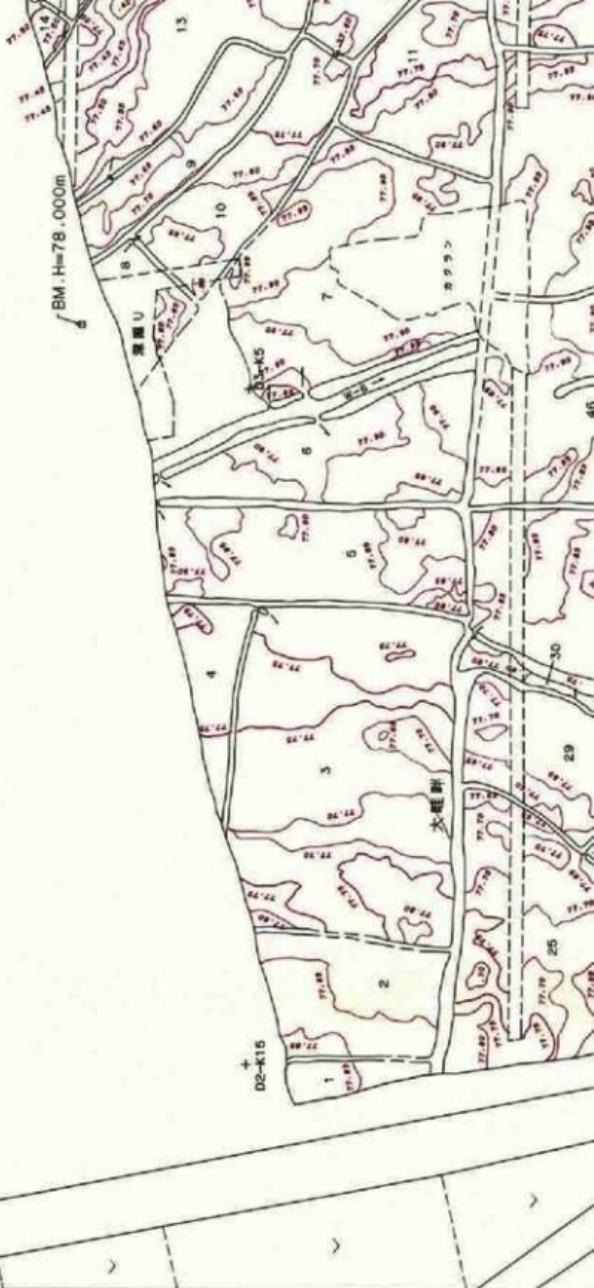
Y=61,300

X=39,900

BM. H=78,000m

D2-K15

大體跡

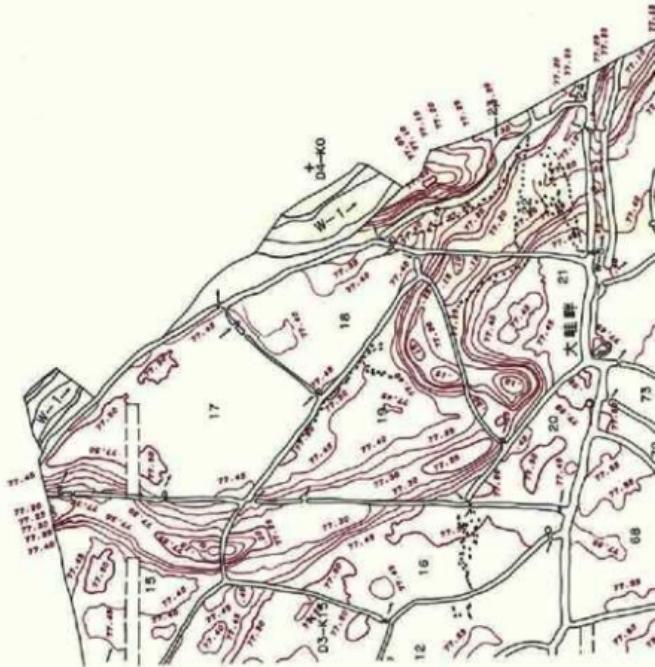


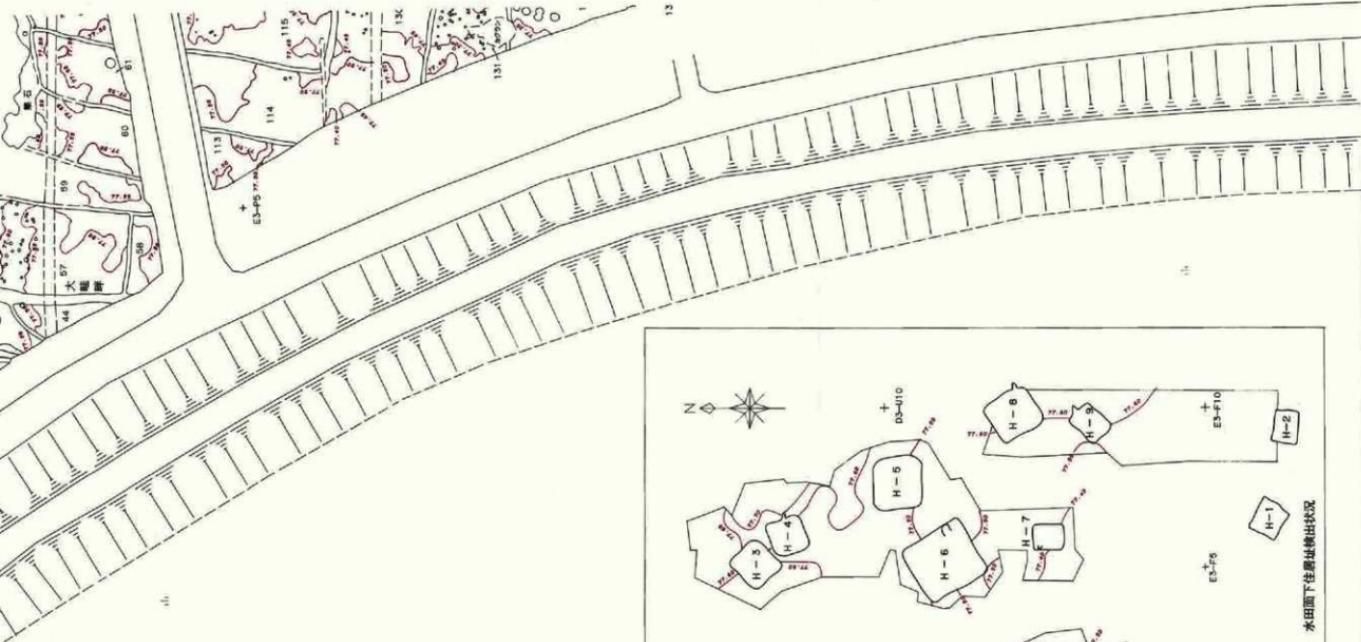
S = 1 : 500 201

Y=61,140

X=39,900

D4-K10





注：プラント・オペラル直取点
E3-A0, E4-A0グリッド
E3-B20, E4-E10グリッド

